



かながわ考古学財団調査報告 345

東富岡・太窪遺跡 東富岡・中島遺跡 栗窪・林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第1分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告
345

東富岡・太窪遺跡
東富岡・中島遺跡
栗窪・林窪遺跡

第1分冊

二〇二五 公益財団法人
かながわ考古学財団

かながわ考古学財団調査報告 345

ひがし と み お か 東富岡 ・ ふ と く ぼ 太窪遺跡
ひがし と み お か 東富岡 ・ な か じ ま 中島遺跡
あ わ く ぼ 栗窪 ・ はやし く ぼ 林窪遺跡

新東名高速道路（伊勢原市栗窪地区）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

第1分冊

2025.3

公益財団法人 かながわ考古学財団

序 文

今回の発掘調査は、新東名高速道路建設に伴う調査です。新東名高速道路は、中日本高速道路株式会社によって、混雑が著しい東名高速道路との適切な交通分担機能を持ち、日本の産業文化社会活動の振興に大きく関与することを目的として計画されました。

本書で報告する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡は、伊勢原市北部の栗窪に所在し、富岡丘陵の東側に位置する台地から裾部にかけて立地します。

伊勢原市の西富岡、東富岡、栗窪の一带は、伊勢原ジャンクション建設地に当たり、それぞれの地区に埋蔵文化財が存在していたため、当財団の前身である財団法人かながわ考古学財団が、平成19年度から調査を進めてきました。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世の遺構や遺物が発見された複合遺跡です。

東富岡・太窪遺跡は台地北東から北側縁辺、東富岡・中島遺跡は富岡丘陵の南東、栗窪・林窪遺跡は台地南側に位置しています。遺跡によって様相が異なりますが、主に栗窪・林窪遺跡では、中世の竪穴状遺構、段切り、溝状遺構、井戸など遺構・遺物が発見されており、生活に密着した遺構からこの地域での当時の人々の生活を垣間見ることができました。

この成果が専門の研究者のみならず、広く市民・県民の皆様にも郷土・伊勢原の歴史について、理解と関心を深める一助として活用されることを願ってやみません。

最後に、発掘作業および出土品等整理作業、報告書の刊行にあたりまして、ご理解・ご協力を賜り、ご指導をいただきました関係諸機関・諸氏に、感謝申し上げます。

2025（令和7）年3月

公益財団法人 かながわ考古学財団
理 事 長 中 島 栄 一

例 言

1. 本書は、公益財団法人かながわ考古学財団が実施した埋蔵文化財発掘調査の報告書であり、次の遺跡について収録している。

神奈川県伊勢原市東富岡地先 東富岡・太窪遺跡（伊勢原市No. 71）

神奈川県伊勢原市東富岡地先 東富岡・中島遺跡（伊勢原市No. 71）

神奈川県伊勢原市栗窪地先 栗窪・林窪遺跡（伊勢原市No. 71）

2. 発掘調査は、中日本高速道路株式会社東京支社厚木工事事務所の委託を受け、新東名高速道路建設事業に伴う事前の記録保存調査として実施し、調査に係る経費は中日本高速道路株式会社が負担した。

3. 発掘調査から報告書作成までの期間及び出土品等整理場所は次のとおりである。

発掘作業期間

東富岡・太窪遺跡	2010（平成22）年10月1日～2011（平成23）年2月15日
	2011（平成23）年6月16日～2011（平成23）年8月31日
	2016（平成28）年5月1日～2016（平成28）年6月15日
	2017（平成29）年12月1日～2017（平成29）年12月31日
	2018（平成30）年1月1日～2018（平成30）年3月15日
	2018（平成30）年3月15日～2018（平成30）年5月15日
東富岡・中島遺跡	2011（平成23）年2月16日～2011（平成23）年3月31日
	2011（平成23）年12月16日～2011（平成23）年12月31日
	2013（平成25）年6月1日～2013（平成26）年7月15日
栗窪・林窪遺跡	2013（平成25）年8月1日～2013（平成25）年8月31日
	2012（平成24）年6月1日～2012（平成24）年6月30日
	2012（平成24）年7月1日～2012（平成24）年9月15日
	2013（平成25）年1月1日～2013（平成25）年3月31日
	2013（平成25）年9月16日～2014（平成26）年2月28日
	2014（平成26）年3月1日～2014（平成26）年3月31日
	2014（平成26）年4月1日～2014（平成26）年6月15日
出土品等整理期間	2019（令和元）年10月1日～2019（令和元）年10月31日
	2022（令和4）年2月16日～2024（令和6）年4月15日
報告書作成期間	2024（令和6）年4月16日～2025（令和7）年3月31日

出土品等整理場所 公益財団法人かながわ考古学財団 野庭出土品整理室（横浜市港南区野庭町 1660）

4. 発掘調査は、調査研究部木村吉行・天野賢一・上村和直（（財）京都市埋蔵文化財研究所）・南出俊彦（（財）京都市埋蔵文化財研究所、以下同）（平成22年度）、木村吉行・南出俊彦・尾藤德行（（財）京都市埋蔵文化財研究所、以下同）（平成23年度）、木村吉行・尾藤德行・馬淵和雄・瀬田哲夫・山路恭之助（平成24年度）、木村吉行・山路恭之助・馬淵和雄・大上周三・戸羽康一・長澤保崇・新山保和・能芝 勉（平成25年度）、木村吉行・後藤喜八郎・大上周三・村松 篤・野芝 勉（平成26年度）、木村吉行・川嶋実佳子（平成28年度）、新開基史・新山保和・大上周三・能芝 勉（平成29年度～平成30年度）、新山保和・呉地英夫（令和元年度）が、また出土品等整理及び報告書刊行（作成・編集）は、調査研究部木村吉行（令和3年度～令和5年度）、三瓶裕司（令和3年度）、川嶋実佳子（令和3年度～令和6年度）、植山英史、須田英一、澁谷正信（令和4年度）、井関文明、出縄康行、渡辺 外（令和5年度）、宮坂淳一（令和5年度～令和6年度）が担当した。

5. 発掘調査から報告書作成までに係る調整は、神奈川県教育局生涯学習部文化遺産課埋蔵文化財グループ谷口 肇（平成 22 年度）、宍戸信悟（平成 23 年度）、丸吉繁一（平成 24～26 年度、平成 28～30 年度）、富永樹之（令和元年度）、高屋敷飛鳥（令和 3～4 年度）、渡辺千尋（令和 5 年度）、三戸 芽（令和 6 年度）が担当した。また、発掘作業から報告書刊行にかかる監理は文化遺産課埋蔵文化財グループ谷口 肇（平成 22 年度）、文化遺産課中村町駐在事務所千葉 毅（平成 23 年度）、砂田佳弘（平成 24 年度）、宍戸信悟（平成 25・26 年度）、近野正幸（平成 28 年度）、富永樹之（平成 29・30 年度・令和元年度）、加藤勝仁（令和 3 年度～令和 6 年度）が担当した。

6. 発掘調査・出土品等整理においては、次の分析・鑑定を外部機関に委託し、結果を第Ⅴ編に掲載した。

〔委託調査・分析内容〕

〔委託先〕

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡、

（有）考古石材研究所

栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡

出土の石器・石製品の石材同定

東富岡・太窪遺跡、栗窪・林遺跡出土の黒曜石産地推定分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡の木製品樹種同定

パリノ・サーヴェイ株式会社

7. 発掘調査では、遺跡の航空写真撮影を（株）スカイサーヴェイに委託した。測量基準杭は、東富岡・西之窪遺跡の発掘調査の際に打設した測量基準杭を使用した。世界測地系平面直角座標第Ⅸ系（測地成果 2000）を用いている。

8. 発掘調査における遺構測量及び遺物取上げにはシステムプログラム「遺構くん」（株式会社 CUBIC）と、出土品等整理事業における各種分布図等の作成にあたっては、システムプログラム「トレースくん」（株式会社 CUBIC）を使用した。

9. 発掘調査及び出土品等整理にあたっては、次の機関から御指導・御協力を賜った（敬称略）。

伊勢原市教育委員会

10. 本報告書の執筆は木村吉行・川嶋実佳子・井関文明・出縄康行・宮坂淳一が担当し、全体の編集は川嶋実佳子・宮坂淳一が担当した。なお、執筆分担については次のとおりである。

木村吉行：第Ⅰ編第 1 章～第 3 章第 2 節（1）、第Ⅱ編第 1 章、第Ⅲ編第 1 章、第Ⅳ編第 1 章、

川嶋実佳子：第Ⅰ編第 3 章第 2 節（2）第Ⅱ編第 2 章第 1 節 1～4、第 2 節 1～4、第Ⅲ編第 2 章第 1 節 1～4、第Ⅳ編第 2 章第 1 節 1～4、第 2 節 1～3、第 3 節 3～5、第Ⅵ編第 1 章 1（3）～（4）、2（3）、3（3）～（5）、第 2 章



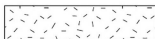


宮坂淳一：第Ⅱ編第 2 章第 1 節 1・2 遺物観察表、第 2 節 1・2 遺物観察表、第Ⅲ編第 2 章第 1 節 1・2 遺物観察表、第Ⅳ編第 2 章第 1 節 1・2 遺物観察表、第 2 節 1・2 遺物観察表、第 3 節 1・2、第Ⅵ編第 1 章 1（1）・（2）、2（1）・（2）、3（1）・（2）

井関文明：第Ⅱ編第 2 章第 1 節 5（2）石器、第 2 節 5（1）石器、6（1）、第Ⅲ編第 2 章第 1 節 5（3）石器、6（1）、第Ⅳ編第 2 章第 1 節 5（1）石器、第 2 節 4（1）石器、第 3 節 6（1）石器、第Ⅵ編第 1 章 1（5）・（6）、2（4）・（5）、3（6）






出縄康行：第Ⅱ編第 2 章第 1 節 5（1）、（2）土器、第 2 節 5（1）土器、第Ⅲ編第 2 章第 1 節 5（1）～（2）、（3）土器、第Ⅳ編第 2 章第 1 節 5（1）土器、第 2 節 4（1）土器、第 3 節 6（1）土器、第Ⅵ編第 1 章 1（5）、2（4）、3（6）

- 11．写真撮影は、遺構を木村吉行・馬淵和雄・戸羽康一・長澤保崇・新山保和・能芝 勉・村松 篤・新開基史・呉地英夫、遺物を川嶋実佳子・宮坂淳一の指示のもと杉原琴が行った。
- 12．本調査に係る既発表・報告としては第Ⅰ編第2章末尾に記載したものが存在するが、本報告書の内容をもって正式な調査報告とする。また、調査成果の発表・展示については以下を実施している。
- ・財団発掘調査成果発表会・展示会
 - 平成23年10月8日・11月12日実施 『平成23年度 発掘調査成果発表会要旨』紙上
 - 平成24年10月13日・11月10日実施 『平成24年度 発掘調査成果発表会要旨』
 - 平成25年12月4日実施 『平成25年度 発掘調査成果発表会要旨』
 - 平成26年10月18日実施 『平成26年度 発掘調査成果発表会要旨』
 - 平成29年7月8日実施 『平成29年度 発掘調査成果発表会要旨』紙上
 - ・伊勢原の遺跡調査報告会
 - 平成24年3月10日実施 『伊勢原の遺跡調査報告会』
 - 平成25年3月16日実施 『伊勢原の遺跡調査報告会』
 - 平成26年3月16日実施 『伊勢原の遺跡調査報告会』
 - ・伊勢原市考古資料展資料展示
 - 平成24年2月17～19日 『第25回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
 - 平成25年2月22～24日 『第26回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
 - 平成26年2月14～16日 『第27回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
 - 平成27年2月20～22日 『第28回考古資料展「伊勢原の遺跡」』
 - ・神奈川県遺跡調査・研究発表会
 - 平成26年10月26日実施 『第38回 神奈川県遺跡調査・研究発表会要旨』
- 13．本調査に係る出土品の注記は、東富岡・太窪遺跡を「HTF」、東富岡・中島遺跡を「HTNK」、栗窪・林窪遺跡を「AWH」と略記した。
- 14．本調査に係る出土品及び図面・写真等の記録類については、神奈川県教育委員会で保管している。
- 15．遺構の名称・番号・帰属時期等については、調査時や概報記載内容から変更したものがあり、本例言末尾に変更に係る新旧対照表を掲載した。また、遺構番号先頭の記号は、遺構の帰属時代を示し、「K」が近世以降、「C」が中世、「H」が古墳時代後期～奈良・平安時代、「YH」が弥生時代後期～古墳時代前期、「J」が縄文時代を示す。ただし、旧石器時代については帰属時代を示す記号は付さず、文化層に準じて記述した。
- 16．本報告書の遺構・遺物挿図の指示は次のとおりである。
- ・遺構実測図の標高は海拔高度を示す。
 - ・遺構・遺物等の挿図の縮尺は、図に示してある。
 - ・特に凡例を示していない遺構・遺物挿図中のパターンによる指示は以下のとおりである。

遺構挿図

	断面図中の地山		焼土範囲		炭化物範囲
	粘土範囲		硬化面		

遺物挿図

	灰釉・自然釉・研磨・磨痕		長石釉・緑釉・青磁釉・銅緑釉
	鉄釉・錆釉・赤彩・朱墨・朱漆		天目釉・煤・炭化物・黒漆・焼継痕
			須恵器断面

・遺構からの遺物出土分布図中のドットによる指示は以下の通りである。

土器：● 石器・石製品：■ 金属製品：▲ 土製品：○ 銭：★ 骨・歯：□ 礫：◎
炭化物：△ 木製品・種子：×

17．発掘作業及び出土品等整理作業の参加者は下記の通り（五十音順）。なお、出土品等整理作業においては、このほか作業内容によって一時的に従事した調査補助員・整理作業員がいる（当財団年報の職員名簿参照）。

発掘調査

青木咲子、青木正美、井下振一郎、大木啓子、柏木秀俊、加藤章予、加藤風花、菊池義弘、木村美穂、黒沢剛生、斎藤敏行、佐藤一樹、佐藤宏光、志賀優子、新開里花、新開悠人、鈴木伸一、曾根 諒、辻明日美、野武秀行、長谷川千江、長谷川典子、日出嶋航太、松田斉子、松本恵奈、宮川正広、村山豊史、嘉村聖子、渡辺航一郎
（以上調査補助員）

相原文一、相原三好、秋田卓也、阿久根桃子、阿部京子、新井邦夫、庵原わかな、飯田和子、飯村聖子、池 俊介、池田由美子、池村裕之、石井竜也、石井 貢、石原幹也、市村亮太、伊藤浩一、今市知之、岩上泰三、岩澤幸保、岩本次男、内田邦彦、内田満男、榎本俊昭、大金常憲、太田慎一、太田正良、大館 稔、大淵千津子、岡田秀生、奥寺宏之、男澤 進、小原浩二、片倉春夫、桂木 忠、加藤民夫、加藤 命、金子 順、金子敏夫、貞包宏樹、金田雅樹、川口松太郎、川口 守、川崎みさ、川野泰功、木村三紗子、木村良夫、木元和洋、桐谷清作、桐生照子、久能大樹、久保田篤、栗田健彦、黒髪哲弥、剣持年男、小池 澄、小泉孟彦、小泉直樹、小金しとみ、小口 博、児島正美、後藤 晶、小林 泉、小林孝明、小林二三男、佐々木玄太、佐藤敦子、佐藤勝美、佐藤 武、佐藤 猛、佐怒賀貞治、志田 庚、柴田輝夫、清水敬功、渋谷 弘、霜島正幸、下山雅生、鈴木正次、鈴木伸一、鈴木豊江、諏訪友信、関 和雄、瀬尾宏行、関山重信、園部之朗、高橋喜久雄、高橋健治、高橋雄一、高橋洋治、高部まさみ、滝澤誠一、武田康介、武田義哉、竹本範文、田中君弘、田中 忍、田中良夫、千葉 萬、露木信吾、富田信夫、内藤 厚、長沢大輔、中村松雄、梨本武男、西本政則、野口 隆、野村則幸、羽後雅民、橋本武夫、葉山光三、原 和彦、播間精一、日向道彦、東久保颯、平岩一光、深沢眞澄、深水浩二、福田三和、藤井政彦、藤木立朗、伏見一毅、船見義雄、古尾谷敏男、堀川 稔、本間美行、前角憲一、増沢友紀、増田文男、松尾友二、松岡信一、松岡輝茂、松田元一、松田満義、町田早穂、眞鍋朱美、丸山 進、三上和之、溝呂木健一、三留章嗣、宮内隆順、宮崎紀代子、宮崎光江、盛山 浩、柳下裕一、安川正浩、矢野マサ子、山口達之、山本俊三、山本道男、吉田輝栄、渡辺 弘、渡澤則義
（以上発掘作業員）

出土品等整理

柏木秀俊、菊池義弘、後藤陽子、杉原琴、田端美津枝、信原亜弥、三谷由希子（以上調査補助員）
浅井英里子、木谷晶代、田原信子、長友亜希子、平田麗子、堀 詩織、山田拓郎、山野章子
（以上整理作業員）

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡遺構名新旧対照表

東富岡・太窪遺跡		遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名
1 区		H 1 号掘立柱建物ピット6	H11号ピット	C 5 号土坑	H 3 号土坑
遺構名	旧遺構名			H 2 号溝状遺構	C 1 号溝状遺構
K 1 号流路	K 1 号谷・H 1 号溝統合	H51号ピット	H 9 号ピット	東富岡・林窪遺跡	
		H52号号ピット	H10号ピット	8 区・8 区②・9 区・調整池②・9 区西	
H 9 号土坑	H 9 号・H11号土坑統合	H53号号ピット	H11号号ピット	遺構名	旧遺構名
		H54号ピット	H12号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 1	K250号ピット
1 区南		H55号ピット	H13号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 2	K53号ピット
遺構名	旧遺構名	H56号ピット	H14号ピット		
K 7 号溝状遺構	K17号畝状遺構	H57号ピット	H15号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 3	K55号ピット
K 8 号溝状遺構	K16号畝状遺構	H58号ピット	H16号ピット		
K 9 号溝状遺構	K15号畝状遺構	H59号ピット	H17号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 4	K37号ピット
K10号溝状遺構	K14号畝状遺構	H60号ピット	H18号ピット		
K11号溝状遺構	K11号畝状遺構	H61号ピット	H19号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 5	C694号ピット
K12号溝状遺構	K10号畝状遺構	H62号ピット	H20号ピット		
K13号溝状遺構	K 9 号畝状遺構	H63号ピット	H21号ピット	K 1 号掘立柱建物址号ピット 6	C649号ピット
K14号溝状遺構	K 8 号畝状遺構	H64号ピット	H22号ピット		
K15号溝状遺構	K 7 号畝状遺構	H65号ピット	H23号ピット(2 区南)	K 1 号掘立柱建物址号ピット 7	K63号ピット
K16号溝状遺構	K 6 号畝状遺構	H66号ピット	H24号ピット(2 区南)		
K17号溝状遺構	K 5 号畝状遺構	H67号ピット	H25号ピット(2 区南)	K 1 号掘立柱建物址号ピット 8	C385号ピット
K18号溝状遺構	K 4 号畝状遺構	H68号ピット	H26号ピット(2 区南)		
K19号溝状遺構	K 3 号畝状遺構	H69号ピット	H27号ピット(2 区南)	K 1 号掘立柱建物址号ピット 9	K240号ピット
K20号溝状遺構	K 2 号畝状遺構	H70号ピット	H28号ピット(2 区南)		
K21号溝状遺構	K12号畝状遺構	H71号ピット	H29号ピット(2 区南)	K 1 号掘立柱建物址号ピット10	K257号ピット
K22号溝状遺構	K13号畝状遺構	H 2 号溝状遺構	H 1 号畝状遺構分割		
K23号溝状遺構	K18号畝状遺構	H 1 号畝状遺構	H 1 号畝状遺構分割	K 1 号掘立柱建物址号ピット11	K58号ピット
K24号溝状遺構	K19号畝状遺構	H 2 号畝状遺構	H 1 号畝状遺構分割・H 3 号畝状遺構統合		
K25号溝状遺構	K20号畝状遺構			K 1 号掘立柱建物址号ピット12	K256号ピット
K26号溝状遺構	K21号畝状遺構	H 3 号畝状遺構	H 1 号畝状遺構分割		
2 区・2 区②・2 区南		H 4 号畝状遺構	H 1 号畝状遺構分割	K 5 号溝状遺構	K 5 号溝状遺構分割(9 区)
遺構名	旧遺構名	H 5 号畝状遺構	H 2 号畝状遺構		
K 2 号段切り	K 1 号不明遺構	YH 1 号土坑	H 1 号土坑	K 8 号溝状遺構	K 6 号溝状遺構(9 区)
K 3 号段切り	K 5 号段切り	東富岡・中島遺跡			
K20号土坑	K16号土坑	4 区・4 区②		K26号溝状遺構	K 1 号溝状遺構(9 区)
K21号土坑	K17号土坑	遺構名	旧遺構名	K27号溝状遺構	K 2 号(9 区)・K 2 号(9 区西)溝状遺構統合
H 1 号掘立柱建物ピット 1	H 9 号ピット	K 1 号段切り	K 1 号・K 4 号段切り統合		
H 1 号掘立柱建物ピット 2	H25号ピット	K 2 号段切り	K 2 号・K 5 号段切り統合	K28号溝状遺構	K 1 号溝状遺構(9 区西)
H 1 号掘立柱建物ピット 3	H20号ピット	C 1 号焼土址	C 2 号焼土址分割	K29号溝状遺構	K 3 号溝状遺構(9 区西)
		C 2 号焼土址	C 2 号焼土址分割		
H 1 号掘立柱建物ピット 1	H10号ピット	C 4 号焼土址	C 2 号焼土址分割	K30号溝状遺構	K 4 号溝状遺構(9 区西)
		5 区			
H 1 号掘立柱建物ピット5	H17号ピット	C 3 号土坑	H 1 号土坑	K 1 号硬化面	K 1 号(8 区)・K 1 号(調整池②)硬化面統合
		C 4 号土坑	H 2 号土坑		

遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名
K 1 号杭列	K 1 ～ 3 号(8区②)杭列統合	C151号土坑	K23号土坑(池 2 区)	C2087号ビット	K219号ビット
		C152号土坑	K24号土坑(池 2 区)	C2088号ビット	K220号ビット
K 2 号杭列	K 5 号溝状遺構分割(9区)	C153号土坑	C 1 号土坑(9区)	C2089号ビット	K221号ビット
		C154号土坑	C 2 号土坑(9区)	C2090号ビット	K222号ビット
K 3 号杭列	K 1 号杭列(調整池②)	C155号土坑	C 1 号土坑(9区西)	C2091号ビット	K228号ビット
K 2 号土坑	K 1 号集石(9区)	C156号土坑	C 2 号土坑(9区西)	C2092号ビット	K229号ビット
K51号土坑	K 2 号土坑(調整池②)・C98土坑(池 2 区)を一部統合	C157号土坑	C 3 号土坑(9区西)	C2093号ビット	K233号ビット
		C158号土坑	C 6 号地下式坑分割(池 2 区)	C2094号ビット	K234号ビット
				C2095号ビット	K235号ビット
K52号土坑	K 1 号土坑(9区西)	C123号ビット	C45号ビット・C50号ビット・C123号ビット統合	C2096号ビット	K236号ビット
K53号土坑	K 2 号土坑(9区西)			C2097号ビット	K241号ビット
K54号土坑	K 3 号土坑(9区西)			C2098号ビット	K243号ビット
K292号ビット	K1号ビット(9区)	C125号ビット	C125号ビット・C154号ビット統合	C2099号ビット	K244号ビット
K293号ビット	K1号ビット(9区西)			C2100号ビット	K245号ビット
K294号ビット	K2号ビット(9区西)	C153号ビット	C49号ビット・C153号ビット統合	C2101号ビット	K248号ビット
C 1 号段切り	C 2 号溝状遺構分割・C 2 号段差(8区)・C 3 号段切り(調整池②)統合			C159号ビット	C96号ビット分割・C159号ビット統合
		C2103号ビット	K260号ビット		
				C2104号ビット	K261号ビット
C 5 号段切り	C 1 号段切り(調整池②)	C160号ビット	C96号ビット分割・C160号ビット統合	C2105号ビット	K262号ビット
				C2106号ビット	K263号ビット
C 1 号溝状遺構	C 1 号(8区)・C19号(調整池②)溝状遺構統合	C2060号ビット	K78号ビット	C2107号ビット	K264号ビット
		C2061号ビット	K54号ビット	C2108号ビット	K265号ビット
		C2062号ビット	K83号ビット	C2109号ビット	K272号ビット
C 2 号溝状遺構	C 2 号溝状遺構分割(8区)	C2063号ビット	K163号ビット	C2110号ビット	K275号ビット
		C2064号ビット	K168号ビット	C2111号ビット	K276号ビット
C33号溝状遺構	C 1 号溝状遺構(9区)	C2065号ビット	K174号ビット	C2112号ビット	C1号ビット(9区)
C34号溝状遺構	C 2 号溝状遺構(9区)	C2066号ビット	K176号ビット	C2113号ビット	C2号ビット(9区)
C 1 号硬化面	C 1 号硬化面分割(池 2 区)	C2067号ビット	K177号ビット	C2114号ビット	C3号ビット(9区)
		C2068号ビット	K178号ビット	C2115号ビット	C4号ビット(9区)
C 2 号硬化面	C 1 号硬化面分割・C 2 号・C 3 号硬化面統合(池 2 区)	C2069号ビット	K181号ビット	C2116号ビット	C5号ビット(9区)
		C2070号ビット	K182号ビット	C2117号ビット	C 1 号柱穴列号ビット1(9区)
		C2071号ビット	K184号ビット		
C 5 号硬化面	C 1 号道状遺構(9区)	C2072号ビット	K185号ビット	C2118号ビット	C 1 号柱穴列号ビット2(9区)
C 8 号堅穴状遺構号ビット1	C 8 号堅穴状遺構号ビット2(池 2 区)	C2074号ビット	K187号ビット		
		C2075号ビット	K188号ビット	C2119号ビット	C 1 号柱穴列号ビット3(9区)
C40号堅穴状遺構	C 6 号地下式坑分割(池 2 区)	C2076号ビット	K189号ビット		
		C2077号ビット	K190号ビット	C2120号ビット	C 1 号柱穴列号ビット4(9区)
C41号堅穴状遺構	H 1 号堅穴状遺構(9区西)	C2078号ビット	K192号ビット		
		C2079号ビット	K194号ビット	C2121号ビット	C 1 号ビット(9区西)
C42号堅穴状遺構	C 4 号地下式坑(池 2 区)	C2080号ビット	K195号ビット	C2122号ビット	C 2 号ビット(9区西)
		C2081号ビット	K197号ビット	C2123号ビット	C 3 号ビット(9区西)
C 7 号地下式坑	K 1 号地下式坑(池 2 区)	C2082号ビット	K198号ビット	C2124号ビット	C 4 号ビット(9区西)
		C2083号ビット	K200号ビット	C2125号ビット	C 5 号ビット(9区西)
C 2 号土坑	C 3 号溝状遺構(8区)	C2084号ビット	K205号ビット	C2126号ビット	C 6 号ビット(9区西)
C42号土坑	C662号ビット(池 2 区)	C2085号ビット	K207号ビット	C2127号ビット	C 7 号ビット(9区西)
		C2086号ビット	K208号ビット	C2128号ビット	C 8 号ビット(9区西)

遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名
C2129号ピット	C 9号ピット(9区西)	C22号ピット	C22号ピット・C429号ピット統合	H43号ピット	C6号ピット・C456号ピット統合
C2130号ピット	C10号ピット(9区西)				
C2131号ピット	C11号ピット(9区西)	C46号ピット	C46号ピット・C451号ピット統合	H44号ピット	C10号ピット
C2132号ピット	C13号ピット(9区西)			H45号ピット	C11号ピット
C2133号ピット	C14号ピット(9区西)	C68号ピット	C68号ピット・C226号ピット統合	H48号ピット	C40号ピット
C2134号ピット	C15号ピット(9区西)			H49号ピット	C49号ピット
C2135号ピット	C16号ピット(9区西)	C88号ピット	C88号ピット・C488号ピット統合	H50号ピット	C57号ピット
C2136号ピット	C17号ピット(9区西)			H51号ピット	C60号ピット
C2137号ピット	C18号ピット(9区西)	C96号ピット	C96号ピット・C402号ピット統合	H52号ピット	C63号ピット
C2138号ピット	C19号ピット(9区西)			H53号ピット	C67号ピット
C2139号ピット	C20号ピット(9区西)	C131号ピット	C131号ピット・C495号ピット統合	H54号ピット	C74号ピット・C343号ピット統合
C2140号ピット	C21号ピット(9区西)				
C2141号ピット	C22号ピット(9区西)	C160号ピット	C160号ピット・C464号ピット統合	H55号ピット	C124号ピット
C2142号ピット	C23号ピット(9区西)			H56号ピット	C126号ピット
C2143号ピット	C24号ピット(9区西)	C175号ピット	C58号ピット・C175号ピット統合	H57号ピット	C128号ピット
C2144号ピット	C25号ピット(9区西)			H58号ピット	C152号ピット・C473号ピット統合
C2145号ピット	C26号ピット(9区西)	C248号ピット	C248号ピット・C385号ピット統合		
C2146号ピット	C27号ピット(9区西)		H59号ピット	C159号ピット	
C2147号ピット	C28号ピット(9区西)	C288号ピット	C288号ピット・C357号ピット統合	H60号ピット	C203号ピット
C2148号ピット	C29号ピット(9区西)			H61号ピット	C34号ピット・C227号ピット統合
C2149号ピット	C30号ピット(9区西)	C414号ピット	C414号ピット・C478号ピット統合		
C2151号ピット	C32号ピット(9区西)		H62号ピット	C246号ピット	
C2152号ピット	C33号ピット(9区西)	C458号ピット	C458号ピット・C482号ピット統合	H63号ピット	C251号ピット
C2153号ピット	C34号ピット(9区西)			H64号ピット	C262号ピット
C2154号ピット	C35号ピット(9区西)	C471号ピット	C443号ピット(Z17Gr)・C471号ピット統合	H65号ピット	C263号ピット
C2155号ピット	C36号ピット(9区西)			H66号ピット	C270号ピット
C2156号ピット	C37号ピット(9区西)			H67号ピット	C282号ピット
C2157号ピット	C38号ピット(9区西)	C504号ピット	H20号ピット	H68号ピット	C309号ピット
C2158号ピット	C 8号堅穴状遺構号ピット1(池2区)	C505号ピット	H21号ピット	H69号ピット	C317号ピット
		C507号ピット	H23号ピット	H70号ピット	C322号ピット
C2159号ピット	K231号ピット	C508号ピット	H24号ピット	H71号ピット	C327号ピット
C2160号ピット	K232号ピット	C509号ピット	H25号ピット	H72号ピット	C345号ピット
C2161号ピット	C242号ピット(U12Gr北側)	C510号ピット	H 1号ピット	H73号ピット	C360号ピット
		C511号ピット	H 3号ピット	H74号ピット	C380号ピット
1 0 区		C512号ピット	H 9号ピット	H75号ピット	C393号ピット
遺構名	旧遺構名	C513号ピット	H11号ピット	H76号ピット	C444号ピット・C447号ピット(AA17Gr)統合
C 2号井戸	C30号土坑	C514号ピット	H12号ピット		
C 3号井戸	C37号土坑	C515号ピット	H 5号ピット	H77号ピット	C286号ピット
C 1号炭化物範囲	H 1号炭化物範囲	H 1号堅穴住居址(煙道出口)	H38号ピット	H78号ピット	C151号ピット・C472号ピット統合
C29号土坑	C 1号不明遺構				
C39号土坑	H 1号土坑	H40号ピット	C419号ピット	H79号ピット	C476号ピット
C40号土坑	H 2号土坑	H41号ピット	C420号ピット	H80号ピット	C222号ピット
C41号土坑	時代不明土坑1	H42号ピット	C470号ピット・C492号ピット統合	H82号ピット	C240号ピット・C261号ピット統合
C7号ピット	C7号ピット・C434号ピット(AA17Gr)統合				
		H46号ピット	C30号ピット	H83号ピット	C406号ピット

遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名	遺構名	旧遺構名
H84号ビット	C394号ビット・C454号ビット統合	K210号ビット	C57号ビット	C188号ビット	K207号ビット
		K211号ビット	C92号ビット	C189号ビット	K32号ビット
H85号ビット	C434号ビット (AA18Gr)	K212号ビット	C118号ビット	C190号ビット	K32号ビット
		C1号溝状遺構	C1溝状遺構分割	C191号ビット	K33号ビット
H86号ビット	C441号ビット	C9号溝状遺構	K4号溝状遺構・K52号土坑統合	C192号ビット	K34号ビット
H87号ビット	C455号ビット			C193号ビット	K35号ビット
H88号ビット	C457号ビット	C10号溝状遺構	K3号・K12号溝状遺構統合	C194号ビット	K36号ビット
H89号ビット	C460号ビット			C195号ビット	K51号ビット
H90号ビット	C31号ビット	C11号溝状遺構	K7号溝状遺構	C196号ビット	K63号ビット
H91号ビット	C32号ビット	C12号溝状遺構	K2号溝状遺構	C197号ビット	K106号ビット
H92号ビット	C93号ビット	C13号溝状遺構	C1号溝状遺構分割・K1号・K11号溝状遺構統合	C198号ビット	K111号ビット
H94号ビット	C216号ビット			C199号ビット	K112号ビット
H95号ビット	C233号ビット			C200号ビット	K120号ビット
H96号ビット	C224号ビット	C14号溝状遺構	C9号溝状遺構	C201号ビット	K131号ビット
H97号ビット	C95号ビット	C15号溝状遺構	C10号溝状遺構	C202号ビット	K134号ビット
H98号ビット	C239号ビット	C6号井戸	K3号井戸	C203号ビット	K138号ビット
H99号ビット	C452号ビット	C7号井戸	C3号土坑	C204号ビット	K139号ビット
H100号ビット	C38号ビット	C8号井戸	K46号土坑	C205号ビット	K140号ビット
H101号ビット	C43号ビット	C9号井戸	C9号土坑	C206号ビット	K145号ビット
H102号ビット	C173号ビット	C13号ビット	C13号ビット・C90号ビット統合	C207号ビット	K148号ビット
H103号ビット	C213号ビット			C208号ビット	K150号ビット
H104号ビット	C250号ビット	C35号ビット	C24号ビット・C35号ビット統合	C209号ビット	K152号ビット
H105号ビット	C244号ビット			C210号ビット	K172号ビット
H106号ビット	C395号ビット	C66号ビット	C66号ビット・C128号ビット統合	C211号ビット	K177号ビット
H107号ビット	C396号ビット			C212号ビット	K178号ビット
H108号ビット	C416号ビット	C162号ビット	K28号ビット	C213号ビット	K187号ビット
13区		C163号ビット	K58号ビット	C214号ビット	K188号ビット
遺構名	旧遺構名	C164号ビット	K66号ビット	C215号ビット	K193号ビット
K1号溝状遺構	K16号溝状遺構	C165号ビット	K68号ビット	C216号ビット	K195号ビット
K2号溝状遺構	K1号土坑・K13号溝状遺構統合	C166号ビット	K78号ビット	C217号ビット	K196号ビット
		C169号ビット	K91号ビット	C218号ビット	K197号ビット
K3号溝状遺構	K14号溝状遺構	C170号ビット	K95号ビット	C219号ビット	K199号ビット
K4号溝状遺構	K15号溝状遺構	C171号ビット	K101号ビット	C220号ビット	K203号ビット
K6号溝状遺構	K6号溝状遺構分割	C172号ビット	K104号ビット	C221号ビット	K204号ビット
K6号溝状遺構	K6号・K17号溝状遺構統合	C173号ビット	K117号ビット	C222号ビット	K208号ビット
		C175号ビット	K122号ビット	C223号ビット	K201号ビット
K7号溝状遺構	K6号溝状遺構分割	C177号ビット	K125号ビット		
K10号溝状遺構	K6号溝状遺構分割・K10号溝状遺構統合	C178号ビット	K129号ビット		
		C179号ビット	K132号ビット		
		C180号ビット	K146号ビット		
K2号井戸	K18号土坑	C181号ビット	K149号ビット		
K1号土坑	K56号土坑	C182号ビット	K160号ビット		
K22号土坑	K22号・K54号土坑統合	C183号ビット	K163号ビット		
		C184号ビット	K175号ビット		
K56号土坑	K2号井戸	C186号ビット	K191号ビット		
K209号ビット	C12号ビット	C187号ビット	K192号ビット		

目 次

(第1分冊)

第Ⅰ編 遺跡の概要	1
第1章 調査経緯	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査中の協議	2
第2章 遺跡概観	8
第1節 遺跡の地形と地理的環境	8
第2節 周辺の遺跡と歴史的環境	8
第3章 調査経過	23
第1節 調査区の設定と調査の方法	23
第2節 調査経過	24
(1) 発掘調査の経過	24
(2) 出土品等整理作業の経過	33
第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡	35
第1章 基本層序	35
第2章 発見された遺構と遺物	40
第1節 1区・1区南	40
1. 近 世	40
(1) 溝状遺構	40
(2) 硬化面	53
(3) 畝状遺構	55
(4) 土 坑	56
(5) ピット	57
(6) 流 路	59
(7) 遺構外出土遺物	61
2. 中 世	63
(1) 土 坑	64
(2) ピット	64
(3) 流 路	66
(4) 杭 列	66

(5) 遺構外出土遺物	75
3. 奈良・平安時代	78
(1) 畝状遺構	79
(2) 土 坑	81
(3) 焼土址	90
(4) ピット	91
(5) 遺構外出土遺物	93
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	94
(1) 遺構外出土遺物	94
5. 縄文時代	94
(1) 土 坑	94
(2) 遺構外出土遺物	97
第2節 2区	99
1. 近 世	99
(1) 段切り	99
(2) 溝状遺構	106
(3) 硬化面	112
(4) 畝状遺構	112
(5) 土 坑	114
(6) ピット	122
(7) 遺構外出土遺物	125
2. 中 世	127
(1) 溝状遺構	128
(2) 畝状遺構	128
(3) 土 坑	131
(4) ピット	136
(5) 遺構外出土遺物	139
3. 奈良・平安時代	140
(1) 竪穴住居址	141
(2) 掘立柱建物址	146
(3) 溝状遺構	148
(4) 畝状遺構	149
(5) 硬化面	156
(6) 土 坑	157

(7) ピット	159
(8) 遺構外出土遺物	167
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	168
(1) 土 坑	169
(2) 遺物集中	169
(3) 遺構外出土遺物	171
5. 縄文時代	172
(1) 遺構外出土遺物	172
6. 旧石器時代	174
(1) 第 I 文化層	174

第Ⅲ編 東富岡・中島遺跡……………179

第1章 基本層序……………179

第2章 発見された遺構と遺物……………182

第1節 4区・5区……………182

1. 近 世……………182

(1) 段切り……………182

(2) 溝状遺構……………188

(3) 畝状遺構……………190

(4) 土 坑……………191

(5) ピット……………194

(6) 遺構外出土遺物……………196

2. 中 世……………197

(1) 土 坑……………198

(2) ピット……………201

(3) 遺構外出土遺物……………206

3. 奈良・平安時代……………208

(1) 溝状遺構……………209

(2) 土 坑……………211

(3) ピット……………214

(4) 遺構外出土遺物……………217

4. 弥生時代後期～古墳時代前期……………217

(1) 遺構外出土遺物……………217

5. 縄文時代	218
(1) 土 坑	218
(2) ピット	218
(3) 遺構外出土遺物 (4 区)	223
6. 旧石器時代	229
(1) 第 I 文化層	229

第Ⅳ編 栗窪・林窪遺跡……………233

第 1 章 基本層序……………233

第 2 章 発見された遺構と遺物……………242

第 1 節 10 区……………242

1. 近 世……………242

(1) ピット……………243

(2) 遺構外出土遺物……………247

2. 中 世……………248

(1) 竪穴状遺構……………250

(2) 溝状遺構……………257

(3) 井戸址……………263

(4) 土 坑……………266

(5) ピット……………286

(6) 炭化物範囲……………318

(7) 遺構外出土遺物……………319

3. 奈良・平安時代……………323

(1) 竪穴住居址……………324

(2) 溝状遺構……………329

(3) 畝状遺構……………330

(4) ピット……………332

(5) 遺物集中……………345

(6) 遺構外出土遺物……………349

4. 弥生時代後期～古墳時代前期……………349

(1) 遺構外出土遺物……………349

5. 縄文時代……………350

(1) 遺構外出土遺物……………350

第2節 13区	352
1. 近世	352
(1) 竪穴状遺構	353
(2) 溝状遺構	354
(3) 井戸址	364
(4) 土坑	364
(5) 焼土址	386
(6) ピット	387
(7) 遺構外出土遺物	392
2. 中世	395
(1) 竪穴状遺構	397
(2) 溝状遺構	397
(3) 井戸址	410
(4) 土坑	422
(5) ピット	430
(6) 遺構外出土遺物	440
3. 奈良・平安時代	443
(1) 遺構外出土遺物	443
4. 縄文時代	444
(1) 遺構外出土遺物	444

(第2分冊)

第3節 8区・9区・調整池②区	445
1. 近世	445
(1) 掘立柱建物	445
(2) 竪穴状遺構	445
(3) 溝状遺構・杭列・段切り	451
(4) 硬化面	486
(5) 耕作址	488
(6) 井戸址	491
(7) 土坑	492
(8) ピット	530
(9) 遺構外出土遺物	530

2. 中 世	539
(1) 段切り	539
(2) 竪穴状遺構	549
(3) 溝状遺構	599
(4) 耕作址	629
(5) 井戸址	633
(6) 硬化面	641
(7) 地下式坑	646
(8) 土 坑	652
(9) 集 石	736
(10) ピット	737
(11) 焼土址	787
(12) 遺構外出土遺物	789
3. 奈良・平安時代	803
(1) 土 坑	804
(2) ピット	806
(3) 遺構外出土遺物	807
4. 弥生時代後期～古墳時代前期	809
(1) 遺構外出土遺物	809
5. 縄文時代	810
(1) 遺構外出土遺物	810

第Ⅴ編 自然科学分析	814
第1章 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡、栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡出土の石器・石製品の石材同定	814
第2章 東富岡・太窪遺跡、栗窪・林遺跡出土の黒曜石産地推定分析	825
第3章 栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡の木製品樹種同定	832

第Ⅵ編　まとめ	838
第1章　調査の成果と課題	838
1. 東富岡・太窪遺跡	838
(1) 近　世	838
(2) 中　世	839
(3) 奈良・平安時代	840
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	840
(5) 縄文時代	841
(6) 旧石器時代	842
2. 東富岡・中島遺跡	846
(1) 近　世	846
(2) 中　世	847
(3) 奈良・平安時代	847
(4) 縄文時代	847
(5) 旧石器時代	849
3. 栗窪・林窪遺跡	851
(1) 近　世	851
(2) 中　世	853
(3) 奈良・平安時代	857
(4) 弥生時代後期～古墳時代前期	857
(5) 縄文時代	857
第2章　結語	860

(第3分冊)

写真図版

挿 図 目 次

(第 1 分冊)

第 1 図	遺跡位置図 [1/25,000]	9	第48図	1 区H 3 号畝状遺構 [1/60]	81
第 2 図	周辺の遺跡 [1/25,000]	10	第49図	1 区H 1 ～10号土坑 [1/60]	82
第 3 図	遺跡周辺の地形と調査地点の位置図 [1/3,000]	11	第50図	1 区H12～20・24号土坑 [1/60]	85
第 4 図	栗窪地区における調査遺跡とグリッド設定図 [1/3,000]	24	第51図	1 区H21～23・25～30号土坑 [1/60]	88
第 5 図	東富岡・太窪遺跡 1 区・1 区南調査区設定図 [1/800]	25	第52図	1 区H 1 号焼土址 [1/10]	91
第 6 図	東富岡・太窪遺跡 2 区・2 区②・2 区南 調査区設定図 [1/600]	26	第53図	1 区奈良・平安時代ピット分布図 [1/120] ..	91
第 7 図	東富岡・中島遺跡 4 区・4 区②・5 区 調査区設定図 [1/300]	28	第54図	1 区H12～24号ピット [1/60]	92
第 8 図	栗窪・林窪遺跡 8 区・8 区②・9 区・9 区西・ 調整池②区調査区設定図 [1/800]	30	第55図	1 区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4・1/3]	93
第 9 図	栗窪・林窪遺跡 10区・13区調査区設定図 [1/400]	31	第56図	1 区・1 区南 縄文時代遺構配置図 [1/500] ..	95
第10図	1 区・1 区南基本土層図 [1/800・1/40]	36	第57図	1 区J 1 ～4・6 号土坑 [1/60]	96
第11図	2 区・2 区②・2 区南基本土層図 [1/500・1/40]	39	第58図	1 区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	97
第12図	1 区・1 区南 近世遺構配置図 [1/500]	41	第59図	1 区・1 区南縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	98
第13図	1 区K1号溝状遺構 [1/60]	42	第60図	2 区 近世遺構配置図 [1/400]	100
第14図	1 区南K 2 号溝状遺構 [1/80・1/40]	43	第61図	2 区K 1 号段切り・K 7 号溝状遺構・ K 1 号硬化面 (1) [1/120]	101
第15図	1 区南K 3 ～5 号溝状遺構 [1/80・1/40]	44	第62図	2 区K 1 号段切り・K 7 号溝状遺構・ K 1 号硬化面 (2) [1/60]	102
第16図	1 区南K 6 号溝状遺構 [1/80・1/40]	45	第63図	2 区K 1 号段切り出土遺物 [1/3]	102
第17図	1 区南K 7 ～12号溝状遺構 [1/80・1/40]	47	第64図	2 区K 2 号段切り・K 8 号溝状遺構 [1/60]	103
第18図	1 区南K13～15号溝状遺構 [1/80・1/40]	48	第65図	2 区K 3 号段切り・K 4 号溝状遺構 [1/240・1/60]	104
第19図	1 区南K16～20号溝状遺構 [1/80・1/40]	50	第66図	2 区K 3 号段切り出土遺物 [1/3]	105
第20図	1 区南K21～26号溝状遺構 [1/80・1/40]	52	第67図	2 区K 1 ・2 号溝状遺構.....	106
第21図	1 区K 1 号硬化面 [1/80・1/40]	54	第68図	2 区K 3 ・5 号溝状遺構 [1/120・1/60]	108
第22図	1 区K 1 号畝状遺構 [1/80・1/40]	55	第69図	2 区K 6 号溝状遺構 [1/60]	109
第23図	1 区K 1 号土坑 [1/60]	56	第70図	2 区K 7 号溝状遺構 [1/60]	111
第24図	1 区南K 2 ・3 号土坑 [1/60]	56	第71図	2 区K 1 号硬化面 [1/60]	112
第25図	1 区南 近世ピット分布図 [1/150]	57	第72図	2 区K 1 号畝状遺構 [1/60]	113
第26図	1 区南K 1 ～10号ピット [1/60]	58	第73図	2 区K 2 号畝状遺構 [1/60]	114
第27図	1 区K 1 号流路出土遺物 [1/3]	59	第74図	2 区K 1 ～6 号土坑 [1/60]	115
第28図	1 区K 1 号流路 [1/300・1/60]	60	第75図	2 区K 7 ～12号土坑 [1/60]	117
第29図	1 区近世遺構外出土遺物 [1/3]	61	第76図	2 区K13～18・21号土坑 [1/60]	120
第30図	1 区・1 区南 中世遺構配置図 [1/500]	63	第77図	2 区K19・20号土坑 [1/60]	121
第31図	1 区南C 1 号土坑 [1/60]	64	第78図	2 区K19号土坑出土遺物 [1/3]	122
第32図	1 区南 中世ピット分布図 [1/100]	65	第79図	2 区近世ピット分布図 [1/160]	123
第33図	1 区南C 1 ～7 号ピット [1/60]	65	第80図	2 区K 1 ～15号ピット [1/60]	124
第34図	1 区C 1 号流路 [1/300・1/120]	67	第81図	2 区近世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	125
第35図	1 区C 1 号杭列 (1) [1/20]	68	第82図	2 区 中世遺構配置図 [1/400]	127
第36図	1 区C 1 号杭列 (2) [1/20]	69	第83図	2 区C 1 号溝状遺構 [1/60]	128
第37図	1 区C 2 号杭列 [1/20]	70	第84図	2 区C 1 号畝状遺構 [1/120・1/60]	129
第38図	1 区C 3 号杭列 [1/20]	71	第85図	2 区C 2 号畝状遺構 [1/120・1/60]	130
第39図	1 区C 4 号杭列 [1/20]	72	第86図	2 区C 1 ～9 号土坑 [1/60]	132
第40図	1 区C 5 号杭列 (1) [1/20]	73	第87図	2 区C10～17号土坑 [1/60]	134
第41図	1 区C 6 号杭列 (1) [1/20]	74	第88図	2 区 中世ピット分布図 [1/250]	137
第42図	1 区C 5 号杭列 (2) [1/20]	75	第89図	2 区C 1 ・4・5・12～18号ピット [1/60] ..	138
第43図	1 区C 6 号杭列 (2) [1/20]	75	第90図	2 区C19～26号ピット [1/60]	139
第44図	1 区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	76	第91図	2 区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/400] ..	140
第45図	1 区・1 区南 奈良・平安時代遺構配置図 [1/500]	78	第92図	2 区H 1 号竪穴住居址 (1) [1/60]	142
第46図	1 区H 1 号畝状遺構 [1/60]	79	第93図	2 区H 1 号竪穴住居址 (2) [1/30]	143
第47図	1 区H 2 号畝状遺構 [1/60]	80	第94図	2 区H 1 号竪穴住居址 (3) [1/60]	144
			第95図	2 区H 1 号竪穴住居址出土遺物 [1/4・1/3]	145
			第96図	2 区H 1 号掘立柱建物址 [1/60]	147
			第97図	2 区H 1 号溝状遺構 [1/60]	148

第98図	2区H2号溝状遺構 [1/60]	149	第150図	4区H1号溝状遺構 [1/180・1/60]	210
第99図	2区 奈良・平安時代畝状遺構配置図 [1/120]	150	第151図	5区H2号溝状遺構 [1/60]	210
第100図	2区H1号畝状遺構 [1/120・1/60]	151	第152図	4区H1～8号土坑 [1/60]	212
第101図	2区H2号畝状遺構 [1/60]	152	第153図	4区 奈良・平安時代ピット分布図 [1/200]	214
第102図	2区H3号畝状遺構 [1/60]	153	第154図	4区H1～6・14～16号ピット [1/60]	215
第103図	2区H4号畝状遺構 (1) [1/120]	154	第155図	4区H17～20号ピット [1/60]	216
第104図	2区H4号畝状遺構 (2) [1/60]	155	第156図	4区・5区 縄文時代遺構配置図 [1/300] ..	219
第105図	2区H5号畝状遺構 [1/60]	156	第157図	4区J1～3号土坑 [1/60]	220
第106図	2区H1号硬化面 [1/40]	157	第158図	4区J1号土坑出土遺物 [1/3]	220
第107図	2区H2～8号土坑 [1/60]	158	第159図	4区 縄文時代ピット分布図 [1/150]	221
第108図	2区 奈良・平安時代ピット分布図 [1/250] ..	160	第160図	4区J1～12号ピット [1/60]	222
第109図	2区H12～16・18・19・21・22号ピット [1/60]	161	第161図	4区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	226
第110図	2区H24・26・30～39号ピット [1/60]	162	第162図	4区縄文時代遺構外出土石器 [1/3]	228
第111図	2区H40～49号ピット [1/60]	163	第163図	4・5区旧石器時代調査範囲図 [1/300] ...	230
第112図	2区H50～59号ピット [1/60]	164	第164図	4区旧石器時代遺物集中器種・石器別分布図 [1/60]	231
第113図	2区H60～71号ピット [1/60]	165	第165図	4区旧石器時代遺構外出土石器 [4/5]	232
第114図	2区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4] ..	167	第166図	8区・8区②基本土層図 [1/200・1/40] ...	234
第115図	2区 弥生時代後期～古墳時代前期構配置図 [1/400]	168	第167図	9区・9区西基本土層図 [1/400・1/40] ...	236
第116図	2区YH1号土坑 [1/60]	169	第168図	10区基本土層図 [1/400・1/40]	237
第117図	2区YH1号遺物集中 [1/30・1/6]	170	第169図	13区基本土層図 [1/400・1/40]	239
第118図	2区YH1号遺物集中出土遺物 [1/4]	170	第170図	調整池②区基本土層図 [1/600・1/40]	241
第119図	2区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土 遺物 [1/4]	171	第171図	10区 近世遺構配置図 [1/200]	242
第120図	2区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	172	第172図	10区 近世ピット分布図 [1/200]	243
第121図	2区縄文時代遺構外出土石器 [1/3]	173	第173図	10区近世ピット(1) [1/80]	244
第122図	2区旧石器時代調査範囲図 [1/400]	175	第174図	10区近世ピット(2) [1/80]	244
第123図	2区旧石器時代遺物集中器種・石器別分布図 [1/60]	176	第175図	10区近世ピット(3) [1/80]	244
第124図	2区旧石器時代出土石器 [4/5]	177	第176図	10区K1・6・13・16号ピット [1/60]	245
第125図	4区・5区基本土層図 [1/600・1/40]	181	第177図	10区近世ピット出土遺物 [1/3・1/6・1/4] ..	246
第126図	4区・5区 近世遺構配置図 [1/300]	183	第178図	10区近世遺構外出土遺物 [1/3]	247
第127図	4区K1号段切り・K1号溝状遺構 [1/120・1/60]	184	第179図	10区 中世遺構配置図 (ピット除く) [1/200]	248
第128図	4区K1号段切り出土遺物 [1/3]	185	第180図	10区 中世遺構配置図 (ピットのみ) [1/200]	249
第129図	4区K2号段切り・K2・3号溝状遺構 [1/120]	186	第181図	10区C1号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]	250
第130図	4区K2号段切り [1/60]	187	第182図	10区中世竪穴状遺構遺構分布図 [1/200] ...	251
第131図	4区K2号段切り出土遺物 [1/3]	188	第183図	10区C1～3号竪穴状遺構 [1/60]	252
第132図	4区K1号溝状遺構 [1/60]	188	第184図	10区C4～6号竪穴状遺構 [1/60]	254
第133図	4区K2・3号溝状遺構 [1/60]	189	第185図	10区C7号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]	255
第134図	4区K1号畝状遺構 [1/60]	190	第186図	10区C7・8竪穴状遺構 [1/60]	256
第135図	4区K2号畝状遺構 [1/60]	191	第187図	10区 中世溝状遺構分布図 [1/200]	258
第136図	4区K1～6号土坑 [1/60]	192	第188図	10区C1・5号溝状遺構 [1/80・1/40]	259
第137図	4区 近世ピット分布図 [1/150]	194	第189図	10区C2・6号溝状遺構 [1/80・1/40]	260
第138図	4区K4・5号ピット [1/60]	195	第190図	10区C3号溝状遺構出土遺物 [1/3]	261
第139図	4・5区近世遺構外出土遺物 [1/3]	196	第191図	10区C3・4号溝状遺構 [1/40]	262
第140図	4区・5区 中世遺構配置図 [1/300]	197	第192図	10区 中世井戸址・土坑・炭化物範囲分布図 [1/200]	264
第141図	5区 中世土坑分布図 [1/100]	199	第193図	10区C1・2号井戸址 [1/40]	265
第142図	5区C1～5号土坑 [1/60]	200	第194図	10区C3号井戸址 [1/40]	266
第143図	5区 中世ピット分布図 [1/100]	201	第195図	10区C1～6号土坑 [1/60]	267
第144図	5区C1～9号ピット [1/60]	202	第196図	10区C5号土坑出土遺物 [1/3]	269
第145図	5区C10～18号ピット [1/60]	203	第197図	10区C7～12号土坑 [1/60]	270
第146図	5区C19～29号ピット [1/60]	204	第198図	10区C13号土坑出土遺物 [1/3]	272
第147図	5区C30・31号ピット [1/60]	205	第199図	10区C13～17号土坑 [1/60]	273
第148図	4・5区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3] ..	206	第200図	10区C18～22号土坑 [1/60]	275
第149図	4区・5区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/300]	208	第201図	10区C23～27号土坑 [1/60]	277
			第202図	10区C28・29・31・32号土坑 [1/60]	279
			第203図	10区C29号土坑出土遺物 [1/3]	280

第204図	10区C31号土坑出土遺物 [2/3]	281	第242図	10区H1号畝状遺構 [1/60]	331
第205図	10区C33～36号土坑 [1/60]	283	第243図	10区H2号畝状遺構 [1/60]	332
第206図	10区C38～41号土坑 [1/60]	284	第244図	10区 奈良・平安時代ピット分布図 [1/120]	333
第207図	10区C40号土坑出土遺物 [1/3]	285	第245図	10区H2・4・6～8・10・13～15号ピット [1/60]	334
第208図	10区 中世ピット分布図 [1/200]	287	第246図	10区H16～19・22・26・27・29・30・33号 ピット [1/60]	335
第209図	10区中世ピット (1) [1/80]	288	第247図	10区H31・32・34～37・39～42・86号ピット [1/60]	336
第210図	10区中世ピット (2) [1/80]	289	第248図	10区H43～46・48～51・56・57号ピット [1/60]	337
第211図	10区中世ピット (3) [1/80]	290	第249図	10区H52～54・58～61・63・78・92号ピット [1/60]	338
第212図	10区中世ピット (4) [1/80]	290	第250図	10区H64～72号ピット [1/60]	339
第213図	10区C1・20～22・26～29・33・35号ピット [1/60]	291	第251図	10区H73～77・80・82～84号ピット [1/60]	340
第214図	10区C36・37・42・44・46・47号ピット [1/60]	292	第252図	10区H85・87～91・94～97号ピット [1/60]	341
第215図	10区C51・52・54～56・64・80・81・105・ 177・181号ピット [1/60]	293	第253図	10区H98・100～108号ピット [1/60]	342
第216図	10区C82～84・88・90・97～99・101・112号 ピット [1/60]	294	第254図	10区奈良・平安時代ピット出土遺物 [1/4]	343
第217図	10区C102・106・108・109・111・113・115・ 136号ピット [1/60]	295	第255図	10区H1号遺物集中位置図 [1/200]	346
第218図	10区C114・116～118・127・130・135・139・ 201号ピット [1/60]	296	第256図	10区H1号遺物集中 [1/60・1/30・1/6] ..	347
第219図	10区C140～142・146～148・150・276号ピット [1/60]	297	第257図	10区H1号遺物集中出土遺物 [1/4]	348
第220図	10区C153～155・158・161～164・168・ 218～220号ピット [1/60]	298	第258図	10区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4]	349
第221図	10区C170・175・176・180・184・186～188・ 248・294号ピット [1/60]	299	第259図	10区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	350
第222図	10区C189・190・194・195・197・198・200・ 204号ピット [1/60]	300	第260図	10区縄文時代遺構外出土石器 [1/3]	351
第223図	10区C205～207・209～211・215・237号ピット [1/60]	301	第261図	13区 近世遺構配置図 [1/250]	352
第224図	10区C221・226・228～231・245・252号ピット [1/60]	302	第262図	13区K1号竪穴状遺構 [1/60]	353
第225図	10区C253・257・259・260・271・272・281号 ピット [1/60]	303	第263図	13区K1～5・8号溝状遺構 [1/60]	355
第226図	10区C274・275・283・291・292・311・326・ 329号ピット [1/60]	304	第264図	13区K6号溝状遺構 [1/120・1/60]	357
第227図	10区C330・334・336・340・341・352・359・ 370・388号ピット [1/60]	305	第265図	13区K6号溝状遺構出土遺物 [1/3]	358
第228図	10区C361・362・364・366～369号ピット [1/60]	306	第266図	13区K7号溝状遺構 [1/120・1/60]	359
第229図	10区C371・373～375・377・378・381・383・ 384・386号ピット [1/60]	307	第267図	13区K7号溝状遺構出土遺物 [1/3]	360
第230図	10区C405・410・422・423・431・432・442・ 448・453号ピット [1/60]	308	第268図	13区K9号溝状遺構 [1/120・1/60]	361
第231図	10区C458・468・469・477・479・480・486・ 487・493・494・496・513・514号ピット [1/60]	309	第269図	13区K9号溝状遺構出土遺物 [1/3]	362
第232図	10区中世ピット出土遺物 [1/3・2/3・1/6]	310	第270図	13区K10号溝状遺構 [1/120・1/60]	363
第233図	10区C1号炭化物範囲 [1/40]	319	第271図	13区K10号溝状遺構出土遺物 [1/3]	364
第234図	10区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3]	320	第272図	13区K1・2号井戸址 [1/40]	365
第235図	10区 奈良・平安時代遺構配置図 [1/200] ..	323	第273図	13区K1～4・41・42号土坑 [1/60]	366
第236図	10区H1号竪穴住居址 (1) [1/60]	325	第274図	13区K4号土坑出土遺物 [1/3]	368
第237図	10区H1号竪穴住居址 (2) [1/60]	326	第275図	13区K5～11・23号土坑 [1/60]	369
第238図	10区H1号竪穴住居址 (3) [1/30]	327	第276図	13区K6号土坑出土遺物 [1/3]	370
第239図	10区H1号竪穴住居址 (4) [1/60]	328	第277図	13区K10号土坑出土遺物 [1/3]	371
第240図	10区H1号竪穴住居址出土遺物 [1/4]	329	第278図	13区K12～16・44号土坑 [1/60]	372
第241図	10区H1号溝状遺構 [1/60]	330	第279図	13区K19～22・24～27号土坑 [1/60]	374
			第280図	13区K28～34号土坑 [1/60]	378
			第281図	13区K35～40・43・45号土坑 [1/60]	380
			第282図	13区K47～51・53・55・56号土坑 [1/60] ..	384
			第283図	13区K1～3号焼土址 [1/40]	386
			第284図	13区 近世ピット分布図 [1/250]	387
			第285図	13区近世ピット (1) [1/80]	388
			第286図	13区近世ピット (2) [1/80]	388
			第287図	13区近世ピット (3) [1/80]	389
			第288図	13区近世ピット (4) [1/80]	389
			第289図	13区K81号ピット出土遺物 [1/3]	390
			第290図	13区近世遺構外出土遺物 [1/3]	393

第291図	13区 中世遺構配置図 [1/250]	395			
第292図	13区C 1・2号竪穴状遺構 [1/60]	396	第340図	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構出土遺物 [1/3]	452
第293図	13区C 1号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]	397	第341図	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構・ K 1号杭列 [1/60]	453
第294図	13区C 1・2号溝状遺構 [1/60]	398	第342図	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構 [1/60]	454
第295図	13区C 1号溝状遺構出土遺物 [1/3]	399	第343図	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物 [1/3]	455
第296図	13区C 2号溝状遺構出土遺物 [1/3]	400	第344図	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構 [1/60]	456
第297図	13区C 3～5・7・8号溝状遺構 [1/60] ..	401	第345図	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構出土遺物 [1/3]	456
第298図	13区C 6・9・10号溝状遺構 [1/60]	403	第346図	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構・ K 2号杭列 [1/60]	457
第299図	13区C 11号溝状遺構出土遺物 [1/3]	404	第347図	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構出土遺物 [1/3]	458
第300図	13区C 11・14・15号溝状遺構 (1) [1/120・1/60]	406	第348図	8・9・調整池②区K 7号溝状遺構 [1/60]	459
第301図	13区C 11・14・15号溝状遺構 (2) [1/60] ..	407	第349図	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構 [1/60]	460
第302図	13区C 12・13号溝状遺構 [1/120・1/60] ..	408	第350図	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461
第303図	13区C 13号溝状遺構出土遺物 [1/3]	409	第351図	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物 [1/3]	461
第304図	13区C 1・2号井戸址 [1/40]	411	第352図	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構 [1/60]	462
第305図	13区C 2号井戸址出土遺物 [1/6]	412	第353図	8・9・調整池②区K 10号溝状遺構 [1/60]	464
第306図	13区C 3号井戸址出土遺物 [1/6]	413	第354図	8・9・調整池②区K 11号溝状遺構 [1/60]	465
第307図	13区C 3・4号井戸址 [1/40]	414	第355図	8・9・調整池②区K 12号溝状遺構 [1/60]	465
第308図	13区C 4号井戸址出土遺物 [1/3]	415	第356図	8・9・調整池②区K 13号溝状遺構 [1/60]	466
第309図	13区C 5号井戸址 [1/40]	416	第357図	8・9・調整池②区K 15号溝状遺構 [1/60]	467
第310図	13区C 5号井戸址出土遺物 [1/3]	416	第358図	8・9・調整池②区K 16号溝状遺構 [1/60]	468
第311図	13区C 6号井戸址 [1/40]	417	第359図	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構 [1/60]	469
第312図	13区C 7号井戸址 [1/40]	418	第360図	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構出土遺物 [1/3]	469
第313図	13区C 7号井戸址出土遺物 [1/6]	419	第361図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構 (1) [1/120・1/60]	470
第314図	13区C 8・9号井戸址 [1/40]	421	第362図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構 (2) [1/60]	471
第315図	13区C 1号土坑出土遺物 [2/3]	422	第363図	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構出土遺物 [1/3・1/6]	472
第316図	13区C 2号土坑出土遺物 [1/3]	423	第364図	8・9・調整池②区K 19号溝状遺構・ K 1号段切り [1/120・1/60]	474
第317図	13区C 1・2・4～6号土坑 [1/60]	424	第365図	8・9・調整池②区K 20号溝状遺構 [1/120・1/60]	475
第318図	13区C 7号土坑出土遺物 [1/3]	425	第366図	8・9・調整池②区K 21号溝状遺構 [1/120・1/60]	476
第319図	13区C 7・8・10～13・15号土坑 [1/60] ..	426	第367図	8・9・調整池②区K 22号溝状遺構 [1/60]	477
第320図	13区C 14・16～20号土坑 [1/60]	429	第368図	8・9・調整池②区K 23号溝状遺構 [1/60]	478
第321図	13区 中世ピット分布図 [1/250]	431			
第322図	13区 中世ピット (1) [1/80]	432			
第323図	13区 中世ピット (2) [1/80]	432			
第324図	13区 中世ピット (3) [1/80]	433			
第325図	13区 中世ピット (4) [1/80]	433			
第326図	13区 中世ピット (5) [1/80]	434			
第327図	13区 中世ピット (6) [1/80]	434			
第328図	13区C 14・17・99・142号ピット [1/60] ..	435			
第329図	13区中世ピット出土遺物 [1/3・2/3]	436			
第330図	13区中世遺構外出土遺物 [1/3・2/3・1/6]	441			
第331図	13区奈良・平安時代遺構外出土遺物 [1/4]	443			
第332図	13区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]	444			
(第2分冊)					
第333図	8・9・調整池②区 近世遺構配置図 [1/500]	446			
第334図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (1) [1/60]	447			
第335図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (2) [1/60]	448			
第336図	8・9・調整池②区K 1号掘立柱建物址 (3) [1/60]	449			
第337図	8・9・調整池②区K 1号竪穴状遺構 [1/60]	450			
第338図	8・9・調整池②区K 2号竪穴状遺構 [1/60]	451			
第339図	8・9・調整池②区K 1号溝状遺構 [1/60]	452			

第369図	8・9・調整池②区K24号溝状遺構 [1/60]	479
第370図	8・9・調整池②区K25号溝状遺構・ K2号段切り [1/60]	480
第371図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構 [1/60]	481
第372図	8・9・調整池②区K26号溝状遺構出土遺物 [1/3]	482
第373図	8・9・調整池②区K27号溝状遺構 [1/60]	483
第374図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構 [1/60]	484
第375図	8・9・調整池②区K28号溝状遺構出土遺物 [1/3]	484
第376図	8・9・調整池②区K29号溝状遺構 [1/60]	486
第377図	8・9・調整池②区K30号溝状遺構 [1/60]	487
第378図	8・9・調整池②区K31号溝状遺構 [1/60]	488
第379図	8・9・調整池②区K1号硬化面 [1/60]	489
第380図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60]	490
第381図	8・9・調整池②区K2号硬化面 [1/60]	491
第382図	8・9・調整池②区K2号硬化面出土遺物 [1/3]	491
第383図	8・9・調整池②区K4号硬化面 [1/60]	492
第384図	8・9・調整池②区K1号耕作址 [1/80]	493
第385図	8・9・調整池②区K2号耕作址 [1/80]	494
第386図	8・9・調整池②区K1号井戸址 [1/60]	495
第387図	8・9・調整池②区K1号井戸址出土遺物 [1/3]	495
第388図	8・9・調整池②区K1～4号土坑 [1/60]	496
第389図	8・9・調整池②区K5～8号土坑 [1/60]	498
第390図	8・9・調整池②区K9～14号土坑 [1/60]	500
第391図	8・9・調整池②区K15～19号土坑 [1/60]	502
第392図	8・9・調整池②区K20～22・25号土坑 [1/60]	504
第393図	8・9・調整池②区K26～28号土坑 [1/60]	506
第394図	8・9・調整池②区K29～32・34号土坑 [1/60]	507
第395図	8・9・調整池②区K35～38号土坑 [1/60]	509
第396図	8・9・調整池②区K39～44号土坑 [1/60]	511
第397図	8・9・調整池②区K45～50号土坑 [1/60]	514
第398図	8・9・調整池②区K51～54号土坑 [1/60]	515
第399図	8・9・調整池②区 近世ピット分布図 [1/500]	517
第400図	8・9・調整池②区近世ピット (1) [1/80]	518

第401図	8・9・調整池②区近世ピット (2) [1/80]	519
第402図	8・9・調整池②区近世ピット (3) [1/80]	520
第403図	8・9・調整池②区近世ピット (4) [1/80]	521
第404図	8・9・調整池②区近世ピット (5) [1/80]	522
第405図	8・9・調整池②区近世ピット (6) [1/80]	523
第406図	8・9・調整池②区近世ピット (7) [1/80]	524
第407図	8・9・調整池②区近世ピット (8) [1/80]	525
第408図	8・9・調整池②区近世ピット (9) [1/80]	526
第409図	8・9・調整池②区近世ピット (10) [1/80]	526
第410図	8・9・調整池②区K280号ピット出土遺物 [1/3]	530
第411図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (1) [1/3]	532
第412図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (2) [1/3]	533
第413図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (3) [1/3・2/3・1/6]	534
第414図	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物 (4) [1/6]	535
第415図	8・9・調整池②区 中世遺構配置図 [1/500]	540
第416図	8・9・調整池②区 中世遺構 (堅穴状遺構) 配置図 [1/500]	541
第417図	8・9・調整池②区 中世遺構 (溝状遺構・ 段切り) 配置図 [1/500]	542
第418図	8・9・調整池②区 中世遺構 (土坑) 配置図 [1/500]	543
第419図	8・9・調整池②区 中世遺構 (地下式坑・ 焼土址・硬化面・井戸址・集石・耕作址) 配置図 [1/500]	544
第420図	8・9・調整池②区C1号段切り [1/120・1/60]	545
第421図	8・9・調整池②区C2号段切り [1/60]	546
第422図	8・9・調整池②区C5号段切り [1/60]	547
第423図	8・9・調整池②区C5号段切り出土遺物 [1/3・2/3]	548
第424図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構 [1/60]	550
第425図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物 (1) [1/3]	551
第426図	8・9・調整池②区C1号堅穴状遺構出土 遺物 (2) [1/3]	552
第427図	8・9・調整池②区C2号堅穴状遺構 [1/60]	554
第428図	8・9・調整池②区C3号堅穴状遺構 [1/60]	555
第429図	8・9・調整池②区C4号堅穴状遺構 [1/60]	556
第430図	8・9・調整池②区C4号堅穴状遺構出土 遺物 [1/3]	557

第431图	8・9・調整池②区C 5号竪穴状遺構 [1/60]	558	第461图	8・9・調整池②区C 28号竪穴状遺構 [1/60]	586
第432图	8・9・調整池②区C 6号竪穴状遺構 (1) [1/60]	559	第462图	8・9・調整池②区C 29号竪穴状遺構 [1/60]	587
第433图	8・9・調整池②区C 6号竪穴状遺構 (2) [1/60]	560	第463图	8・9・調整池②区C 31号竪穴状遺構 [1/60]	588
第434图	8・9・調整池②区C 7号竪穴状遺構 [1/60]	561	第464图	8・9・調整池②区C 32号竪穴状遺構 [1/60]	589
第435图	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構 (1) [1/60]	562	第465图	8・9・調整池②区C 33号竪穴状遺構 [1/60]	590
第436图	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構 (2) [1/60]	563	第466图	8・9・調整池②区C 34号竪穴状遺構 [1/60]	591
第437图	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3・2/3]	563	第467图	8・9・調整池②区C 34号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	593
第438图	8・9・調整池②区C 9号竪穴状遺構 [1/60]	564	第468图	8・9・調整池②区C 35号竪穴状遺構 [1/60]	594
第439图	8・9・調整池②区C 10号竪穴状遺構 [1/60]	565	第469图	8・9・調整池②区C 36号竪穴状遺構 [1/60]	595
第440图	8・9・調整池②区C 11号竪穴状遺構 [1/60]	566	第470图	8・9・調整池②区C 37号竪穴状遺構 [1/60]	596
第441图	8・9・調整池②区C 12号竪穴状遺構 [1/60]	567	第471图	8・9・調整池②区C 38号竪穴状遺構 [1/60]	597
第442图	8・9・調整池②区C 13号竪穴状遺構 [1/60]	568	第472图	8・9・調整池②区C 39号竪穴状遺構 [1/60]	598
第443图	8・9・調整池②区C 14号竪穴状遺構 [1/60]	569	第473图	8・9・調整池②区C 40号竪穴状遺構 [1/60]	598
第444图	8・9・調整池②区C 14号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	570	第474图	8・9・調整池②区C 41号竪穴状遺構 [1/60]	599
第445图	8・9・調整池②区C 15号竪穴状遺構 [1/60]	571	第475图	8・9・調整池②区C 42号竪穴状遺構 [1/60]	600
第446图	8・9・調整池②区C 16号竪穴状遺構 [1/60]	572	第476图	8・9・調整池②区C 42号竪穴状遺構出土 遺物 [2/3]	601
第447图	8・9・調整池②区C 17号竪穴状遺構 [1/60]	573	第477图	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構 [1/120・1/60]	602
第448图	8・9・調整池②区C 18号竪穴状遺構 [1/60]	574	第478图	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構出土 遺物 [1/3]	603
第449图	8・9・調整池②区C 19号竪穴状遺構 [1/60]	575	第479图	8・9・調整池②区C 2号溝状遺構 [1/60]	604
第450图	8・9・調整池②区C 20号竪穴状遺構出土 遺物 [2/3・1/3]	576	第480图	8・9・調整池②区C 4号溝状遺構 [1/60]	605
第451图	8・9・調整池②区C 20号竪穴状遺構 [1/60]	577	第481图	8・9・調整池②区C 5号溝状遺構 [1/60]	606
第452图	8・9・調整池②区C 21号竪穴状遺構 [1/60]	579	第482图	8・9・調整池②区C 10号溝状遺構 [1/60]	607
第453图	8・9・調整池②区C 21号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	579	第483图	8・9・調整池②区C 11号溝状遺構 [1/60]	609
第454图	8・9・調整池②区C 22号竪穴状遺構 [1/60]	580	第484图	8・9・調整池②区C 12号溝状遺構 [1/60]	609
第455图	8・9・調整池②区C 23号竪穴状遺構 [1/60]	580	第485图	8・9・調整池②区C 13号溝状遺構 [1/60]	610
第456图	8・9・調整池②区C 24号竪穴状遺構 [1/60]	581	第486图	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構 (1) [1/240]	611
第457图	8・9・調整池②区C 24号竪穴状遺構出土 遺物 [1/3]	582	第487图	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構 (2) [1/240]	612
第458图	8・9・調整池②区C 25号竪穴状遺構 [1/60]	583	第488图	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構 (3) [1/60]	613
第459图	8・9・調整池②区C 26号竪穴状遺構 [1/60]	584	第489图	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構 (4) [1/60]	614
第460图	8・9・調整池②区C 27号竪穴状遺構				

第490図	8・9・調整池②区C14号溝状遺構出土遺物 [1/3]	615	第523図	8・9・調整池②区C7号井戸址 [1/60] ..	640
第491図	8・9・調整池②区C15号溝状遺構 [1/60]	616	第524図	8・9・調整池②区C7号井戸址出土遺物 [1/3]	640
第492図	8・9・調整池②区C16号溝状遺構 [1/60]	616	第525図	8・9・調整池②区C8号井戸址 [1/60] ..	640
第493図	8・9・調整池②区C17号溝状遺構 [1/60]	617	第526図	8・9・調整池②区C9号井戸址 [1/60] ..	641
第494図	8・9・調整池②区C17号溝状遺構出土遺物 [1/3]	618	第527図	8・9・調整池②区C1号硬化面 [1/120・1/60]	643
第495図	8・9・調整池②区C20号溝状遺構 [1/60]	619	第528図	8・9・調整池②区C2・3号硬化面 [1/60]	644
第496図	8・9・調整池②区C21号溝状遺構 [1/60]	620	第529図	8・9・調整池②区C4号硬化面 [1/60] ..	645
第497図	8・9・調整池②区C21号溝状遺構出土遺物 [1/3]	620	第530図	8・9・調整池②区C5号硬化面 [1/60] ..	645
第498図	8・9・調整池②区C22号溝状遺構 [1/60]	621	第531図	8・9・調整池②区C1号地下式坑（1） [1/60]	647
第499図	8・9・調整池②区C23号溝状遺構 [1/60]	622	第532図	8・9・調整池②区C1号地下式坑（2） [1/60]	648
第500図	8・9・調整池②区C24号溝状遺構 [1/120・1/60]	623	第533図	8・9・調整池②区C2号地下式坑 [1/60]	649
第501図	8・9・調整池②区C25号溝状遺構 [1/120・1/60]	624	第534図	8・9・調整池②区C2号地下式坑出土遺物 [1/3]	650
第502図	8・9・調整池②区C26号溝状遺構 [1/60]	625	第535図	8・9・調整池②区C3号地下式坑 [1/60]	651
第503図	8・9・調整池②区C27号溝状遺構 [1/60]	625	第536図	8・9・調整池②区C3号地下式坑出土遺物 [1/3]	652
第504図	8・9・調整池②区C28号溝状遺構 [1/60]	626	第537図	8・9・調整池②区C5号地下式坑 [1/60]	653
第505図	8・9・調整池②区C30号溝状遺構 [1/60]	627	第538図	8・9・調整池②区C5号地下式坑出土遺物 [1/3]	654
第506図	8・9・調整池②区C31号溝状遺構 [1/60]	628	第539図	8・9・調整池②区C7号地下式坑 [1/60]	655
第507図	8・9・調整池②区C32号溝状遺構 [1/60]	628	第540図	8・9・調整池②区C1～4号土坑 [1/60]	656
第508図	8・9・調整池②区C33号溝状遺構（1） [1/60]	630	第541図	8・9・調整池②区C4号土坑出土遺物 [1/3]	657
第509図	8・9・調整池②区C33号溝状遺構（2） [1/60]	631	第542図	8・9・調整池②区C6号土坑出土遺物 [1/3]	658
第510図	8・9・調整池②区C33号溝状遺構出土遺物 [1/3]	631	第543図	8・9・調整池②区C5～8号土坑 [1/60]	659
第511図	8・9・調整池②区C34号溝状遺構 [1/60]	632	第544図	8・9・調整池②区C9～11号土坑 [1/60]	660
第512図	8・9・調整池②区C34号溝状遺構出土遺物 [1/3]	633	第545図	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物（1） [1/3]	662
第513図	8・9・調整池②区C1号耕作址 [1/60] ..	634	第546図	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物（2） [1/3]	663
第514図	8・9・調整池②区C1号井戸址 [1/60] ..	634	第547図	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物（3） [1/3]	664
第515図	8・9・調整池②区C2号井戸址 [1/60] ..	635	第548図	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物（4） [1/3]	665
第516図	8・9・調整池②区C2号井戸址出土遺物 [1/3]	635	第549図	8・9・調整池②区C11号土坑出土遺物（5） [1/3]	666
第517図	8・9・調整池②区C3号井戸址 [1/60] ..	636	第550図	8・9・調整池②区C12～15号土坑 [1/60]	668
第518図	8・9・調整池②区C4号井戸址 [1/60] ..	637	第551図	8・9・調整池②区C15号土坑出土遺物 [1/3]	670
第519図	8・9・調整池②区C5号井戸址 [1/60] ..	637	第552図	8・9・調整池②区C17号土坑出土遺物 [1/3]	671
第520図	8・9・調整池②区C5号井戸址出土遺物 [1/3]	638	第553図	8・9・調整池②区C16～19号土坑 [1/60]	672
第521図	8・9・調整池②区C6号井戸址 [1/60] ..	638	第554図	8・9・調整池②区C20～24号土坑 [1/60]	674
第522図	8・9・調整池②区C6号井戸址出土遺物 [1/3]	639			

第555図	8・9・調整池②区C25～28号土坑 [1/60]	676	第585図	8・9・調整池②区C134～138号土坑 [1/60]	725
第556図	8・9・調整池②区C29～33号土坑 [1/60]	678	第586図	8・9・調整池②区C140～145号土坑 [1/60]	727
第557図	8・9・調整池②区C34～36号土坑 [1/60]	680	第586図	8・9・調整池②区C140号土坑出土遺物 [1/3]	728
第558図	8・9・調整池②区C37～40号土坑 [1/60]	682	第588図	8・9・調整池②区C146～149号土坑 [1/60]	729
第559図	8・9・調整池②区C41号土坑出土遺物 [1/3]	683	第589図	8・9・調整池②区C150～153号土坑 [1/60]	731
第560図	8・9・調整池②区C41～44号土坑 [1/60]	684	第590図	8・9・調整池②区C153号土坑出土遺物 [1/3]	733
第561図	8・9・調整池②区C45～48号土坑 [1/60]	686	第591図	8・9・調整池②区C154号土坑出土遺物 [1/3]	733
第562図	8・9・調整池②区C48号土坑出土遺物 [2/3・1/3]	687	第592図	8・9・調整池②区C154号土坑 [1/60]	734
第563図	8・9・調整池②区C49～52号土坑 [1/60]	688	第593図	8・9・調整池②区C155号土坑出土遺物 [2/3]	735
第564図	8・9・調整池②区C54～58号土坑 [1/60]	690	第594図	8・9・調整池②区C155～158号土坑 [1/60]	736
第565図	8・9・調整池②区C59号土坑出土遺物 [1/3]	692	第595図	8・9・調整池②区C1号集石 [1/30]	737
第566図	8・9・調整池②区C60号土坑出土遺物 [1/3]	692	第596図	8・9・調整池②区 中世ビット分布図 [1/500]	738
第567図	8・9・調整池②区C59～62号土坑 [1/60]	693	第597図	8・9・調整池②区中世ビット（1） [1/80]	739
第568図	8・9・調整池②区C63・65～67号土坑 [1/60]	695	第598図	8・9・調整池②区中世ビット（2） [1/80]	739
第569図	8・9・調整池②区C68・69・71・72号土坑 [1/60]	697	第599図	8・9・調整池②区中世ビット（3） [1/80]	740
第570図	8・9・調整池②区C73～77号土坑 [1/60]	698	第600図	8・9・調整池②区中世ビット（4） [1/80]	741
第571図	8・9・調整池②区C78～81号土坑 [1/60]	701	第601図	8・9・調整池②区中世ビット（5） [1/80]	742
第572図	8・9・調整池②区C82～85号土坑 [1/60]	702	第602図	8・9・調整池②区中世ビット（6） [1/80]	743
第573図	8・9・調整池②区C86～90号土坑 [1/60]	704	第603図	8・9・調整池②区中世ビット（7） [1/80]	744
第574図	8・9・調整池②区C91～94号土坑 [1/60]	706	第604図	8・9・調整池②区中世ビット（8） [1/80]	745
第575図	8・9・調整池②区C95・96・99～101号 土坑 [1/60]	708	第605図	8・9・調整池②区中世ビット（9） [1/80]	746
第576図	8・9・調整池②区C102・104～106号土坑 [1/60]	709	第606図	8・9・調整池②区中世ビット（10） [1/80]	747
第577図	8・9・調整池②区C105号土坑出土遺物 [2/3]	711	第607図	8・9・調整池②区中世ビット（11） [1/80]	748
第578図	8・9・調整池②区C107～111号土坑 [1/60]	712	第608図	8・9・調整池②区中世ビット（12） [1/80]	749
第579図	8・9・調整池②区C112～115号土坑 [1/60]	714	第609図	8・9・調整池②区中世ビット（13） [1/80]	750
第580図	8・9・調整池②区C116～120号土坑 [1/60]	716	第610図	8・9・調整池②区中世ビット（14） [1/80]	751
第581図	8・9・調整池②区C118号土坑出土遺物 [1/3]	718	第611図	8・9・調整池②区中世ビット（15） [1/80]	752
第582図	8・9・調整池②区C121～124号土坑 [1/60]	719	第612図	8・9・調整池②区中世ビット（16） [1/80]	752
第583図	8・9・調整池②区C125～128号土坑 [1/60]	721	第613図	8・9・調整池②区中世ビット出土遺物（1） [1/3]	781
第584図	8・9・調整池②区C129～133号土坑 [1/60]	724	第614図	8・9・調整池②区中世ビット出土遺物（2） [1/3・2/3]	782

第615図	8・9・調整池②区中世ピット出土遺物（3） [1/3・1/6]・・・・・・・・・・	783
第616図	8・9・調整池②区C1～4号焼土址 [1/60] ・・・・・・・・・・	787
第617図	8・9・調整池②区C2号焼土址出土遺物 [1/3]・・・・・・・・・・	788
第618図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（1） [1/3]・・・・・・・・・・	790
第619図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（2） [1/3]・・・・・・・・・・	791
第620図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（3） [1/3]・・・・・・・・・・	792
第621図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（4） [1/3]・・・・・・・・・・	793
第622図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（5） [1/3・2/3]・・・・・・・・・・	794
第623図	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物（6） [1/3・1/6]・・・・・・・・・・	795
第624図	8・9・調整池②区奈良・平安時代 遺構配置図 [1/500]・・・・・・・・	803
第625図	8・9・調整池②区H1～5号土坑 [1/60] ・・・・・・・・・・	805
第626図	8・9・調整池②区 奈良・平安時代ピット 配置図 [1/60]・・・・・・・・・・	806
第627図	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外 出土遺物 [1/4]・・・・・・・・・・	807
第628図	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期 遺構外出土遺物 [1/4]・・・・・・・・	809
第629図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [1/3]・・・・・・・・・・	811
第630図	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土土器 [2/3・1/3]・・・・・・・・・・	812

第631図	主な岩種一覧・・・・・・・・・・	820
第632図	黒曜石原産地一覧・・・・・・・・・・	827
第633図	黒曜石原産地推定結果（1）・・・・・・・・	829
第634図	黒曜石原産地推定結果（2）・・・・・・・・	830
第635図	木材（1）・・・・・・・・・・	836
第636図	木材（2）・・・・・・・・・・	837
第637図	東富岡・太窪遺跡近世遺構分布図 [1/1, 600] ・・・・・・・・・・	838
第638図	東富岡・太窪遺跡中世遺構分布図 [1/1, 600] ・・・・・・・・・・	839
第639図	東富岡・太窪遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/1, 600]・・・・・・・・・・	840
第640図	東富岡・太窪遺跡、栗窪・林台遺跡 弥生時代後期～古墳時代前期遺構分布図 [1/1, 000]・・・・・・・・・・	841
第641図	伊勢原・秦野B2層石器群の分布（上） [1/50, 000]・器種組成（下） [1/4]・・・・・	843
第642図	東富岡・中島遺跡近世遺構分布図 [1/600] ・・・・・・・・・・	847
第643図	東富岡・中島遺跡中世遺構分布図 [1/600] ・・・・・・・・・・	848
第644図	東富岡・中島遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/600]・・・・・・・・・・	849
第645図	東富岡・中島遺跡縄文時代遺構分布図 [1/600]・・・・・・・・・・	850
第646図	中世出土陶磁器種類 [1/6]・・・・・・・・	854
第647図	中世出土かわらけ分類 [1/3]・・・・・・・・	855
第648図	8・9・調整池②区C11号土坑 （第544～549図）木製品出土状況 [遺構1/60・ 遺物1/10]・・・・・・・・・・	856
第649図	栗窪・林窪遺跡奈良・平安時代遺構分布図 [1/1, 000]・・・・・・・・・・	857

挿 表 目 次

（第1分冊）

第1表	栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺 跡、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡発掘調 査に係る調整及び届け出等の文書・・・・・・・・	2
第2表	周辺の遺跡・・・・・・・・・・	14
第3表	東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林 窪遺跡発掘作業工程表・・・・・・・・・・	32
第4表	東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林 窪遺跡出土品整理作業工程表・・・・・・・・・・	34
第5表	1区南近世ピット計測表・・・・・・・・・・	59
第6表	1区K1号流路出土遺物観察表・・・・・・・・・・	59
第7表	1区近世遺構外出土遺物観察表・・・・・・・・・・	62
第8表	1区南中世ピット計測表・・・・・・・・・・	66
第9表	1区中世遺構外出土遺物観察表・・・・・・・・・・	77
第10表	1区奈良・平安時代ピット計測表・・・・・・・・・・	93
第11表	1区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表・・・・・・	94
第12表	1区・1区南縄文時代遺構外出土土器属性表・・・・・	98
第13表	2区K1号段切り出土遺物観察表・・・・・・・・・・	103
第14表	2区K3号段切り出土遺物観察表・・・・・・・・・・	105
第15表	2区K19号土坑出土遺物観察表・・・・・・・・・・	122
第16表	2区近世ピット計測表・・・・・・・・・・	123
第17表	2区近世遺構外出土遺物観察表・・・・・・・・・・	126

第18表	2区中世ピット計測表・・・・・・・・・・	137
第19表	2区H1号堅穴住居址出土遺物観察表・・・・・・・・	146
第20表	2区古墳時代後期～奈良・平安時代ピット 計測表・・・・・・・・・・	166
第21表	2区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表・・・・・・	167
第22表	2区YH1号遺物集中出土遺物観察表・・・・・・・・	171
第23表	2区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土 遺物観察表・・・・・・・・・・	171
第24表	2区縄文時代遺構外出土土器属性表・・・・・・・・	173
第25表	2区旧石器時代出土土器一覧表・・・・・・・・・・	178
第26表	4区K1号段切り出土遺物観察表・・・・・・・・・・	185
第27表	4区K2号段切り出土遺物観察表・・・・・・・・・・	188
第28表	4区近世ピット計測表・・・・・・・・・・	195
第29表	4・5区近世遺構外出土遺物観察表・・・・・・・・	196
第30表	5区中世ピット計測表・・・・・・・・・・	205
第31表	4・5区中世遺構外出土遺物観察表・・・・・・・・	207
第32表	4区奈良・平安時代ピット計測表・・・・・・・・・・	216
第33表	4区縄文時代ピット計測表・・・・・・・・・・	223
第34表	4区縄文時代遺構外出土土器属性表・・・・・・・・	228
第35表	4区旧石器時代遺構外出土土器一覧表・・・・・・・・	232
第36表	10区近世ピット計測表・・・・・・・・・・	245
第37表	10区近世ピット出土遺物観察表・・・・・・・・・・	246

第38表	10区近世遺構外出土遺物観察表	247
第39表	10区C 1号竪穴状遺構出土遺物観察表	250
第40表	10区C 7号竪穴状遺構出土遺物観察表	255
第41表	10区C 3号溝状遺構出土遺物観察表	261
第42表	10区C 5号土坑出土遺物観察表	269
第43表	10区C 13号土坑出土遺物観察表	272
第44表	10区C 29号土坑出土遺物観察表	280
第45表	10区C 31号土坑出土遺物観察表	281
第46表	10区C 40号土坑出土遺物観察表	286
第47表	10区中世ビット出土遺物観察表	311
第48表	10区中世ビット計測表	312
第49表	10区中世遺構外出土遺物観察表	321
第50表	10区H 1号竪穴住居址出土遺物観察表	328
第51表	10区奈良・平安時代ビット出土遺物観察表	343
第52表	10区奈良・平安時代ビット計測表	344
第53表	10区H 1号遺物集中出土遺物観察表	348
第54表	10区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表	349
第55表	10区縄文時代遺構外出土石器属性表	351
第56表	13区K 6号溝状遺構出土遺物観察表	358
第57表	13区K 7号溝状遺構出土遺物観察表	360
第58表	13区K 9号溝状遺構出土遺物観察表	362
第59表	13区K 10号溝状遺構出土遺物観察表	364
第60表	13区K 4号土坑出土遺物観察表	368
第61表	13区K 6号土坑出土遺物観察表	370
第62表	13区K 10号土坑出土遺物観察表	371
第63表	13区K 8号ビット出土遺物観察表	390
第64表	13区近世ビット計測表	390
第65表	13区近世遺構外出土遺物観察表	394
第66表	13区C 1号竪穴状遺構出土遺物観察表	397
第67表	13区C 1号溝状遺構出土遺物観察表	399
第68表	13区C 2号溝状遺構出土遺物観察表	400
第69表	13区C 11号溝状遺構出土遺物観察表	405
第70表	13区C 13号溝状遺構出土遺物観察表	410
第71表	13区C 2号井戸址出土遺物観察表	413
第72表	13区C 3号井戸址出土遺物観察表	413
第73表	13区C 4号井戸址出土遺物観察表	415
第74表	13区C 5号井戸址出土遺物観察表	416
第75表	13区C 7号井戸址出土遺物観察表	420
第76表	13区C 1号土坑出土遺物観察表	422
第77表	13区C 2号土坑出土遺物観察表	423
第78表	13区C 7号土坑出土遺物観察表	425
第79表	13区中世ビット出土遺物観察表	436
第80表	13区中世ビット計測表	437
第81表	13区中世遺構外出土遺物観察表	442
第82表	13区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表	443
第83表	13区縄文時代遺構外出土石器属性表	444
(第2分冊)		
第84表	8・9・調整池②区K 2号溝状遺構出土遺物 観察表	452
第85表	8・9・調整池②区K 3号溝状遺構出土遺物 観察表	455
第86表	8・9・調整池②区K 4号溝状遺構出土遺物 観察表	456
第87表	8・9・調整池②区K 5号溝状遺構出土遺物 観察表	458

第88表	8・9・調整池②区K 8号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第89表	8・9・調整池②区K 9号溝状遺構出土遺物 観察表	461
第90表	8・9・調整池②区K 17号溝状遺構出土遺物 観察表	469
第91表	8・9・調整池②区K 18号溝状遺構出土遺物 観察表	473
第92表	8・9・調整池②区K 26号溝状遺構出土遺物 観察表	482
第93表	8・9・調整池②区K 28号溝状遺構出土遺物 観察表	484
第94表	8・9・調整池②区K 2号硬化面出土遺物 観察表	491
第95表	8・9・調整池②区K 1号井戸址出土遺物 観察表	495
第96表	8・9・調整池②区近世ビット計測表	527
第97表	8・9・調整池②区K 280号ビット出土遺物 観察表	530
第98表	8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物観察表	535
第99表	8・9・調整池②区C 5号段切り出土遺物 観察表	548
第100表	8・9・調整池②区C 1号竪穴状遺構出土 遺物観察表	552
第101表	8・9・調整池②区C 4号竪穴状遺構出土 遺物観察表	557
第102表	8・9・調整池②区C 8号竪穴状遺構出土 遺物観察表	563
第103表	8・9・調整池②区C 14号竪穴状遺構出土 遺物観察表	570
第104表	8・9・調整池②区C 20号竪穴状遺構出土 遺物観察表	576
第105表	8・9・調整池②区C 21号竪穴状遺構出土 遺物観察表	579
第106表	8・9・調整池②区C 24号竪穴状遺構出土 遺物観察表	582
第107表	8・9・調整池②区C 34号竪穴状遺構出土 遺物観察表	593
第108表	8・9・調整池②区C 42号竪穴状遺構出土 遺物観察表	601
第109表	8・9・調整池②区C 1号溝状遺構出土 遺物観察表	603
第110表	8・9・調整池②区C 14号溝状遺構出土 遺物観察表	615
第111表	8・9・調整池②区C 17号溝状遺構出土 遺物観察表	618
第112表	8・9・調整池②区C 21号溝状遺構出土 遺物観察表	621
第113表	8・9・調整池②区C 33号溝状遺構出土 遺物観察表	631
第114表	8・9・調整池②区C 34号溝状遺構出土 遺物観察表	633
第115表	8・9・調整池②区C 2号井戸址出土遺物 観察表	635

第116表	8・9・調整池②区C 5号井戸址出土遺物 観察表……………638	第135表	8・9・調整池②区C 154号土坑出土遺物 観察表……………734
第117表	8・9・調整池②区C 6号井戸址出土遺物 観察表……………639	第136表	8・9・調整池②区C 155号土坑出土遺物 観察表……………735
第118表	8・9・調整池②区C 7号井戸址出土遺物 観察表……………640	第137表	8・9・調整池②区中世ピット計測表……………753
第119表	8・9・調整池②区C 2号地下式坑出土遺物 観察表……………650	第138表	8・9・調整池②区中世ピット出土遺物 観察表……………784
第120表	8・9・調整池②区C 3号地下式坑出土遺物 観察表……………652	第139表	8・9・調整池②区C 2号焼土址出土遺物 観察表……………788
第121表	8・9・調整池②区C 5号地下式坑出土遺物 観察表……………654	第140表	8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物 観察表……………796
第122表	8・9・調整池②区C 4号土坑出土遺物 観察表……………657	第141表	8・9・調整池②区奈良・平安時代ピット 計測表……………807
第123表	8・9・調整池②区C 6号土坑出土遺物 観察表……………658	第142表	8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外 出土遺物観察表……………808
第124表	8・9・調整池②区C 11号土坑出土遺物 観察表……………666	第143表	8・9・調整池②弥生時代後期～古墳時代前期 遺構外出土遺物観察表……………809
第125表	8・9・調整池②区C 15号土坑出土遺物 観察表……………671	第144表	8・9・調整池②縄文時代遺構外出土石器 属性表……………813
第126表	8・9・調整池②区C 17号土坑出土遺物 観察表……………671	第145表	東富岡・太窪遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………821
第127表	8・9・調整池②区C 41号土坑出土遺物 観察表……………683	第146表	東富岡・中島遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………821
第128表	8・9・調整池②区C 48号土坑出土遺物 観察表……………687	第147表	栗窪・林窪遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………822
第129表	8・9・調整池②区C 59号土坑出土遺物 観察表……………692	第148表	栗窪・林遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………823
第130表	8・9・調整池②区C 60号土坑出土遺物 観察表……………692	第149表	栗窪・林台遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………824
第131表	8・9・調整池②区C 105号土坑出土遺物 観察表……………711	第150表	栗窪・四石田遺跡器種・製品毎構成岩石種表 ……………824
第132表	8・9・調整池②区C 118号土坑出土遺物 観察表……………718	第151表	黒曜石原産地試料一覧……………826
第133表	8・9・調整池②区C 140号土坑出土遺物 観察表……………728	第152表	スペクトル強度と判定指標値……………831
第134表	8・9・調整池②区C 153号土坑出土遺物 観察表……………733	第153表	黒曜石判定結果……………831
		第154表	樹種同定結果……………833
		第155表	伊勢原・秦野B 2層石器群遺物集中の内容 ……………844

写真目次

(第3分冊)

- 図版1 -1 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡遠景(西上空から)
-2 栗窪・林窪遺跡近景(西上空から)
- 図版2 -1 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡遠景(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡遠景(東から)
- 図版3 -1 東富岡・太窪遺跡 1区調査開始前(東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区L1グリッド西壁土層堆積状況(東から)
- 図版4 -1 東富岡・太窪遺跡 1区南I9グリッド北壁土層堆積状況(南東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区K1号溝状遺構(南から)
- 図版5 -1 東富岡・太窪遺跡 1区南K6号溝状遺構(東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区K1号硬化面(東から)
- 図版6 -1 東富岡・太窪遺跡 1区K1号畝状遺構(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区K1号土坑(北西から)
- 図版7 -1 東富岡・太窪遺跡 1区南K3号土坑(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区K1号流路南西部(北東から)
- 図版8 -1 東富岡・太窪遺跡 1区C1号流路(東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区C1号杭列(南から)
- 図版9 -1 東富岡・太窪遺跡 1区C3号杭列(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区C4号杭列(北から)
- 図版10 -1 東富岡・太窪遺跡 1区C5・6号杭列(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区H1～3号畝状遺構(北から)
- 図版11 -1 東富岡・太窪遺跡 1区H1号土坑(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区H2号土坑(北西から)
-3 東富岡・太窪遺跡 1区H5号土坑(南東から)
-4 東富岡・太窪遺跡 1区H6号土坑(北から)
-5 東富岡・太窪遺跡 1区H7号土坑(北西から)
-6 東富岡・太窪遺跡 1区H8号土坑(東から)
-7 東富岡・太窪遺跡 1区H9号土坑(東から)
-8 東富岡・太窪遺跡 1区H10号土坑(南から)
- 図版12 -1 東富岡・太窪遺跡 1区H12号土坑(北東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区H13号土坑(南東から)
-3 東富岡・太窪遺跡 1区H14号土坑(南西から)
-4 東富岡・太窪遺跡 1区H15号土坑(南東から)
-5 東富岡・太窪遺跡 1区H16号土坑(南西から)
-6 東富岡・太窪遺跡 1区H17号土坑(南東から)
-7 東富岡・太窪遺跡 1区H18号土坑(南東から)
-8 東富岡・太窪遺跡 1区H23・24号土坑(南西から)
- 図版13 -1 東富岡・太窪遺跡 1区H25号土坑(北西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 1区H26号土坑(北西から)
-3 東富岡・太窪遺跡 1区H27号土坑(南から)
-4 東富岡・太窪遺跡 1区H30号土坑(南東から)
-5 東富岡・太窪遺跡 1区調査終了面全景(東から)

- 図版14 -1 東富岡・太窪遺跡 2区調査開始前(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区B・C 22～24グリッド近世面全景(東から)
- 図版15 -1 東富岡・太窪遺跡 2区C20グリッド北壁土層堆積状況(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区K1号段切り(南から)
- 図版16 -1 東富岡・太窪遺跡 2区K16・17号土坑、K1号畝状遺構(東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区K2号畝状遺構(南から)
- 図版17 -1 東富岡・太窪遺跡 2区E17・19グリッド近世土坑群(北東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区D・E19～20グリッド中世面全景(東から)
- 図版18 -1 東富岡・太窪遺跡 2区C1号溝状遺構(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区C1・2号畝状遺構(東から)
- 図版19 -1 東富岡・太窪遺跡 2区C1号土坑(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区C2号土坑(南から)
-3 東富岡・太窪遺跡 2区C3号土坑(南から)
-4 東富岡・太窪遺跡 2区C4号土坑(南から)
-5 東富岡・太窪遺跡 2区C5号土坑(南から)
-6 東富岡・太窪遺跡 2区C6・7号土坑(南から)
-7 東富岡・太窪遺跡 2区C8号土坑(東から)
-8 東富岡・太窪遺跡 2区C9号土坑(北から)
- 図版20 -1 東富岡・太窪遺跡 2区C11号土坑(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区C12号土坑(西から)
-3 東富岡・太窪遺跡 2区C13号土坑(西から)
-4 東富岡・太窪遺跡 2区C15号土坑(北から)
-5 東富岡・太窪遺跡 2区H1号竪穴住居址(南から)
- 図版21 -1 東富岡・太窪遺跡 2区H1号竪穴住居址カマド(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区H1号竪穴住居址掘り方(南から)
- 図版22 -1 東富岡・太窪遺跡 2区H1号掘立柱建物址(南から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区H1号畝状遺構(東から)
- 図版23 -1 東富岡・太窪遺跡 2区H2号畝状遺構(西から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区H2号土坑(南から)
-3 東富岡・太窪遺跡 2区H4号土坑(北から)
-4 東富岡・太窪遺跡 2区H5号土坑(東から)
-5 東富岡・太窪遺跡 2区H6号土坑(北から)
- 図版24 -1 東富岡・太窪遺跡 2区古墳時代面全景(東から)
-2 東富岡・太窪遺跡 2区YH1号遺物集中(南から)
- 図版25 -1 東富岡・太窪遺跡 2区C20グリッド弥生時代後期～古墳時代前期遺構外遺物出土状況①(南から)

- (南から)
- 図版26 -1 東富岡・太窪遺跡 2区調査終了面全景
(東から)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代土層堆積状況(東から)
- 図版27 -1 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代土層堆積状況(北から)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代遺物出土状況(南から)
- 図版28 -1 東富岡・中島遺跡 5区調査開始前(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区近世面全景(南から)
- 図版29 -1 東富岡・中島遺跡 4区U3グリッド東壁土層堆積状況(西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K1・2号段切り(南から)
- 図版30 -1 東富岡・中島遺跡 4区K1号溝状遺構(西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K3号溝状遺構(北東から)
- 図版31 -1 東富岡・中島遺跡 4区K2号畝状遺構(北から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K1号土坑(北から)
- 図版32 -1 東富岡・中島遺跡 4区K2号土坑(北から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区K5号土坑(北から)
- 図版33 -1 東富岡・中島遺跡 4区K6号土坑(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 5区奈良・平安時代～中世面全景(東から)
- 図版34 -1 東富岡・中島遺跡 5区C1号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 5区C2号土坑(西から)
- 3 東富岡・中島遺跡 5区C3号土坑(南東から)
- 4 東富岡・中島遺跡 5区C5号土坑(東から)
- 5 東富岡・中島遺跡 4区奈良・平安時代面全景(1)(南から)
- 図版35 -1 東富岡・中島遺跡 4区W3グリッド奈良・平安時代面全景(2)(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区H1号溝状遺構(南から)
- 図版36 -1 東富岡・中島遺跡 5区H2号溝状遺構(北西から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区H1号土坑(南東から)
- 3 東富岡・中島遺跡 4区H2号土坑(東から)
- 4 東富岡・中島遺跡 4区H4号土坑(北西から)
- 5 東富岡・中島遺跡 4区H5号土坑(南から)
- 図版37 -1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代面全景(南から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区J1号土坑遺物検出状況(南から)
- 図版38 -1 東富岡・中島遺跡 4区J1号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区J2号土坑(東から)
- 図版39 -1 東富岡・中島遺跡 4区J3号土坑(東から)
- 2 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代土層堆積状況(南西から)
- 図版40 -1 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代遺物出土状況(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区調査開始前(北東から)
- 図版41 -1 栗窪・林窪遺跡 10区中世面全景(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区Z18グリッド北壁土層堆

- 積状況(南から)
- 図版42 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C1号竪穴状遺構(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C2号竪穴状遺構(南東から)
- 図版43 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C3号竪穴状遺構(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C5号竪穴状遺構(南から)
- 図版44 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C6号竪穴状遺構(西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C7号竪穴状遺構(南から)
- 図版45 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C1・2号溝状遺構(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C3号溝状遺構(北から)
- 図版46 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C1号井戸址(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C2号井戸址(南から)
- 図版47 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C3号井戸址(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C1号土坑(南から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 10区C2号土坑(西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 10区C3号土坑(東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 10区C4号土坑(南東から)
- 図版48 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C5号土坑(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C12号土坑、C142ピット(西から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 10区C13号土坑(西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 10区C15・16号土坑(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 10区C6～11号土坑(北から)
- 図版49 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C17号土坑(北から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C18号土坑(北から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 10区C19号土坑(東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 10区C20号土坑(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 10区C21号土坑(東から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 10区C22号土坑(北から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 10区C23号土坑(南西から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 10区C24号土坑(東から)
- 図版50 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C25号土坑(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C26号土坑(東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 10区C27号土坑(西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 10区C28号土坑(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 10区C31号土坑(南から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 10区C32号土坑(北から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 10区C33号土坑(西から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 10区C34号土坑(東から)
- 図版51 -1 栗窪・林窪遺跡 10区C38号土坑(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区C40号土坑(東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 10区C1号ピット出土遺物(南から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 10区C1号炭化物範囲集中(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 10区奈良・平安時代面全景(南から)
- 図版52 -1 栗窪・林窪遺跡 10区H1号竪穴住居址(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 10区H1号竪穴住居址カマド(南から)

- 図版53 -1 栗窪・林窪遺跡 10区H 1号竪穴住居址掘り方
・床下土坑(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 10区H 1号溝状遺構(西から)
- 図版54 -1 栗窪・林窪遺跡 10区H 1号畝状遺構
(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 10区H 1号遺物集中(東から)
- 図版55 -1 栗窪・林窪遺跡 13区調査開始前(北東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区近世面全景(東から)
- 図版56 -1 栗窪・林窪遺跡 13区北壁土層堆積状況
(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区Hトレンチ北壁土層堆積
状況(南から)
- 図版57 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K 1号竪穴状遺構
(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K 1号溝状遺構(北から)
- 図版58 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K 2～4号溝状遺構、K
1・33号土坑(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K 6・9・10号溝状遺構
(西から)
- 図版59 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K 1号井戸址(北西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K 2号井戸址(西から)
- 図版60 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K 2号土坑(北から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K 3号土坑(北から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区K 4号土坑(西から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区K 5号土坑(東から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区K 6号土坑(西から)
-6 栗窪・林窪遺跡 13区K 7号土坑(西から)
-7 栗窪・林窪遺跡 13区K 8号土坑(西から)
-8 栗窪・林窪遺跡 13区K 9・11号土坑(東から)
- 図版61 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K10号土坑(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K12号土坑(西から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区K13号土坑(西から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区K14号土坑(西から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区K15号土坑(北西から)
-6 栗窪・林窪遺跡 13区K16号土坑(西から)
-7 栗窪・林窪遺跡 13区K22号土坑(南から)
-8 栗窪・林窪遺跡 13区K23号土坑(北から)
- 図版62 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K19～21号土坑(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K24号土坑(西から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区K25号土坑(南東から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区K27号土坑(北から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区K28号土坑(南から)
- 図版63 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K29号土坑(南西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K30号土坑(北から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区K31号土坑(東から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区K34号土坑焼土(南から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区K35号土坑(南東から)
-6 栗窪・林窪遺跡 13区K39号土坑(西から)
-7 栗窪・林窪遺跡 13区K41号土坑(西から)
-8 栗窪・林窪遺跡 13区K43号土坑(東から)
- 図版64 -1 栗窪・林窪遺跡 13区K36～38・45号土坑
(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区K44号土坑(北から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区K50号土坑(北から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区K51号土坑(西から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区K56号土坑(西から)
- 図版65 -1 栗窪・林窪遺跡 13区南東拡張部中世面全景
(北から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区東側調査中世面全景
(西から)
- 図版66 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 1号竪穴状遺構
(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 2号竪穴状遺構、C 4
号土坑(南から)
- 図版67 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 1・2号溝状遺構
(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 3～8号溝状遺構
(南から)
- 図版68 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 9・10号溝状遺構
(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C11号溝状遺構(北から)
- 図版69 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C11・14・15号溝状遺構
(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C12号溝状遺構(南から)
- 図版70 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 1号井戸址(北から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 2号井戸址(西から)
- 図版71 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 3号井戸址(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 5号井戸址(北から)
- 図版72 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 8号井戸址(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 9号井戸址(西から)
- 図版73 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C 1・6号土坑(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C 5号土坑(西から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区C 7号土坑(南から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区C 7号土坑遺物出土状況
(北西から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区C 8号土坑(東から)
-6 栗窪・林窪遺跡 13区C10・11号土坑
(北西から)
-7 栗窪・林窪遺跡 13区C12・15号土坑(南から)
-8 栗窪・林窪遺跡 13区C13号土坑(南から)
- 図版74 -1 栗窪・林窪遺跡 13区C14号土坑(北東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 13区C16号土坑(西から)
-3 栗窪・林窪遺跡 13区C17号土坑(南西から)
-4 栗窪・林窪遺跡 13区C20号土坑(南から)
-5 栗窪・林窪遺跡 13区調査終了面全景(東から)
- 図版75 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区調査開始前
(南西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 8区調査
- 図版76 -1 栗窪・林窪遺跡 8区調査開始前(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 9区調査開始前(南から)
- 図版77 -1 栗窪・林窪遺跡 9区近世面全景(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区東壁土層堆積状況
(西から)
- 図版78 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K 1号段切り、K
12・19号溝状遺構、Kピット群(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K 1号竪穴状遺構
(東から)
- 図版79 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K 2号竪穴状遺構
(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 8区K 2号溝状遺構、K 1号
杭列北側(南西から)
- 図版80 -1 栗窪・林窪遺跡 9区K 3・27号溝状遺構
(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 9区K 5号溝状遺構・K 2号

- 杭列(西から)
- 図版81 -1 栗窪・林窪遺跡 9区K8号溝状遺構(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K9～11・25号溝状遺構(南から)
- 図版82 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K13号溝状遺構(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K15号溝状遺構(北西から)
- 図版83 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K18号溝状遺構(東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K19・24号溝状遺構、K1号段切り、K34～36号土坑(南東から)
- 図版84 -1 栗窪・林窪遺跡 9区K26・31号溝状遺構(西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 9区K30号溝状遺構(東から)
- 図版85 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K2号硬化面(北東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K4号硬化面(南西から)
- 図版86 -1 栗窪・林窪遺跡 9区K1号畝状遺構(北から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K1号井戸址(南西から)
- 図版87 -1 栗窪・林窪遺跡 9区K2号土坑(南西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K3号土坑(北西から)
-3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K4号土坑(東から)
-4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K5号土坑(南西から)
-5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K6号土坑(南東から)
-6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K7号土坑(南東から)
-7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K8号土坑(南東から)
-8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K9号土坑(南西から)
- 図版88 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K10号土坑(北東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K11号土坑(東から)
-3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K13号土坑(南西から)
-4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K15号土坑(南東から)
-5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K17号土坑(南東から)
-6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K18号土坑(北東から)
-7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K19号土坑(南東から)
-8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K21号土坑(北から)
- 図版89 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K19・43・49号土坑(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K25号土坑(北東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K26号土坑(南から)
-4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K27号土坑(北東から)
-5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K35号土坑(南東から)
- 図版90 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K38号土坑(北から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K40～42号土坑(南から)
-3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K44号土坑(南西から)
-4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K45号土坑(南東から)
-5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K47号土坑(北西から)
-6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区K51号土坑(北西から)
-7 栗窪・林窪遺跡 9区K53号土坑、K294号ピット(北東から)
-8 栗窪・林窪遺跡 9区K54号土坑(南西から)
- 図版91 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区南西拡張部中世面全景(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C5号段切り南西側(南東から)
- 図版92 -1 栗窪・林窪遺跡 9区C1号竪穴状遺構(南から)
-2 栗窪・林窪遺跡 9区C2号竪穴状遺構、C4・6・7・153・154号土坑(西から)
- 図版93 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C3号竪穴状遺構(南西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C5号竪穴状遺構(南東から)
- 図版94 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C6号竪穴状遺構(南西から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C7号竪穴状遺構(南東から)
- 図版95 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C8号竪穴状遺構(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C9号竪穴状遺構(南東から)
- 図版96 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C10号竪穴状遺構(北東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C11号竪穴状遺構(南東から)
- 図版97 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C12号竪穴状遺構(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C13号竪穴状遺構(南西から)
- 図版98 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C14号竪穴状遺構(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C14・15号竪穴状遺構(南東から)
- 図版99 -1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C16号竪穴状遺構(南東から)
-2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C17号竪穴状遺構(南西から)

- 図版100-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C18号堅穴状遺構
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C19号堅穴状遺構
(南東から)
- 図版101-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C19号堅穴状遺構
掘り方(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C20号堅穴状遺構
(南東から)
- 図版102-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C23号堅穴状遺構
(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C24号堅穴状遺構
(西から)
- 図版103-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C25号堅穴状遺構
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C26号堅穴状遺構
(北西から)
- 図版104-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C27号堅穴状遺構
(北東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C28号堅穴状遺構
(北東から)
- 図版105-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C29号堅穴状遺構
(北西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C31号堅穴状遺構
(南東から)
- 図版106-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C32号堅穴状遺構
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C33号堅穴状遺構
(南から)
- 図版107-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C34号堅穴状遺構
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C35号堅穴状遺構
(南東から)
- 図版108-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C37・38号堅穴状
遺構(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C40号堅穴状遺構
(北から)
- 図版109-1 栗窪・林窪遺跡 9区C41号堅穴状遺構
(北西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C42号堅穴状遺構
(南東から)
- 図版110-1 栗窪・林窪遺跡 8区C1号溝状遺構(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 8区C2号溝状遺構(南西から)
- 図版111-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C11号溝状遺構
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C12号溝状遺構
(北東から)
- 図版112-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C14・24～26号溝
状遺構(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C16号溝状遺構
(南東から)
- 図版113-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C17号溝状遺構
(北東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C20号溝状遺構、
C2号硬化面(南西から)
- 図版114-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C1・20・21号溝
状遺構(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C22号溝状遺構
(南東から)
- 図版115-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C23号溝状遺構
(西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 9区C33号溝状遺構(東から)
- 図版116-1 栗窪・林窪遺跡 9区C34号溝状遺構(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C1号畝状遺構
(北東から)
- 図版117-1 栗窪・林窪遺跡 9区C1号井戸址(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 9区C2号井戸址(南から)
- 図版118-1 栗窪・林窪遺跡 9区C3号井戸址(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C4号井戸址
(東から)
- 図版119-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C5号井戸址
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C6号井戸址
(東から)
- 図版120-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C7号井戸址
(北西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C8号井戸址
(東から)
- 図版121-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C9号井戸址
(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C1号硬化面
(南西から)
- 図版122-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C1号地下式坑
(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C2号地下式坑
(西から)
- 図版123-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C3号地下式坑
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C5号地下式坑
(南東から)
- 図版124-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C7号地下式坑
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 8区C1号土坑(東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 9区C7号土坑(東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 9区C10号土坑(西から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 9区C11号土坑(北から)
- 図版125-1 栗窪・林窪遺跡 9区C11・15号土坑遺物出土
状況(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 9区C15号土坑遺物出土状況
(北西から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 9区C15号土坑(北から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C17～19号土坑
(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C20号土坑
(南西から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C21号土坑
(南東から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C22号土坑
(南東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C23号土坑
(南西から)
- 図版126-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C24号土坑
(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C25号土坑
(南西から)

- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C27号土坑
(南西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C28号土坑
(東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C29号土坑
(北から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C30号土坑
(南西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C31号土坑
(東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C32号土坑
(東から)
- 図版127-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C33号土坑
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C34号土坑
(北西から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C35号土坑
(南東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C36号土坑
(南から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C37号土坑
(南東から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C39号土坑
(南から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C44号土坑
(南東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C45号土坑
(南東から)
- 図版128-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C46号土坑
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C47号土坑
(南から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C48号土坑
(北東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C49号土坑
(北から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C50号土坑
(北西から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C51号土坑
(南東から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C52号土坑
(南東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C54号土坑
(北西から)
- 図版129-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C57号土坑
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C58号土坑
(南東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C59号土坑
(北東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C60号土坑
(南西から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C63号土坑
(南西から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C65・66号土坑
(南西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C67号土坑

- (南東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C71号土坑
(北西から)
- 図版130-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C72号土坑
(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C73号土坑
(北東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C74号土坑
(南東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C76号土坑
(北東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C78号土坑
(北東から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C79号土坑
(南東から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C80号土坑
(南から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C81号土坑
(北西から)
- 図版131-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C83号土坑
(北から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C84号土坑
(南から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C85号土坑
(南東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C86号土坑
(北西から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C87号土坑
(南東から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C87～89・94・95
号土坑(南西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C90号土坑
(北西から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C91・92号土坑
(北東から)
- 図版132-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C93号土坑
(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C96号土坑
(北西から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C100号土坑
(西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C101号土坑
(南東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C105号土坑
(南から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C107号土坑
(南から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C108号土坑
(南西から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C109号土坑
(南東から)
- 図版133-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C110号土坑
(南西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C111号土坑
(南西から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C112号土坑
(南東から)

- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C113号土坑
(西から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C114号土坑
(北から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C115号土坑
(北西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C118号土坑
(東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C119号土坑
(南西から)
- 図版134-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C120号土坑
(北から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C121号土坑
(北から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C122号土坑
(東から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C123号土坑
(北西から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C124号土坑
(北西から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C125号土坑
(北西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C126号土坑
(北西から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C128号土坑
(南から)
- 図版135-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C130号土坑
(東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C132・133号土坑
(北から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C134号土坑
(南から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C135号土坑
(東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C136号土坑
(南から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C137号土坑
(南西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C138号土坑
(北から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C140号土坑
(東から)
- 図版136-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C141号土坑
(北西から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C142号土坑
(北から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C143号土坑
(南から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C144号土坑
(北から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C148号土坑
(北西から)
- 6 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C149号土坑
(北西から)
- 7 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C150号土坑
(南東から)
- 8 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C151号土坑

- (北東から)
- 図版137-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C152号土坑
(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 9区C155・156号土坑
(南から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 9区C157号土坑(南西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 調整池②区C158号土坑
(東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 8区C1号集石(南東から)
- 図版138-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区中世ピット群(1)
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区中世ピット群(2)
(南東から)
- 図版139-1 栗窪・林窪遺跡 8区中世面全景(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区U～Y 7～11グリッド中世面全景(北東から)
- 図版140-1 栗窪・林窪遺跡 8区奈良・平安時代面全景
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 8区H1号土坑(南東から)
- 3 栗窪・林窪遺跡 8区H2号土坑(西から)
- 4 栗窪・林窪遺跡 8区H3・4号土坑
(南東から)
- 5 栗窪・林窪遺跡 8区H5号土坑(南東から)
- 図版141-1 栗窪・林窪遺跡 8区調査終了面全景(南から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 8区調査終了面全景(東から)
- 図版142-1 栗窪・林窪遺跡 9区U～X 15・16グリッド
調査終了面全景(北から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 9区T～U 13～16グリッド
調査終了面全景(北東から)
- 図版143-1 栗窪・林窪遺跡 9区調査終了面全景
(南東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区T～W 8～14グリッド調査終了面全景(南東から)
- 図版144-1 栗窪・林窪遺跡 調整池②区V・W 9～11グリッド調査終了面全景(北東から)
- 2 栗窪・林窪遺跡 調整池②区X・Y 11・12グリッド調査終了面全景(南西から)
- 図版145-1 東富岡・太窪遺跡 1区近世遺構内・外出土
遺物
- 2 東富岡・太窪遺跡 1区中世遺構外出土
遺物(1)
- 図版146-1 東富岡・太窪遺跡 1区中世遺構外出土
遺物(2)
- 2 東富岡・太窪遺跡 1区奈良・平安時代遺構外
出土遺物
- 3 東富岡・太窪遺跡 1区縄文時代遺構外出土
遺物
- 図版147-1 東富岡・太窪遺跡 2区近世遺構内出土遺物
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区近世遺構外出土
遺物(1)
- 図版148-1 東富岡・太窪遺跡 2区近世遺構外出土
遺物(2)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区奈良・平安時代遺構内
出土遺物(1)
- 図版149-1 東富岡・太窪遺跡 2区奈良・平安時代遺構内
出土遺物(2)
- 2 東富岡・太窪遺跡 2区奈良・平安時代遺構外

出土遺物
図版150-1 東富岡・太窪遺跡 2区YH1号遺物集中出土遺物
 -2 東富岡・太窪遺跡 2区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土遺物
図版151-1 東富岡・太窪遺跡 2区縄文時代遺構外出土遺物
 -2 東富岡・太窪遺跡 2区旧石器時代出土遺物
 -3 東富岡・中島遺跡 4・5区近世遺構内・外出土遺物
図版152 東富岡・中島遺跡 4区中世遺構外出土遺物
図版153-1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構内・外出土遺物
 -2 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構外出土遺物(1)
図版154-1 東富岡・中島遺跡 4区縄文時代遺構外出土遺物(2)
 -2 東富岡・中島遺跡 4区旧石器時代遺構出土遺物
 -3 栗窪・林窪遺跡 10区近世遺構内・外出土遺物
図版155 栗窪・林窪遺跡 10区中世遺構内出土遺物(1)
図版156 栗窪・林窪遺跡 10区中世遺構内出土遺物(2)
図版157-1 栗窪・林窪遺跡 10区中世遺構内出土遺物(3)
 -2 栗窪・林窪遺跡 10区中世遺構内出土遺物(1)
図版158-1 栗窪・林窪遺跡 10区中世遺構内出土遺物(2)
 -2 栗窪・林窪遺跡 10区奈良・平安時代遺構内出土遺物
図版159-1 栗窪・林窪遺跡 10区奈良・平安時代遺構内・外出土遺物
 -2 栗窪・林窪遺跡 10区縄文時代遺構外出土遺物
図版160 栗窪・林窪遺跡 13区近世遺構内出土遺物(1)
図版161-1 栗窪・林窪遺跡 13区近世遺構内出土遺物(2)
 -2 栗窪・林窪遺跡 13区近世遺構外出土遺物
図版162 栗窪・林窪遺跡 13区中世遺構内出土遺物(1)
図版163 栗窪・林窪遺跡 13区中世遺構内出土遺物(2)
図版164 栗窪・林窪遺跡 13区中世遺構内出土遺物(3)
図版165-1 栗窪・林窪遺跡 13区中世遺構外出土遺物
 -2 栗窪・林窪遺跡 13区奈良・平安時代遺構外出土遺物
 -3 栗窪・林窪遺跡 13区縄文時代遺構外出土遺物
図版166 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構内出土遺物(1)
図版167 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構内出土遺物(2)
図版168-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構内出土遺物(3)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物(1)
図版169 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物(2)
図版170 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物(3)
図版171-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区近世遺構外出土遺物(4)

-2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(1)
図版172 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(2)
図版173-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(3)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(4)
図版174-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(5)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(6)
図版175 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(7)
図版176-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(8)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(9)
図版177 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(10)
図版178-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(11)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(12)
図版179-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(13)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(14)
図版180 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(15)
図版181 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構内出土遺物(16)
図版182 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(1)
図版183 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(2)
図版184 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(3)
図版185 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(4)
図版186-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(5)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(6)
図版187-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区中世遺構外出土遺物(7)
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区奈良・平安時代遺構外出土遺物
図版188-1 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区弥生時代後期～古墳時代前期遺構外出土遺物
 -2 栗窪・林窪遺跡 8・9・調整池②区縄文時代遺構外出土遺物

第Ⅰ編 遺跡の概要

第1章 調査経緯

第1節 調査に至る経緯

本報告書の調査経緯は、中日本高速道路株式会社が進めている、新東名高速道路（法定路線名：第二東海自動車道横浜名古屋線、以下、新東名と表記）建設事業である。

日本道路公団横浜支社厚木工事事務所（平成17年度から中日本高速道路株式会社横浜支社厚木工事事務所、平成20年度から中日本高速道路株式会社東京支社厚木工事事務所、以下、中日本厚木工事事務所と表記）は、伊勢原市内の新東名建設に関わる事業の実施に向けて、事業予定地域内の埋蔵文化財の有無を平成11年5月25日付けで神奈川県教育委員会（以下、県教委と表記）に照会した。これを受けて神奈川県教育委員会教育部生涯学習文化財課（以下、県生涯学習文化財課と表記。平成22年度から教育局生涯学習部文化遺産課、県文化遺産課と表記）は現地調査を実施し、平成11年7月15日付けで事業予定地内には周知の埋蔵文化財包蔵地以外にも埋蔵文化財が存在する可能性があるため協議が必要と回答した。その後、平成17年度から、中日本厚木工事事務所と県教委の間で、事業予定地内の試掘調査の実施に係る協議が進められ、平成18年1月に中日本厚木工事事務所より事業予定地内の試掘依頼を受けた県生涯学習文化財課は試掘調査を実施した。その結果、西富岡地区において埋蔵文化財が確認され、埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨を回答した。この試掘結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所は、平成19年1月10日付けで県教委に「発掘調査の依頼」をした。県生涯学習文化財課は、財団法人かながわ考古学財団（平成23年4月1日公益財団法人かながわ考古学財団に改称、以下、考古学財団と表記）に平成19年1月15日付けで見積りを依頼し、考古学財団から平成19年1月26日付けで見積りが提出され、内容を精査した後、県教委は平成19年1月30日付けで厚木工事事務所に回答を行った。以上の経緯をへて、平成19年2月20日付けで中日本厚木工事事務所、県教育委員会、考古学財団三者により「第二東名高速道路建設事業に伴う伊勢原市域埋蔵文化財調査に関する協定」が締結された。この協定を受け、中日本厚木工事事務所と財団との間に委託契約が締結され、平成19年4月1日より西富岡地区の調査が行われることとなった。

栗窪地区については、平成21年1月30日付けで中日本厚木工事事務所から県教委に試掘調査が依頼された。県生涯学習文化財課は、平成22年2月1日・2日・22～25日に現東名高速道路の南側に位置する台地北側縁辺部の試掘調査を行い、後の1・2区（東富岡・太窪遺跡）、4・5区（東富岡・中島遺跡）を含む当該事業予定地5箇所で見蔵文化財の存在を確認した。県生涯学習文化財課は、平成22年3月30日付けで中日本厚木工事事務所に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨を回答し、この試掘結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所は、平成22年7月20日付けで県教委に対して、栗窪地区の発掘調査の実施を依頼した。平成22年7月22日付けで県教委は考古学財団に見積り依頼をし、考古学財団は平成22年7月22日付けで見積りの提出を行い、平成22年7月26日付けで県教育長は厚木工事事務所長へ回答を提出した。以上の経緯をへて、平成22年7月30日付けで中日本厚木工事事務所、県教委、考古学財団の三者間で協定が締結（第6回協定変更）され、平成22年10月1日から伊勢原市No.71遺跡における当該事業予定地の発掘調査が開始されることになった。

発掘調査の着手後は、進捗に応じて中日本厚木工事事務所・県文化遺産課・考古学財団の三者で、調査の

第1編 遺跡の概要

行われている他の地区（西富岡地区・東富岡地区・上粕屋地区）と合同で工程会議を実施し、協議を行った。

県文化遺産課による栗窪地区の試掘調査はその後も実施され、平成22年10月・11月には8・10・13・調整池②区、栗窪・林窪遺跡を含む台地南側の谷戸の西半分及び台地北東側縁辺部、平成24年9月には調整池②区、栗窪・林窪遺跡を含む台地南東側縁辺部、平成25年11月には13区、栗窪・林窪遺跡を含む台地西側の裾部において、本格調査が必要な埋蔵文化財が確認された。また、平成24年には設計変更による側道の位置、橋脚の位置等の変更に伴って調査範囲が拡大した。調査区試掘結果や設計変更等による調査箇所追加は、平成23年3月25日付け第7回協定変更（6～12区）、平成24年10月19日付け中高東支厚工第1472号協議書（2区②・3区②・4区②・8区②・10区・11区・12区②・③）、同年12月28日付け中高東支厚工第1850号協議書（11区）、平成25年3月29日付け第8回協定変更（調整池①・調整池②）、平成26年5月23日付け第9回協定変更（6区南東拡張・13区・調整池②の南西側）、同年7月23日付け中高東支厚工第1050号協議書（6区南東農道）により行われた。

平成22年度から開始された栗窪地区の発掘調査は平成28年6月30日をもって終了したが、その後、追加で造成工事が及ぶ可能性がある範囲について、平成28年9月に中日本厚木工事事務所より県文化遺産課に対して試掘調査の依頼がなされた。試掘調査結果の回答を受け、中日本厚木工事事務所では、造成範囲の精査を行った。その結果、1区の南側・2区の南側・3区の北側の3箇所について本格調査が必要と判断された。これらの地区は、平成29年11月13日付け中高東支厚工第1495号協議書により1区南、同年11月28日付け中高東支厚工第1559号協議書により2区南、同年12月27日付け中高東支厚工第1751号協議書により3区北として追加された。さらに、栗窪地区側道工事範囲について着工前の埋文調査範囲の精査を実施したところ、9区の西側に一部未調査範囲が残っていることが判明したことから、栗窪地区追加範囲の調査を実施する方向で調整を開始し、栗窪9区西の調査が追加されることとなった。これらの調査区の追加は令和元年6月21日付け第12回協定変更により行われた。

第2節 調査中の協議

東富岡・太窪遺跡

1区は図上で決めた当初面積は1,192㎡であったが、調査区設定の際調査区南側の斜面に調査区の一部がかかっていることが判明し、斜面崩落の可能性が考えられたため、調査は斜面の法尻までとなり面積が減少した。また、調査区の20mほど東側で実施された試掘調査の結果、遺構が存在していないと予想されていた東端で遺構が発見され、調査区外に続いていることが判明し、100㎡ほど拡張することになるなど面積の変更が生じ最終的に941㎡となった。

1区南は1区の1区の5mほど南東側に位置する。栗窪地区の調査終了後の平成29年11月に造成工事が及ぶ可能性がある範囲について実施された試掘調査により、調査が必要と判断された箇所である。西側に東京電力（以下東電）の秦浜線28鉄塔が隣接していることから事前に東電に確認したところ、露出している基礎から17m離隔を取れば調査可能、17m以内については掘削方法・深度の確認が必要であり、判断までに長期間を要すると回答があった。このため、県文化遺産課・中日本高速道路株式会社と協議し、当面鉄塔基礎から17m外の調査を実施し、調査結果を踏まえて文化遺産課が17m内の調査範囲の要不要を再度確認することとなった。鉄塔から17m以内の範囲については、1月25日に文化遺産課の現地確認を受け調査不要となった。

2区は、当初東側に緩やかに傾斜していると考えていた地形は調査を進めていくうちに中央部分に小谷が存在し、奈良・平安時代以前の土層が厚く堆積していることが明らかとなったため、南北方向に4本のトレンチを設定して包含層掘削を実施することにした。その結果、遺構は認められず、遺物もほとんど出土しなかったことから、掘削方法を人力から機械へ変更し、弥生時代～古墳時代相当面まで掘り下げた。

2区②は、奈良・平安時代の竪穴住居址が調査区の西端にあり、さらに調査区外に延びていた。調査区の20mほど西側は県文化遺産課の試掘調査で2m以上盛土されていることが明らかとなっていたが、遺構が西側へ続いていたことから調査範囲を拡張することとなった。拡張は、一旦住居址の全体が調査できるところまでとし、その後包含層が続いているようなら包含層が途切れるところまで行うことになったが、調査区南西端にある近世以降の段切りによって遺構が切られていることが明らかとなり、拡張はわずかな部分で済んだ。

東富岡・中島遺跡

4区②は最終的に調査面積は376㎡に増加し、調査期間は1ヶ月の延長となった。調査は調査担当者への入れ替わりの関係で2週間の中断期間を挟んで8月末日まで実施した。

栗窪・林窪遺跡

9区は調査面積が当初予定では498㎡であったが、参道側及び民地側をセットバックしたことにより462㎡となった。

9区西は平成24年度に調査を実施した9区の西側に接する部分で、調査面積は当初予定では70㎡であったが、奈良・平安時代の遺構の一部が調査区外まで続いていることが判明し、部分的に拡張したため91㎡となった。

10区は当初の調査面積は229㎡であったが、工事の設計変更と余掘り部分の追加により415㎡となった。また、当初想定していなかった奈良・平安時代の遺構が確認され、1.5ヶ月の調査期間中にすべての調査が行えない状況となったため、期間を延長することとなった。

13区の調査面積は当初計画では380㎡で、調査期間は1.5ヶ月であったが、調査区の西側で近世と中世の遺構が多数発見されたことにより、0.5ヶ月間の期間延長となった。また、試掘調査により埋蔵文化財が確認されなかったため調査不要となっていた調査区南東側に遺構が延びていることが判明し、110㎡ほど拡張することになり調査期間はさらに0.5ヶ月延長された。

池②区は当初の調査面積は1,877㎡であったが、調査を進めていくうちに遺構が調査区外へ展開していることが明らかとなり、北西隅を70㎡、南西側を350㎡拡張することとなった。また、中世の遺構面が2面存在し、多数の遺構が検出されたこともあり調査期間は1.5ヶ月の延長となった。調査期間が延長となったことで中日本厚木工事事務所より本線工事に伴う杭打ち工事の作業エリアとして調査区北西側の先行引渡しが可能か打診された。協議の結果、約800㎡について2月末までに調査を終了させて引渡し、そのほかの部分については3月末まで調査を行うこととなった。

発掘調査に関わる調整及び届出等の文書は、第1表に示した。

第1編 遺跡の概要

第1表 栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡、栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡発掘調査に係る調整及び届出等の文書

文書種類・内容	文書番号	日付	発信者	受信者	備 考
1 埋蔵文化財所在の有無の照会					
照会	東建厚工第401号	平成11年5月25日	事業者の長	県教育長	
回答	生文第110号	平成11年7月15日	県教育長	事業者の長	
照会	中高横支厚工第1559号	平成29年10月12日	事業者の長	県教育長	
回答	生文第889号	平成30年2月19日	県教育長	事業者の長	
2 試掘調査					
依頼	中高東支厚工第111号	平成21年1月30日	事業者の長	県教育長	
調査結果の回答	生文第918号	平成22年3月30日	県教育長	事業者の長	H22. 2. 1・2・22～25実施
調査結果の回答	文遺第688号	平成23年2月24日	県教育長	事業者の長	H22. 10. 19・20、11. 2・12・17実施
調査結果の回答	文遺第472号	平成24年10月18日	県教育長	事業者の長	H24. 9. 18・24・25実施
調査結果の回答	文遺第517号	平成25年11月28日	県教育長	事業者の長	H25. 11. 19実施
調査結果の回答	文遺第207号	平成29年7月5日	県教育長	事業者の長	H29. 6. 2実施
調査結果の回答	文遺第411号	平成29年11月8日	県教育長	事業者の長	H29. 10. 24・25実施
3 発掘調査等の協定					
発掘調査の依頼	中高横支厚工第9号	平成19年1月10日	事業者の長	県教育長	
見積作成の依頼	生文第851号	平成19年1月15日	生文課長	財団理事長	
見積の回答	財考総第78号	平成19年1月26日	財団理事長	生文課長	
調査者の指定、見積の提出	生文第909号	平成19年1月30日	県教育長	事業者の長	
協定の締結(当初)		平成19年2月20日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定 (西富岡地区対象)
発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第1623号	平成22年7月20日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第218号	平成22年7月22日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	財考調第77号	平成22年7月22日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第255号	平成22年7月26日	県教育長	事業者の長	
協定変更(第6回)の締結		平成22年7月30日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第438号	平成23年3月10日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第740号	平成23年3月11日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	財考調第279号	平成23年3月23日	財団理事長	生文課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第785号	平成23年3月25日	県教育長	事業者の長	
協定変更(第7回)の締結		平成23年3月29日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高横支厚工第576号2	平成25年3月28日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第908号	平成25年3月29日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	公財考第227号	平成25年3月29日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第45号	平成25年4月1日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第8回)の締結		平成25年4月1日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第2001号	平成25年12月17日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第589号	平成26年1月14日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	公財考第235号	平成26年3月19日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第124号	平成26年5月8日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第9回)の締結		平成26年5月23日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定

発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第54号	平成27年1月16日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第639号	平成27年1月22日	文遺課長	財団理事長	
変更見積の回答	公財考第232号	平成27年3月23日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第819号	平成27年3月24日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第10回)の締結		平成27年4月27日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第206号	平成28年2月16日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第744号	平成28年2月24日	文遺課長	財団理事長	
発掘見積の回答	公財考第210号	平成28年3月8日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第793号	平成28年3月25日	県教育長	事業者の長	
発掘調査内容変更の依頼 (再協議)	中高東支厚工第1256号	平成28年8月22日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第366号	平成28年9月13日	文遺課長	財団理事長	
発掘見積の回答	公財考第136号	平成28年10月3日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第444号	平成28年10月18日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第11回)の締結		平成28年12月9日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査内容変更の依頼	中高東支厚工第1263号	平成30年12月3日	事業者の長	県教育長	
変更見積作成の依頼	文遺第2526号	平成30年12月10日	文遺課長	財団理事長	
発掘見積の回答	公財考第242号	平成31年3月22日	財団理事長	文遺課長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第3273号	令和元年5月7日	県教育長	事業者の長	
変更協定(第12回)の締結		令和元年6月21日	事業者の長	県教育長 財団理事長	三者協定
発掘調査の依頼(第13回協)	中高東支厚工第370号	令和5年8月16日	事業者の長	県教育長	
発掘見積の依頼	文遺第1871号	令和5年8月21日	文遺課長	財団理事長	
発掘見積の回答	公財考第102号	令和5年10月31日	財団理事長	財団理事長	
調査者の指定、見積の提出	文遺第2463号	令和5年11月27日	県教育長	財団理事長	
変更協定(第13回)の締結		令和6年2月7日	事業者の長	財団理事長	三者協定
4 発掘調査の委託契約					
第1回変更契約締結(平成22年度)		平成22年7月30日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成22年度)		平成23年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成23年度)		平成23年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成23年度)		平成24年3月27日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成24年度)		平成24年3月27日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成24年度)		平成25年3月27日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成25年度)		平成25年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成25年度)		平成25年10月1日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成25年度)		平成26年3月28日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成26年度)		平成26年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成26年度)		平成26年7月16日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成26年度)		平成27年3月30日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成29年度)		平成29年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成29年度)		平成30年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(平成30年度)		平成30年4月1日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(平成30年度)		平成30年12月11日	事業者の長	財団理事長	
第2回変更契約締結(平成30年度)		平成31年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和2年度)		令和2年3月30日	事業者の長	財団理事長	

第3章 調査経過

第1回変更契約締結(令和2年度)		令和3年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和3年度)		令和3年3月29日	事業者の長	財団理事長	
第1回変更契約締結(令和3年度)		令和4年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和4年度当初)		令和4年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第1回変更)		令和5年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第2回変更)		令和5年4月24日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和5年度当初)		令和5年3月31日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(第1回変更)		令和6年3月29日	事業者の長	財団理事長	
契約締結(令和6年度当初)		令和5年3月29日	事業者の長	財団理事長	
5 文化財保護法第94条に基づく土木工事等の通知					
通知	中高東支厚工第1038号	平成25年6月25日	事業者の長	県教育長	伊勢原市経由
通知に対する勧告	文遺第61047号	平成25年7月3日	県教育長	事業者の長	伊勢原市経由
6 文化財保護法第92条に基づく発掘調査の届出					
届出(平成22年度)	財考調第97号	平成22年8月30日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50053号	平成22年9月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	財考調第400号	平成23年3月31日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積の変更)
届出(平成23年度)	財考調第281号	平成23年3月23日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50005号	平成23年6月7日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第226号	平成24年3月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積の変更)
届出(平成24年度)	公財考第227号	平成24年3月21日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50125号	平成24年3月30日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第217号	平成25年3月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積の変更)
届出内容変更の報告	公財考第32号	平成25年5月8日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (担当者の変更)
届出(平成25年度)	公財考第155号	平成25年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50116号	平成25年3月14日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第271号	平成26年3月31日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・担当者の変更)
届出(平成26年度)	公財考第212号	平成26年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50114号	平成26年3月12日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第128号	平成26年9月19日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・担当者・期間の変更)
届出(平成28年度)	公財考第199号	平成28年2月29日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50107号	平成28年3月10日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第32号	平成28年7月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (期間の変更)
届出内容変更の報告	公財考第74号	平成28年7月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・名称・期間の変更)
届出(平成29年度)	公財考第171号	平成29年11月16日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50061号	平成29年12月1日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第200号	平成30年1月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・名称・担当者・期間の変更)
届出内容変更の報告	公財考第307号	平成30年3月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・期間の変更)
届出(平成30年度)	公財考第236号	平成30年2月28日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
届出に対する指示	文遺第50105号	平成30年3月16日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第31号	平成30年5月15日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積・担当者・期間の変更)
届出(令和元年度)	公財考第90号	令和元年8月30日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由

届出に対する指示	文遺第50048号	令和元年9月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
届出内容変更の報告	公財考第149号	令和元年11月29日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由 (面積の変更)
7 出土品の手続き					
埋蔵物発見届（平成22年度）		平成23年4月4日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第3号	平成23年4月4日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成23年4月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成23年度）		平成24年4月2日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第2号	平成24年4月2日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成24年4月18日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成24年度）		平成25年4月1日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第219号	平成25年4月1日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成25年5月27日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成25年度）		平成26年4月1日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第5号	平成26年4月1日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成26年4月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成26年度）		平成26年9月19日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第129号	平成26年9月19日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成26年10月27日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成28年度）		平成28年6月21日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第63号	平成28年6月21日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成28年7月26日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成29年度）		平成30年4月4日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第14号	平成30年4月4日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成30年5月17日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（平成30年度）		平成30年5月18日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第32号	平成30年5月16日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		平成30年6月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由
埋蔵物発見届（令和元年度）		令和元年11月5日	財団理事長	伊勢原警察署長	
出土文化財保管証の提出	公財考第137号	令和元年11月5日	財団理事長	県教育長	伊勢原市経由
文化財認定と県帰属の通知		令和元年11月21日	県教育長	財団理事長	伊勢原市経由

*名称・職名の略記

- ・事業者の長: 日本道路公団東京建設局厚木工事事務所長（～H17年9月30日）
中日本高速道路横浜支社厚木工事事務所長（H17年10月1日～H20年7月27日）
中日本高速道路東京支社厚木工事事務所長（H20年7月28日～）
- ・財団理事長: 財団法人かながわ考古学財団理事長（～H23年3月）
公益財団法人かながわ考古学財団理事長（H23年4月～）
- ・県教育長: 神奈川県教育委員会教育長
- ・生文課長: 神奈川県教育委員会教育局生涯学習文化財課長（～H21年3月）
- ・文遺課長: 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課長（H22年4月～）

第2章 遺跡概観

第1節 遺跡周辺の地形と地理的環境

本報告に掲載する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡は、伊勢原市東富岡地先及び栗窪地先に所在する。遺跡の所在する伊勢原市は、神奈川県のおぼ中央部に位置する人口約101,000人、面積は約55.56km²の地方都市で、北側から東側を厚木市、西側を秦野市、南側を平塚市と接している。

伊勢原市を地形的に概観すると、極めて変化に富んだ様相を窺い知ることができる。市北西端には、丹沢山地の東端に位置する大山（海拔高度1,251.7m）とその南東麓に展開する山地・丘陵が広がっており、急峻な地形を形成している。山地・丘陵部の東側から南東側は市域の中央部にあたる一帯で、大山に源を発する金目川水系鈴川、渋田川、歌川、玉川（河川改修により現在は相模川水系）が南または東へ向かって流れており、これら金目川水系の各河川に浸食された標高25～90mの丘陵・台地（愛甲台地・高森丘陵・富岡丘陵・伊勢原台地・鶴巻台地）が連なっている。この地域は、河川の埋積作用による扇状地地形が発達している地域でもあり、日向川や鈴川・渋田川流域では扇状地性の台地（日向台地・上粕屋台地）と谷底平野が絡み合う複雑な様相をみせている。市南東域は「相模川低地」と呼ばれる沖積低地の一角を占めており、いわゆる相模平野の北西域にあたっている。県央部を北から南に流れ相模湾に注ぐ相模川に沿うように帯状の自然堤防が発達しており、市中央域に座す丘陵・台地との間には相模川の右岸に展開する海拔高度約8mの沖積低地が広がっている。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の所在する伊勢原市栗窪地区は、地形区分的には伊勢原台地の北縁の東から富岡丘陵・高森丘陵の南縁付近に位置している。丘陵部の標高は36m前後で、東に細長く延びる三角形の独立丘状を呈している。

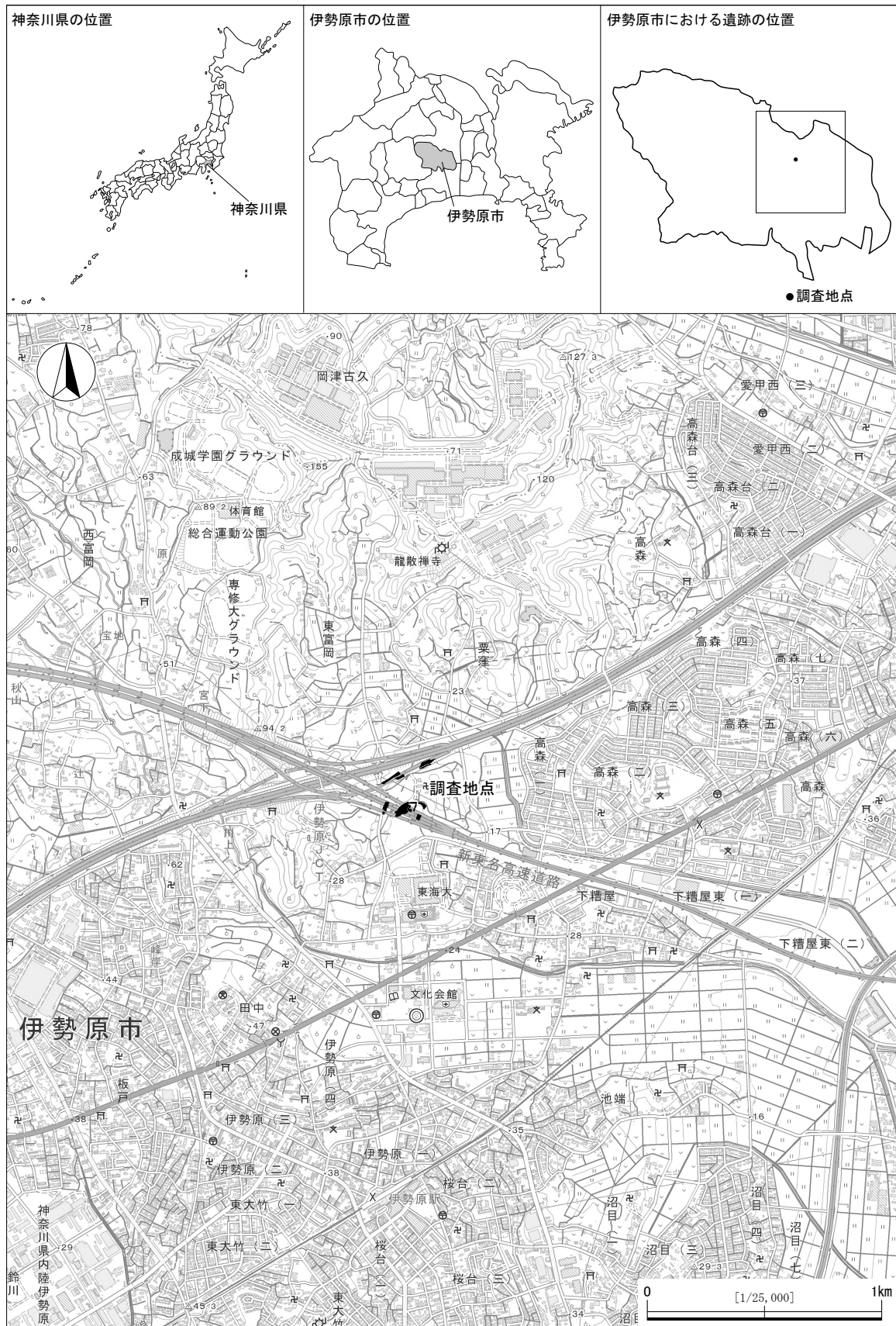
第2節 周辺の遺跡と歴史的環境

地形の変化に富む伊勢原市域には、旧石器時代から近世にいたるまでの多数の遺跡が存在するが、特に、大山山麓から派生した丘陵上とその南東域に展開する扇状地性の台地上に多くの遺跡が分布している。今回報告する東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡とともに、伊勢原市No.71遺跡として神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳に登録された範囲内に位置している。

本節では、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡及び新東名高速道路建設事業に先立って実施されたその他遺跡の調査成果を中心に、周辺の遺跡について時代ごとに概観していきたい。なお、第3図に掲載した遺跡には神奈川県埋蔵文化財包蔵地台帳に登録された遺跡番号を付しているため、一覧表や挿図中に示す番号が連番とはならないことをお断りしておく（第2図・第3表）。

旧石器時代

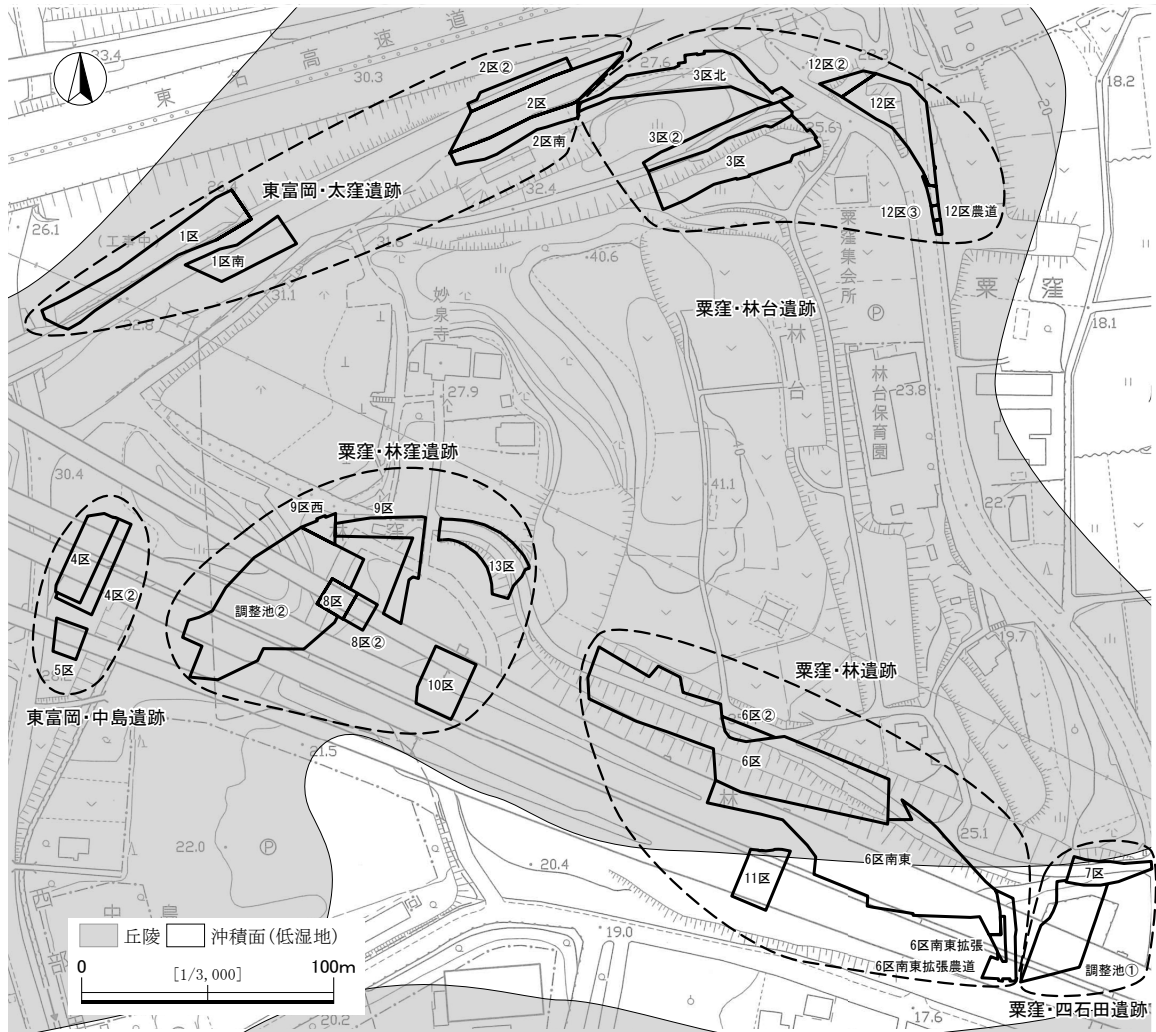
旧石器時代の遺跡は、西富岡・長竹遺跡(14)、上粕屋・石倉中遺跡第2地点(40)、上粕屋・秋山上遺跡第2次調査(74)、咳止橋遺跡(128)、上粕屋・三本松遺跡(128)、上粕屋・川上遺跡(160)、西富岡・向畑遺跡(160)など、渋田川流域に展開する上粕屋扇状地とその周辺に立地する遺跡が知られているが、近年実



第1図 遺跡位置図[1/25,000] (国土地理院電子版 令和6年「伊勢原」「厚木」令和6年5月28日現在を一部改変)



第2図 周辺の遺跡[1/25,000] (国土地理院電子版 令和6年「伊勢原」「厚木」令和6年5月27日現在)



第3図 遺跡周辺の地形と調査地点の位置図[1/3,000] (岡他1974・松島1995を一部改変(注1))

施された新東名高速道路建設事業に伴う子易地区の調査において、市城北西部の鈴川右岸丘陵上に立地する子易・中川原遺跡(123)で当該期の礫群や遺物集中が発見されており、遺跡分布におけるあらたな知見が得られている。

東名高速道路拡幅工事に伴って実施された三ノ宮・下谷戸遺跡の調査では、L1S～B0層相当層にかけて多量の細石刃や細石核が出土している。西富岡・長竹遺跡の調査では、縄文時代草創期を含め、漸移層からB4層相当層にかけて6時期の文化層が検出される、特筆すべき成果があがっている。特に、B4層相当層からの石器出土は、市内で最古段階のものと思われる。上粕屋・秋山上遺跡第2次調査では、B1層相当層中から石器群とともに配石炉が発見されている。新東名高速道路建設事業に伴う上粕屋・子易遺跡の調査では、L1H層相当層下部から槍先形尖頭器群が、B1層相当層上部から終末期のナイフ形石器群が出土している。同じく、新東名高速道路建設事業に伴う子易・中川原遺跡の調査では、L2層相当層上部で礫群が検出され、L1H相当層下部～B1層相当層上部から終末期のナイフ形石器群が出土している。前述のように、こちらは鈴川右岸側に立地する遺跡における希少な発見事例となっている。上粕屋・石倉中遺跡第2地点、上粕屋・三本松遺跡、上粕屋・川上遺跡では細石刃が出土している。新東名高速道路建設事業に伴う西富岡・向畑遺跡の調査では、L1H層相当層～B2層相当層にかけての複数の層位から石器群や炭化材・炭化物集中等が確認されている。

縄文時代

伊勢原市域における縄文時代に帰属する遺跡の数は、早期前葉から末葉にかけて漸増するものの、前期初頭から中葉になると激減する。前期後葉から中期初頭にかけて増減を繰り返しながら、中期中葉勝坂式期に至り飛躍的な増加が認められ、以後、後期前葉まで極めて高い水準で推移する。後期中葉加曽利B式期以降、急激な遺跡数の減少に転じ、後期終末から晩期においては明確な集落がほとんど確認できなくなるという傾向が看取される。

該期の主だった遺跡として、八幡台遺跡(1)〔後期〕、東大竹・山王塚遺跡(1)〔中・後期〕、神成松遺跡(74)〔中期〕岡崎・天神下遺跡(77)〔中・後期〕、岡崎・御岳遺跡(77)〔中・後期〕、上粕屋・川上遺跡(160)〔草・早・中・後期〕、西富岡・向畑遺跡(160)〔中・後期〕、池端・椿山遺跡(170)〔中・後期〕、沼目・坂戸遺跡(170)〔草創・中・後期〕、高森・白金山遺跡(233)〔早期〕などがある。

早期の遺跡は、高森・白金山遺跡で燃糸文期終末頃の住居址が確認されている。前期の遺跡は、後葉に帰属する住居址群が発見された坪ノ内・宮ノ前遺跡が代表的な事例である。中期の遺跡は、丹沢山地を除く市域全域に分布しており、大規模な集落遺跡も確認されるようになる。五領ヶ台式期終末～勝坂式期初頭に帰属する住居址が確認された田中・万代遺跡をはじめ、神成松遺跡、岡崎・御岳遺跡、御伊勢森遺跡、子易・中川原遺跡、西富岡・向畑遺跡、池端・椿山遺跡などが代表的な中期の集落遺跡として捉えられる。後期の遺跡は調査事例が多く、これまでも豊富な遺構・遺物の発見が報告されている。三ノ宮・下谷戸遺跡、三ノ宮・宮ノ前遺跡、三ノ宮・前畑遺跡の所在する三ノ宮地区では、東名高速道路拡幅事業に伴う調査において、多数の敷石住居址や配石遺構で構成される集落が発見されている。近年、新東名高速道路建設事業に伴い、上粕屋・秋山遺跡(74)、上粕屋・秋山上遺跡(74)、西富岡・向畑遺跡などにおいて大規模な調査が実施され、敷石住居址や配石墓、立石・列石・還礫方形配石遺構など、礫を用いた施設を伴う多種多様な該期遺構の発見事例が相次いでいる。西富岡・向畑遺跡では、埋没谷の谷底から中期～後期の水場遺構が発見され、埋没谷を取り巻くように展開する中期～後期の集落の様相が明らかになった。晩期頃に発生した地滑りによって埋没した当時の森林の痕跡も発見され、大きな話題となった。

弥生時代

前期から中期初頭の主な遺跡として神成松遺跡第2地点(74)、神成松遺跡第5地点(74)、子易・大坪遺跡、子易・中川原遺跡、上粕屋・香々久保遺跡(138)がある。神成松遺跡第2地点では弥生時代前期中屋敷式段階に比定される土器が出土し、近隣の第5地点からは前期後半から中期初頭頃の条痕文土器が出土している。子易・中川原遺跡では条痕文土器を伴出する円形土坑が複数確認されている。上粕屋・香々久保遺跡では中期初頭の条痕文土器と土坑群が確認されている。

中期の遺跡としては、串橋・宮ノ根遺跡(23)、田中・万代遺跡、石田・源太夫遺跡(235)、石田・細谷遺跡(235)などが挙げられる。田中・万代遺跡では須和田式土器や宮ノ台式土器が出土しており、串橋・宮ノ根遺跡では環濠が確認されている。愛甲台地に立地する高森・宮ノ腰遺跡(234)では、中期後葉の環濠と住居址が確認されている。

後期になると、環濠を含め、集落・墓域などが確認され遺構数が増加する。高森・宮ノ腰遺跡(234)、石田・細谷遺跡等、愛甲台地を中心に展開する環濠集落の存在が明らかになっており、成瀬第二地区遺跡群においては、弥生時代後期～古墳時代前期の住居址や掘立柱建物跡、方形周溝墓が確認され、墓域と居住

域がセットで確認されている。

古墳時代

古墳時代の集落は、弥生時代後期から続くものが多い。神成松遺跡第2地点、田中・聖原遺跡(128)、田中・万代遺跡、田中・酒林遺跡(128)、咳止橋遺跡(128)、上粕屋・三本松遺跡(128)、東富岡・北三間遺跡(160)などが代表的な遺跡としてあげられる。神成松遺跡第2地点では古墳時代初頭から前期の住居址が確認されており、Y6号竪穴住居址から木質が残存している鉄鑿が出土している。田中・万代遺跡では旧河道が確認され、そこから大量に投棄された中期の土器が出土した。田中・聖原遺跡では後期の住居址が多数確認されており、住居址と掘立柱建物とで構成された集落が形成されていたようである。

伊勢原市内は県下でも多くの古墳や横穴墓が築造された地域である。三ノ宮・下谷戸遺跡では昭和39年の東名高速道路建設に伴い三ノ宮3号墳が調査され、横穴式石室より金銅製責金具、雲珠、轡、鉄鉾、刀子、鉄鏃、玉類、須恵器が出土している。また、平成4～7年の東名高速道路拡幅工事に伴う調査では、6世紀前半の古墳7基と7世紀後半の小石室7基が発見されている。近年、上粕屋扇状地の最奥部にあたる子易地区において、新東名高速道路建設事業に伴い鈴川左岸側に立地する上粕屋・子易遺跡(39)の調査が実施され、終末期の群集墳や小石室などが発見された。一方、対岸にあたる右岸側の子易・中川原遺跡では、首長墓と目される二重の墳丘内列石を伴う方墳が発見されるなど、注目を集めている。

奈良・平安時代

該期の相模国は8郡に分けられ、伊勢原市域は大住郡に含まれる。大住郡は16郷に分けられ、伊勢原市域には日田・大服・櫛崎・駅家・渭辺・石田の6郷が該当する。古代の集落は、伊勢原台地を中心に展開しており、主だった遺跡は、沼目・天王原遺跡(16)、沼目・清水谷遺跡(16)、沼目・吹上遺跡(16)、沼目・諏訪面遺跡(16)、池端地区遺跡群(16)などがあげられる。これらは古代「渭辺郷」に比定される地域に位置していると考えられ、7世紀後半から10世紀に営まれた集落として捉えられる。沼目・諏訪面遺跡からは豊富な鉄製品、分銅や錠、「銜」や丸軛、墨書土器、刻書土器などが確認されている。分銅の発見は大住郡内でも2例目となり、県内をみても出土事例は稀少である。沼目・天王原遺跡等では錠と推定される鉄製品が、池端遺跡群からは鉈尾などの石製品が出土している。台地を中心に展開する該期集落は、8世紀代になると低地でも確認されるようになる。田中・酒林遺跡は古墳時代後期から古代にかけての竪穴住居址が多く発見され、2基の鍛冶炉も確認されている。同様の事例は、板戸・宮ノ前遺跡(124)でも確認されており、大住郡北部にも生産址が存在することが明確となった。

近年、新東名高速道路建設事業に伴い、西富岡から上粕屋地区にかけて大規模な調査が実施され、大きな成果があがっている。西富岡・向畑遺跡(160)では、7世紀後半～8世紀初頭、8世紀代、9世紀代に帰属する数多くの住居址が調査され、7世紀後半～9世紀にかけて継続的に集落が営まれていたことが明らかになった。これらの住居址の1軒から銅製帯金具10点がまとまった状態で出土している。上粕屋・一ノ郷上遺跡では、古墳時代後期から奈良・平安時代の住居址が21軒発見され、このうち1軒の住居址から銅製帯金具の鉈尾1点が出土している。また別の住居址の掘り方から皇朝十二銭の長年大寶が出土している。

中 世

当該期の遺跡は、上粕屋・子易遺跡、上粕屋・ヰ引北遺跡(40)、糟屋館跡(74)、東富岡・北三間遺跡(160)などがある。

東富岡・北三間遺跡では、堅穴状遺構、掘立柱建物、地下式坑、井戸跡等が検出され、青磁・白磁などの舶載磁器や瀬戸窯・渥美窯・常滑窯等の搬入陶器が出土している。上粕屋・ヰ引北遺跡、上粕屋・ヰ引西遺跡(40)、上粕屋・ヰ引東遺跡(40)、上粕屋・ヰ引南遺跡(40)、大句・石倉線内遺跡(40)等でも同様の遺構や遺物が確認されており、東富岡からヰ引までの広い地域で中世から近世にかけての集落が存在していたことが判明している。上粕屋・ヰ引北遺跡からは、14世紀中頃の堀、門跡が確認され、一辺50m以上の規模をもつ館の一部であると報告されている。上粕屋・小山遺跡からはクランク状の溝状遺構が検出され、扇谷上杉氏か後北条氏に関わる防御施設として報告されている。

近年、新東名高速道路建設事業や厚木秦野道路建設事業に伴い、上粕屋地区から子易地区にわたる広い区域の調査が実施され、中世、特に、鎌倉時代に帰属する多種多様な遺構が発見され、大いに注目を集めている。城館跡としては糟屋館跡(74)があげられる。糟屋館跡は、上粕屋御伊勢ノ森にあり、扇谷上杉定正の本拠である「上杉館」とされていたが、昭和51年の調査では伝承を裏付ける遺構は確認されなかった。近接した神成松遺跡で調査が行われているが、居館に関する遺構は確認できていない。

近 世

近世の伊勢原は、信仰の地としての性格を持つ。徳川幕府は、大山寺に対し、改革や再興の資金を投じている。また、春日局が参詣するなど重要な寺として扱われている。江戸中期になると庶民の間で大山詣りが流行し、関東各地に大山道が走り、伊勢原は門前町として発展した。

この時代の周辺の主な遺跡として、上粕屋・ヰ引東遺跡、上粕屋・ヰ引南遺跡、上粕屋・ヰ引北遺跡、上粕屋・石倉中遺跡(40)などがある。上粕屋・ヰ引東、上粕屋・ヰ引南遺跡、上粕屋・ヰ引北遺跡は、田村道・大山道沿いに広がる集落跡と想定されている。地下式坑や堅穴状遺構、井戸などが検出され、18～19世紀代の遺物が集中している。大山道の遺構も随所で確認されている。上粕屋・石倉中遺跡では、道状遺構が発見され、近世の大山道に関連するものと考えられている。

(注1) 第3図は〔岡重文他1979「藤沢地域の地質」通省産業省工業技術院 地質調査所〕を参考に、現況で残存する登載台地残存部等を勘案して作成。

第2表 周辺の遺跡

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文 献
伊勢原1	八幡台・宮ノ前遺跡	台地	伊勢原市八幡台	集落跡	縄文	1～3・11・13・15・17・ 36・41～43・45・48・50・ 52・60・61・71・72・78・ 99・103・105～108・ 110・115・118・129・131
	伊勢原市No. 1 遺跡		伊勢原市八幡台、東大竹	集落跡、散布地	旧石器～近世	
	東大竹・稲荷久保遺跡		伊勢原市東大竹字稲荷久保	散布地	縄文、古墳、奈良～近世	
	東大竹・山王塚遺跡		伊勢原市東大竹字山王塚	集落跡、散布地	旧石器、縄文、奈良、中世	
	東大竹・下谷戸遺跡		伊勢原市東大竹字下谷戸	集落跡、散布地	縄文、古墳～近世	
	八幡台遺跡		伊勢原市東大竹字山王塚外	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、中世、近世	
	東大竹・八幡谷戸遺跡		伊勢原市東大竹字八幡谷戸	集落跡、散布地	縄文、古墳	
	岡崎・布袋久保遺跡		伊勢原市岡崎字布袋久保	集落跡、散布地	縄文、奈良	
伊勢原2	三ノ宮・宮ノ前遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字宮ノ前	集落跡、祭祀遺跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	32・35・36・41・45・61・ 82・94・97・128・145・ 161
	三ノ宮・前畑遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字前畑	集落跡、祭祀遺跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
	三ノ宮・宮上遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字宮上	集落跡、祭祀遺跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
伊勢原3	登尾山古墳	山地	伊勢原市坪の内字権現山	古墳	古墳	4・6・13・70
伊勢原5	尾根山古墳群	山地	伊勢原市三ノ宮尾根山、下尾根山	古墳 散布地	縄文、弥生、古墳、近世	7・13

第2節 周辺の遺跡と歴史的環境

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文献
伊勢原9	伊勢原市No. 9遺跡	丘陵	伊勢原市榎戸	集落跡、散布地	縄文、奈良、中世	
伊勢原10	沢山遺跡	—	伊勢原市三ノ宮沢山	散布地	縄文	
伊勢原11	木津根遺跡	丘陵	伊勢原市三ノ宮字木津根	散布地、古墳	縄文、古墳	59
伊勢原12	北高森遺跡	丘陵	伊勢原市高森字北高森	古墳	古墳	199・200
伊勢原13	御所谷戸遺跡	—	伊勢原市三ノ宮	散布地、祭祀遺跡	縄文	
伊勢原14	西富岡・長竹遺跡	台地	伊勢原市西富岡	集落跡・散布地	旧石器、縄文、弥生～古墳、奈良、平安、中世、近世	43・45・47～49・159・162・171・172・178・
	伊勢原市No. 14遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡	散布地	縄文、古墳、奈良、平安、近世	179・185・186・189・190
伊勢原15	日向・渋田遺跡	台地	伊勢原市日向字渋田	古墳・火葬墓	古墳、中世	
	日向・西新田原遺跡	台地	伊勢原市日向字西新田原	古墳・散布地	縄文、古墳後、近世	13・32・35・46・52・88・
	日向・洗水遺跡	台地	伊勢原市日向字洗水	古墳	古墳	113・170・171
伊勢原16	池端・寺久保遺跡	丘陵	伊勢原市伊勢原一丁目	散布地	縄文、奈良、中世	
	池端・久保遺跡		伊勢原市池端字久保	集落跡、墓跡	縄文、古墳、奈良～近世	
	池端・駒形東遺跡		伊勢原市池端字駒形	集落跡	奈良	
	沼目・清水谷遺跡		伊勢原市沼目二丁目	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世	30・41～43・45・48・63・
	沼目・天王原遺跡		伊勢原市沼目二丁目外	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	67・72・99・118・123・
	沼目・吹上遺跡群		伊勢原市沼目一丁目	散布地	縄文、古墳、中世	171
	沼目・諏訪面遺跡		伊勢原市沼目二丁目	集落跡	奈良、中世	
	池端地区遺跡群		伊勢原市池端	集落跡、散布地	縄文、奈良～近世	
伊勢原17	伊勢原市No. 16遺跡		伊勢原市池端、沼目	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
伊勢原17	サンセ塚周辺遺跡	—	伊勢原市日向	散布地	縄文	
伊勢原19	伊勢原市No. 19遺跡	丘陵	伊勢原市栗窪入脇、東富岡下刀窪	散布地	古墳、奈良、近世	
伊勢原23	比々多第二地区遺跡群	丘陵	伊勢原市坪ノ内、串橋	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	坪ノ内・榎戸遺跡	丘陵	伊勢原市坪ノ内字宮ノ前	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安	
	坪ノ内・宮ノ前遺跡	丘陵	伊勢原市坪ノ内字宮ノ前	集落跡、散布地	縄文、奈良、平安、近世	23・25・28・39・41・43・
	串橋・宮ノ根遺跡	丘陵	伊勢原市串橋字宮ノ根・後原	集落跡、環濠、その他の墓、散布地	縄文、弥生中、古墳、奈良、平安、中世、近世	45・46・48・52・55・59・
	雷電神社境内遺跡	丘陵	伊勢原市串橋字宮ノ根	集落跡、散布地	縄文、弥生、奈良、平安	61～63・72・77・85・97・
	伊勢原市No.23遺跡	丘陵	伊勢原市串橋、神戸、坪ノ内	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良～近世	99・107・110
	神戸・上宿遺跡	丘陵	伊勢原市神戸字両毛	集落跡、散布地	旧石器、縄文前・中、古墳、平安、中世、近世	
伊勢原24	山王塚古墳	台地	伊勢原市東大竹	古墳	古墳	
伊勢原25	大塚古墳	台地	伊勢原市三ノ宮字木津根	古墳	古墳	
伊勢原26	木津根横穴墓群	台地	伊勢原市三ノ宮字木津根	横穴墓	古墳	
伊勢原27	市ノ坪古墳	丘陵	伊勢原市白根字市ノ坪	古墳	古墳	
伊勢原28	大人塚古墳	平地	伊勢原市池端字塚越	古墳	古墳	
伊勢原29	銭撒塚古墳	平地	伊勢原市伊勢原四丁目	古墳	古墳	
伊勢原30	伊勢原大神宮境内遺跡	台地	伊勢原市伊勢原三丁目	古墳、散布地	弥生、古墳～近世	
	神明社古墳遺跡	台地	伊勢原市伊勢原神明社境内	古墳	古墳	48
伊勢原32	木津根古墳	台地	伊勢原市木津根	古墳	古墳	
伊勢原33	伊勢原市No. 33遺跡	丘陵	伊勢原市白根字執柄戸	集落跡	—	
伊勢原34	伊勢原市No. 34遺跡	台地	伊勢原市東大竹八幡谷戸	古墳	古墳	
伊勢原35	伊勢原市No. 35遺跡	台地	伊勢原市東大竹八幡谷戸	古墳	古墳	
伊勢原36	神明前古墳	台地	伊勢原市白根	古墳	古墳	
伊勢原37	道場古墳	台地	伊勢原市白根字道場	古墳	古墳	
伊勢原38	神明境内古墳	—	伊勢原市白根	古墳	古墳	
伊勢原39	子易古墳群遺跡	斜面上	伊勢原市上粕屋字子易	古墳群 散布地	古墳、平安	137・142・151・154・
	上粕屋・子易遺跡	台地	伊勢原市上粕屋	集落跡、古墳、散布地	旧石器、縄文、古墳、平安、中世、近世	171・176・177・179・
伊勢原40	三ノ宮・下御領原遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字中初川	集落跡、墓跡	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	三ノ宮・下原田遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字下原田	散布地	平安、中世、近世	
	上粕屋・ヱ引東遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字東ヱ引	集落跡、散布地	中世、近世	
	上粕屋・ヱ引西遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字西ヱ引	集落跡、散布地	縄文、奈良～近世	19・22・24・29・32・33・
	上粕屋・ヱ引南遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字南ヱ引	集落跡、散布地	中世、近世	41・43・4852・54・69～
	上粕屋・ヱ引北遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字北ヱ引	集落跡、館跡、散布地	縄文、奈良、平安、中世、近世	63・74・76・131・136・
	上粕屋・石倉中遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字1454-9外	集落跡・散布地	旧石器、縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	151・152・154・158・
	上粕屋・石倉下遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字石倉下	散布地	縄文、奈良、平安、中世、近世	159・163・165・171・
	県道大句石倉線内遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字西ヱ引	集落跡、散布地	縄文、平安～近世	172・174～176・179・
	白根・執柄戸遺跡	台地	伊勢原市白根字執柄戸	散布地	縄文、中世、近世	181・185・186・188・
	白根・下原遺跡	台地	伊勢原市白根字下原	集落跡	縄文、古墳、奈良、平安、中世	189・192・193
	白根・中屋敷遺跡	台地	伊勢原市白根字中屋敷	集落跡	古墳、奈良、平安	
	伊勢原市No. 40遺跡	台地	伊勢原市白根、上粕屋、三ノ宮	散布地	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	上粕屋・鳥居崎遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字鳥居崎	散布地	奈良、平安	
伊勢原42	山王原古墳群	台地	伊勢原市上粕屋山王原	古墳	古墳	
伊勢原44	野首古墳群	台地	伊勢原市三ノ宮字野首	古墳	古墳	
伊勢原47	三ノ宮古墳群	丘陵	伊勢原市三ノ宮字原田	古墳	古墳	

第2章 遺跡概観

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文献
伊勢原54	小金塚古墳	平地	伊勢原市高森字小金塚	古墳、散布地	縄文早・前・中、古墳、平安	201・202・203
伊勢原62	串橋・登り道古墳	台地	伊勢原市串橋	古墳	古墳	
伊勢原64	鑑塚古墳群	台地	伊勢原市西富岡字鑑塚	古墳群	古墳	36・40
伊勢原65	北実時原遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡原	古墳	古墳	
伊勢原66	さんせ塚古墳	一	伊勢原市日向字東新田原	古墳	古墳	8・13
伊勢原67	伊勢原市No. 67遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字仲伯母様	古墳群、散布地	古墳	
伊勢原68	白金塚古墳	平地	伊勢原市高森字前高森、字白金塚	古墳	古墳	204
伊勢原69	高森古墳	平地	伊勢原市高森台	古墳	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
伊勢原70	川上横穴墓群	山腹	伊勢原市上粕屋字川上他	横穴墓群	古墳	13
伊勢原71	弥杉・土ノ台遺跡	台地	伊勢原市下粕屋	集落跡、散布地	縄文、弥生、奈良、中世、近世	14・28・32・37・41・52・56・61・6367・72・88・90・92・93・95・97・99・113・117・118・120～125・127・128・131・137・142・144・145・149・151・154・159・165・177・179・185・188・189・192～194・204～207
	上ノ台遺跡		伊勢原市下粕屋	集落跡、城館	旧石器、平安、中世、近世	
	下糟屋・上町並遺跡		伊勢原市下粕屋字上町並	集落跡、城館、墓跡	旧石器、縄文、古墳、中世、近世	
	下糟屋・栗窪遺跡		伊勢原市下粕屋字栗窪	散布地	縄文	
	下糟屋・丸山遺跡		伊勢原市下粕屋字丸山	城郭、散布地	縄文、中世	
	成瀬第二地区遺跡群		伊勢原市下粕屋、高森	集落跡、城郭	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、中世、近世	188・189・192～194・204～207
	下糟屋・下町並遺跡		伊勢原市下粕屋	集落跡、散布地	縄文、古墳	
	栗窪・林遺跡		伊勢原市栗窪	集落跡、散布地	旧石器、縄文、古墳、中世、近世	
	栗窪・林台遺跡		伊勢原市栗窪	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、中世、近世	
	栗窪・四石田遺跡		伊勢原市栗窪	散布地	縄文、奈良、中世、近世	
東富岡・太窪遺跡 東富岡・中島遺跡 栗窪・林窪遺跡			伊勢原市東富岡、栗窪	集落跡、散布地	旧石器、縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	本報告
伊勢原72	岡崎城跡	丘陵	伊勢原市上下入山背、岡崎他	城館跡、散布地	縄文、古墳、中世、近世	52・57・110・113
伊勢原73	伊勢原市No. 73遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡宝池、八幡谷戸	散布地	縄文	18
伊勢原74	糟屋館跡	台地	伊勢原市上粕屋	館跡	中世	12・43・52・53・94・131・133・136・137・142・144～146・148・153～156・159・160・165・169・171・172・176・177・179・185・188・189・192～196・198
	御伊勢ノ森遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字御伊勢ノ森			
	上粕屋・黒岩遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字黒岩			
	神成松遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字神成松	集落跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	上粕屋・秋山上遺跡	台地	伊勢原市上粕屋秋山	集落跡、散布地	縄文、古墳後～平安、中世、近世以降	
	上粕屋・秋山遺跡	台地	伊勢原市上粕屋秋山	館跡	中世	
伊勢原77	伊勢原市No. 77遺跡	台地	伊勢原市東大竹、岡崎	集落跡	旧石器～近世	28・41・45・63・67・72・99・103・110
	粕上原遺跡		伊勢原市東大竹字粕上原	集落跡、墓跡、散布地	縄文、奈良、中世	
	岡崎・天神下遺跡		伊勢原市岡崎字天神下	集落跡	旧石器～近世	
伊勢原79	浄業寺跡	丘陵	伊勢原市三ノ宮字竹ノ内	寺院	中世、近世	143・145・168・171
伊勢原80	伊勢原中学校遺跡	台地	伊勢原市桜台四丁目	集落跡、散布地	奈良	26・45・48・60・63・67・76・79・82・86・96・99・100・103・107・114・119・123・171・189・195
	土塚下原線遺跡		伊勢原市桜台一丁目	集落跡、散布地	中世、近世	
	桜台一丁目遺跡		伊勢原市桜台一丁目	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
	沼目・原之宿遺跡		伊勢原市桜台三丁目	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
	東大竹・下原遺跡		伊勢原市桜台一丁目	集落跡、散布地	縄文、中世、近世	
伊勢原81	伊勢原市No. 81遺跡	平地	伊勢原市高森台一丁目75-62外	集落跡	平安	205
		平地	伊勢原市高森台一丁目75-62外	集落跡	平安、縄文	
		平地	伊勢原市桜台一丁目511-1、15-32、2-12	散布地	縄文、歴史	
伊勢原83	伊勢原市No.83	平地	伊勢原市高森1-2365-1他、2-2-15他	城館址、集落跡	旧石器、縄文、奈良、平安、中世	
伊勢原84	伊勢原市No. 84遺跡	丘陵	伊勢原市三ノ宮字中谷	散布地	古代	
伊勢原85	伊勢原市No. 85遺跡	台地	伊勢原市西富岡南実時原	散布地	近世	18
伊勢原86	白根遺跡	氾濫源	伊勢原市白根向田	集落跡、散布地	縄文、弥生、古代	8
	伊勢原工業団地内遺跡	氾濫源	伊勢原市三ノ宮、坂戸、白根	集落跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世	
伊勢原87	坪ノ内・西前遺跡	丘陵	伊勢原市坪ノ内字西ノ前	集落跡	古墳～平安、中世、近世	17・22・43・52・59・61～63・69
	中谷戸遺跡	丘陵	一	一	一	
	坪ノ内・貝ヶ窪遺跡	丘陵	伊勢原市坪ノ内字貝ヶ窪	集落跡、墓域	旧石器、縄文、弥生末～古墳、中世、近世	
伊勢原88	塚越遺跡	丘陵	伊勢原市高森字塚越977他	墳丘墓	古墳、近世	206
伊勢原89	伊勢原市No. 89遺跡	台地	伊勢原市西富岡北実時原	散布地	縄文	18
伊勢原90	伊勢原市No. 90遺跡	丘陵	伊勢原市三ノ宮字上尾根山	横穴墓群	古墳、近世	46・51・52
伊勢原92	伊勢原市No. 92遺跡	山地	伊勢原市上粕屋字漆久保	横穴墓	古墳	
伊勢原93	伊勢原市No. 93遺跡	一	伊勢原市伊勢原	散布地	弥生、奈良、平安、中世、近世	48
伊勢原94	上粕屋・一ノ郷北遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋字一ノ郷北	横穴墓、散布地	縄文、古墳後	35・41
伊勢原95	伊勢原市No. 95遺跡	一	伊勢原市日向	古墳	古墳	
伊勢原96	大入遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡	遺物包含地	縄文早～後	16・17・22
伊勢原97	伊勢原市No. 97遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡竹林	散布地	奈良	
伊勢原98	伊勢原市No. 98遺跡	丘陵	伊勢原市下平間	散布地	奈良	
伊勢原99	伊勢原市No. 99遺跡	台地	伊勢原市西富岡	塚	不明	
伊勢原101	池端・久保遺跡	台地	伊勢原市池端字久保	集落跡、墓跡	縄文、古墳、奈良～近世	46
	池端・高根遺跡		伊勢原市池端字高根	集落跡、散布地	弥生、古墳、奈良	
	伊勢原市No. 101遺跡		伊勢原市池端字久保・高根	散布地	古墳	
伊勢原102	伊勢原市No. 102遺跡	一	伊勢原市三ノ宮字尾崎	古墳	古墳	

第2節 周辺の遺跡と歴史的環境

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文献
伊勢原103	伊勢原市No.103遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋字一ノ郷北	横穴墓群	古墳	
伊勢原104	下平間・大原遺跡	丘陵	伊勢原市下平間字長久保	散布地	古墳	21・110・113
伊勢原111	板戸・精進場遺跡	丘陵	伊勢原市板戸字精進場	集落跡、散布地	縄文、奈良、平安、中世、近世	17・30・32・34・48・52・72・128・134
	板戸・中谷戸遺跡	丘陵	伊勢原市板戸字中谷戸	集落跡	古墳、奈良、平安、中世、近世	
	殿村遺跡	丘陵	伊勢原市板戸字殿村	散布地	古墳、平安、中世、近世	
	板戸・大原遺跡	丘陵	伊勢原市板戸大原	集落跡、散布地		
	伊勢原市No.111遺跡	丘陵	伊勢原市板戸	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良～近世	
伊勢原112	伊勢原市No.112	台地	伊勢原市伊勢原	集落跡、散布地	奈良、平安、中世、近世	46・48・52・60・61・82・97・102
伊勢原113	伊勢原市No.113遺跡	丘陵	伊勢原市高森字赤坂	横穴墓	古墳	97
伊勢原114	伊勢原市No.114遺跡	丘陵	伊勢原市高森台一丁目797外	横穴墓群	古墳後	
伊勢原115	伊勢原市No.115遺跡	丘陵	伊勢原市串橋字登道	散布地	古代	
伊勢原116	伊勢原市No.116遺跡	丘陵	伊勢原市串橋字木ノ元	散布地	古代	
伊勢原117	伊勢原市神戸字木下	台地	伊勢原市神戸字木下	集落跡、散布地	奈良、平安、中世、近世	63
伊勢原119	伊勢原一丁目遺跡	台地	伊勢原市伊勢原一丁目	集落跡、散布地	奈良	48・59・61・62・67
伊勢原121	高森・窪谷遺跡	丘陵	伊勢原市高森665-1他	散布地	奈良、平安	209
伊勢原122	伊勢原市No.122遺跡	丘陵	伊勢原市高森字窪谷	散布地	縄文、奈良、中世	
伊勢原123	伊勢原市子易字大坪	台地	伊勢原市子易字大坪	散布地	縄文	122・123・130・131・136・137・140・142・144・145・149・151・154・159・165・171・176・177・179・185・188・189・192～196
	子易・大坪遺跡	台地	伊勢原市子易字大坪、中川原	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	子易・中川原遺跡	台地	伊勢原市子易字大坪、中川原	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
伊勢原124	板戸・八雲殿遺跡	台地	伊勢原市板戸字中八雲殿	集落跡、散布地	縄文早、奈良、平安	28・67・72・104・107・109・110・111・113
	板戸・宮ノ前遺跡	台地	伊勢原市板戸	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢原市No.124遺跡	台地	伊勢原市板戸字中八雲殿	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
伊勢原125	伊勢原市No.125遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字東ノ引	散布地	—	
伊勢原126	伊勢原市No.126遺跡	丘陵	伊勢原市高森台三丁目	横穴墓	古墳	
伊勢原127	伊勢原市No.127遺跡	丘陵	伊勢原市白根字谷戸	散布地	—	
伊勢原128	田中・聖原遺跡	平地	伊勢原市三丁目田中宇聖原	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	30・32・35・36・43・46・48・52・58・60・61・63・64・67・68・72・73・80・82・89～91・97・110・118・154・159・171・89
	咳止橋遺跡	平地	伊勢原市上粕屋字咳止端、田中宇ノヶ上粕屋字三本松他	集落跡、散布地	旧石器、縄文前～後、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	田中・酒林遺跡	平地	伊勢原市田中、伊勢原四丁目	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、平安	
	田中・第六天遺跡	平地	伊勢原市伊勢原四丁目	集落跡、散布地	縄文、古墳～奈良、平安	
	田中・天神前遺跡	平地	伊勢原市田中宇天神前	集落跡、散布地	古墳後、奈良、平安	
	田中・島井戸遺跡	平地	伊勢原市田中、伊勢原三丁目	集落跡、散布地	奈良、平安	
	田中・万代遺跡	平地	伊勢原市田中宇万代	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	田中・向原遺跡	平地	伊勢原市田中宇向原	集落跡、散布地	平安、中世、近世	
	上粕屋・川上西遺跡	平地	伊勢原市上粕屋字川上	集落跡、散布地	縄文、近世	
	上粕屋・三本松遺跡	平地	伊勢原市上粕屋字三本松	集落跡、散布地	旧石器、縄文、古墳、奈良、平安	
	上粕屋団地内遺跡	平地	伊勢原市上粕屋	集落跡、散布地	縄文中、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢原市No.128遺跡	平地	伊勢原市伊勢原三丁目、田中、上粕屋、宇咳止橋、聖原	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
伊勢原130	東富岡・西之窪遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡	集落跡、散布地	奈良、中世	128・130・138
伊勢原131	伊勢原市No.131遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字咳止橋	古墳	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	128・130・131・136・139・159・165・198
伊勢原132	上粕屋・一ノ郷上遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋地先	集落跡、散布地	縄文、奈良、平安、近世	
伊勢原133	伊勢原市No.133遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字咳止橋	古墳	古墳	
伊勢原134	伊勢原市No.134遺跡	丘陵	伊勢原市串橋	古墳	古墳	
伊勢原135	伊勢原市No.135遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡宇田切、西ノ谷	散布地	奈良	
伊勢原136	東富岡・杉戸遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡宇太窪	集落跡	縄文、奈良、近世	68
伊勢原137	伊勢原市No.137遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡宇西脇	散布地	奈良	
伊勢原138	上粕屋・香々久保遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋地先	散布地	弥生	128・130・139
伊勢原139	成瀬第二地区遺跡群高森地区	丘陵	伊勢原市下粕屋、高森	集落跡、城郭	旧石器～近世	
伊勢原140	伊勢原市No.140遺跡	丘陵	伊勢原市下粕屋字上ノ根	散布地	奈良	
伊勢原141	高森・赤坂遺跡	丘陵	伊勢原市高森字赤坂	古墳、散布地	縄文、弥生、古墳	
伊勢原142	伊勢原市No.142遺跡	丘陵	伊勢原市高森字赤坂	散布地		
伊勢原143	伊勢原市No.143遺跡	畑地	伊勢原市高森字赤坂	古墳	古墳	
伊勢原146	石田一ノ崎遺跡	丘陵	伊勢原市高森台一丁目、高森一ノ崎830、石田一ノ崎201-8・9、石田丸山200、石田大久保438他	散布地、集落跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	207
	石田・大久保遺跡	丘陵	伊勢原市石田宇大久保	散布地、集落跡	縄文早～後、弥生後、古墳前・後、奈良、平安、中世、近世	208・209
	高森・一ノ崎遺跡	丘陵	伊勢原市高森字一ノ崎	散布地、集落跡	縄文草、奈良、平安、中世、近世	205
伊勢原150	伊勢原市No.150遺跡	台地	伊勢原市東大竹	塚	不明	
伊勢原151	伊勢原市No.151遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字木津根	横穴墓	古墳	
伊勢原152	伊勢原市No.152遺跡	—	伊勢原市日向宇北新田	古墳	古墳	
伊勢原153	東富岡・東之窪遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡	集落跡	縄文、中世、近世	191
伊勢原154	伊勢原市No.154遺跡	平地	伊勢原市池端字宮下	塚	不明	

第2章 遺跡概観

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文献
伊勢原155	下北原遺跡	山麓	伊勢原市日向下北原、落合	集落跡、散布地	縄文、奈良、平安	10・110・113・116・145・147
伊勢原156	御伊勢ノ森遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字御伊勢ノ森	集落跡、館跡、散布地	縄文、平安、中世	12・145・153・154・165・185・188・189・192～196
伊勢原158	伊勢原市No.158遺跡	—	伊勢原市日上堤	散布地	縄文	
伊勢原159	経西原遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡	散布地	縄文	
伊勢原160	上粕屋・川上遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋字川上	集落跡、配石、散布地	旧石器、縄文、古墳～平安、近世	27・30・32・43・45・47・48・52・61・63・68・72・81・117・118・122・123・126・128・130・131・136～138・142・144・145・149～151・154・159・165・171・176・177・179・185・188・189・191～196
	下粕屋・弥杉地区遺跡群	丘陵	伊勢原市下粕屋字弥杉	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	東富岡・北三間遺跡	丘陵	伊勢原市東富岡字北三間	集落跡、横穴墓	縄文、古墳、奈良、平安、中世、近世	
	東富岡地区遺跡群	丘陵	伊勢原市東富岡字北三間他	集落跡、散布地	旧石器～近世	
	西富岡・外堀遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡字外堀	集落跡	旧石器、縄文、奈良、平安、近世	
	西富岡・向畑遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡字向畑	集落跡	旧石器、縄文、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢原市No.160遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡	散布地	縄文、奈良、平安、近世	
伊勢原161	伊勢原市No.161遺跡	斜面地	伊勢原市上粕屋字御伊勢ノ森	横穴墓	古墳、中世、近世	94
伊勢原163	上粕屋・子易2遺跡	旧沓瀬原上	伊勢原市上粕屋	その他(道)	中世、近世	144・151・154・159・165・171・176・194
伊勢原164	成瀬第二地区遺跡群 高森・馬場遺跡		伊勢原市下粕屋、高森 伊勢原市高森字馬場	集落跡、城郭 散布地	旧石器～近世 旧石器、縄文	
伊勢原165	伊勢原市No.165遺跡	台地	伊勢原市高森林	散布地	古墳	52・137・142
伊勢原166	三ノ宮・上竹ノ内遺跡		伊勢原市三ノ宮字竹ノ内	寺社跡	縄文、中世、近世	159・166・168・171・183・185
伊勢原167	上粕屋・小山遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋字小山	城郭?、散布地	縄文、奈良、平安、中世、近世	52・59・61・74
	伊勢原市No.167遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋東峰峯	城郭?、散布地	縄文、古墳、中世	
伊勢原169	伊勢原市No.169遺跡	台地	伊勢原市上粕屋	散布地	縄文、奈良、平安、中世、近世	159・165
伊勢原170	池端・寺久保遺跡	台地	伊勢原市伊勢原一丁目	散布地	縄文、奈良、中世	28・30・32・35・41・46・67・82・99・101・107・113・117・118・122・123・128・131・135・136・179・185
	池端・坂戸遺跡		伊勢原市伊勢原四丁目	集落跡、散布地	縄文、奈良、中世、近世	
	池端・椿山遺跡		伊勢原市池端字椿山	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良	
	沼目・坂戸遺跡		伊勢原市伊勢原四丁目	散布地	旧石器、縄文	
	池端・駒形遺跡		伊勢原市池端字駒形他	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、中世	
	池端・金山遺跡		伊勢原市伊勢原一丁目	集落跡	縄文、奈良、中世	
	伊勢原市No.170遺跡		伊勢原市池端、伊勢原	集落跡、散布地	旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、中世	
伊勢原171	西富岡・中島遺跡		伊勢原市西富岡字中島	散布地	縄文、弥生後～古墳前、古墳後～奈良、平安、中世、近世	179・180・185・189・190・192～196
伊勢原172	伊勢原市No.172遺跡		伊勢原市沼目坊ノ上	散布地	縄文	
伊勢原174	下平間・水草遺跡		伊勢原市下平間西・下平間水草149外	散布地	縄文、古墳、平安、中近世	
伊勢原175	東大竹遺跡群	台地	伊勢原市東大竹	集落跡、中世建物跡群	古墳、奈良、平安、中世、近世	21・23・28・30・31・38・41～43・45・48・52・60・61・63・132・137
	東大竹・市場遺跡群		伊勢原市東大竹	集落跡、中世建物跡群	古墳、奈良、平安、中世、近世	
	東大竹・堂面遺跡		伊勢原市東大竹	集落跡、中世建物跡群	古墳、奈良、平安、中世、近世	
	伊勢原市No.175遺跡		伊勢原市東大竹	集落跡、散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	
伊勢原177	伊勢原市No.177遺跡	台地	伊勢原市東大竹字堂面	散布地	縄文	
伊勢原178	東大竹・上谷戸遺跡	台地	伊勢原市東大竹字上谷戸	散布地	縄文、古墳、奈良、中世、近世	72・97・99・112・113
伊勢原178	伊勢原市No.178遺跡	台地	伊勢原市東大竹字上谷戸他	散布地	奈良	
伊勢原179	伊勢原市No.179遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字宝池	集落跡	縄文、古墳、奈良、中世	107
伊勢原183	太郎塚古墳遺跡	—	伊勢原市板戸字大塚戸	古墳	古墳	
伊勢原190	伊勢原市No.190遺跡	台地	伊勢原市三ノ宮字木津根	散布地		
伊勢原192	伊勢原市No.192遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字西ノ引	古墳	古墳	
伊勢原194	伊勢原市No.194遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字西ノ引	古墳	古墳	13
伊勢原195	上粕屋・上尾崎遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字上尾崎	集落跡、散布地	旧石器、縄文、奈良、平安、中世、近世、近代	48・52・59・61・76
	伊勢原市No.195遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字上尾崎	散布地	縄文、奈良、平安	
伊勢原200	伊勢原市No.200遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字船久保	散布地	古代	43・53・133・144～146・148・153・155・159・160・169
伊勢原201	伊勢原市No.201遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字久保上	散布地	古代	
伊勢原202	伊勢原市No.202遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字久保辻、辻東、上尾崎	散布地	古代	76
伊勢原203	伊勢原市No.203遺跡	台地	伊勢原市上粕屋字辻	古墳	古墳	
伊勢原204	伊勢原市No.204遺跡	台地	伊勢原市上粕屋の場	古墳	古墳	
伊勢原205	上粕屋・秋山上遺跡	台地	伊勢原市上粕屋秋山の場	集落跡、館跡?散布地	縄文、平安、中世、近世	72・145・154・156・171・176・177・179・185・188・189・192～196
伊勢原206	上粕屋・一ノ郷南遺跡	台地	伊勢原市上粕屋和田内、一ノ郷	散布地	旧石器、縄文、古墳～奈良、平安、中世、近世	128・130・131・136・137・142・154・158・159・164～167・171～173・176・177・179・184・185・188・189・192～197
	上粕屋・和田内遺跡	台地	伊勢原市上粕屋和田内、一ノ郷	散布地	旧石器、縄文、古墳～奈良、平安、中世、近世	
伊勢原208	伊勢原市No.208遺跡	台地	伊勢原市西富岡	散布地	縄文、弥生、古代	189・192・194
伊勢原210	伊勢原市No.210遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋中丸	集落跡	縄文	

遺跡番号	遺 跡 名	立 地	所 在 地	種 別	時 期	文 献
伊勢原211	伊勢原市No. 211遺跡	丘陵	伊勢原市上粕屋中丸	古墳	古墳	
伊勢原212	西富岡・中島2遺跡	台地	伊勢原市西富岡字中島	集落跡	旧石器、縄文、弥生末～奈良、平安、中世、近世	182・185・189・190・193 ～196
伊勢原213	伊勢原市No. 213遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡経西原	散布地	縄文	
伊勢原214	伊勢原市No. 214遺跡	丘陵	伊勢原市日向洪田	狩猟場	縄文?	
伊勢原215	日向南新田遺跡	台地	伊勢原市日向字南新田	散布地	旧石器、縄文、奈良、平安	18・28～30
	伊勢原市No. 215遺跡	台地	伊勢原市日向字南新田	散布地、遺物包含地	旧石器～縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世、近世	
伊勢原216	伊勢原市No. 216遺跡	台地	伊勢原市西富岡八幡谷戸	散布地	縄文、古代	
伊勢原217	伊勢原市No. 217遺跡	台地	伊勢原市日向洗水、南新田	散布地	縄文	18
伊勢原218	伊勢原市No. 218遺跡	台地	伊勢原市日向南新田、下原田、西富岡八幡谷戸	散布地	縄文	18
伊勢原219	伊勢原市No. 219遺跡	台地	伊勢原市	古墳	古墳	
伊勢原220	伊勢原市No. 220遺跡	—	伊勢原市日向洗水	古墳	古墳	
伊勢原229	伊勢原市No. 229遺跡	丘陵	伊勢原市日向字上堤	散布地	縄文	
伊勢原230	伊勢原市No. 230遺跡	微高地 上	伊勢原市日向下堤、西富岡北実蒔原	散布地	縄文、古代	
伊勢原231	伊勢原市No. 231遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡北実蒔原	古墳	古墳	
伊勢原232	伊勢原市No. 232遺跡	丘陵	伊勢原市西富岡後谷戸	遺物包含地	縄文	
伊勢原233	高森・白山遺跡	台地	伊勢原市高森白山	集落跡、古墳	縄文、古墳	
伊勢原234	高森・宮ノ越遺跡	台地	伊勢原市高森	散布地	古墳	210・211
伊勢原235	伊勢原市No. 235遺跡	平地	伊勢原市石田812-1外、石田字羽黒309-1外、石田字細屋709-1外	散布地、集落跡、中世建物址、古墳	縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中世	
伊勢原239	伊勢原市No. 239遺跡	台地	伊勢原市下平間・上平間	城跡	中世、近世	72・110
厚木52	曾野No. 1遺跡	丘陵	厚木市長谷字曾野、葛城	集落跡、散布地	縄文、弥生	89・87
厚木65	岩田山横穴墓	丘陵	厚木市小野字千駄木	古墳	古墳	
厚木66	岡津古久遺跡	丘陵	厚木市小野字千駄木	古墳	弥生、古墳	
厚木67	龍鳳寺塚	丘陵	厚木市小野	塚	中世	
厚木68	小野古墳群	丘陵	厚木市小野	古墳	古墳	
厚木69	厚木市No. 69遺跡	丘陵	厚木市小野字中屋	集落跡、散布地	縄文、弥生	
厚木70	七沢久保屋敷遺跡	丘陵	厚木市小野字天台、久保	散布地	縄文	9・20
厚木71	榎田横穴墓群	丘陵	厚木市小野	古墳	古墳	
厚木118	厚木市No. 118遺跡	丘陵	厚木市小野字鳥残、公所	集落跡、散布地	縄文、奈良、中世	65・66
厚木119	登畑遺跡	丘陵	厚木市愛甲字聖木、登畑	集落跡、散布地	縄文、弥生、古墳、奈良	
厚木125	厚木市No. 125遺跡	丘陵	厚木市小野字公所、野、鳥残	古墳	古墳	

参考文献

- 1 石野 瑛 1934「相模国八幡台石器時代住居址群調査報告書」『史前学雑誌』6－1 史前学会
- 2 石野 瑛 1934「神奈川県下に於ける石器時代住居址」『史蹟名勝天然紀念物調査報告書』第2輯 神奈川県
- 3 赤星直忠 1938「神奈川県伊勢原町八幡台住居址」『考古学』9－3
- 4 赤星直忠 1970「登尾山古墳」『神奈川県埋蔵文化財調査報告』1 神奈川県教育委員会
- 5 小出義治 1971「神奈川県三の宮配石遺構」『北奥古代文化』3
- 6 神奈川県 1972『神奈川県史資料所在目録(考古の部)』考古第5集
- 7 赤星直忠 1974「尾根山古墳群」『神奈川県埋蔵文化財調査報告』6 神奈川県教育委員会
- 8 赤星直忠 1975「伊勢原工業団地内発見の遺跡伊勢原市さんせ塚古墳」『神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告』8 神奈川県教育委員会
- 9 歴史と文化を知る会 1975「厚木市遺跡分布調査報告書(一)」『歴史と文化を知る会研究調査報告』第一集
- 10 鈴木保彦 1977『下北原遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告14 神奈川県教育委員会
- 11 伊勢原市八幡台遺跡調査団 1979『八幡台遺跡 神奈川県伊勢原市八幡台敷石住居址調査報告書』
- 12 御伊勢森中世遺跡発掘調査委員会 1979『御伊勢森遺跡(傳上杉定正館跡)の調査』
- 13 神奈川県史編纂室 1979『神奈川県史』資料編20(考古資料)
- 14 田代道彌ほか 1980「神奈川県」『日本城郭体系』第6巻(神奈川・千葉)新人物往来社
- 15 神奈川県教育委員会 1983『神奈川県埋蔵文化財調査報告』25
- 16 大入遺跡発掘調査団 1984『大入遺跡発掘調査報告書』
- 17 神奈川県教育委員会 1984『神奈川県埋蔵文化財調査報告』26
- 18 株式会社玉川文化財研究所 1984『神奈川県伊勢原市日向・西富岡地区埋蔵文化財調査報告』
- 19 県道大句石倉線内遺跡発掘調査団 1985『神奈川県伊勢原市都市計画道路県道大句石倉線内遺跡』
- 20 厚木市秘書部市史編纂室 1985『厚木市史 地形地質編・原始編』
- 21 神奈川県教育委員会 1985『神奈川県埋蔵文化財調査報告』27
- 22 伊勢原市教育委員会 1986『市制15周年記念 考古資料展 - 伊勢原を掘る - 』
- 23 神奈川県教育委員会 1986『神奈川県埋蔵文化財調査報告』28
- 24 白根・下原遺跡発掘調査団 1986『神奈川県伊勢原市白根・下原発掘調査概要』
- 25 伊勢原市教育委員会 1987『伊勢原市文化財調査報告書』第11集
- 26 伊勢原市教育委員会 1987 伊勢原市文化財調査報告書』第12集
- 27 伊勢原市教育委員会 1987『東富岡地区遺跡群』
- 28 神奈川県教育委員会 1987『神奈川県埋蔵文化財調査報告』29
- 29 神奈川県立埋蔵文化財センター 1987『日向南新田遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告16
- 30 神奈川県教育委員会 1988『神奈川県埋蔵文化財調査報告』30
- 31 伊勢原市教育委員会 1989『伊勢原市文化財調査報告書』第15集
- 32 神奈川県教育委員会 1989『神奈川県埋蔵文化財調査報告』31
- 33 山王中学校遺跡発掘調査団 1989『山王中学校遺跡発掘調査概要』

第2章 遺跡概観

- 34 殿村遺跡発掘調査団 1989『神奈川県伊勢原市殿村遺跡』相武考古学研究所
- 35 伊勢原市教育委員会 1990『文化財ノート』第1集
- 36 神奈川県教育委員会 1990『神奈川県埋蔵文化財調査報告』32
- 37 東海大学校地内遺跡調査団 1990「中島遺跡分布確認調査報告」『東海大学校地内遺跡調査団報告』1
- 38 神奈川県教育委員会 1990『神奈川県埋蔵文化財調査報告』32
- 39 宮ノ根遺跡発掘調査団 1990『伊勢原市串橋宮ノ根遺跡埋蔵文化財発掘調査概要』
- 40 伊勢原市教育委員会 1991『伊勢原市文化財調査報告書』第16集
- 41 神奈川県教育委員会 1991『神奈川県埋蔵文化財調査報告』33
- 42 伊勢原市教育委員会 1992『文化財ノート』第2集－19 第2章 遺跡概観
- 43 神奈川県教育委員会 1992『神奈川県埋蔵文化財調査報告』34
- 44 上粕屋厚木線発掘調査団 1992『神奈川県伊勢原市長竹遺跡』
- 45 神奈川県教育委員会 1993『神奈川県埋蔵文化財調査報告』35
- 46 伊勢原市教育委員会 1994『文化財ノート』第3集
- 47 一般県道上粕屋厚木線埋蔵文化財発掘調査団 1994『県道上粕屋厚木線交通安全施設等整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査伊勢原 市No.14遺跡 伊勢原市No.160遺跡』
- 48 神奈川県教育委員会 1994『神奈川県埋蔵文化財調査報告』36
- 49 上粕屋厚木線埋蔵文化財発掘調査団 1994『県道上粕屋厚木線交通安全施設等整備工事に伴う埋蔵文化財調査』
- 50 八幡谷戸遺跡調査団 1994『八幡谷戸遺跡』
- 51 伊勢原市教育委員会 1995『三ノ宮・下尾崎遺跡 三ノ宮・上栗原遺跡発掘調査報告書－横穴墓群の調査－』
- 52 神奈川県教育委員会 1995 神奈川県埋蔵文化財調査報告』37
- 53 神成松遺跡調査団 1995『神奈川県伊勢原市神成松遺跡発掘調査報告書』
- 54 県道大句石倉線内遺跡発掘調査団 1995『神奈川県伊勢原市都市計画道路県道大句石倉線内遺跡』
- 55 坪ノ内榎戸遺跡発掘調査団 1995『坪ノ内榎戸遺跡埋蔵文化財発掘調査概要』
- 56 東海大学校地内遺跡調査委員会・東海大学校地内遺跡調査団 1995『伊勢原市下糟屋弥杉・上ノ台遺跡－東海大学健康科学部校舎建設に先立つ調査－』
- 57 難波 明ほか 1995『相模岡崎城跡総合調査報告書』伊勢原市教育委員会
- 58 伊勢原市上粕屋団地内遺跡調査団 1996『神奈川県伊勢原市伊勢原上粕屋団地内遺跡』
- 59 財団法人かながわ考古学財団 1996『年報2 平成6年度』
- 60 伊勢原市教育委員会 1996『文化財ノート』第4集
- 61 神奈川県教育委員会 1996『神奈川県埋蔵文化財調査報告』38
- 62 財団法人かながわ考古学財団 1996『年報3 平成7年度』
- 63 神奈川県教育委員会 1997『神奈川県埋蔵文化財調査報告』39
- 64 伊勢原市No.128遺跡調査団 1998『神奈川県伊勢原市咳止橋遺跡 県道63号(相模原大磯線)B道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査』
- 65 小野公所遺跡発掘調査団 1998『小野公所遺跡発掘調査報告書』
- 66 小野公所遺跡発掘調査団 1998『小野公所遺跡第2地点発掘調査報告書』
- 67 神奈川県教育委員会 1998『神奈川県埋蔵文化財調査報告』40
- 68 財団法人かながわ考古学財団 1998『東富岡・杉戸遺跡(No.38) 東富岡・北三間遺跡(No.4) 上粕屋・川上遺跡(No.5・6) 上粕屋・三本松遺跡(No.7) 上粕屋・川上西遺跡(No.8)』かながわ考古学財団調査報告34
- 69 曾野 No.1遺跡発掘調査団 1999『曾野1遺跡』東国歴史考古学研究所調査研究報告第23集
- 70 立花 実・手島真実 1998「登尾山古墳再考」『東海史学』33 東海大学史学会
- 71 粕上原土地区画整理事業区域内遺跡埋蔵文化財発掘調査団 1999『神奈川県伊勢原市粕上原遺跡発掘調査報告書』
- 72 神奈川県教育委員会 1999『神奈川県埋蔵文化財調査報告』41
- 73 上粕屋・三本松遺跡調査団 1999『神奈川県伊勢原市上粕屋・三本松遺跡 市営三本松住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』
- 74 財団法人かながわ考古学財団 1999『上粕屋・小山遺跡(No.9・39) 三ノ宮・下御領原遺跡(No.12西) 上粕屋・杣引東遺跡(No.40) 上粕屋・杣引南遺跡(No.41)』かながわ考古学財団調査報告52
- 75 財団法人かながわ考古学財団 1999『三ノ宮・下谷戸遺跡(No.14)Ⅰ』かながわ考古学財団調査報告55
- 76 財団法人かながわ考古学財団 1999 上粕屋・上尾崎遺跡(No.10) 上粕屋・杣引北遺跡(No.11) 上粕屋・杣引西遺跡(No.12東)』かながわ考古学財団調査報告56
- 77 財団法人かながわ考古学財団 1999『神戸・上宿遺跡(No.15)』かながわ考古学財団調査報告57
- 78 東大竹・稲荷久保遺跡発掘調査団 1999『東大竹・稲荷久保発掘調査報告書』
- 79 東大竹・下原遺跡発掘調査団 1999『東大竹・下原遺跡発掘調査報告書』
- 80 伊勢原市田中・向原発掘調査団 2000『伊勢原市田中・向原遺跡』
- 81 伊勢原市No.160遺跡発掘調査団 2000『伊勢原市No.160遺跡発掘調査報告書 県道63号(相模原大磯線)道路改良工事に伴う事前調査』
- 82 神奈川県教育委員会 2000『神奈川県埋蔵文化財調査報告』42
- 83 財団法人かながわ考古学財団 2000『坪ノ内・貝ヶ窪遺跡(No.18・19・43) 笠窪・谷戸遺跡(No.20・42)』かながわ考古学財団調査報告67
- 84 財団法人かながわ考古学財団 2000『三ノ宮・下谷戸遺跡(No.14)Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告76
- 85 財団法人かながわ考古学財団 2000『坪ノ内・宮ノ前遺跡(No.16・17)』かながわ考古学財団調査報告77
- 86 沼目原之宿遺跡発掘調査団 2000『原之宿遺跡発掘調査報告書』
- 87 長谷曾野遺跡発掘調査団 2000『長谷曾野遺跡発掘調査報告書』
- 88 伊勢原市教育委員会 2001『いせはらの遺跡Ⅰ』伊勢原市文化財調査報告第19集
- 89 伊勢原市内遺跡調査団 2001『伊勢原市上粕屋・三本松遺跡 第2次調査発掘調査報告書 市営三本松住宅建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(追加調査)』
- 90 神奈川県教育委員会 2001『神奈川県埋蔵文化財調査報告』43
- 91 財団法人かながわ考古学財団 2001『田中・万代遺跡』かながわ考古学財団調査報告103
- 92 財団法人かながわ考古学財団 2001『下糟屋・下町並遺跡』かながわ考古学財団調査報告108
- 93 成瀬第二地区遺跡調査会・都市基盤整備公団 2001『神奈川県伊勢原市成瀬第二地区遺跡群下糟屋C地区第2・3地点発掘調査報告書』
- 94 神奈川県教育委員会 2002『神奈川県埋蔵文化財調査報告』44

- 95 成瀬第二地区遺跡調査会・都市基盤整備公団 2002『神奈川県伊勢原市成瀬第二地区遺跡群下槽屋C地区第1地点下槽屋D地区丸山E地区発掘調査報告書』
- 96 有限会社鎌倉遺跡調査会 2002『牛塚・下原線遺跡発掘調査報告書』
- 97 神奈川県教育委員会 2003『神奈川県埋蔵文化財調査報告』45
- 98 東大竹上谷戸遺跡第Ⅱ地点発掘調査団 2003『神奈川県伊勢原市東大竹上谷戸遺跡第Ⅱ地点発掘調査報告書』
- 99 神奈川県教育委員会 2004『神奈川県埋蔵文化財調査報告』46
- 100 株式会社玉川文化財研究所 2004『東大竹・下原遺跡第2地点発掘調査報告書』
- 101 財団法人かながわ考古学財団 2004『池端・椿山遺跡』かながわ考古学財団調査報告165
- 102 有限会社鎌倉遺跡調査会 2004『伊勢原・北側遺跡第Ⅲ地点発掘調査報告書』
- 103 神奈川県教育委員会 2005『神奈川県埋蔵文化財調査報告』47
- 104 株式会社玉川文化財研究所 2005『神奈川県伊勢原市板戸・宮ノ前遺跡 第Ⅱ地点』
- 105 株式会社玉川文化財研究所 2005『神奈川県伊勢原市東大竹・下谷戸（八幡台）遺跡の調査』
- 106 株式会社日本窯業史研究所 2005『稲荷久保遺跡第Ⅲ地点』
- 107 神奈川県教育委員会 2006『神奈川県埋蔵文化財調査報告』49
- 108 株式会社日本窯業史研究所 2006『稲荷久保遺跡第Ⅲ地点3・4次調査』
- 109 埋蔵文化財発掘調査支援共同組合 2006『板戸・宮ノ前遺跡第Ⅲ地点』
- 110 神奈川県教育委員会 2007『神奈川県埋蔵文化財調査報告』51
- 111 株式会社日本窯業史研究所 2007『神奈川県伊勢原市板戸・八雲殿遺跡第3地点』
- 112 株式会社日本窯業史研究所 2007『東大竹・上谷戸遺跡第Ⅲ地点』
- 113 神奈川県教育委員会 2008『神奈川県埋蔵文化財調査報告』52
- 114 株式会社玉川文化財研究所 2008『桜台一丁目遺跡第Ⅷ地点』
- 115 株式会社玉川文化財研究所 2008『東大竹・下谷戸（八幡台）遺跡発掘調査報告書』
- 116 財団法人かながわ考古学財団 2008『下北原遺跡Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告222
- 117 財団法人かながわ考古学財団 2008『年報15 平成19年度』
- 118 神奈川県教育委員会 2009 神奈川県埋蔵文化財調査報告』54
- 119 株式会社玉川文化財研究所 2009『原之宿遺跡第3地点発掘調査報告書』
- 120 株式会社玉川文化財研究所 2009『丸山遺跡 第Ⅳ地点発掘調査報告書』
- 121 東海大学校地内遺跡調査委員会 2009『伊勢原市下槽屋上ノ台遺跡 - 東海大学医学部付属病院新病院棟建設に先立つ埋蔵文化財発掘調査報告書 - 』
- 122 財団法人かながわ考古学財団 2009『年報16 平成20年度』
- 123 神奈川県教育委員会 2010『神奈川県埋蔵文化財調査報告』55
- 124 株式会社玉川文化財研究所 2010『下槽屋・上町並遺跡第6地点発掘調査報告書』
- 125 株式会社玉川文化財研究所 2010『丸山遺跡第5地点発掘調査報告書』
- 126 株式会社日本窯業史研究所 2010『西富岡・向畑遺跡第2地点』
- 127 財団法人かながわ考古学財団 2010『下槽屋・丸山遺跡（第6地点）』かながわ考古学財団調査報告260
- 128 神奈川県教育委員会 2011『神奈川県埋蔵文化財調査報告』56
- 129 株式会社日本窯業史研究所 2011『東大竹・稲荷久保遺跡第4地点』
- 130 公益財団法人かながわ考古学財団 2011『年報17 平成21年度』
- 131 神奈川県教育委員会 2012『神奈川県埋蔵文化財調査報告』57
- 132 株式会社玉川文化財研究所 2012『東大竹・市場遺跡第9地点発掘調査報告書』
- 133 株式会社パスコ 2012『神成松遺跡第2地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書7
- 134 株式会社盤古堂 2012『板戸・精進場遺跡第3地点』
- 135 公益財団法人かながわ考古学財団 2012『池端・坂戸遺跡』かながわ考古学財団調査報告281
- 136 公益財団法人かながわ考古学財団 2012『年報18 平成22年度』
- 137 神奈川県教育委員会 2013『神奈川県埋蔵文化財調査報告』58
- 138 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『東富岡・西之窪遺跡 東富岡・南三間遺跡 東富岡・北三間遺跡第2地点』かながわ考古学財団調査報告290
- 139 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『上粕屋・香々久保遺跡 上粕屋・一之郷上遺跡』かながわ考古学財団調査報告291
- 140 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『子易・大坪遺跡 子易・町屋裏遺跡』かながわ考古学財団調査報告292
- 141 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『上粕屋・石倉中遺跡』かながわ考古学財団調査報告294
- 142 公益財団法人かながわ考古学財団 2013『年報19 平成23年度』
- 143 大成エンジニアリング株式会社 2013 浄業寺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書17
- 144 伊勢原市教育委員会・公益財団法人かながわ考古学財団 2014『伊勢原の遺跡調査報告会要旨』
- 145 神奈川県教育委員会 2014『神奈川県埋蔵文化財調査報告』59
- 146 株式会社玉川文化財研究所 2014『神成松遺跡第4地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書20
- 147 株式会社玉川文化財研究所 2014『下北原遺跡Ⅲ』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書27
- 148 株式会社パスコ 2014『神成松遺跡第5地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書23
- 149 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『年報20 平成24年度』
- 150 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『西富岡・向畑遺跡Ⅰ』かながわ考古学財団調査報告298
- 151 公益財団法人かながわ考古学財団 2014『年報21 平成25年度』
- 152 大成エンジニアリング株式会社 2014『上粕屋・鳥居崎遺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書21
- 153 有限会社吾妻考古学研究所 2014『神成松遺跡第3地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書
- 154 神奈川県教育委員会 2015『神奈川県埋蔵文化財調査報告』60
- 155 株式会社玉川文化財研究所 2015『神成松遺跡第7地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書30
- 156 株式会社パスコ 2015『上粕屋・秋山上遺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書29
- 157 株式会社パスコ 2015『上粕屋・鳥居崎遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書33
- 158 公益財団法人かながわ考古学財団 2015『上粕屋・和田内遺跡第3次調査』かながわ考古学財団調査報告308
- 159 神奈川県教育委員会 2016 神奈川県埋蔵文化財調査報告』61
- 160 株式会社アーク・フィールドワークシステム 2016『神成松遺跡第9地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書51
- 161 株式会社玉川文化財研究所 2016『神奈川県伊勢原市三ノ宮・前畑遺跡第2地点発掘調査報告書』
- 162 株式会社玉川文化財研究所 2016『西富岡・長竹遺跡第2次調査 県道603号（上粕屋厚木）道路改良工事に伴う発掘

第2章 遺跡概観

- 調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書42
- 163 株式会社玉川文化財研究所 2016『上粕屋・鳥居崎遺跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書48
- 164 株式会社パスコ 2016『上粕屋・和田内遺跡第5次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書47
- 165 公益財団法人かながわ考古学財団 2016『年報22 平成26年度』
- 166 公益財団法人かながわ考古学財団 2016『上粕屋・一之郷南遺跡 上粕屋・和田内遺跡』かながわ考古学財団調査報告312
- 167 国際文化財株式会社 2016『上粕屋・和田内遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書40
- 168 大成エンジニアリング株式会社 2016『浄業寺跡第2次調査 三ノ宮・上竹ノ内遺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書38
- 169 大成エンジニアリング株式会社 2016『神成松遺跡第6地点』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書39
- 170 有限会社吾妻考古学研究所 2016『日向・東新田原遺跡』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書45
- 171 神奈川県教育委員会 2017『神奈川県埋蔵文化財調査報告』62
- 172 神奈川県埋蔵文化財センター 2017『平成29年度第3回考古学講座神奈川県発掘調査成果発表会2017』
- 173 株式会社玉川文化財研究所 2017『上粕屋・和田内遺跡第7次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書53
- 174 株式会社パスコ 2017『上粕屋・石倉中遺跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書57
- 175 株式会社パスコ 2017『上粕屋・石倉中遺跡第4次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書58
- 176 公益財団法人かながわ考古学財団 2017『年報23 平成27年度』
- 177 公益財団法人かながわ考古学財団 2018『年報24 平成28年度』
- 178 国際文化財株式会社 2017『西富岡・長竹遺跡第4次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書56
- 179 神奈川県教育委員会 2018『神奈川県埋蔵文化財調査報告』63
- 180 株式会社玉川文化財研究所 2018『西富岡・中島遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告61
- 181 株式会社玉川文化財研究所 2018『上粕屋・石倉下遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告63
- 182 国際文化財株式会社 2018『西富岡・中島2遺跡第1次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書67
- 183 大成エンジニアリング株式会社 2018『三ノ宮・上竹ノ内遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書64
- 184 大成エンジニアリング株式会社 2018 西富岡・中島2遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書68
- 185 神奈川県教育委員会 2019『神奈川県埋蔵文化財調査報告』64
- 186 株式会社玉川文化財研究所 2019『西富岡・長竹遺跡第5次調査 上粕屋・石倉下遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書72
- 187 株式会社玉川文化財研究所 2019『西富岡・長竹遺跡第3次調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告書74
- 188 公益財団法人かながわ考古学財団 2019『年報25 平成29年度』
- 189 神奈川県教育委員会 2020『神奈川県埋蔵文化財調査報告』65
- 190 株式会社パスコ 2020『西富岡・中島遺跡第3次調査 西富岡・長竹遺跡第6次調査 西富岡・長竹2遺跡第2次調査』神奈川県埋蔵文化財報告書78
- 191 公益財団法人かながわ考古学財団 2020『東富岡・南三間遺跡第2次調査 東富岡・北三間遺跡第3地点 東富岡・東之窪遺跡』かながわ考古学財団調査報告322
- 192 公益財団法人かながわ考古学財団 2020『年報26 平成30年度』
- 193 神奈川県教育委員会 2021『神奈川県埋蔵文化財調査報告』66
- 194 公益財団法人かながわ考古学財団 2021『年報27 令和元（平成31）年度』
- 195 神奈川県教育委員会 2022『神奈川県埋蔵文化財調査報告』67
- 196 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『年報28 令和2年度』
- 197 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『上粕屋・一ノ郷上遺跡第2次調査 上粕屋・雷遺跡 上粕屋・一ノ郷南遺跡第2次調査』かながわ考古学財団調査報告328
- 198 公益財団法人かながわ考古学財団 2022『神成松遺跡第8地点Ⅰ』かながわ考古学財団調査報告331
- 199 大場磐雄・寺村光晴 1965「中郡北高森古墳」『東名高速道路埋蔵文化財調査概報』神奈川県教育委員会
- 200 寺村光晴 1970「神奈川県中郡北高森古墳」『日本考古学年報』18 日本考古学協会
- 201 久保哲三 1985「伊勢原市小金塚古墳調査概要」『神奈川県埋蔵文化財調査報告』27 神奈川県教育委員会
- 202 久保哲三 1985「伊勢原市小金塚古墳」『専修考古学』2号 専修大学
- 203 久保哲三・後藤喜八郎 1985『伊勢原市小金塚古墳』文化財調査報告書第9集 伊勢原市教育委員会
- 204 白金山遺跡発掘調査団 1982『伊勢原市白金山遺跡』白金山遺跡発掘調査団
- 205 財団法人かながわ考古学財団 1988『御屋敷添遺跡第3地点（No.1）第4地点（No.2）第5地点（No.44）高森・一ノ郷遺跡（No.37）高森・窪谷遺跡（No.3）』かながわ考古学財団調査報告33
- 206 河合英夫ほか 1987『東高森・池端地区埋蔵文化財範囲確認調査報告』伊勢原市文化財調査報告書第12集 伊勢原市教育委員会
- 207 神奈川県教育委員会 1991『神奈川県埋蔵文化財調査報告』33 神奈川県教育委員会
- 208 菊川英政ほか 2003『神奈川県伊勢原市石田・大久保遺跡』石田・大久保遺跡発掘調査団・鎌倉遺跡調査会
- 209 継 実 2003『神奈川県伊勢原市石田・大久保遺跡第2地点ー平成14年度都市計画道路石田小稲葉線に係わる埋蔵文化財調査ー』有限会社鎌倉遺跡調査会 石田・大久保遺跡第2地点発掘調査団
- 210 高杉博章 2001『いせはらの遺跡Ⅱ 高森・宮ノ越遺跡』伊勢原市教育委員会
- 211 呉地英夫 2007『神奈川県伊勢原市高森・宮ノ越遺跡第二次調査発掘調査報告書』株式会社アーク・フィールドワークシステム

第3章 調査経過

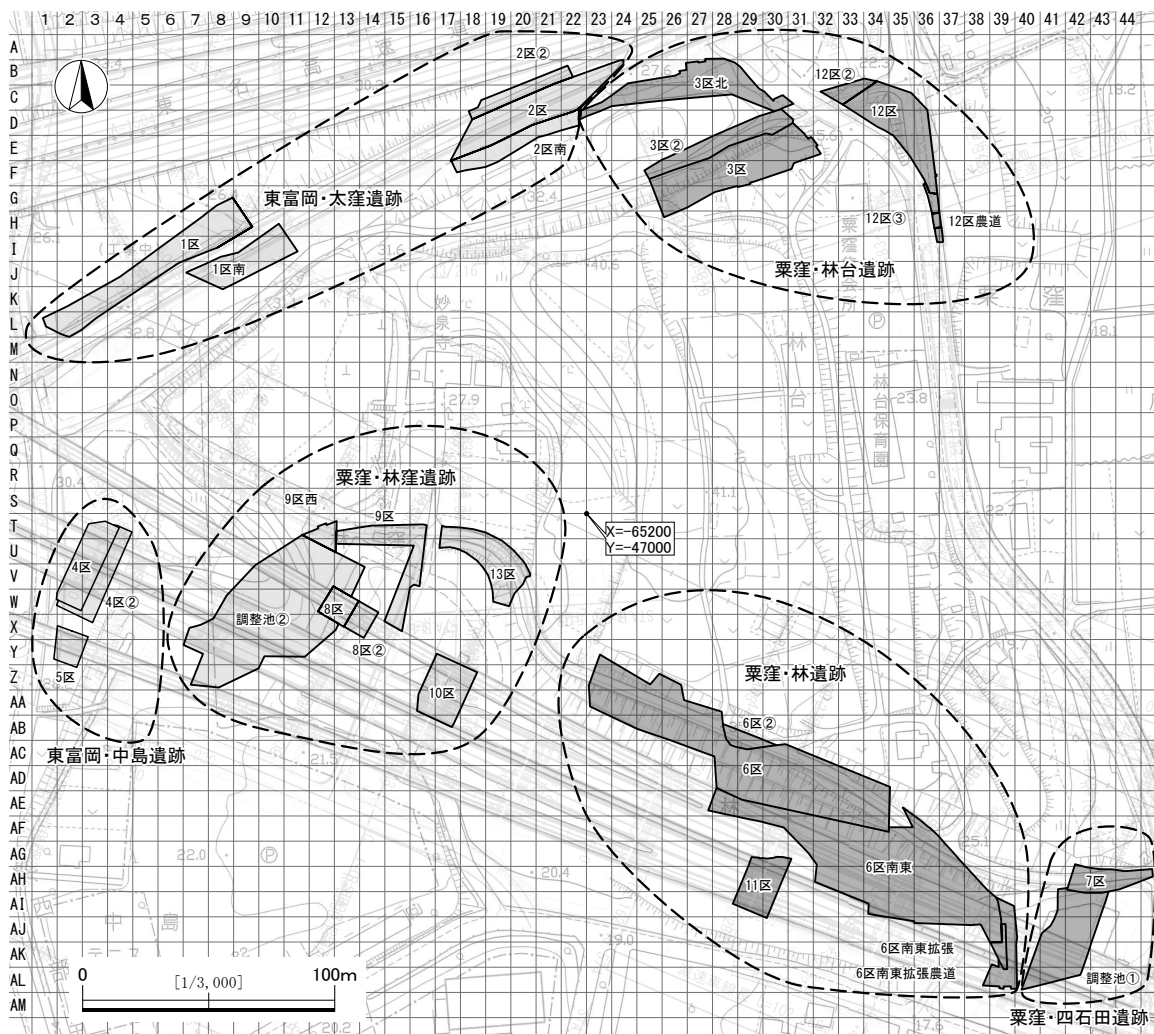
第1節 調査区の設定と調査の方法

栗窪地区の発掘調査は、現東名高速道路のランプ及び側道建設予定地、新東名高速道路本線のピア・側道・調整池建設予定地、市道付け替え部分等が対象となっており、平成22年10月1日～平成26年6月30日、平成26年8月1日～9月15日、平成28年5月1日～6月30日、平成29年12月1日～平成30年5月15日、令和元年10月1日～10月31日に実施した。調査期間は55ヶ月である。

発掘調査にあたっては、調査対象となった地区から順に1区・2区・・・と番号を付与し、最終的に13区まで番号を付した。また、障害物件等により部分的に着手時期が異なった箇所や本体工事の設計の変更等により追加された区域については、地区番号の後に丸番号（2区②・3区②・4区②・6区②・8区②・12区②・12区③）を付し、やや離れた箇所に位置する場合には地区名のあとに方角（1区南・2区南・3区北・6区南東・9区西）を付すことにした。さらに遺構の延伸により調査区が拡張となった場合には区名のあとに拡張（6区南東拡張）を付した。なお、調整池建設予定地については、地区番号を付与せず、調整池①区・調整池②区と呼称した。今回調査対象となった範囲は、いずれも伊勢原市No.71遺跡（一部は伊勢原市No.160遺跡）に含まれるが、調査箇所が初めからすべて決まっていたわけではなく徐々に増えていったこともあって、調査開始時に遺跡名称を決めることはせず伊勢原市No.71遺跡として進めた。最後の調査区が13区となることが判った時点で伊勢原市との協議により、北東に位置する3区・12区は栗窪・林台遺跡、南に位置する6区・11区は栗窪・林遺跡、南東に位置する7区・調整池①区は栗窪・四石田遺跡、南西に位置する8～10区・13区・調整池②区は栗窪・林窪遺跡、北西に位置する1区・2区は東富岡・太窪遺跡、西側に位置する4区・5区は東富岡・中島遺跡と決定した。

調査に先立ち、世界測地系平面直角座標第IX系（測地成果2000）に基づいた10m四方のグリッドを設定した。基準点は東富岡地区の発掘調査時に打設（平成19年5月）された杭を使用した。グリッドの設定は調査範囲の北西端（ $X = -65,010.00$ 、 $Y = -47,220.00$ ）を起点として、北から南へ向かってアルファベットを用いて区分けし、Z以降についてはAA・AB・・・とした。西から東へ向かってはアラビア数字を用いて区分けし、A1グリッド、AA1グリッドのように呼称した。アルファベットはAL（ $X = -65,390.00$ ）まで、アラビア数字は45（ $Y = -46,770.00$ ）まで使用した。なお、調査区の設定は、事業者から提供された座標値（日本測地系IX系座標）を世界測地系に変換して行った。

発掘調査は、文化遺産課の試掘結果に基づき面的に行った。調査方法は地区によって若干異なるが、概ね表土をバックホウで除去後、遺構検出、遺構掘削、遺物包含層掘削（無遺物層については人力にてトレンチ掘削を行い遺物が出土しないことを確認した後重機を用いて掘削）の順に実施し、関東ローム上面に到達するまで遺構検出以下の作業を繰り返した。最後に調査面積の4パーセントを対象に旧石器時代のグリッド調査を実施し、遺物が出土しなければ調査を終了した。調査中、遺構・遺物が確認された場合には、測量・記録作成、写真撮影、遺物の取り上げ、各調査区における遺構全体の写真撮影を行っている。確認した遺構・遺物の測量には、(株)CUBICの遺構測量システムプログラム「遺構くん」を使用した。



第4図 栗窪地区における調査遺跡とグリッド設定図[1/3,000]
(伊勢原市地図 中日本高速道路株式会社道路計画図に加筆)

第2節 調査経過

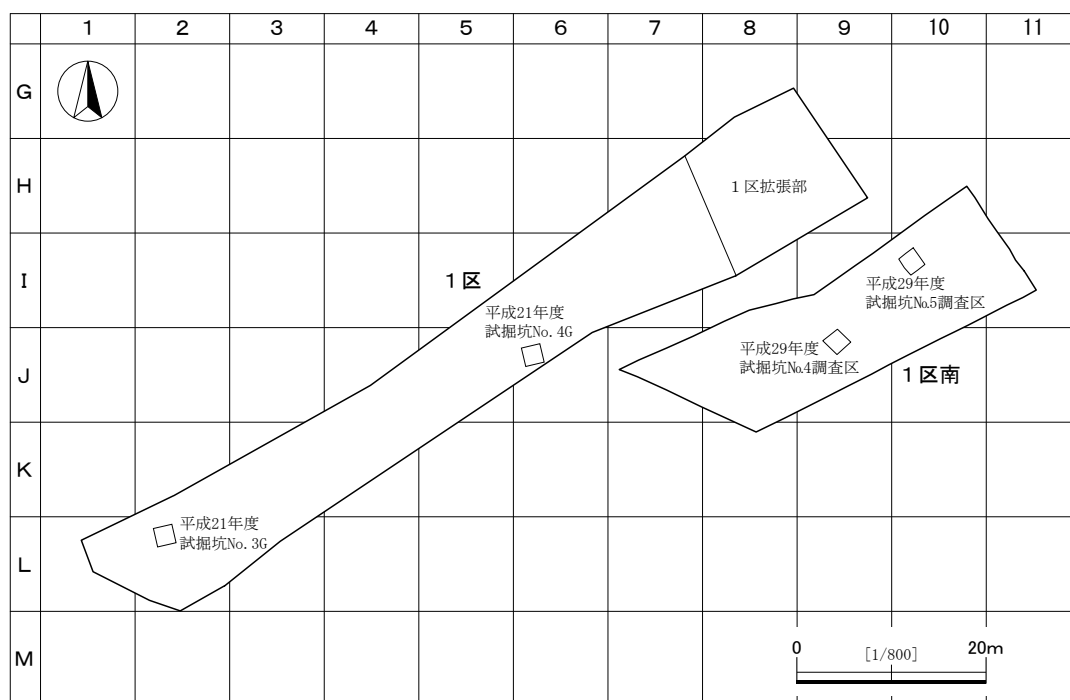
栗窪地区で調査対象となった遺跡は、栗窪・林台遺跡、栗窪・林遺跡、栗窪・四石田遺跡、栗窪・林窪遺跡、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡の6遺跡に及ぶが、本書では、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡について報告する。

(1) 発掘調査の経過

東富岡・太窪遺跡

東富岡・太窪遺跡は、栗窪地区の北西側に位置する遺跡である。東名高速道路の南沿いに設置されるランプの範囲で、調査時に1区、2区と呼称していた箇所にあたる。

1区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北側縁辺に位置する。調査は1ヶ月の準備工を経て平成22年10月1日から開始した。図上で決めた当初面積は1,192㎡であったが、調査区設定の際調査区南側の斜面に調査区の一部がかかっていることが判明し、斜面崩落の可能性が考えられたため、調査は斜面の法尻までと



第5図 東富岡・太窪遺跡 1区・1区南調査区設定図[1/800]

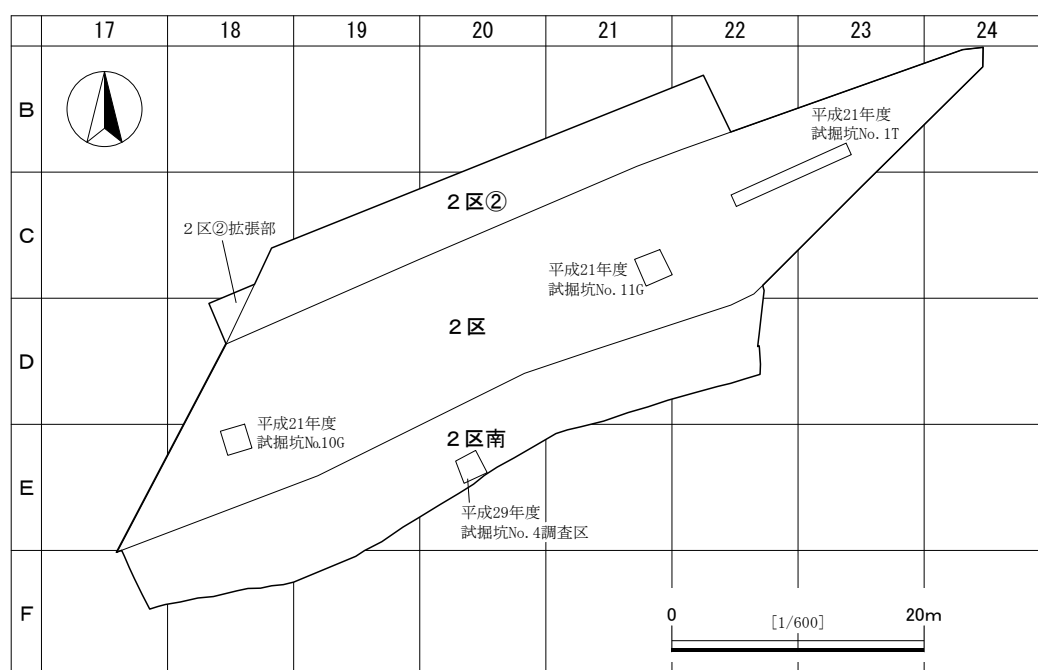
なり面積が減少した。また、調査区の20mほど東側で実施された試掘調査の結果、遺構が存在していないと予想されていた東端で遺構発見され、調査区外に続いていることが判明し、100㎡ほど拡張することになるなど面積の変更が生じ最終的に941㎡となった。地形は概ね北側へ向かって傾斜しているが、調査区中央のI・J3～6グリッド付近には小規模な谷が入り込んでおり、中世以前の土層が分厚く堆積しているのが確認されたため、南北に4本のトレンチを設定して掘り下げを行った。J4・K4グリッド付近では3mほど掘り下げても縄文時代と思われる土層までしか到達せず、遺物も出土しなかったことからそれ以上の掘削は行わなかった。関東ローム層が検出された部分については、旧石器時代の試掘を4箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は12月より東富岡・中島遺跡(4区)と同時に進めたことにより、平成23年3月31日まで実施した。

1区南は1区の1区の5mほど南東側に位置する。栗窪地区の調査終了後の平成29年11月に造成工事が及ぶ可能性がある範囲について実施された試掘調査により、調査が必要と判断された箇所である。西側に東京電力(以下東電)の秦浜線28鉄塔が隣接していることから事前に東電に確認したところ、露出している基礎から17m離隔を取れば調査可能、17m以内については掘削方法・深度の確認が必要であり、判断までに長期間を要すると回答があった。このため、県文化遺産課・中日本高速道路株式会社と協議し、当面鉄塔基礎から17m外の調査を実施し、調査結果を踏まえて文遺課が17m内の調査範囲の要不要を再度確認することとなった。調査は平成30年1月より開始した。地形は北側に傾斜しており、表土直下は東西および南側で関東ローム層が確認されたが、中央部は北側に開く半円形の谷状の地形となっており、この部分に黒色土が残存していた。この黒色土とローム層の境界に沿って近世以降の溝状遺構が確認され、この溝を境として耕作痕とみられる小規模な溝状の遺構が検出された。中世は土坑1基と数基のピットが確認されたが、奈良・平安時代～縄文時代では、少量の遺物が出土したのみで遺構は発見されなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された南側4箇所で行ったが、何も発見されなかった。鉄塔か

ら17m以内の範囲については、1月25日に文遺課の現地確認を受け調査不要となった。調査は3月15日に終了した。

2区は1区の90mほど東側に位置している。調査は平成23年6月1日より開始した。調査面積は当初811㎡であったが、南側が道路に接していたためセットバックして751㎡となった。地形は東側に緩やかに傾斜しているが、東側は段切りにより平坦面が造り出されていた。表土を除去すると、E17・18グリッド付近及び段切りによって造り出された平坦面はローム層まで削平されていた。当初東側に緩やかに傾斜していると考えていた地形は調査を進めていくうちに中央部分に小谷が存在し、奈良・平安時代以前の土層が厚く堆積していることが明らかとなったため、南北方向に4本のトレンチを設定して包含層掘削を実施することにした。その結果、遺構は認められず、遺物もほとんど出土しなかったことから、掘削方法を人力から機械へ変更し、弥生時代～古墳時代相当面まで掘り下げた。その後も関東ローム層が確認できる深さまで掘り下げを行うつもりであったが、調査区の南北の幅が狭く掘り下げが困難となり、最も深い部分では関東ローム層を確認することはできなかった。縄文時代の包含層掘削は土層が遺存している調査区中央付近を中心に実施した。土器片が数点出土したのみで遺構は検出されなかった。旧石器時代のグリッド調査は8箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は8月末で終了した。

2区②は、工事設計の見直しにより工事範囲が北側にずれたため、追加調査することになった箇所である。調査は平成26年度に実施する予定であったが、調査区の南側に接するように本体工事で発生した残土が高く積まれていて、安全面を考慮した調査を行うことが困難であったため残土除去後に調査を行うこととなった。平成27年度に残土が除去されたことを受け、平成28年5月1日に調査を開始した。今回の調査では前回の調査で発見されなかった奈良・平安時代の竪穴住居址が発見された。住居址は調査区の西端にあり、さらに調査区外に延びていた。調査区の20mほど西側は県文化遺産課の試掘調査で2m以上盛土されていることが明らかとなっていたが、遺構が西側へ続いていたことから調査範囲を拡張することとなった。拡



第6図 東富岡・太窪遺跡 2区・2区②・2区南調査区設定図[1/600]

張は、一旦竪穴住居址の全体が調査できるところまでとし、その後包含層が続いているようなら包含層が途切れるところまで行うことになったが、調査区南西端にある近世以降の段切りによって遺構が切られていることが明らかとなり、拡張はわずかな部分で済んだ。旧石器時代のグリッド調査は東側2箇所を実施したが、何も発見されなかった。調査期間は、調査範囲の拡張と竪穴住居址の調査を合わせて0.5ヶ月の延長となり6月15日まで実施した。

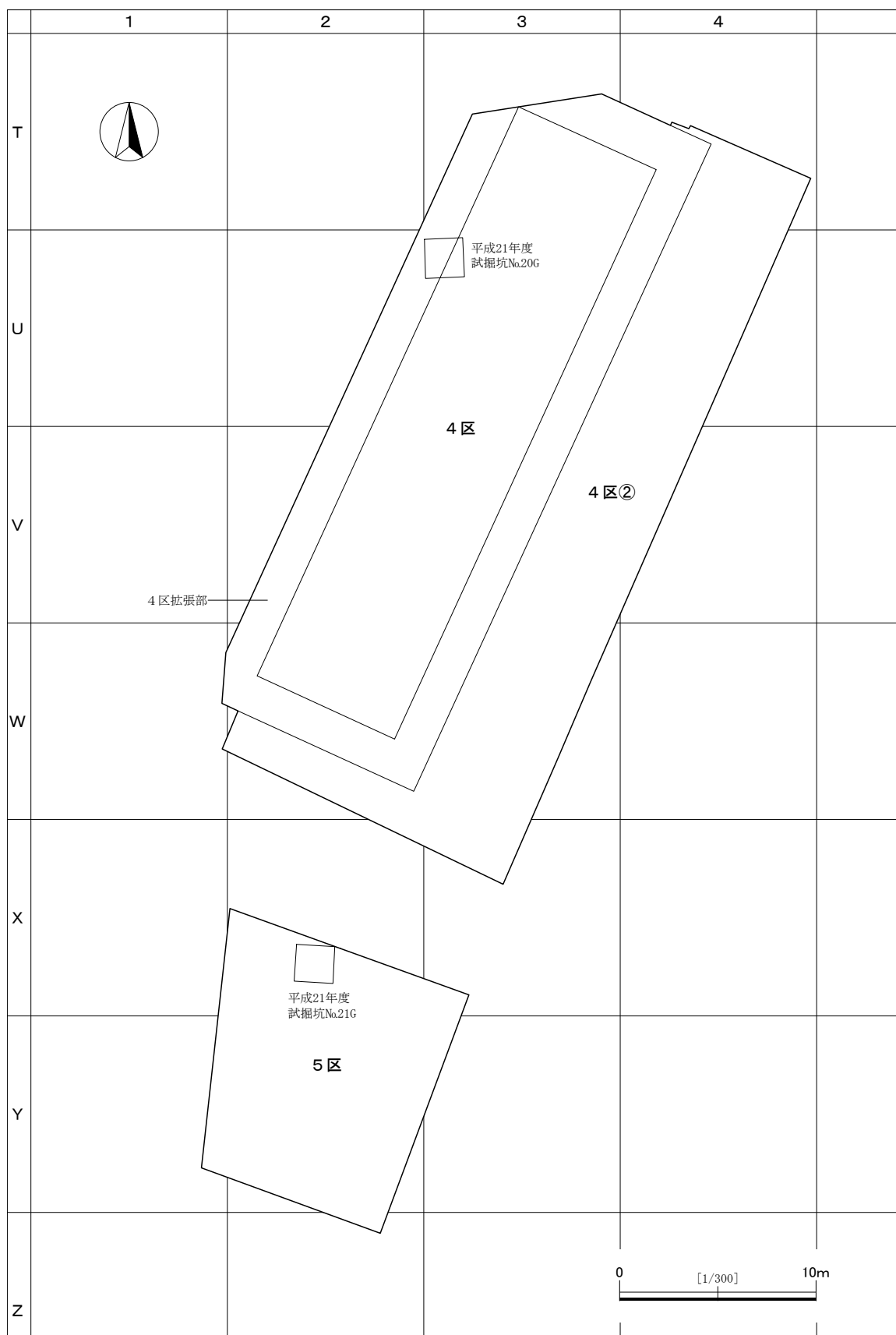
2区南は造成工事实施範囲のうち、平成29年11月に実施された試掘調査で調査が必要と判断された箇所である。調査は平成29年12月より開始した。本地区周辺は本体工事の残土置き場となっており、表土掘削と同時にこれらの土砂を撤去する必要があるため、表土掘削に0.5ヶ月を費やした。表土掘削中に2区南よりも優先度が高い1区南の調査着手が可能となったことから、調査は一旦中断し、1区南の調査を優先した。2区南の調査は平成30年3月16日に再開した。20～21グリッド列付近を中心に中世～奈良・平安時代と考えられるピットが多数確認された。縄文時代の調査では、遺構は確認されなかったが、調査区北東側の谷状地形を中心に土器片が出土している。旧石器時代の調査は、調査区北東の谷状地形を避け、中央から西側に3箇所のグリッドを設定して掘削を行った。その結果、谷状地形から最も離れたNo.9グリッドから石器4点が出土した。調査は平成30年5月15日に終了した。

東富岡・中島遺跡

東富岡・中島遺跡は、栗窪地区の西側に位置する遺跡で、調査時に4区・5区と呼称していた箇所にあたる。ともに本線の橋脚設置部分である。

4区は1区の80mほど南側に位置する。当初の調査面積は160㎡であったが、調査範囲に余掘り部分が含まれていないことが明らかとなり、周囲を2mずつ拡張することになったため、調査面積は412㎡となった。調査は1区と並行して平成22年12月16日より開始した。地形は南向きに緩やかに下っており、近世の段切りによって3段のテラスが造り出されていたが、中世以前の地形は南東側に傾斜しており、近世以後とは様相が異なっていることが判明した。調査は遺構が検出された奈良・平安時代までは全面的に実施したが、古墳時代～縄文時代については東西に4箇所、南北に1箇所のトレンチを設定して包含層掘削を行い、遺構が発見された場合は全面調査を実施することとした。古墳時代～縄文時代の遺構は確認されなかったため、旧石器時代のグリッド調査を関東ローム層が検出された調査区西側の4箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は平成23年3月31日をもって終了した。

4区②は工事設計の見直しによって橋脚の設置箇所が東側にずれたため調査を実施することとなった箇所である。調査は、調査面積255㎡、調査期間1.5ヶ月の予定で平成25年6月1日から開始した。調査方法は4区と同様で奈良・平安時代までは全面調査、古墳時代～縄文時代については東西に6箇所のトレンチを設定して包含層掘削を行い、遺構が発見された場合は全面調査を実施することとした。その結果、U4グリッドに設定したトレンチから縄文土器を伴う土坑1基が検出されたため、遺構確認面まで全面的に掘り下げるることとなった。他のグリッドから遺構は発見されなかったことから、掘削は重機で行うこととなり、平成22年度の調査でセットバックをして調査が行えなかった部分も含め掘削した。旧石器時代のグリッド調査は2箇所で行ったが、1箇所から剥片1点が出たため掘削範囲を東西に拡張したが、新たな遺物は発見されなかった。最終的に調査面積は376㎡に増加し、調査期間は1ヶ月の延長となった。調査は調査担当者の入れ替わりの関係で2週間の中断期間を挟んで8月末日まで実施した。



第7図 東富岡・中島遺跡 4区・4区②・5区調査区設定図[1/300]

5区は4区の南側に近接する調査区で、調査面積は120㎡である。調査は平成23年1月に実施した。調査前は土丹を主体とする土で埋められ平坦面となっていたが、表土を除去すると西側半分ほどは関東ローム層まで削平されていて、東側は南東に向かってやや急な角度で傾斜していることが明らかとなった。斜面地には中世以前の土層が堆積しており、掘削深度が2mを超えることが判明したため、セットバックして調査を進めたが、縄文時代後期頃までの土層しか確認できなかった。調査区からは中世や奈良・平安時代の遺構や遺物がわずかに発見されたのみであった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が確認された西側で実施したが、何も発見されなかった。調査は1月31日で終了した。

栗窪・林窪遺跡

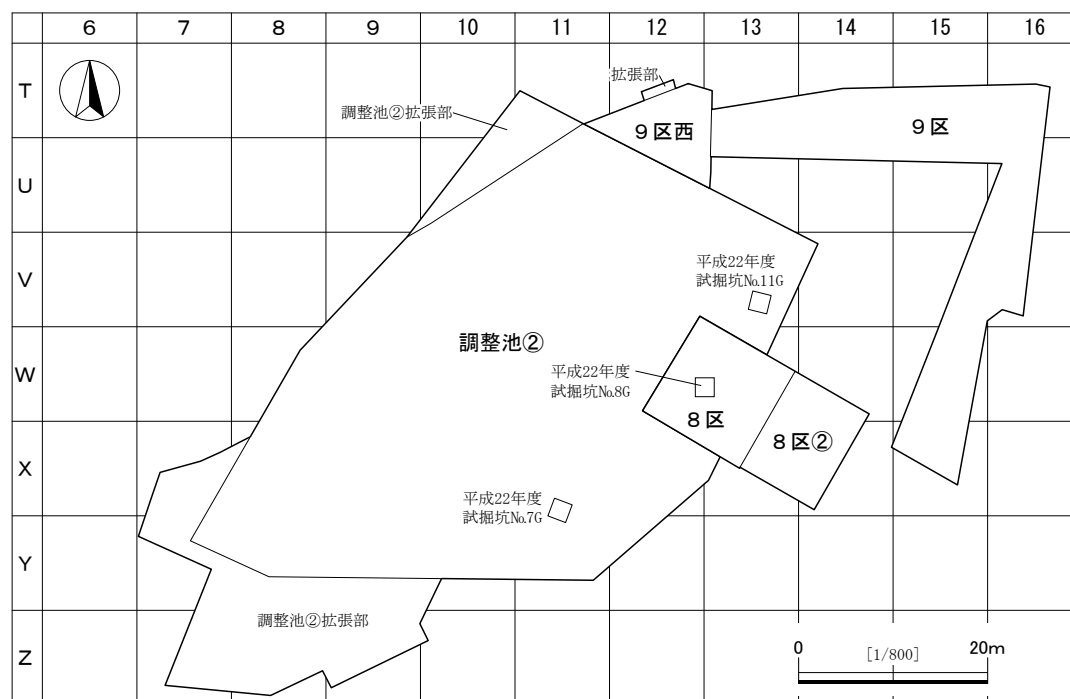
栗窪・林窪遺跡は、栗窪地区の南西側に位置する遺跡で、調査時に8区、9区、10区、13区、調整池②区と呼称していた箇所にあたる。8区・10区は本線橋脚設置箇所、9区は本線側道範囲の一部、13区は寺院参道へ取り付く側道設置範囲の一部、調整池②区は調整池設置範囲である。

8区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の南側に広がる谷戸に位置している。調査は平成24年6月1日より開始した。調査面積は139㎡である。調査区は北側半分ほどが盛土されており、表土掘削深度が2mを超えてしまうことが明らかとなったため、調査区外の盛土部分を除去した後に表土掘削を行った。表土掘削後、近世～中世の包含層掘削を実施したが、湧水したため水中ポンプを使用しながら作業を進めた。遺構は中世、奈良・平安時代の溝や土坑などが発見されたが、数的にはわずかであった。古墳時代以前の調査は調査区中央付近にトレンチを設定して行ったが、遺構は発見されなかった。本調査区では旧石器時代のグリッド調査は実施していない。調査は6月30日で終了した。

8区②は設計変更により橋脚の設置箇所が東にずれたことにより実施することになった調査区である。調整池②区と近接しており、調査は調整池②区と合わせて平成26年3月に実施した。調査面積は105㎡である。8区寄りの調査区西側の表土直下で杭列を伴う近世の溝状遺構が発見されたが、調査区の大部分は谷戸にあたり灰褐色～青褐色を呈する第Ⅲ層以下には遺構が存在する可能性が少なかったため、第Ⅲ層以下はトレンチを設定して調査を進めた。トレンチからは中世、奈良・平安時代の遺物が少量出土したのみで遺構は発見されなかった。本調査区も旧石器時代のグリッド調査は実施していない。

9区は8区の北及び東側に隣接している。調査面積は、当初予定では498㎡であったが、参道側及び民地側をセットバックしたことにより462㎡となった。調査は平成24年7月1日に開始した。本調査区は北西から南東へ傾斜する谷戸地形を呈しており、中世の段階で北東側が北西側と同レベルまで埋められ、そこに遺構が構築されていることが判明した。遺構は上面で近世の溝・土坑、中世後半の井戸・土坑、下面で中世前半の溝状遺構・土坑等が検出された。下面は湧水が激しく、水中ポンプを使用しながらの調査となった。奈良・平安時代以前の調査はT15グリッド及びUV16グリッドにトレンチを設定して実施したが、遺構は何も発見されなかった。また、旧石器時代のグリッド調査は調査区北西の関東ローム層が検出されたT13・14グリッドで実施したが、何も発見されなかった。調査は、中世の遺構面が2面確認され、多数の遺構が発見されたことにより1ヶ月間の延長となり、9月末まで実施した。

9区西は側道工事着工前の埋文調査範囲の精査で未調査部分と判明した箇所で令和元年10月1日より調査を開始した。平成24年度に調査を実施した9区の西側に接する部分で、調査面積は当初予定では70㎡であったが、奈良・平安時代の遺構の一部が調査区外まで続いていることが判明し、部分的に拡張したため



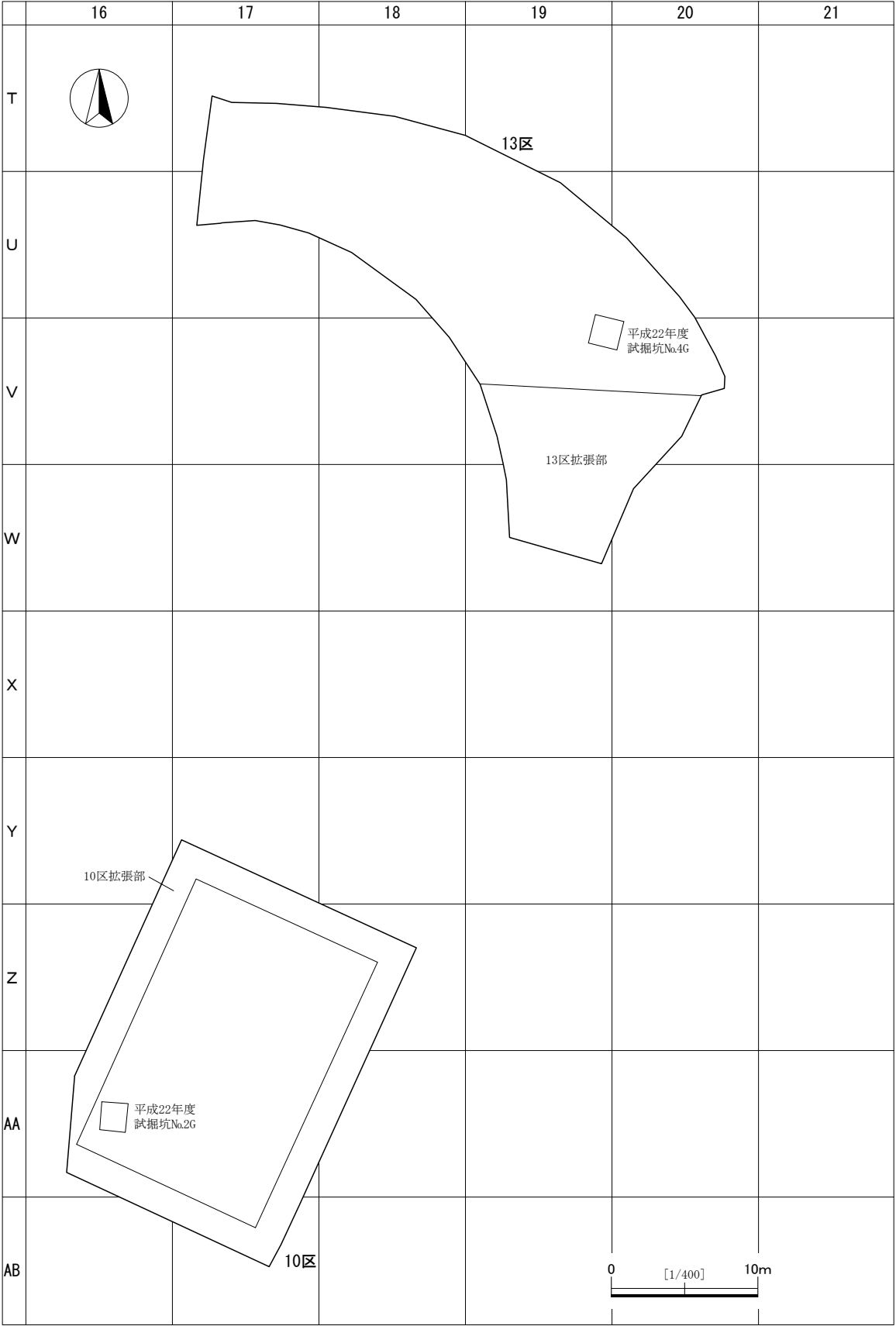
第8図 栗窪・林窪遺跡 8区・8区②・9区・9区西・調整池②区調査区設定図[1/800]

91㎡となった。調査区は北東に向かって傾斜しており、中世の包含層掘削の段階で湧水したため水中ポンプを使用しながら作業を進めた。旧石器時代のグリッド調査は調査区東寄りで実施したが何も発見されなかった。調査は10月31日に終了した。

10区は9区の20mほど南東に位置し、地形は北から南に向かって傾斜している。調査は平成25年1月から開始した。当初の調査面積は229㎡であったが、工事の設計変更と余掘り部分の追加により415㎡となった。また、当初想定していなかった奈良・平安時代の遺構が確認され、1.5ヶ月の調査期間中にすべての調査が行えない状況となったため、期間を延長することとなった。古墳時代以前の調査は、南北方向に3箇所、東西方向に1箇所のトレンチを設定して実施したが、遺構が発見されなかったことから全体の掘り下げは行わなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された北側2箇所で行ったが、何も発見されなかった。調査は3月末で終了した。

13区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の南側の裾部に位置している。西側には谷戸が入り込んでおり、地形は東から西に向かって傾斜している。調査は平成26年4月より開始した。本地区の調査面積は当初計画では380㎡で、調査期間は1.5ヶ月であったが、調査区の西側で近世と中世の遺構が多数発見されたことにより、0.5ヶ月間の期間延長となった。また、試掘調査により埋蔵文化財が確認されなかったため調査不要となっていた調査区南東側に遺構が延びていることが判明し、110㎡ほど拡張することになり調査期間はさらに0.5ヶ月延長された。奈良・平安時代～古墳時代の調査は、調査区西側のT・U17・18グリッドにトレンチを設定して実施したが、遺構・遺物とも発見されなかったため、中世面までの調査となった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された調査区東側の2箇所で行ったが、何も発見されなかった。本調査区の最終的な調査面積は494㎡で、調査は6月15日まで行った。

調整池②区は9区の南側の低地際及び低地に位置している。南東側に谷戸が入り込んでおり、地形は南



第 9 図 栗窪・林窪遺跡 10区・13区調査区設定図[1/400]

第2章 遺跡概観

及び東に向かって傾斜している。調査は平成25年9月16日に開始した。当初の調査面積は1,877㎡であったが、調査を進めていくうちに遺構が調査区外へ展開していることが明らかとなり、北西隅を70㎡、南西側を350㎡拡張することとなった。また、中世の遺構面が2面存在し、多数の遺構が検出されたこともあり調査期間は1.5ヶ月の延長となった。調査期間が延長となったことで中日本厚木工事事務所より本線工事に伴う杭打ち工事の作業エリアとして調査区北西側の先行引渡しが可能か打診された。協議の結果、約800㎡について2月末までに調査を終了させて引渡し、そのほかの部分については3月末まで調査を行うこととなった。奈良・平安時代以前の調査は、調査区の東側にトレンチを6箇所設定して実施したが、遺構は発見されなかった。旧石器時代のグリッド調査は関東ローム層が検出された西側4箇所で行ったが、何も発見されなかった。本調査区の最終的な調査面積は2,297㎡で、調査は3月末まで行った。

これをもって栗窪地区の調査は終了した。各遺跡の調査面積は栗窪・太窪遺跡が2,644㎡、東富岡・中島遺跡が908㎡、栗窪・林窪遺跡が4,004㎡で、全体では7,556㎡である。

第3表 栗窪・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡発掘作業工程表

2010(平成22)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(1区)													941㎡
東富岡・中島(4区)													412㎡

2011(平成23)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区)													751㎡
東富岡・中島(5区)													120㎡

2012(平成24)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(8区)													139㎡
栗窪・林窪(9区)													462㎡
栗窪・林窪(10区)													415㎡

2013(平成25)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・中島(4区②)													376㎡
栗窪・林窪(調整池②)													2,297㎡
栗窪・林窪(8区②)													106㎡

2014(平成26)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(13区)													494㎡

2016(平成28)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区②)													210㎡

2017(平成29)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(1区南)													435㎡
東富岡・太窪(2区南)													307㎡

2018(平成30)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
東富岡・太窪(2区南)													

2019(令和元)年度

遺跡名(調査区名)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	調査面積
栗窪・林窪(9区西)													91㎡

合計調査面積7,556㎡

※2018年度 東富岡・太窪遺跡(2区南)は前年度からの継続調査

(2) 出土品等整理作業の経過

積算根拠に基づく栗窪地区6遺跡の出土品等整理作業は、通算53.5ヶ月である。

出土品等整理作業は、平成26年度に7.5ヶ月（7月1日から7月31日、同年9月16日から平成27年3月31日）実施した後、中断を挟んで令和2年4月に再開した。平成26年度は発掘調査が完了していなかったこともあり、それまでに調査が終了していた地区の記録図面類の整理、遺物の洗浄、注記作業といった基礎的な作業を実施した。整理作業の再開にあたって、各地区の整理方針の確認と、報告書体裁等の検討を行い、栗窪・林遺跡、栗窪・林台遺跡、栗窪・四石田遺跡の3遺跡を第1冊、東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の3遺跡を第2冊として刊行することを決定した。また、体裁については、第1冊を第Ⅰ編 遺跡の概要、第Ⅱ編 栗窪・林遺跡の調査、第Ⅲ編 栗窪・林台遺跡の調査、第Ⅳ編 栗窪・四石田遺跡の調査、第Ⅴ編 自然科学（委託）分析、第Ⅵ編 まとめ、第2冊を第Ⅰ編 遺跡の概要、第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡の調査、第Ⅲ編 東富岡・中島遺跡の調査、第Ⅳ編 栗窪・林窪遺跡の調査、第Ⅴ編 自然科学（委託）分析、第Ⅵ編 まとめとすることとした。第1冊については令和5年3月28日に刊行した。

第2冊の出土品整理作業は、令和3年2月16日から上記の方針に沿って進めた。遺構の整理は、まず遺跡ごとの記録図面類の整理と遺構一覧表の作成を行い、時代別・遺構別の分類を行った。分類した遺構ごとに下図の作成、トレースを行い、仕上がった遺構から図版の作成を行った。図版の作成と並行して、現場で撮影した写真の整理を行い、その中から報告書掲載の写真を抽出して随時焼き付けを行ない、写真図版の作成を行った。

遺物の整理は、まず遺跡ごとに洗浄を行い、注記終了後に時代別・遺構別の分類を行った。この分類に沿って接合・復元作業を行い、報告書に掲載する遺物の抽出を行い、それぞれの遺物の実測を行った。遺物実測の終了後、観察表作成、トレース、遺物図版作成を行った。実測を行った遺物の中から写真撮影を実施するものの抽出を行い、写真撮影後に写真図版の作成を実施した。

出土した金属製品に関しては、クリーニング後セスキ脱塩水（炭酸水素ナトリウム、炭化ナトリウム）を使用した脱塩処理を実施した後、アセトンにパラロイドB72を10%溶かした液に浸け、真空乾燥装置による含浸強化作業を実施した。

遺構と遺物の整理と並行して、第Ⅰ編の遺跡の概要を執筆し、発掘作業の経緯と経過、遺跡と周辺の遺跡の概観をまとめた。各遺跡の遺構と遺物の原稿執筆は、図版の完成した地区から随時行い、まとめの原稿までを執筆した。遺物の一部は、樹種同定等の委託分析を実施した。各委託分析の結果報告は、第Ⅴ編を参照されたい。

東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡の出土品等整理作業は令和6年4月15日をもって終了した。

第2章 遺跡概観

第4表 東富岡・太窪遺跡、東富岡・中島遺跡、栗窪・林窪遺跡出土品整理作業工程表

2021(令和3)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出土品等整理作業												

2022(令和4)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出土品等整理作業												

2023(令和5)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出土品等整理作業												

2024(令和6)年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出土品等整理作業												
報告書刊行												

第Ⅱ編 東富岡・太窪遺跡

第1章 基本層序

1区・1区南

本地区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北側縁辺に位置する。地形は概ね北側へ向かって傾斜し下がっているが、近世以降の土地改変、流路や小谷の影響を受けて土層の堆積状況は東側、中央部、西側で異なっている。東側はG～H 7～9 グリッド付近が平坦に削平されおり、南東端は関東ローム層近くまで削平されていたが、北側には第Ⅲ層及び第Ⅶ層以下の土層が堆積していた。調査区中央のJ 4・5 グリッド付近には小規模な谷が入り込んでおり、J 5 グリッドに設定したトレンチでは中世以前の土層が分厚く堆積しているのが確認された。第Ⅲ層・第Ⅳ層は3層、第Ⅴ層～第Ⅶ層は2層に分層でき、4 mほど掘り下げても縄文時代と思われる土層までしか到達しなかった。

西側はL 2・3 グリッド付近が削平を受けており、表土直下は関東ローム層のL 2 相当層であった。旧石器時代のグリッド調査で関東ローム層を掘削したところ、多数の地滑り痕が認められた。1区南は1区の5 mほど南東側に位置する。1区に比べて標高は2 mほど高い。地形は1区と同様に北に向かって傾斜し下がり、調査区中央付近には小谷が入り込んでいる。

① G 9・J 5・L 1・I 9グリッド

第Ⅰ層 表土。

第Ⅱ層 茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリア微量、1～3 mmの黒色スコリア微量、宝永スコリア含む。

粘性弱い。しまり弱い。近世堆積土。

第Ⅲ①層 茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリアやや多量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。上面で近世遺構確認。

第Ⅲ②層 茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリア多量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅳ①層 茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリアやや多量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世包含層。

第Ⅳ②層 茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリア中量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。

しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅴ①層 暗茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリアやや多量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。暗青褐色土ブロック微量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

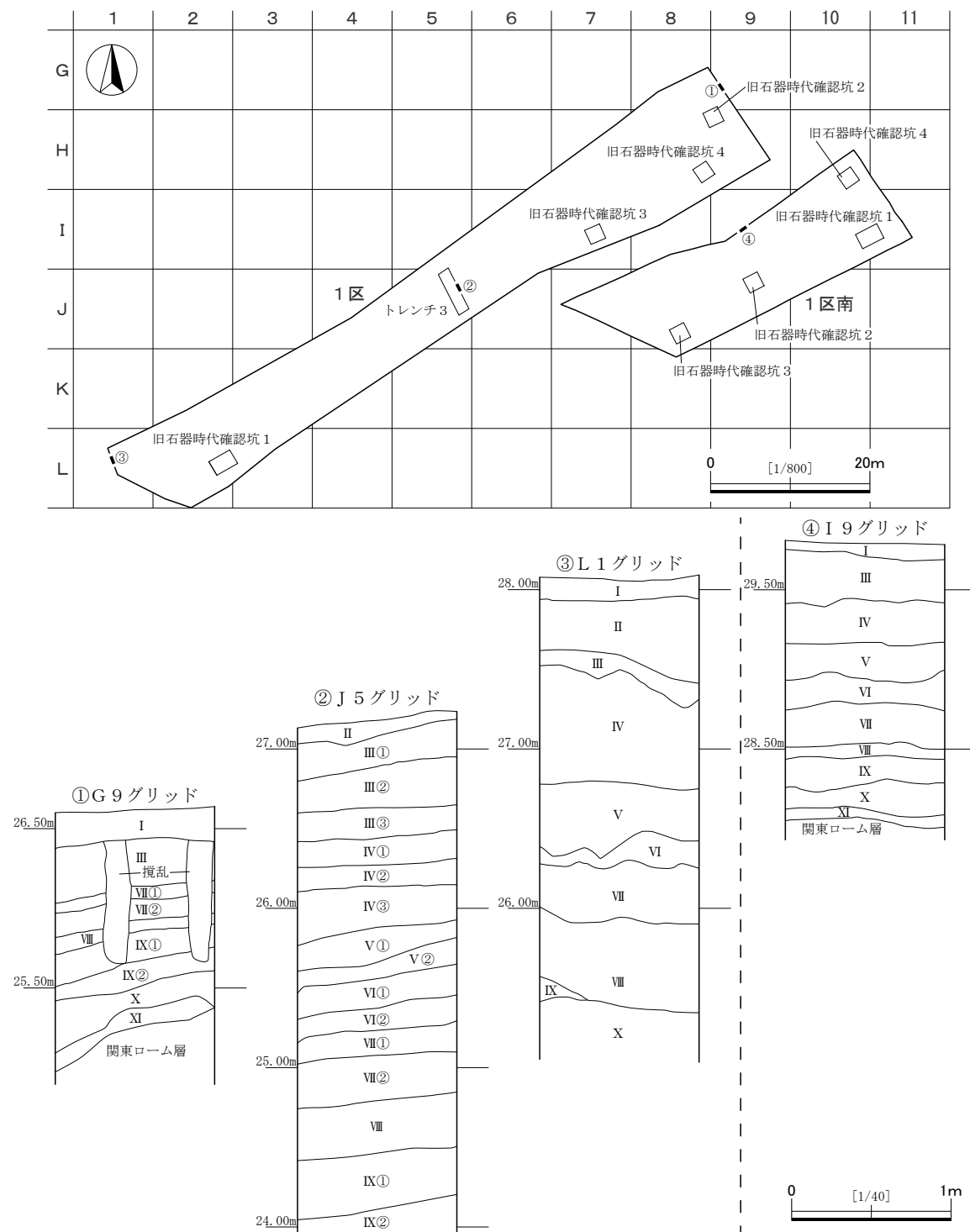
第Ⅴ②層 暗茶褐色土 1～3 mmの橙色スコリアやや多量、1～3 mmの黒色スコリア微量含む。暗青褐色土ブロック少量含む。粘性あり。しまりあり。第Ⅴ①層より暗い色調。中世遺物包含層。

第Ⅵ①層 暗灰褐色土 1～5 mmの黒色スコリア微量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅵ②層 暗灰褐色土 1～5 mmの黒色スコリア少量含む。粘性あり。しまりあり。中世遺物包含層。

第Ⅶ①層 暗褐色土 1～3 mmの橙色スコリア多量、1～5 mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや強い。

しまりあり。上面で中世遺構確認。



第10図 1区・1区南基本土層図[1/800・1/40]

第VII②層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや強い。しまりあり。奈良・平安時代遺物包含層。

第VIII①層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリア少量、1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。奈良・平安時代遺物包含層。

第VIII②層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリア微量、1～5mmの黒色スコリア中量含む。粘性やや強い。

しまりやや弱い。上面で奈良・平安時代遺構確認。

第IX層 黒褐色土 1～3mmの橙色スコリア微量、1～8mmの黒色スコリア多量含む。粘性弱い。しまり弱い。弥生時代後期～古墳時代前期遺物包含層。

第X層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～5mmの黒色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。縄文時代遺物包含層。

第XI層 暗茶褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1mm以下の白色粒子微量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。上面で縄文時代遺構確認。

第XII層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまり強い。

第XIII層 明茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。ローム漸移層。

2区

本地区は富岡丘陵から字林台へ続く台地の北西に位置し、地形は北東に向かって傾斜している。北側は歌川支流の小支谷となっており、2区はこの小支谷の低地縁辺部に立地している。中央部分の20グリッド列付近には小規模な谷が入り込んでおり、近世以前の土層が堆積しているのが確認されたが、東側の22グリッド列付近及び南西側の18グリッド列付近は近世以降に削平を受けており、表土直下は関東ローム層であった。本地区では関東ローム層より旧石器時代の遺物が4点出土した。出土場所は調査区南西のE・F17・18グリッドである。関東ローム層は想定していたよりも北側に傾斜して堆積しており、出土層位付近で層滑り等により層位が乱れていることが確認された。また、拡張部南西隅で約30cm、西面中央で約50cmの層位にAT層と滑り面が確認でき、この滑り面より上部の堆積が北側へ滑り落ちており、B1～L3相当層の堆積土が通常よりも堆積が薄く、部分的には複雑に混在していることが判明した。

① C20・D20グリッド

第I層 表土。

第II層 暗灰褐色土 1～2mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性弱い。しまり弱い。上面で近世の遺構確認。

第III層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量、1～3mmの黒色スコリア少量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。中世遺物包含層。

第IV層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量、1～3mmの黒色スコリア中量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。上面で中世遺構確認。

第V層 黒褐色土 1～3mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリア中量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。上面で奈良・平安時代遺構確認。

第VI層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア少量、1～3mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや強い。しまりやや強い。奈良・平安時代遺物包含層。

第VII層 黒褐色土 1～8mmの黒色スコリア多量含む。粘性弱い。しまり弱い。奈良・平安時代遺物包含層。

第VIII層 暗褐色土 1～3mmの橙色スコリアやや多量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまりあり。古墳時代前期遺物包含層。

第IX層 暗褐色土 1～2mmの橙色スコリア中量、1～3mmの黒色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまりあり。上面で弥生時代後期～古墳時代前期遺構確認。

第X層 茶褐色土 1～2mmの橙色スコリア微量含む。粘性あり。しまりあり。縄文時代遺物包含層。

第XI層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア中量含む。粘性強い。しまり強い。縄文時代遺物包含層。

第XII層 茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまり強い。縄文時代遺物包含層。

第XIII層 明茶褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりあり。ローム漸移層。

第XIV層 暗黄褐色土 1～5mmの橙色スコリア少量含む。粘性強い。しまりやや強い。L1S～B0相層。

第XV層 黄褐色土 1～3mmの橙色スコリア中量、1～8mmの褐色スコリア微量含む。粘性やや強い。しまり強い。L1H相当層。

② 2区南F18グリッド(旧石器)

第XVI層 橙褐色土 2～12mmの橙色のスコリアやや多量、2～15mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。B1相当層より上部のロームに相当。

第XVII層 淡黄褐色土 1～5mmの橙色スコリアやや多量、1～10mmの黒色スコリア少量、白色粒子微量、2～3mmの青灰色岩片微量含む。粘性やや強い。しまりやや弱い。L2相当層。

第XVIII層 黄褐色土 1～2mmの赤褐色スコリア多量、2～10mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性やや弱い。しまりやや弱い。B2相当層。遺物出土。

第XIX層 滑り面 AT・S1スコリアを含み粘土化しており、やや軟質。

第XX層 黄白色土 1～10mmの橙色スコリア多量、2～8mmの黒色スコリアやや多量含む。部分的にATの密集あり。粘性やや強い。しまり強い。L3相当層。

第XXI層 滑り面 粘土化。

第XXII層 明淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量含む。L3 & B3相当層。

第XXIII層 淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量、2～4mmの橙色スコリア少量、2～20mmの黒色スコリアやや多量、白色粒子多量含む。上部にATを多く含む。粘性弱い。しまり強い。B3相当層。

第XXIV層 滑り面 かなり硬質化。

第XXV層 淡褐色土 1～2mmの褐色スコリア多量、2～3mmの黄土色スコリア少量、2～20mmの黒色スコリア多量、白色粒子やや多量含む。粘性弱い。しまりかなり強い。B3相当層。

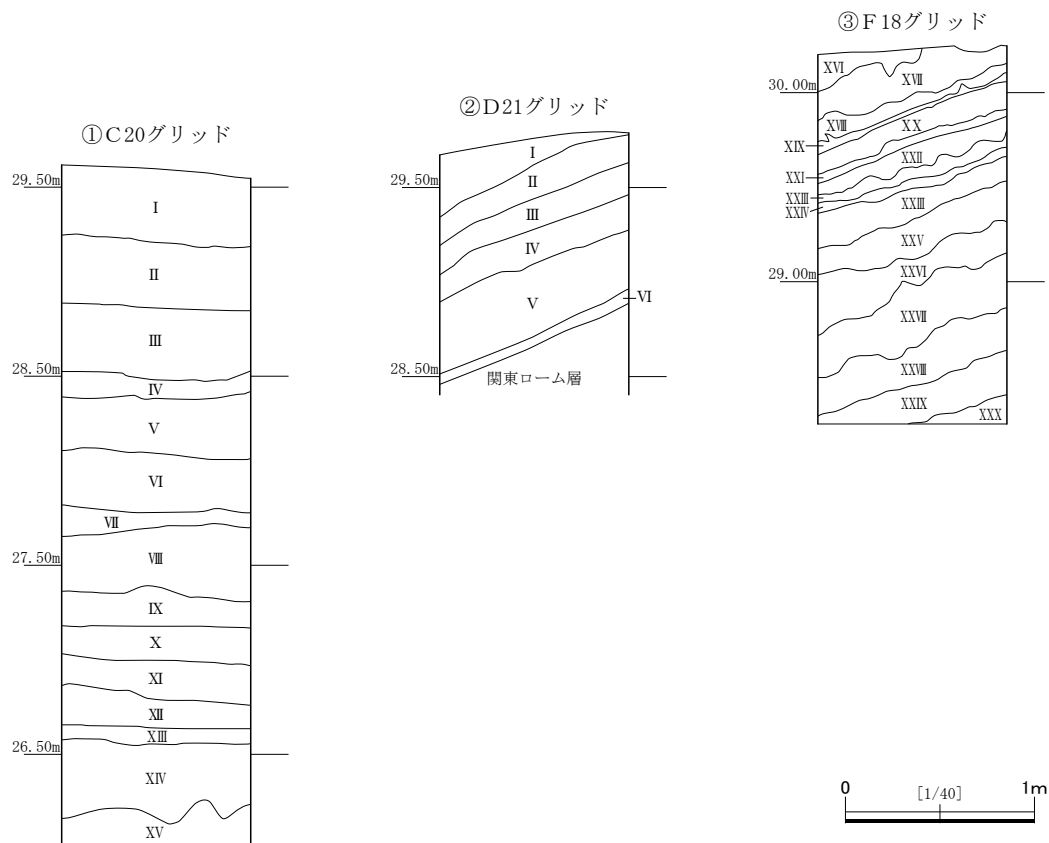
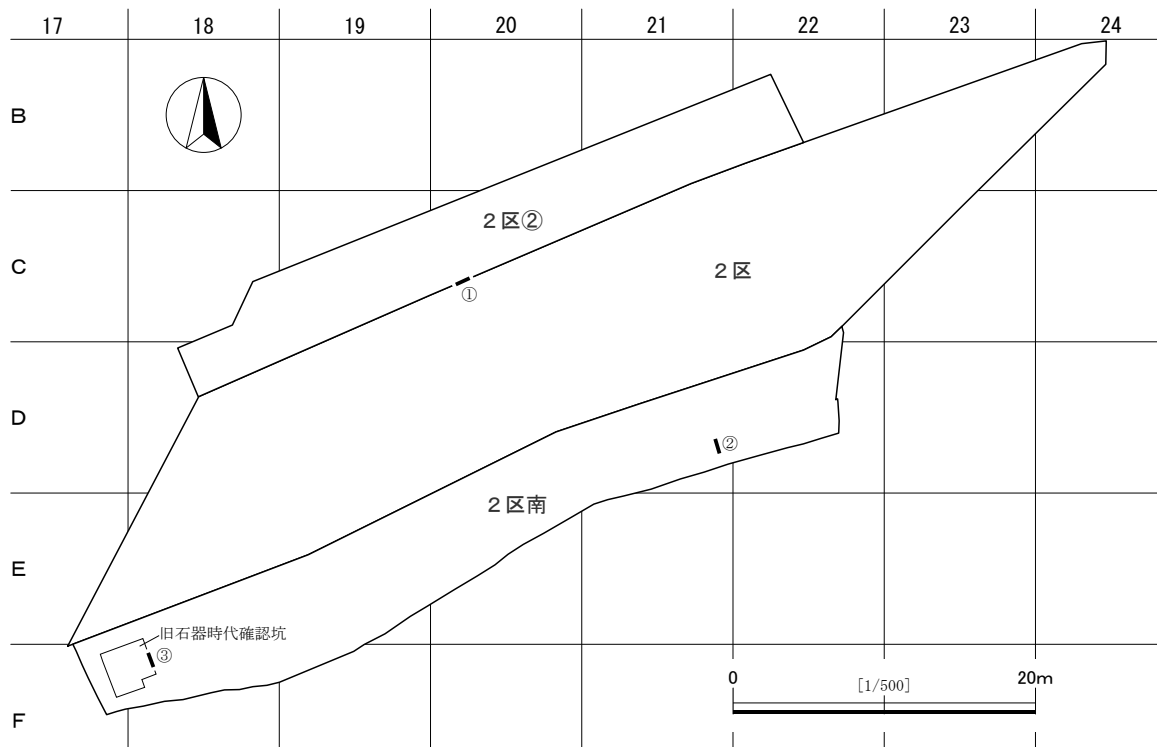
第XXVI層 明淡褐色土 1～2mmの褐色スコリアやや多量、2～5mmの橙色スコリア少量、2～12mmの黒色スコリアやや多量含む。粘性弱い。しまり強い。XXVI層から本層にかけて滑り面状の硬化部分が網目状に認められる。L4相当層。

第XXVII層 褐色土 2～5mmの橙色スコリア少量、2～12mmの黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量、青灰色岩片微量含む。粘性なし。しまり強い。B4相当層。

第XXVIII層 褐色土 2～8mmの橙色スコリア少量、2～15mmの黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量、青灰色岩片微量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。

第XXIX層 褐色土 2～5mm橙色スコリアやや多量、2～10mm黒色スコリア多量、1～2mmの褐色スコリア多量、白色粒子少量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。

第XXX層 褐色土 2～3mmの橙色スコリアやや少量、2～8mmの黒色スコリアやや多量、1～2mmの褐色スコリアやや多量含む。粘性弱い。しまり強い。B4相当層。



第11図 2区・2区②・2区南基本土層図[1/500・1/40]

第2章 発見された遺構と遺物

第1節 1区・1区南

1. 近世

1区・1区南で発見された近世の遺構は溝状遺構26条、硬化面1ヶ所、畝状遺構1ヶ所、土坑3基、ピット10基、流路1条である。基本土層第Ⅱ層で検出される。

1区・1区南は地形的に南から北へ低くなっており、遺構のほとんどは東側に集中している。さらに1区東側調査面は近代以降の攪乱を大きく受け、西側は中世から続く流路が存在しており、遺構面の残存度は低い。検出された遺構から耕作地として活用していることが伺える。

近世の出土遺物は、磁器碗72点(448.0g)、磁器皿10点(37.0g)、磁器小杯4点(12.6g)、磁器瓶類4点(12.8g)、磁器碗蓋1点(9.4g)、磁器蓋物1点(0.9g)、陶器碗18点(88.8g)、陶器仏飯器1点(23.0g)、陶器皿19点(111.0g)、陶器燈明皿3点(14.3g)、陶器壺1点(8.6g)、陶器播鉢4点(93.3g)、陶器鉢3点(63.4g)、陶器片口鉢5点(59.6g)、陶器甕1点(4.4g)、陶器土瓶3点(7.4g)、陶器徳利1点(11.1g)、陶器瓶類2点(3.5g)、金属製品(銅製引き手)1点(23.5g)、石製品(石臼・砥石)2点(100.1g)、鉄滓7点(130.0g)、動物遺存体(獣骨)2点(11.0g)である。なお、鉄滓については出土状況等から確実に中世の所産と判別出来るものはなかったため、近世の項で一括して表記した。総点数165点、総重量1,273.7gである。

遺物は遺構外からの出土が大半を占めている。

(1) 溝状遺構

K1号溝状遺構(第12・13図、図版4-2)

H6・7グリッド境南側で発見された。主軸方位はN-29°-Wを示し、検出面の標高は25.86mでK1号流路に切られている。南東から北西に延伸していると思われるが、南東側は確認できず、北西側は調査区外へ続いていることから詳細は不明である。検出規模は全長1.12m、幅0.60～0.82m、確認面からの深さは0.36mを測る。断面形は逆台形を呈している。

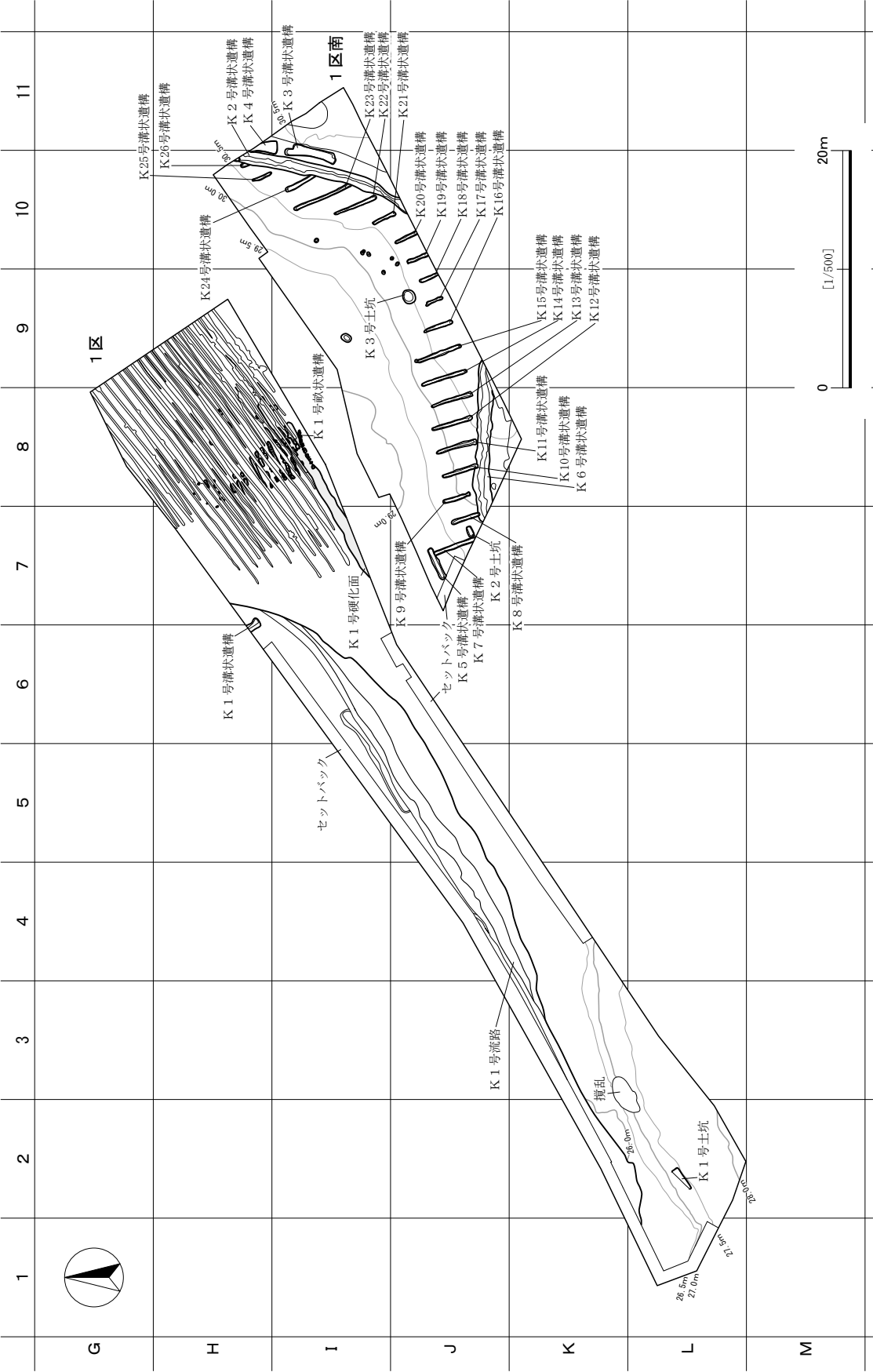
覆土はやや砂質の褐色土で4層に分層される。

遺物は出土していない。

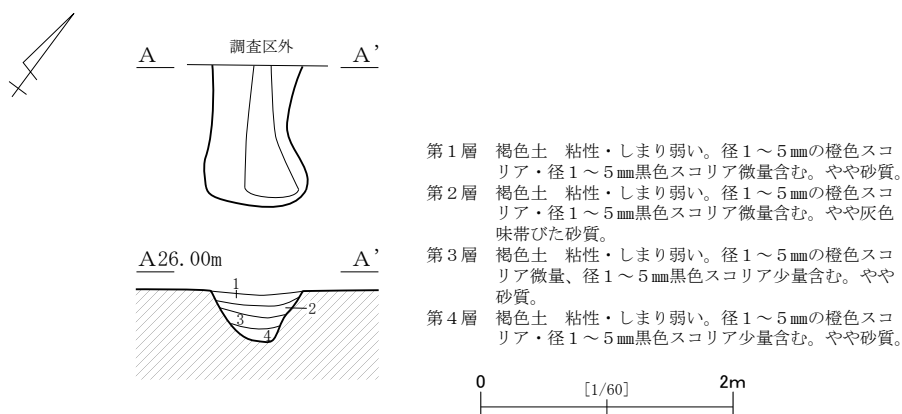
遺構の時期は、K1号流路に切られていることから近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K2号溝状遺構(第12・14図)

H～J10グリッド東側で発見された。北東上端をK4号溝状遺構に切られている。東側約0.45mにK3号溝状遺構が確認されている。確認された範囲での主軸方位はほぼN-13°-Eを示すが、南端部でN-63°-Eへ変化している。検出面の標高は30.61～30.86mである。北東側、南西側は調査区外へ延伸する。検出規模は全長14.80m、幅1.00～1.30mで方向が変わる南側の一部で0.50mと細くなる。確認面からの深さは0.10～0.17mを測る。断面形は浅い皿状を呈している。



第12図 1区・1区南 近世遺構配置図[1/500]



第13図 1区K1号溝状遺構[1/60]

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K3号溝状遺構（第12・15図）

I 10・11グリッド境北側で発見された。西側約0.45mにK2号溝状遺構、北側約0.60mにK4号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-14°-Eを示し、検出面の標高は30.70mである。検出規模は全長4.04m、幅0.64～0.90mを測る。確認面からの深さは0.23mで、断面形は箱形を呈している。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。また、西壁が屈曲しているため溝状遺構としたが、所謂芋穴の可能性も考えられる。

K4号溝状遺構（第12・15図）

H・I 10～11グリッド境南側で発見された。北西側でK2号溝状遺構を切っている。南側約0.60mにK3号溝状遺構が確認されている。主軸方位は真北を示し、検出面の標高は30.35mである。北側は調査区外へ延伸する。検出規模は全長2.40m、幅0.80～1.10mを測る。確認面からの深さは0.20mで、断面形は箱形を呈している。

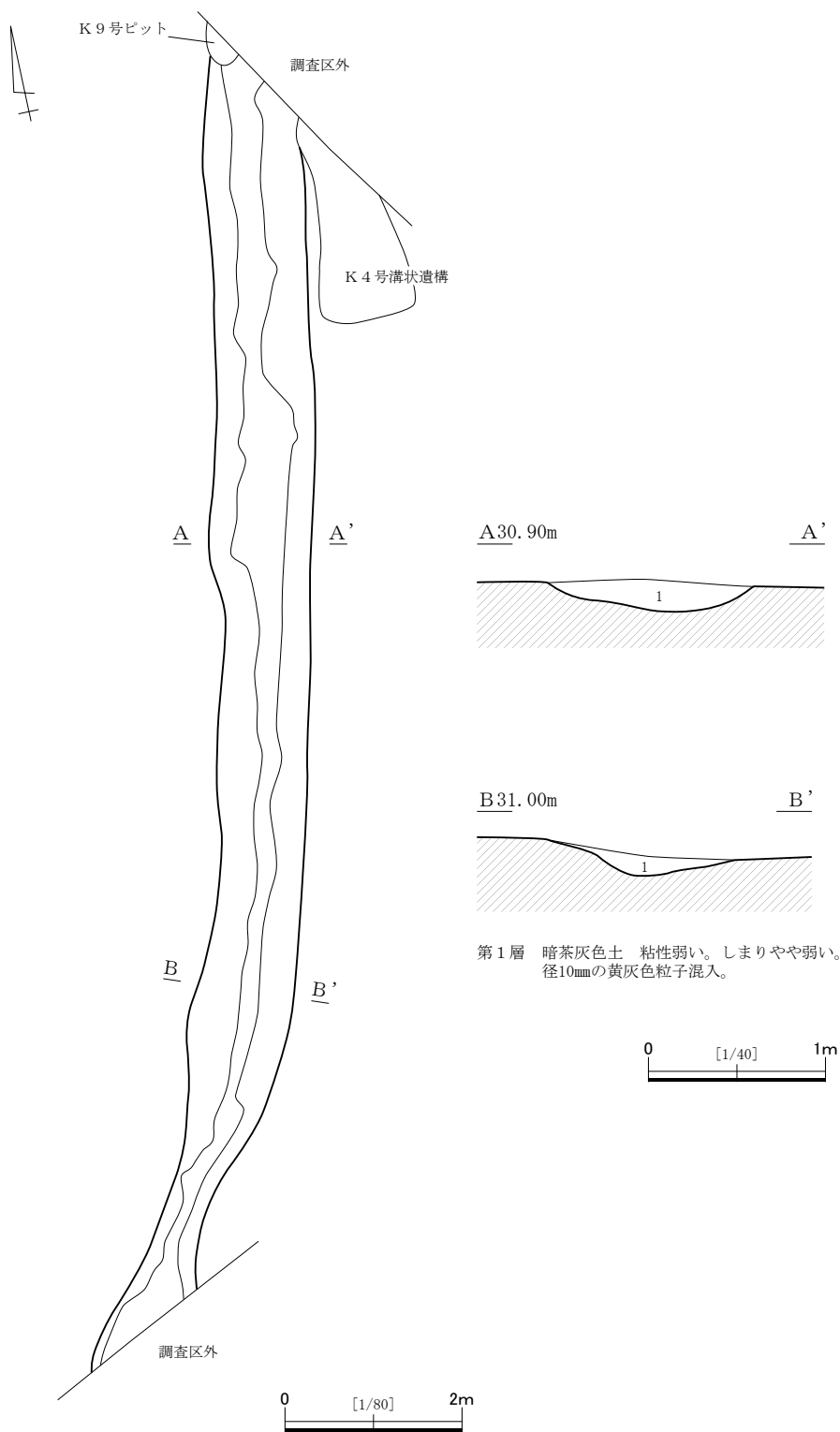
覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

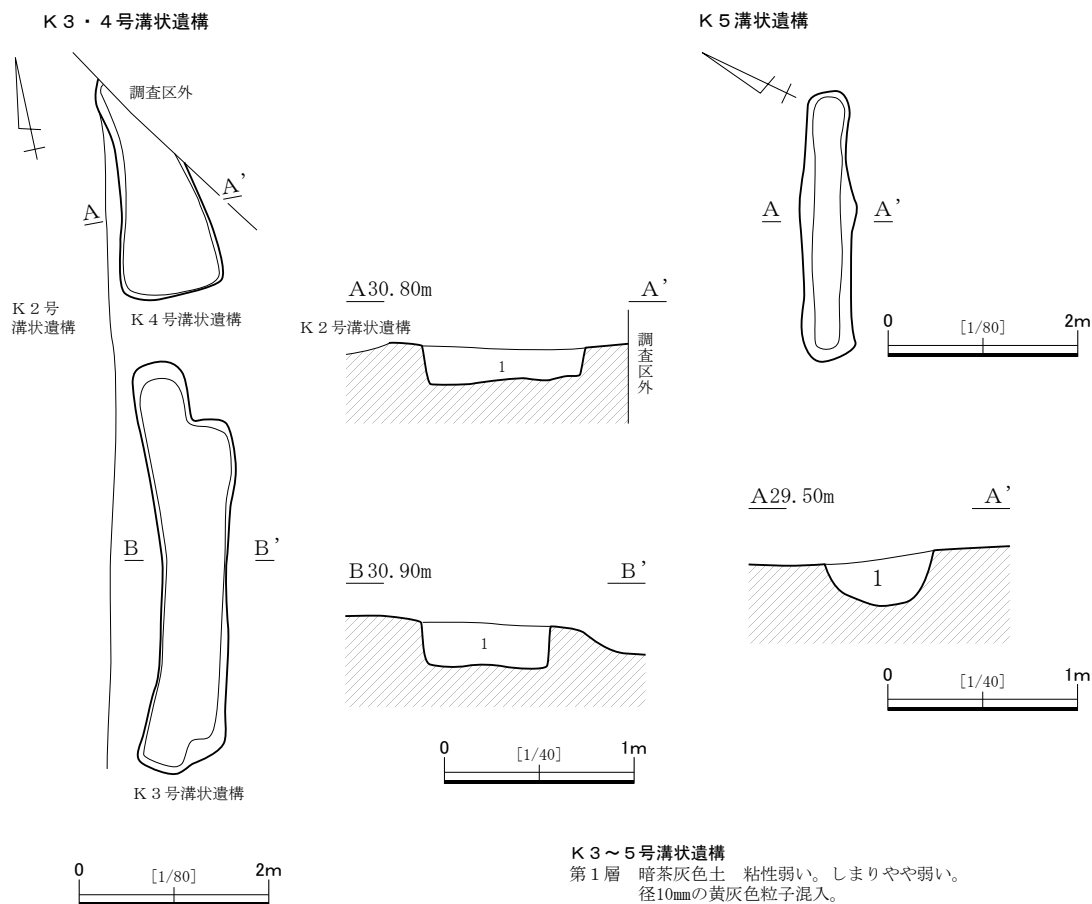
遺構の時期はK2号溝状遺構を切っていることから近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。また、西壁が屈曲しているため溝状遺構としたが、芋穴の可能性も考えられる。

K5号溝状遺構（第12・15図）

J 7グリッド中央で発見された。南側にはK7～13号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN-65°-Eを示し、検出面の標高は29.34mである。検出規模は全長2.88m、幅0.46～1.04m、確認面からの深



第14図 1区南K 2号溝状遺構[1/80・1/40]



第15図 1区南K3～5号溝状遺構[1/80・1/40]

さは0.25 mを測る。断面形は形に碗形に近い。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

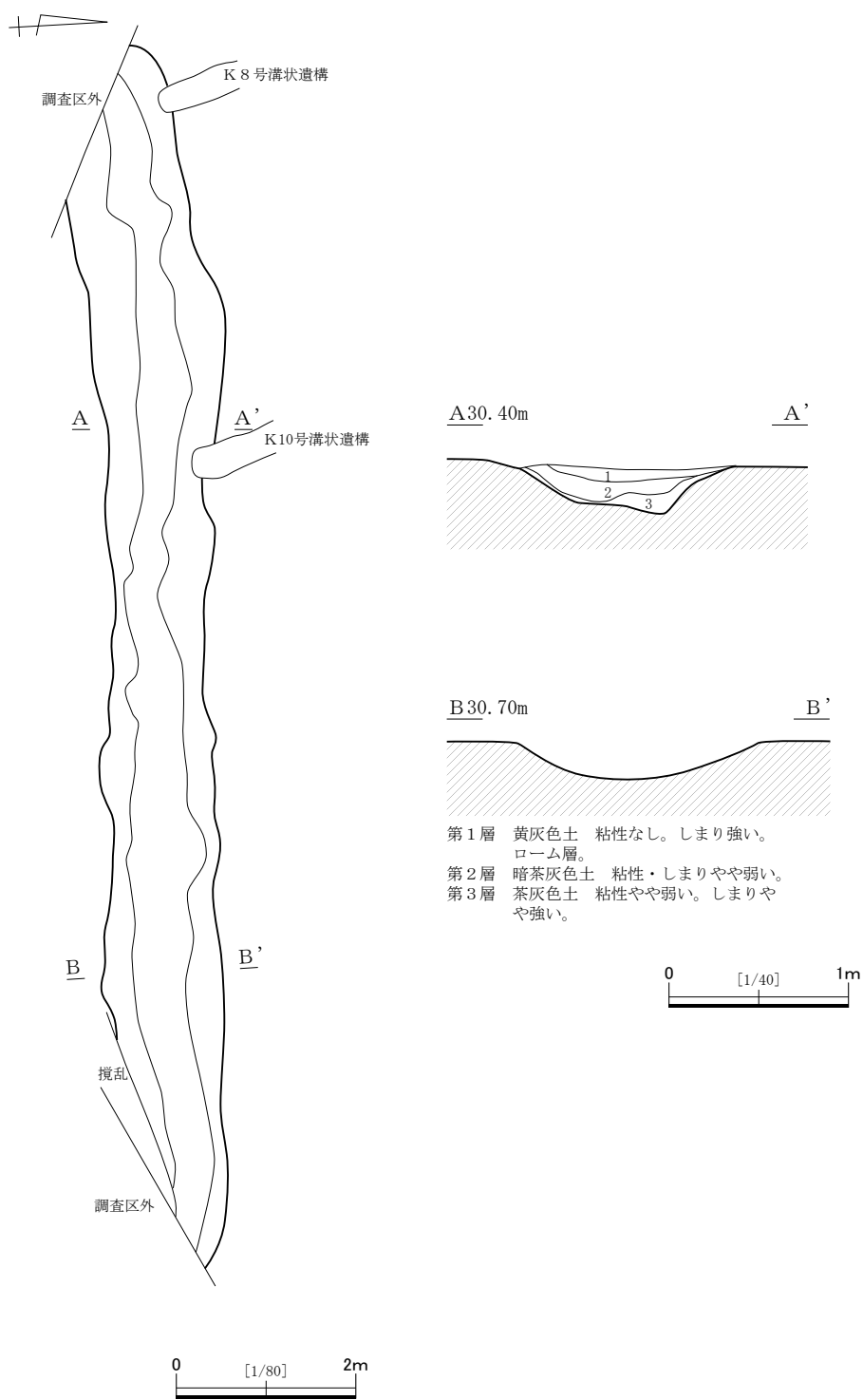
K6号溝状遺構（第12・16図、図版5－1）

J7～9グリッド南側で発見された。北側にはK7～15号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－90°－Eを示し、検出面の標高は29.24 mである。西端、東端とも調査区外へ延伸しており、やや南側へ方向を変更する様相がみられる。検出規模は全長13.76 m、幅1.20～1.50 mを測る。確認面からの深さは0.12～0.22 mで、断面形は北側が深くなる浅い皿状を呈している。

覆土は灰色土を基調に3層に分層される。

遺物は覆土から17世紀後半以降の肥前産陶器鉢1点（27.0 g）が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第16図 1区南K 6号溝状遺構[1/80・1/40]

K 7号溝状遺構 (第12・17図)

J 7 グリッド中央東寄りで発見された。北側をK 5号溝状遺構に切られ、南端は調査区外へ延伸する。東側約1.50 mにはK 8号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は29.50 mである。検出規模は全長3.70 m、幅0.28～0.40 m、確認面からの深さは0.10 mを測る。断面形は歪な逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 8号溝状遺構 (第12・17図)

J 7 グリッド中央南西寄りで発見された。西側約1.50 mにはK 7号溝状遺構、東側約1.40 mにはK 9号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は29.93 mである。検出規模は全長2.50 m、幅0.28～0.38 m、確認面からの深さは0.20 mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 9号溝状遺構 (第12・17図)

J 8 グリッド中央西端で発見された。西側約1.40 mにはK 8号溝状遺構、東側約1.70 mにはK 10号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は29.95 mである。検出規模は全長2.42 m、幅0.30～0.36 m、確認面からの深さは0.26 mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 10号溝状遺構 (第12・17図)

J 8 グリッド中央西側で発見された。西側約1.70 mにはK 9号溝状遺構、東側約1.70 mにはK 11号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は29.24 mである。検出規模は全長3.18 m、幅0.28～0.38 mで、確認面からの深さは0.50 mを測る。断面形は箱形を呈している。

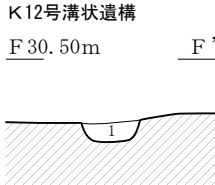
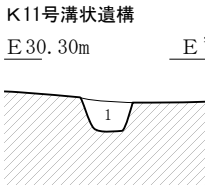
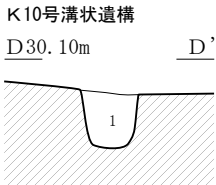
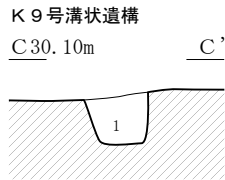
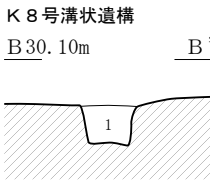
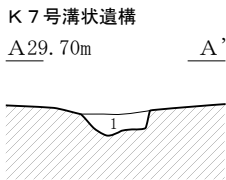
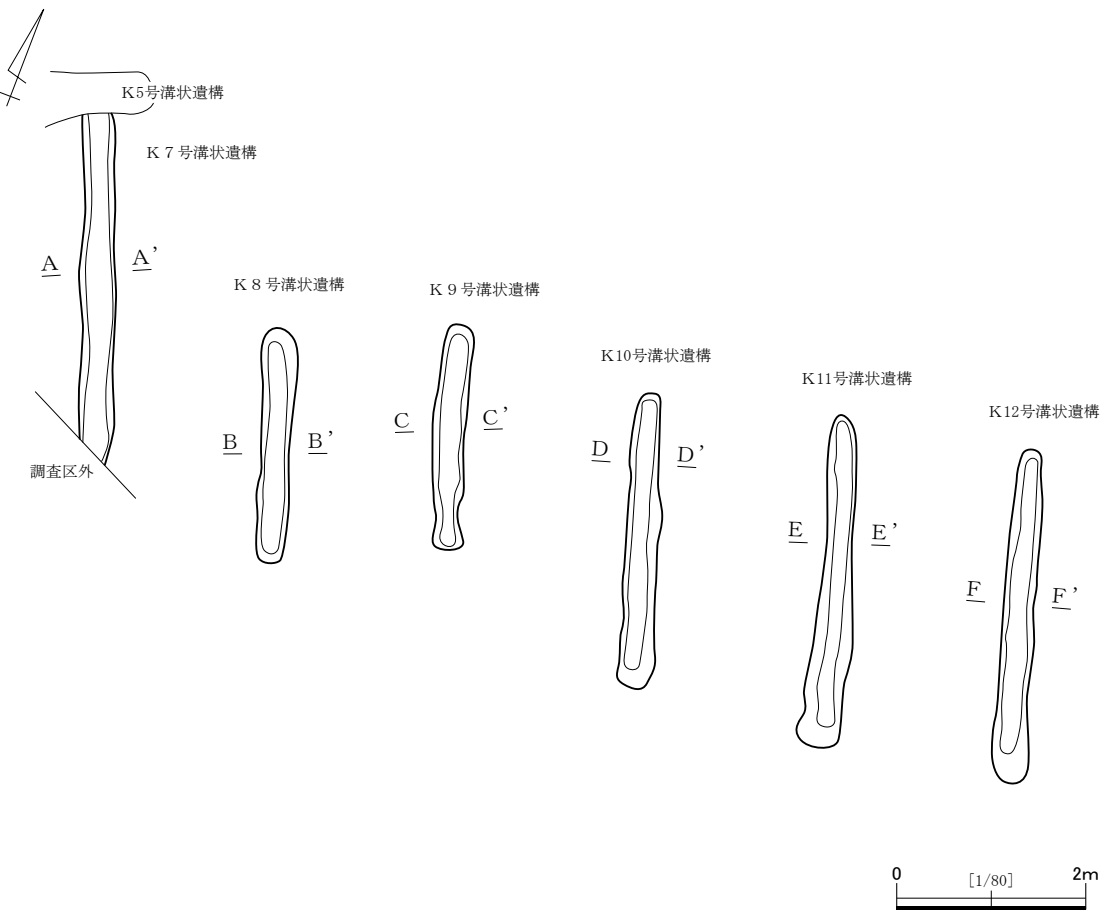
覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

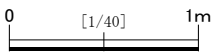
出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 11号溝状遺構 (第12・17図)

J 8 グリッド中央で発見された。西側約1.70 mにはK 10号溝状遺構、東側約1.60 mにはK 12号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.14 mである。検出規模は全長3.52 m、幅0.30～0.40 mで、確認面からの深さは0.15 mを測る。断面形は逆台形を呈している。



K 7～12号畝状遺構
第1層 暗黄灰色土 粘性弱い。しまりやや弱い。



第17図 1区南K 7～12号溝状遺構[1/80・1/40]

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 12号溝状遺構（第12・17図）

J 8 グリッド中央東側で発見された。西側約1.60 mにはK 11号溝状遺構、東側約1.62 mにはK 13号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.18 mである。検出規模は全長3.52 m、幅0.30～0.40 mで、確認面からの深さは0.10 mを測る。断面形は皿状を呈している。

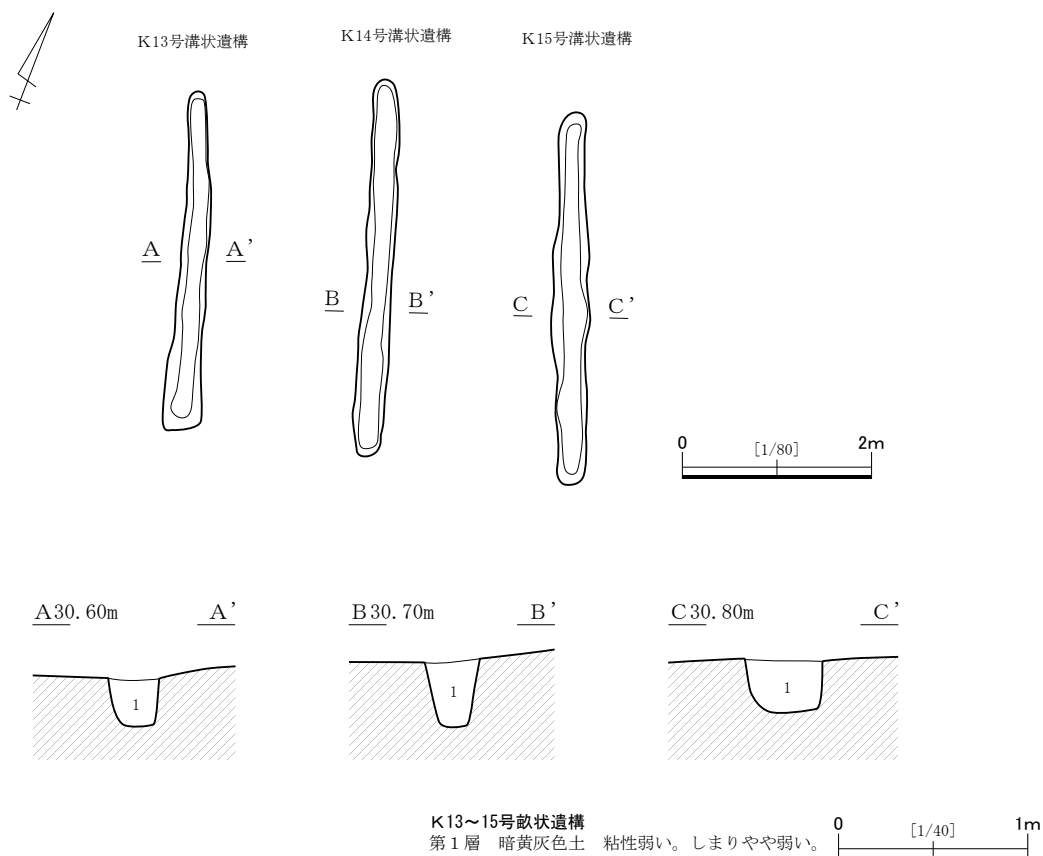
覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 13号溝状遺構（第12・18図）

J 8 グリッド中央東端で発見された。西側約1.62 mにはK 12号溝状遺構、東側約1.62 mにはK 14号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.39 mである。検出規模は全長3.60 m、幅0.20～0.40 mで、確認面からの深さは0.23 mを測る。断面形は箱形を呈している。



第18図 1区南K13～15号溝状遺構[1/80・1/40]

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 14号溝状遺構（第12・18図）

J 9 グリッド中央西端で発見された。西側約1.62 mにはK 13号溝状遺構、東側約1.60 mにはK 15号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.64 mである。検出規模は全長4.00 m、幅0.22～0.30 mで、確認面からの深さは0.28 mを測る。断面形は箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 15号溝状遺構（第12・18図）

J 9 グリッド中央北西寄りで見えられた。西側約1.60 mにはK 14号溝状遺構、東側約2.00 mにはK 16号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.53 mである。検出規模は全長4.00 m、幅0.24～0.40 mで、確認面からの深さは0.35 mを測る。断面形は深さのある逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 16号溝状遺構（第12・19図）

J 9 グリッド中央で見えられた。西側約2.00 mにはK 15号溝状遺構、東側約1.84 mにはK 17号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.74 mである。検出規模は全長2.56 m、幅0.24～0.30 mで、確認面からの深さは0.08 mを測る。断面形は浅い箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

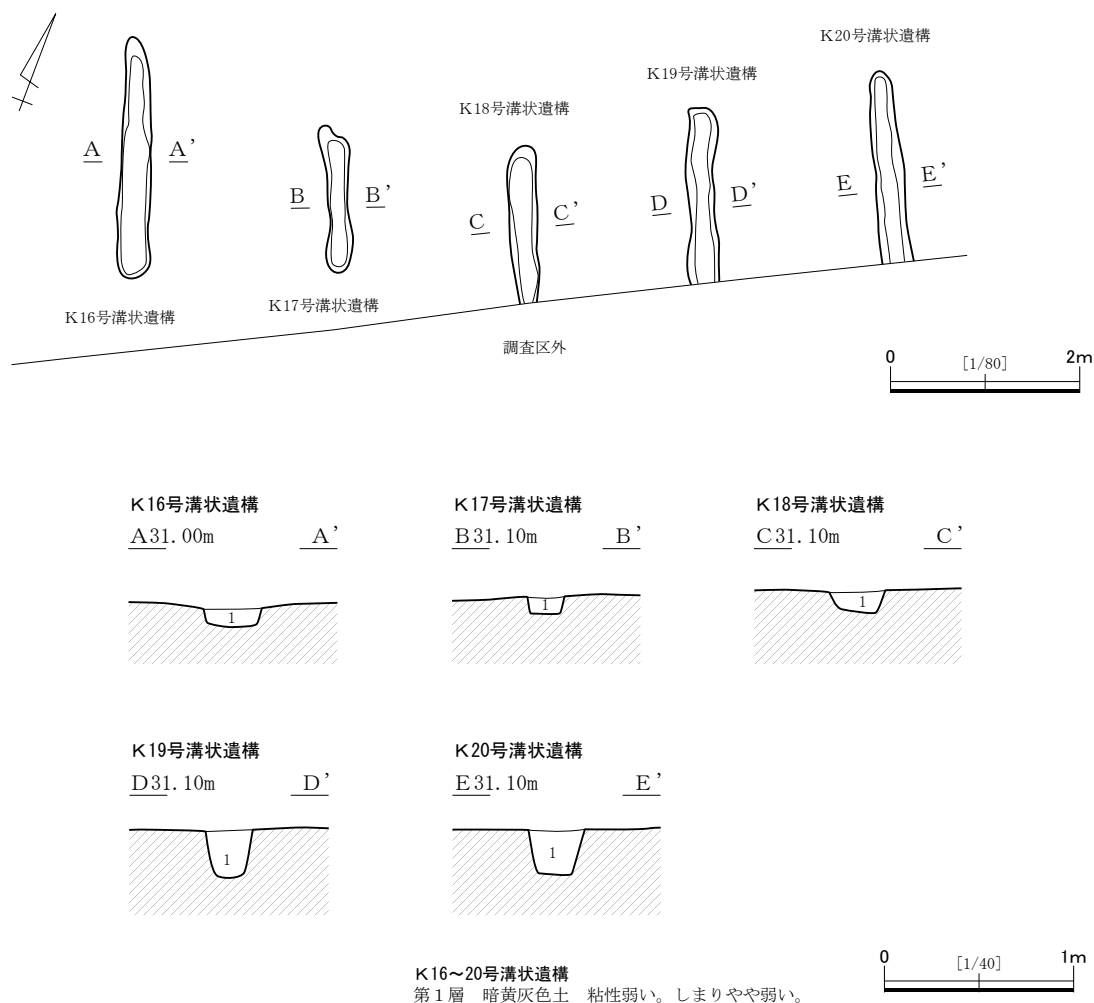
K 17号溝状遺構（第12・19図）

J 9 グリッド中央北東寄りで見えられた。西側約1.84 mにはK 16号溝状遺構、東側約1.62 mにはK 18号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.88 mである。検出規模は全長1.60 m、幅0.2～0.3 mで、確認面からの深さは0.08 mを測る。断面形は浅い箱形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



K18号溝状遺構（第12・19図）

J 9 グリッド中央東端で発見された。南端は調査区外へ延伸する。西側約1.62mにはK17号溝状遺構、東側約1.60mにはK19号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.89mである。検出規模は全長1.60m、幅0.22～0.30mで、確認面からの深さは0.12mを測る。断面形は浅い逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K19号溝状遺構（第12・19図）

J 10 グリッド北西端で発見された。南端は調査区外へ延伸する。西側約1.60mにはK18号溝状遺構、東側約1.62mにはK20号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.94mである。検出規模は全長1.80m、幅0.30mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面形は深さのある逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 20号溝状遺構（第12・19図）

J 10グリッド北西寄りで発見された。南側は調査区外へ延伸する。西側約1.62mにはK 19号溝状遺構、東側約1.90mにはK 21号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.94mである。検出規模は全長2.02m、幅0.24～0.30mで、確認面からの深さは0.24mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 21号溝状遺構（第12・20図）

J・I10グリッド中央で発見された。西側約1.90mにはK 20号溝状遺構、東側約1.60mにはK 22号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.93mである。検出規模は全長2.10m、幅0.22～0.30mで、確認面からの深さは0.05mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 22号溝状遺構（第12・20図）

I 10グリッド中央南側で発見された。西側約1.60mにはK 21号溝状遺構、東側約1.60mにはK 23号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.85mである。検出規模は全長3.88m、幅0.18～0.34m、確認面からの深さは0.09mを測る。断面形は浅い逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

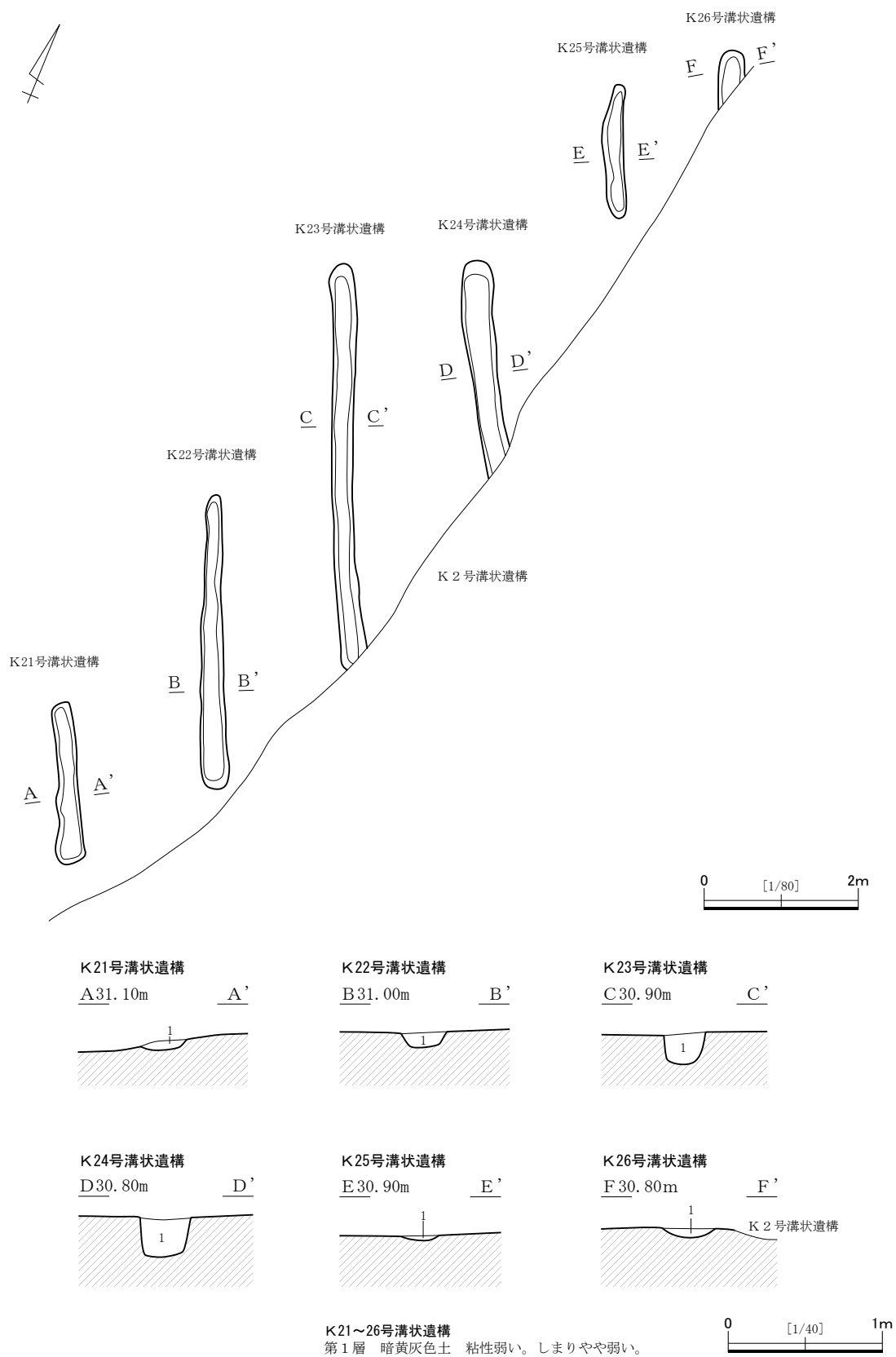
K 23号溝状遺構（第12・20図）

I 10グリッド中央で発見された。南東端を僅かにK 2号溝状遺構に切られている。西側約1.60mにはK 22号溝状遺構、東側約1.70mにはK 24号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.74mである。検出規模は全長5.22m、幅0.28mで、確認面からの深さは0.20mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第20図 1区南K21～26号溝状遺構[1/80・1/40]

K 24号溝状遺構（第12・20図）

I 10グリッド北東寄りで発見された。南側はK 2号溝状遺構に切られている。西側約1.70 mにはK 23号溝状遺構、東側約1.60 mにはK 25号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.68 mである。検出規模は全長2.80 m、幅0.30～0.40 mで、確認面からの深さは0.23 mを測る。断面形は逆台形を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 25号溝状遺構（第12・20図）

H 10グリッド南東端で発見された。西側約1.60 mにはK 24号溝状遺構、東側約1.20 mにはK 26号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.65 mである。検出規模は全長1.76 m、幅0.12～0.22 mで、確認面からの深さは0.05 mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

K 26号溝状遺構（第12・20図）

H 10グリッド中央南東寄りで発見された。南側はK 2号溝状遺構に切られている。西側約1.20 mにはK 25号溝状遺構が確認されている。主軸方位はN－19°－Wを示し、検出面の標高は30.30 mである。検出規模は全長0.58 m、幅0.30 mで、確認面からの深さは0.05 mを測る。断面形は皿状を呈している。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

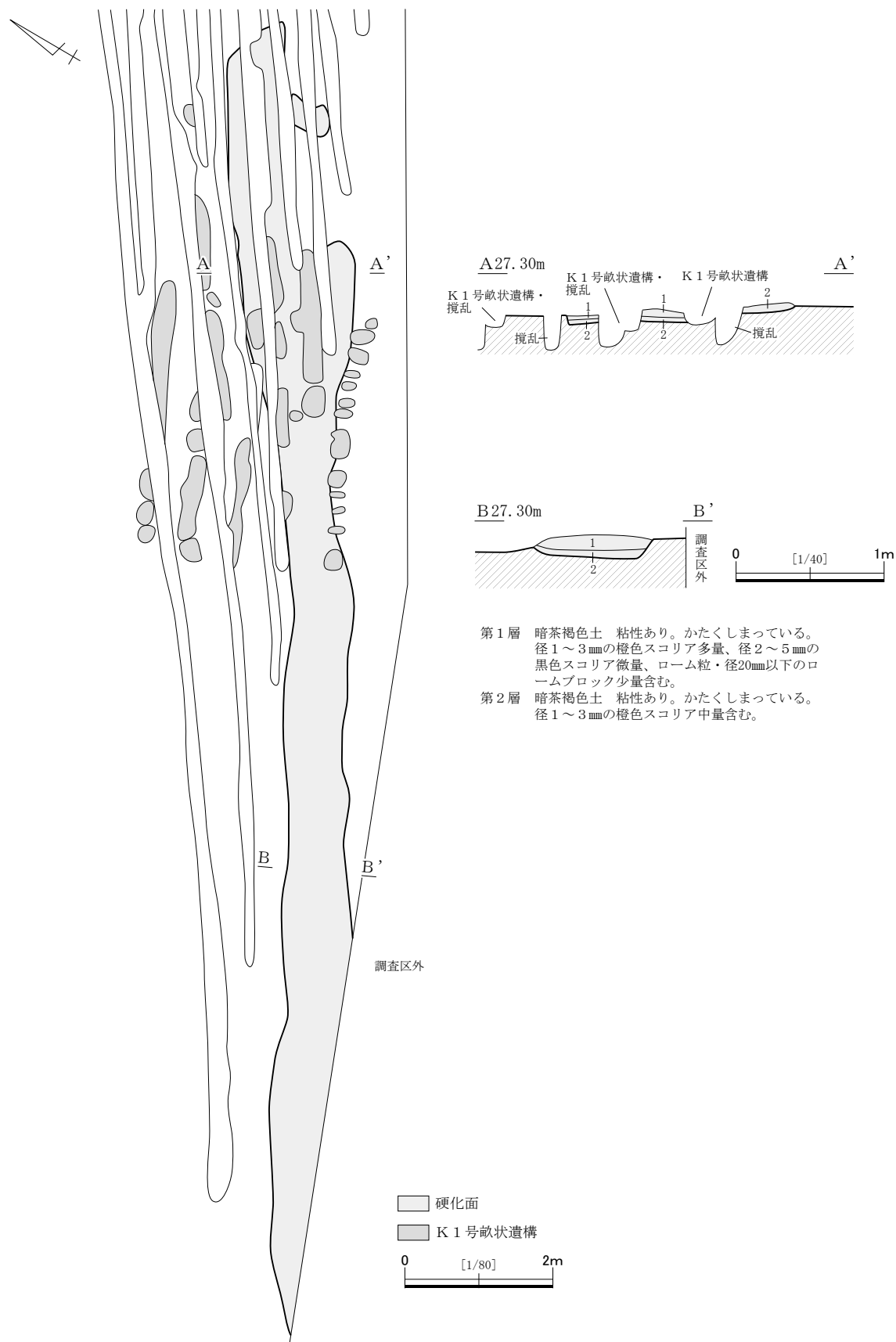
（2）硬化面

K 1号硬化面（第12・21図、図版5－2）

I 7・8グリッドで発見された。検出面の標高は27.11 m～27.21 mで、北東から南西にほぼ直線状に延びている。北東側は後世の攪乱を受け、南西側は調査区外へ続いているため、全体を確認することはできなかった。北西側はK 1号畝状遺構にも切られている。検出規模は全長18.0 m、幅0.80～1.60 mを測る。硬化面の厚さは約0.15 mで、粘性のある暗茶褐色土である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられる。K 1号畝状遺構より古い道状遺構などの可能性が考えられるが、詳細は不明である。



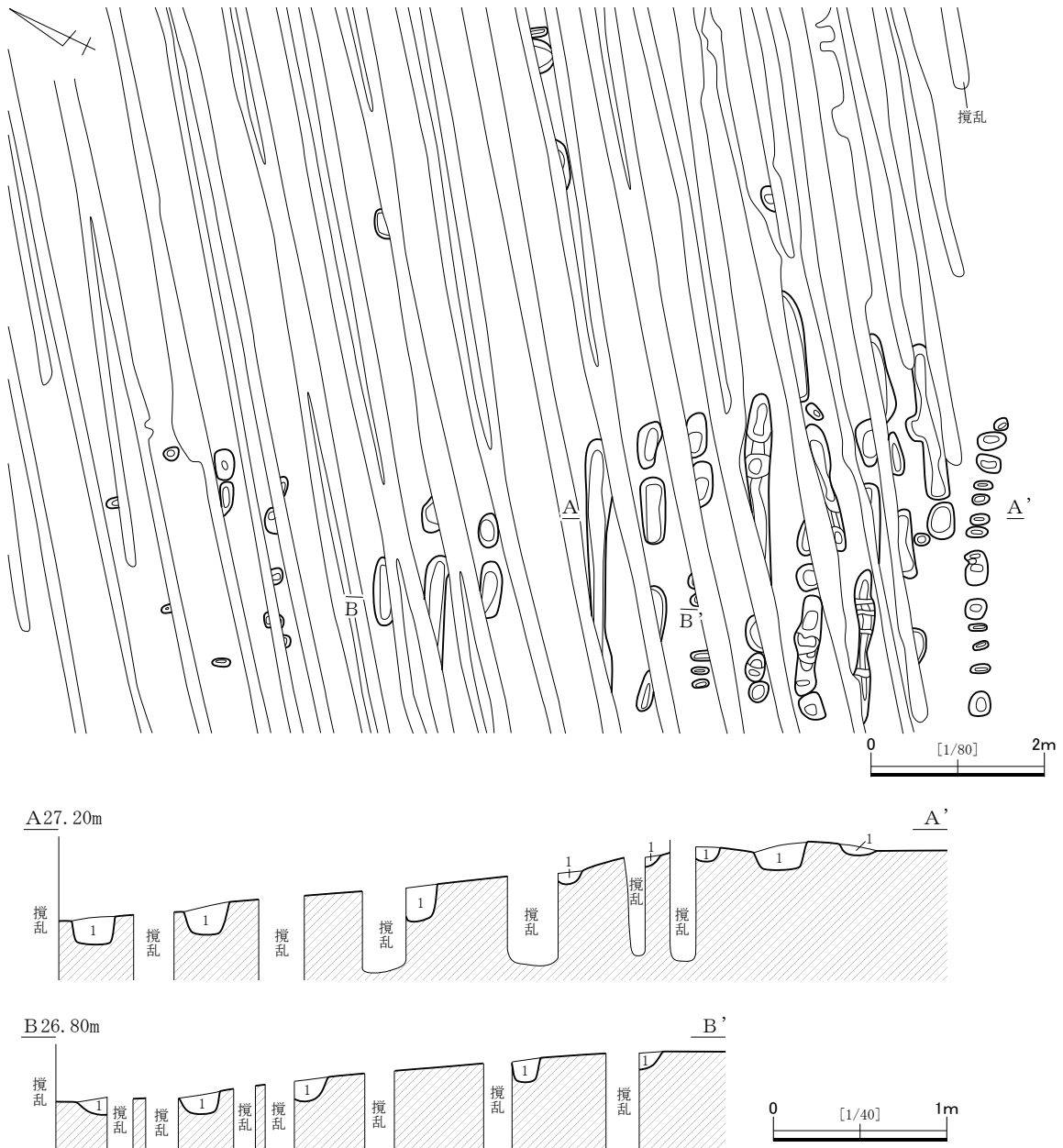
(3) 畝状遺構

K 1 号畝状遺構 (第12・22図、図版6-1)

I 8 グリッドで発見された。検出面の標高は26.45m～27.15mである。10m×8mの範囲に北東から南西に延びる幅約0.25m、深さ0.10～0.30mの溝状及びピット状の掘り込みが、0.35～0.50mの間隔で10列ほど並列していることが確認された。北東側は後世の攪乱を受け、全体を確認することはできなかった。確認面からの深さは0.10～0.40mで、断面形は逆台形を呈し、覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられ、K 1 号硬化面よりも新しい所産である。



第1層 茶褐色土 粘性・しまりややあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径2～3mmの黒色スコリア・地山ブロック（黒褐色土）微量含む。やや砂質。

第22図 1区K 1号畝状遺構[1/80・1/40]

(4) 土坑

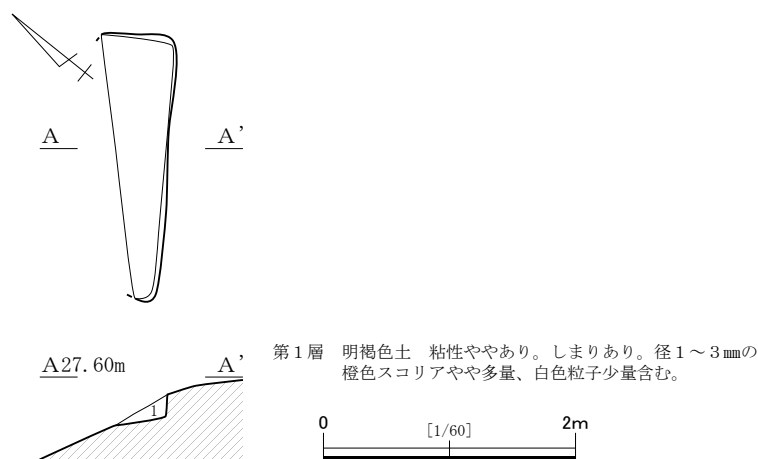
K 1号土坑 (第12・23図、図版6-2)

L 2 グリッド中央やや西寄りで発見された。北側は削平を受けており全容は明らかではない。検出面の標高は27.57 m、残存する規模は南壁長2.10 m、東壁長0.60 mを測る。確認面からの深さは0.20 mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は箱型を呈する。

覆土は明褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。



第23図 1区K 1号土坑[1/60]

K 2号土坑 (第12・24図)

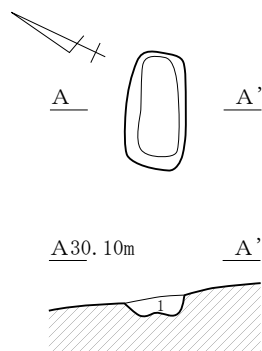
J 7 グリッド南東寄りで発見された。検出面の標高は29.88 mである。平面形は東西に長い長方形を呈し、長軸方位はN-70°-Eを示す。検出規模は長軸0.93 m、短軸0.49 mで、確認面からの深さは0.22 mを測る。底面は凹凸があり、断面形は椀型に近い。

覆土は暗黄灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

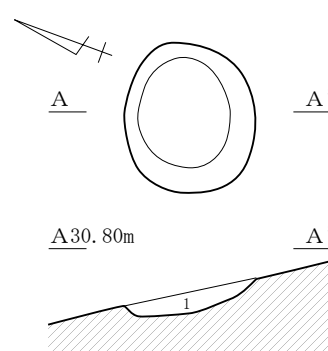
遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。

K 2号土坑



第1層 暗黄灰色土 粘性弱い。しまりやや弱い。

K 3号土坑



第1層 暗茶灰色土 粘性・しまりやや強い。

第24図 1区南K 2・3号土坑[1/60]

K3号土坑（第12・24図、図版7－1）

J9グリッド北東寄りで見出された。検出面の標高は30.65mである。平面形は東西に長い楕円形を呈する。検出規模は長軸1.19m、短軸1.05mで、確認面からの深さは0.16mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は浅い皿状を呈する。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

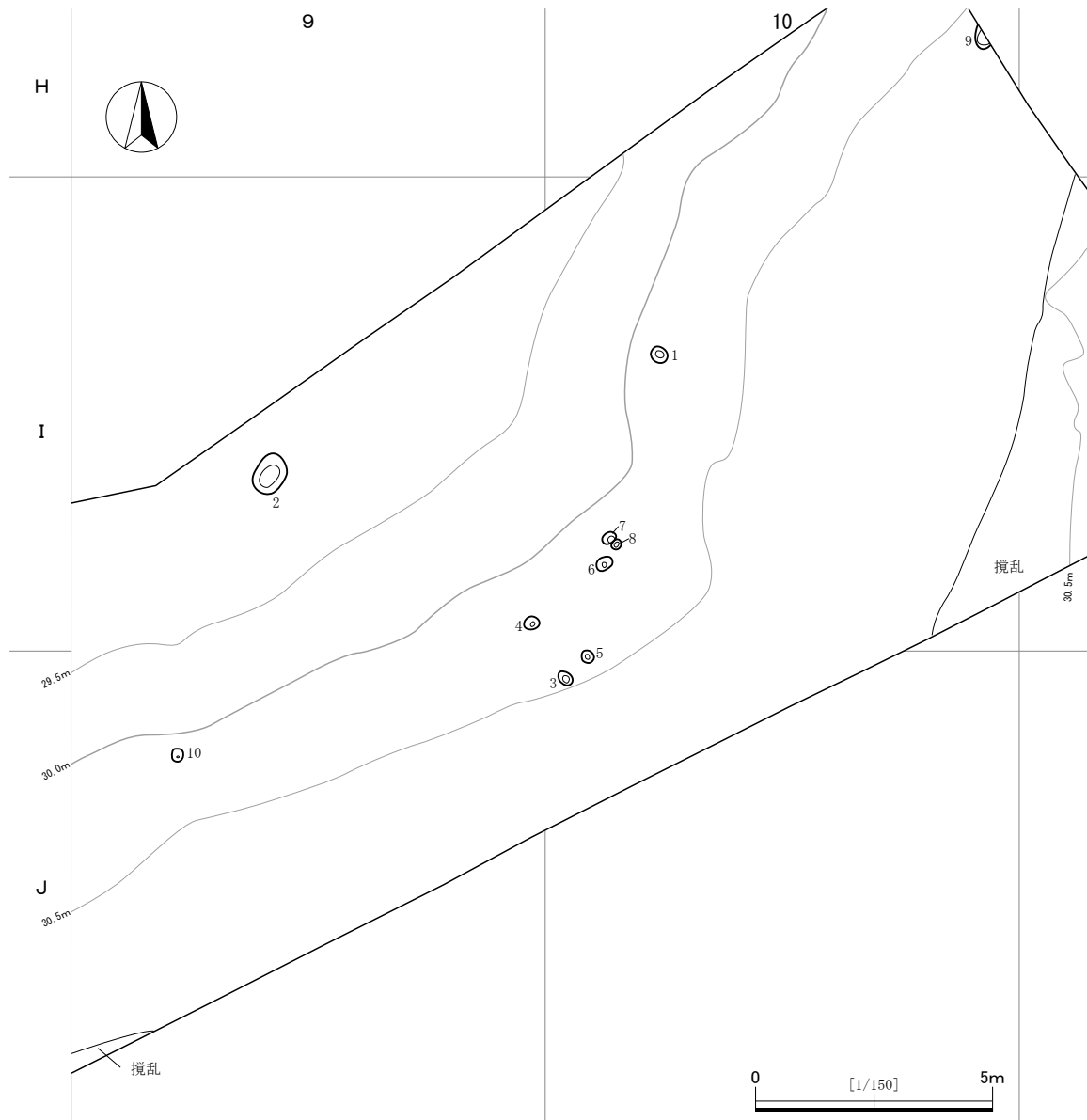
遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と考えられるが詳細な時期等は不明である。

(5) ピット（第12・25・26図、第5表）

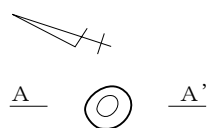
近世のピットはH～J9・10グリッドで10基発見された。

主にI10グリッド西側に集中している。同グリッド付近には溝状遺構が存在するが重複はしていない。

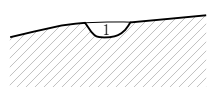


第25図 1区南 近世ピット分布図[1/150]

K1号ピット

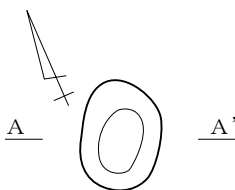


A30.50m A'

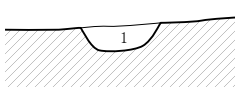


第1層 暗黄灰色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。径2～5mmの黄色または灰色粒子混入。

K2号ピット

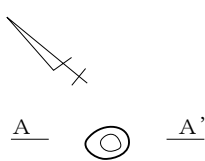


A29.30m A'

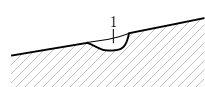


第1層 黒褐色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。黄色または灰色ブロック混入。

K3号ピット

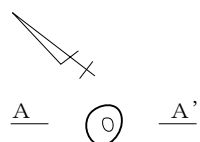


A30.80m A'



第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K4号ピット

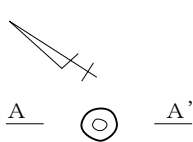


A30.40m A'

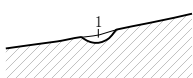


第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K5号ピット

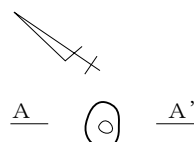


A30.50m A'

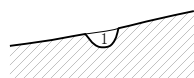


第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K6号ピット

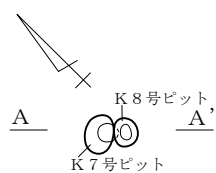


A30.50m A'



第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K7・8号ピット

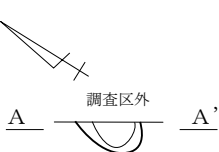


A30.40m A'



K7・8号ピット
第1層 黒灰色土 粘性やや弱い。しまり強い。

K9号ピット

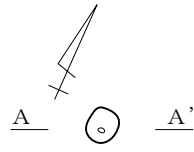


A30.70m A'

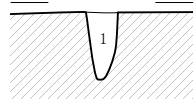


第1層 暗茶灰色土 粘性やや弱い。しまりやや強い。黄灰色粒子混入。

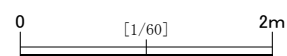
K10号ピット



A30.00m A'



第1層 茶褐色土 粘性・しまり弱い。



第26図 1区南K1～10号ピット[1/60]

第5表 1区南 近世ピット計測図 [第525・526図]

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
K1号ピット	I10	0.36	0.32	0.19	円形	K6号ピット	I10	0.36	0.27	0.17	楕円形
K2号ピット	I9	0.88	0.63	0.24	楕円形	K7号ピット	I10	0.31	0.23	0.14	楕円形
K3号ピット	J10	0.35	0.25	0.14	楕円形	K8号ピット	I10	0.23	0.19	0.07	円形
K4号ピット	I9	0.33	0.28	0.18	円形	K9号ピット	H10	(0.51)	(0.36)	0.23	楕円形
K5号ピット	I10・J10	0.29	0.26	0.11	円形	K10号ピット	J9	0.28	0.24	0.60	方形

平面形は円形或いは楕円形で、確認面からの深さはほとんどが0.10～0.20mである。各々の検出規模については第5表にまとめている。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から近世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

(6) 流路(第12・27・28図、図版7-2・145-1)

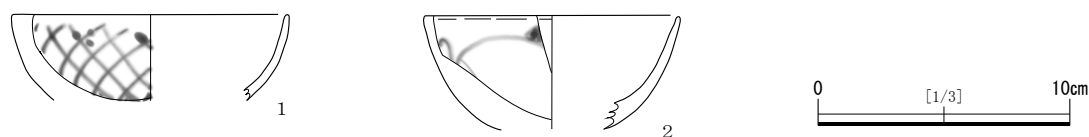
調査区北側全体にあたる、I5～7、J4～6、K2～4、L1～2グリッドで発見された。本調査区は台地の北西側斜面地から低地際にあたり、その斜面地に堆積した砂質の強い堆積土をもつ範囲を流路とした。

検出規模は全長60.00m、幅1.00～5.20m、深さ1.20～1.34mを測る。断面から西へ向かって低くなることが確認され、本流路は北東から南西へ流れていることが判明した。

流路の時期を特定することは出来なかったが、西側には宝永スコリアが分厚く堆積している箇所があり、宝永火山灰降灰後に埋まった様子が窺えた。

遺物は、磁器碗20点(67.5g)、磁器小杯1点(1.7g)、陶器碗5点(12.2g)、陶器皿4点(16.9g)、陶器鉢1点(19.8g)、陶器片口鉢3点(26.8g)、陶器土瓶1点(0.6g)、陶器徳利1点(11.1g)、石製品(砥石)1点(20.6g)、総点数37点、総重量177.2gが出土し、そのうち2点を図化した。

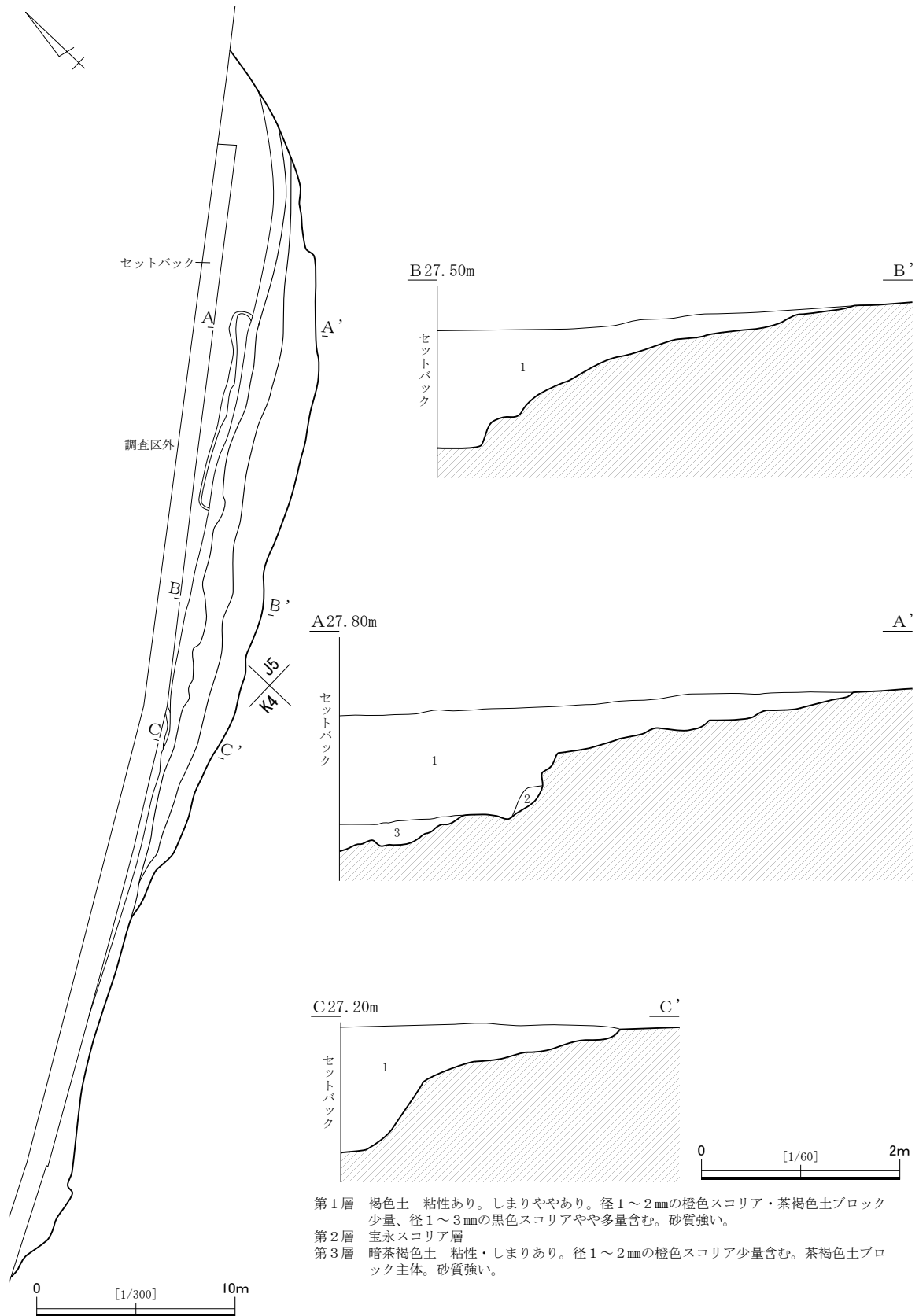
第27図1・2は肥前磁器染付碗の口縁部～体部である。ともに丸形の中碗で、1は外面に格子と玉文、2は外面に雪論文外面に書かれている。1、2とも18世紀の製品である。



第27図 1区K1号流路出土遺物[1/3]

第6表 1区K1号流路出土遺物観察表 [第27図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	染付丸形碗	磁器	[11.0]	—	(3.4)	11.7	口縁部～体部上半1/5	肥前	18世紀	素地 灰白色、密焼成 堅緻 釉薬 呉須・透明釉 文様 格子・玉文
2	染付丸形碗	磁器	[10.0]	—	(4.5)	14.6	口縁部～体部1/6	肥前	18世紀	素地 灰白色、密焼成 堅緻 釉薬 呉須・透明釉 文様 雪輪文



第28図 1区K1号流路[1/300・1/60]

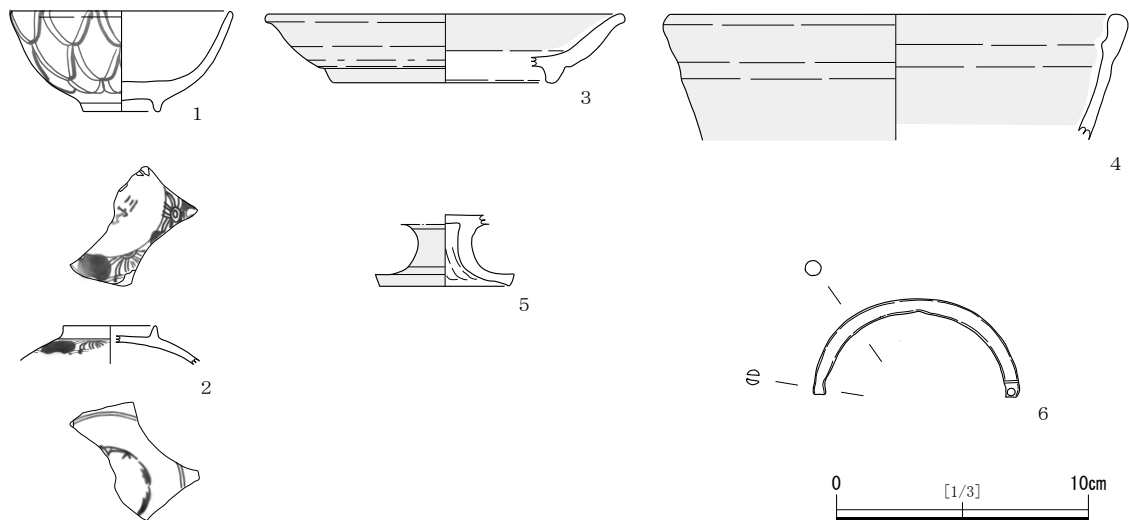
(7) 遺構外出土遺物(第29図、第7表、図版145-1)

近世の遺構外出土遺物は、磁器碗53点(389.9g)、磁器皿10点(37.0g)、磁器小杯3点(10.9g)、磁器瓶類4点(12.8g)、磁器蓋物1点(0.9g)、陶器碗13点(76.6g)、陶器仏飯器1点(23.0g)、陶器皿15点(94.1g)、陶器燈明皿3点(14.3g)、陶器壺1点(8.6g)、陶器播鉢4点(93.3g)、陶器鉢1点(16.6g)、陶器片口鉢2点(32.8g)、陶器甕1点(4.4g)、陶器土瓶2点(6.8g)、陶器瓶類2点(3.5g)、金属製品(銅製引き手)1点(23.5g)、石製品(石臼)1点(79.5g)、鉄滓7点(130.0g)、動物遺存体(獣骨)2点(11.0g)である。総点数127点、総重量1,069.5gである。そのうち6点を図化した。

第29図1・2は肥前磁器碗・碗蓋である。1は小型の丸碗で外面に二重網目が描かれている。18世紀後半の製品である。2は外面には草花文、内面には二重圈線と松竹梅が描かれている。高台内には朱書で「川津」と記されており、また断面には焼き継痕が残る。19世紀前半の製品である。

第29図3～5は瀬戸・美濃産の灰釉陶器である。3は内外面施釉されているが、二次焼成を受けている様相が見受けられる。17世紀後半の製品である。4は片口鉢の口辺部片である。19世紀の製品である。5は仏飯器である。坏部底部から脚部が残存している。坏部内外面と外面脚部は施釉されている。18世紀前半の製品である。

第29図6は銅製品引き手であるが詳細は不明である。



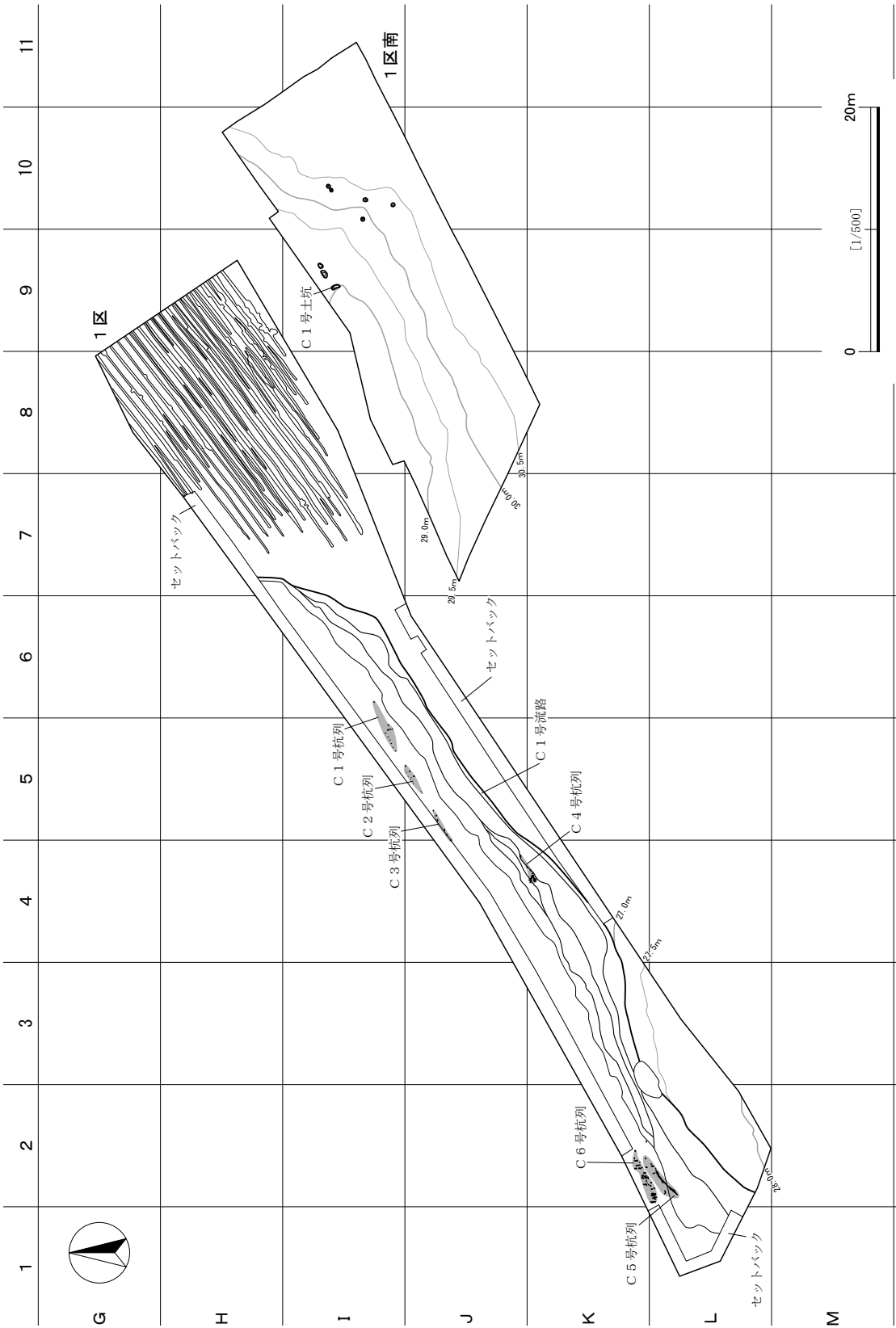
第29図 1区近世遺構外出土遺物[1/3]

第7表 1区近世遺構外出土遺物観察表〔第29図〕

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	染付 丸形碗	磁器	8.5	2.9	4.0	62.4	1/2	肥前	18世紀 後半	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面二重網目文 出土位置 I・II層一括
2	染付 碗蓋	磁器	—	[3.6]	(1.5)	9.4	底部1/2 程度	肥前	19世紀 前半	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 呉須・透明釉 文様 外面草花文・見込二重圈線内松竹梅繋ぎ文 備考 焼継痕、「川津」の朱書 出土位置 南北拡張区
3	灰釉 端反皿	陶器	[14.0]	[8.5]	2.7	20.9	口縁部～ 底部1/7	瀬戸・ 美濃	17世紀 後半	胎土 浅黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 備考 高台錆化粧 出土位置 J5gr
4	灰釉 片口鉢	陶器	[17.5]	—	(4.0)	20.4	口縁部～ 体部1/10	瀬戸・ 美濃	19世紀	胎土 浅黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 淡緑色灰釉 出土位置 I・II層一括
5	灰釉 仏飯碗	陶器	—	[5.2]	(2.8)	23.0	脚部～底 部1/3	瀬戸・ 美濃	18世紀 前半	胎土 淡黄色、密、黒色粒子を含む 焼成 良好 釉薬 内面・脚部外面淡緑色灰釉 備考 脚部内無釉 出土位置 I・II層一括
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
6	引き手	銅	7.8	0.6	0.6	23.5	残存度 端部欠損 備考 全体が弧状を呈し、断面形は円形、端部に径0.4cmの取り付け穴、片方は欠損 出土位置 M2gr			

2. 中世

1区・1区南で発見された中世の遺構は土坑1基、ピット7基、流路1、杭列6ヶ所である。基本土層



第30図 1区・1区南 中世遺構配置図[1/500]

第Ⅶ①層上面で検出される。

1区・1区南は近世同様地形的に南から北へ低くなっており、さらに1区東側調査面は近代以降の攪乱を大きく受け、遺構面の残存度は低い。また1区西側は流路が確認されており、この流路に伴うと考えられる杭列が発見されたほかは、遺構は確認されていない。1区南ではピットがわずかに確認されているが、中世において土地利用が少なかったことが伺える。

中世の出土遺物は、青磁碗2点(13.4g)、青磁鉢1点(14.7g)、白磁碗1点(9.1g)、白磁皿2点(11.0g)、陶器碗2点(20.8g)、陶器皿12点(122.1g)、陶器甕40点(1,340.7g)、陶器片口鉢7点(217.9g)、陶器播鉢7点(105.1g)、陶器鉢2点(24.7g)、陶器瓶類2点(10.8g)、陶器四耳壺1点(6.3g)、陶器器種不明2点(105.9g)、かわらけ92点(338.2g)、金属製品1点(11.6g)、銭貨2点(3.7g)、木製品1点、植物遺存体(種子)7点、総点数184点、総重量2,356.0gである。

(1) 土坑

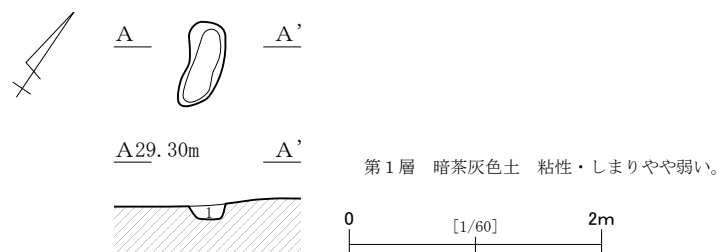
C1号土坑(第30・31図)

I9グリッド中央で発見された。検出面の標高は29.00mである。平面形は不整楕円形を呈する。検出規模は長軸0.70m、短軸0.28m、確認面からの深さは0.10mを測る。底面はほぼ平坦で、断面形は逆台形を呈する。

覆土は暗茶灰色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から中世と考えられるが詳細な時期等は不明である。



第31図 1区南C1号土坑[1/60]

(2) ピット(第30・32・33図、第8表)

I9～10グリッドで7基発見された。他の箇所ではピットは検出されていない。

主にI10グリッド西側に集中しているが規則性などは見られない。P6、P7はセットバック内に延伸しているため全容は不明である。平面形は円形、楕円形が多く方形も確認される。各々の検出規模については第8表にまとめている。

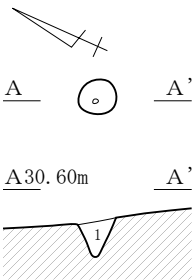
遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から中世と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

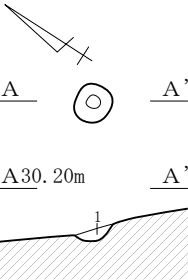


第32図 1区南 中世ピット分布図[1/100]

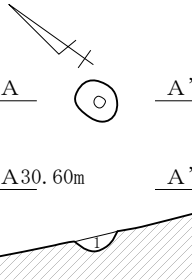
C 1号ピット



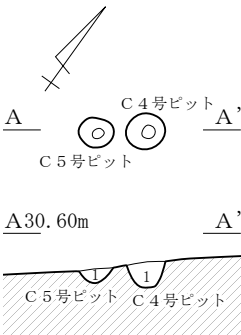
C 2号ピット



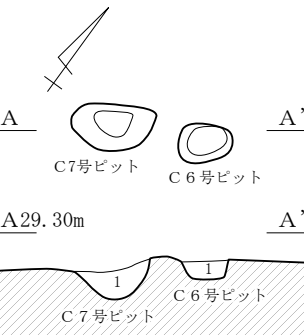
C 3号ピット



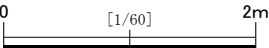
C 4・5号ピット



C 6・7号ピット



C 1～7号ピット
第1層 暗茶灰色土 粘性・しまり強い。



第33図 1区南C 1～7号ピット[1/60]

第8表 1区南 中世ピット計測表 [第32・33図]

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
C1号ピット	G10	0.31	0.28	0.30	円形	C5号ピット	G10	0.28	0.24	0.15	円形
C2号ピット	G10	0.31	0.28	0.13	方形	C6号ピット	G9	(0.44)	(0.27)	0.21	楕円形
C3号ピット	G10	0.36	0.29	0.19	楕円形	C7号ピット	G9	(0.63)	(0.18)	0.28	楕円形
C4号ピット	G10	0.31	0.29	0.25	円形						

(3) 流路(第34図、図版8-1)

1区の約2/3にあたる、H7、I5～6、J4～6、K3～5、L1～3グリッドで発見された。本調査区は台地の北西側斜面地から低地際にあたり、その斜面地に形成されており、近世の流路より広範囲である。検出規模は長さ65.00m、幅4.00～7.00m、深さ0.40～0.83mを測る。断面から西へ向かって低くなることが確認され、本流路は北東から南西へ流れていることが判明した。

遺物は、陶器甕1点(24.7g)、片口鉢1点(22.1g)、かわらけ9点(26.2g)、総点数11点、総重量73.0gが出土したが、小片のため図化していない。

(4) 杭列

杭列は6か所確認された。すべてC1号流路に並行しており、この流路に伴うものと想定される。

C1号杭列(第35・36図、図版8-2)

I5～6グリッド南側で発見された12本の杭をC1号杭列とした。杭7～11の列は間隔は0.28～0.35mで流路に並行し、杭3～6の列は間隔0.10～0.20mで流路に直交して確認された。杭1と2の列は杭7～11の列の約0.50m南側に確認され、間隔は約2.25mである。

杭は残存長18～34cm、径2.5～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。

C2号杭列(第37図)

J5グリッド北側中央で発見された11本の杭をC2号杭列とした。杭4～5、7～11の間隔0.25～0.40m、杭4～5、1～3の間隔はやや広めの0.55～0.60mで流路に並行するように確認された。杭1～3、4～6、7～9は0.15～0.20m離れて3列になっている。

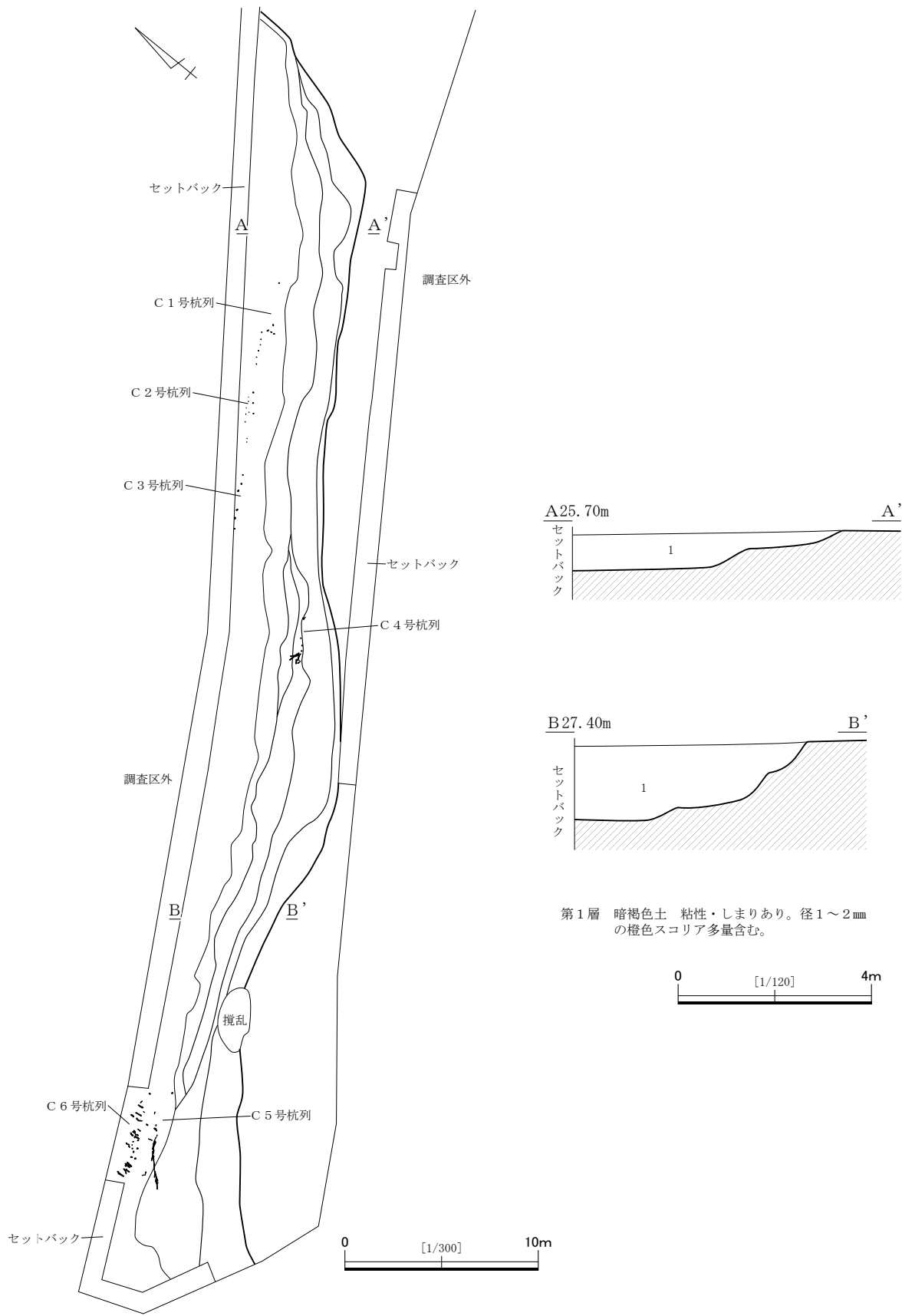
杭は残存長2.0～52.0cm、径2.0～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。10、11は竹材を使用している。

C3号杭列(第38図、図版9-1)

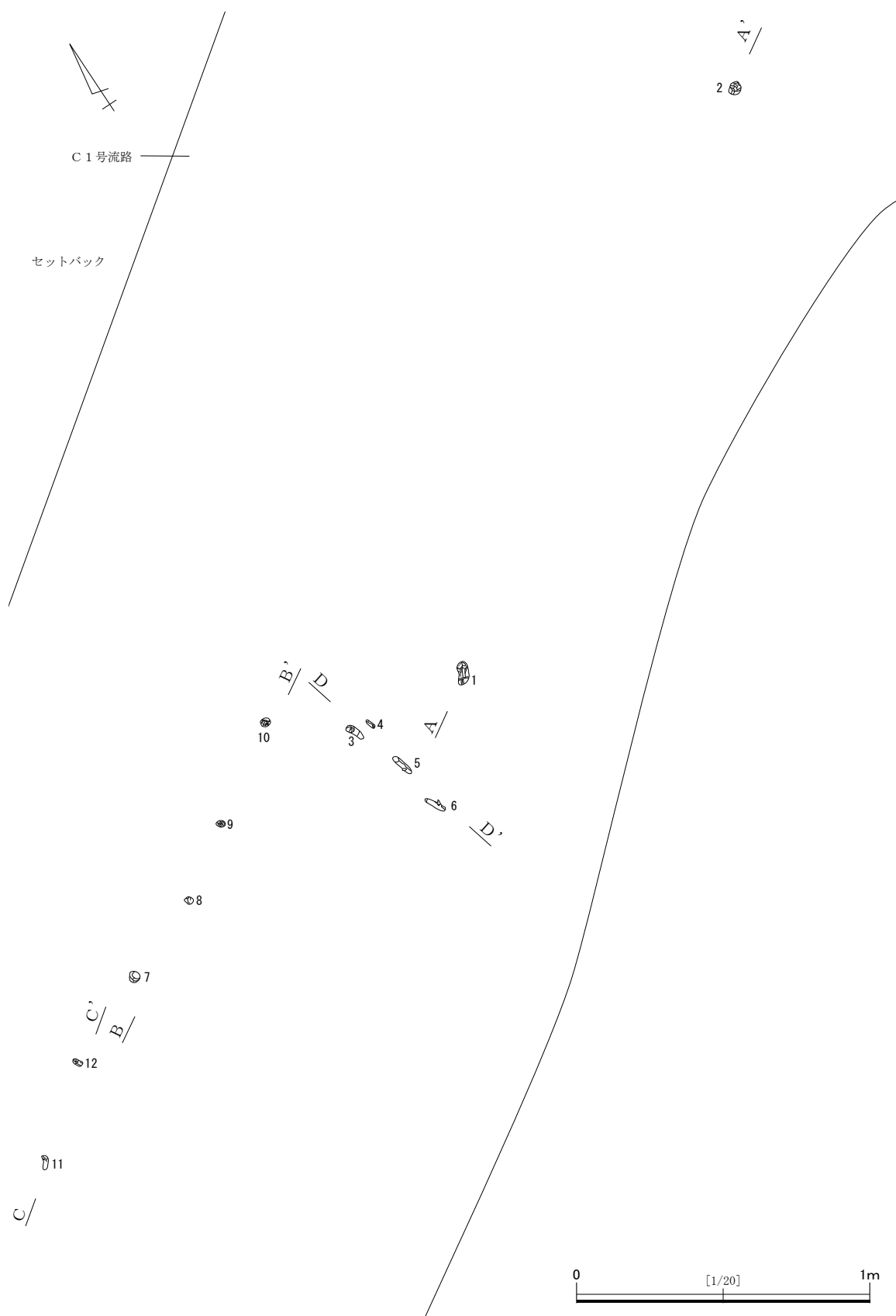
J5グリッド北西側で発見された6本の杭をC3号杭列とした。杭1～3の間隔は0.40～0.45m、杭4～6の間隔は0.45～0.60mで流路に並行するように確認された。

杭は残存長35.0～69.0cm、径4.0～6.0cm、先端加工は1面である。

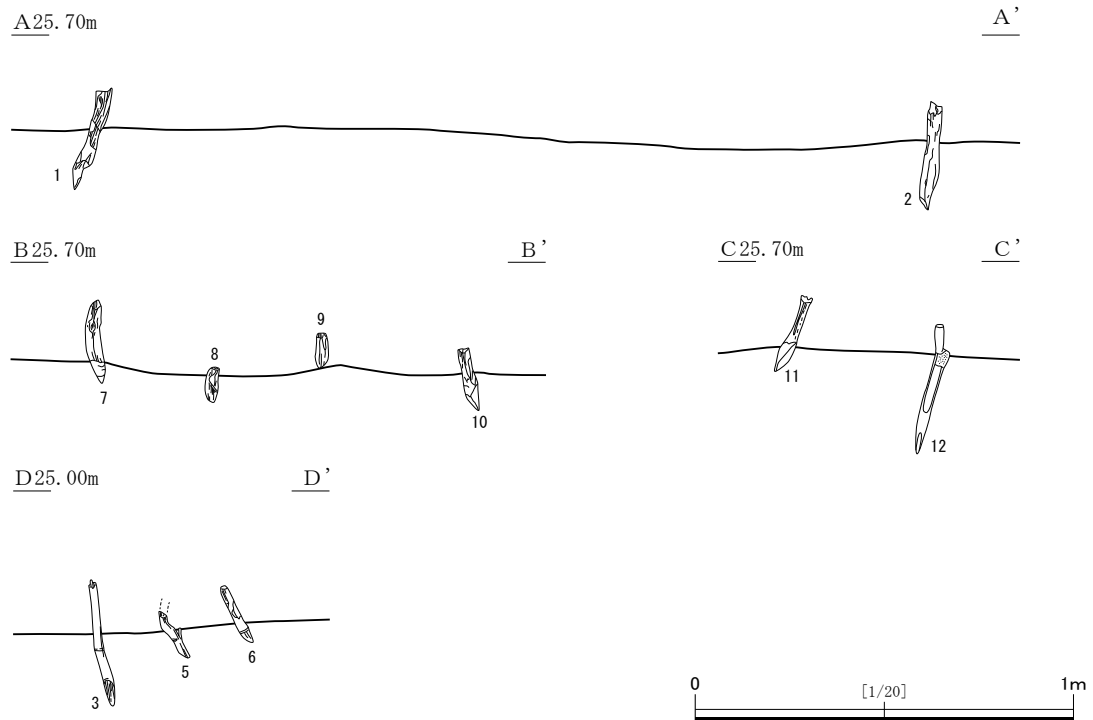
C1～3号杭列は杭列間に開きがあるが、使用している杭の規模の類似性や並びから一連のものと考えられる。



第34図 1区C 1 号流路[1/300・1/120]



第35図 1区C1号杭列(1) [1/20]



第36図 1区C1号杭列(2) [1/20]

C4号杭列(第39図、図版9-2)

K4グリッド北側中央で発見された6本の杭をC4号杭列とした。杭1～3の列間隔0.30～0.40m、杭4と7の列間隔約0.50mの、杭3と8の列間隔約1.00mで流路に並行するように確認された。杭4と7の周辺には西へ倒れたか、流されたような破損した杭片が確認された。

杭は残存長35.0～64.0cm、径4.0～6.0cm、先端加工は1面である。小枝を払いきらない部材も使用している。

C5号杭列(第40・42図、図版10-1)

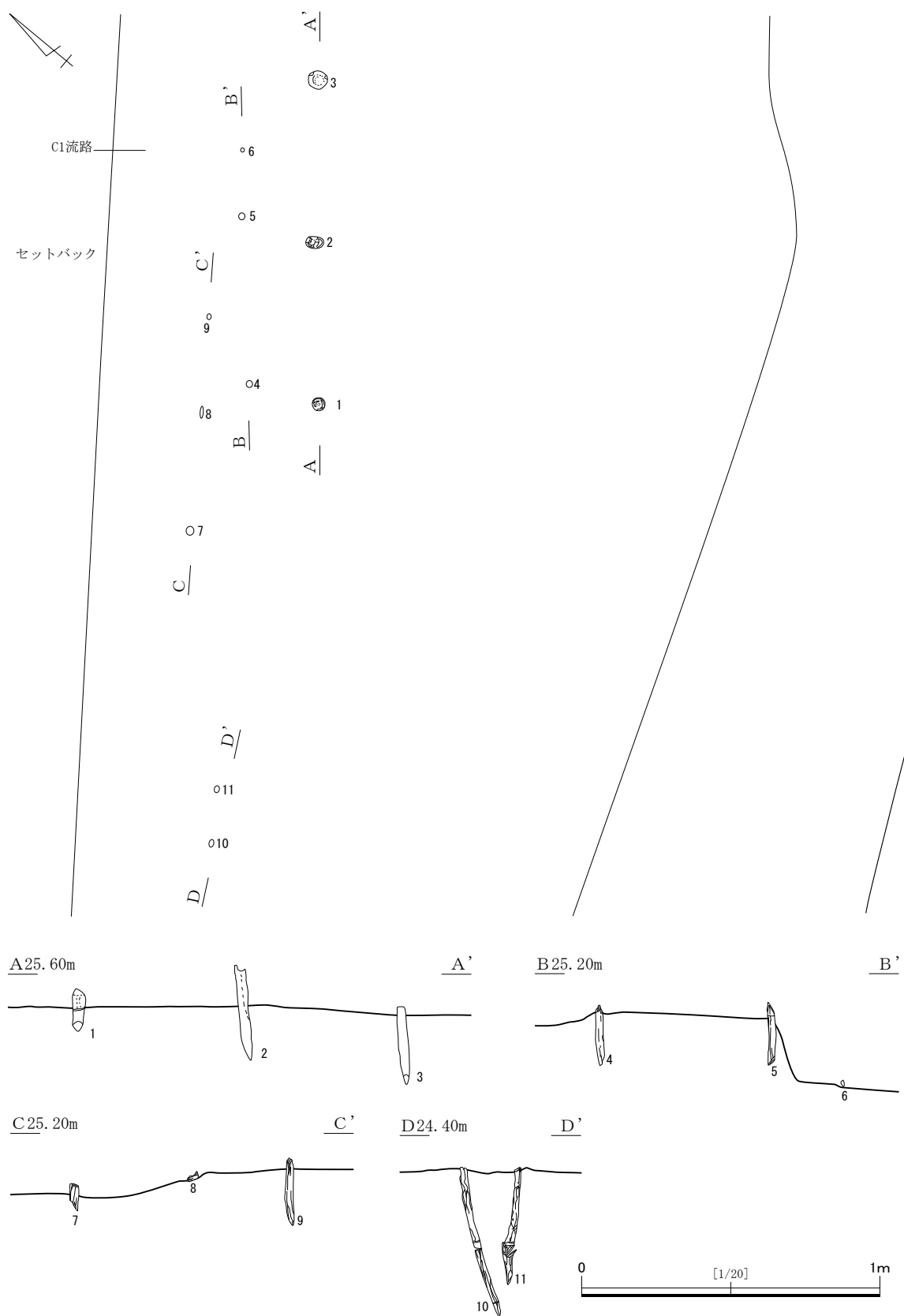
J・K2グリッド西側で発見された4本の杭をC5号杭列とした。杭1～3の列は間隔約0.60m、杭4と1の列間隔約1.50mで流路に並行するように確認された。周辺には西へ倒れたか、流されたような破損した木片が確認された。

杭は残存長38.0～49.0cm、径3.0～4.0cm、先端加工は1面及び2面である。

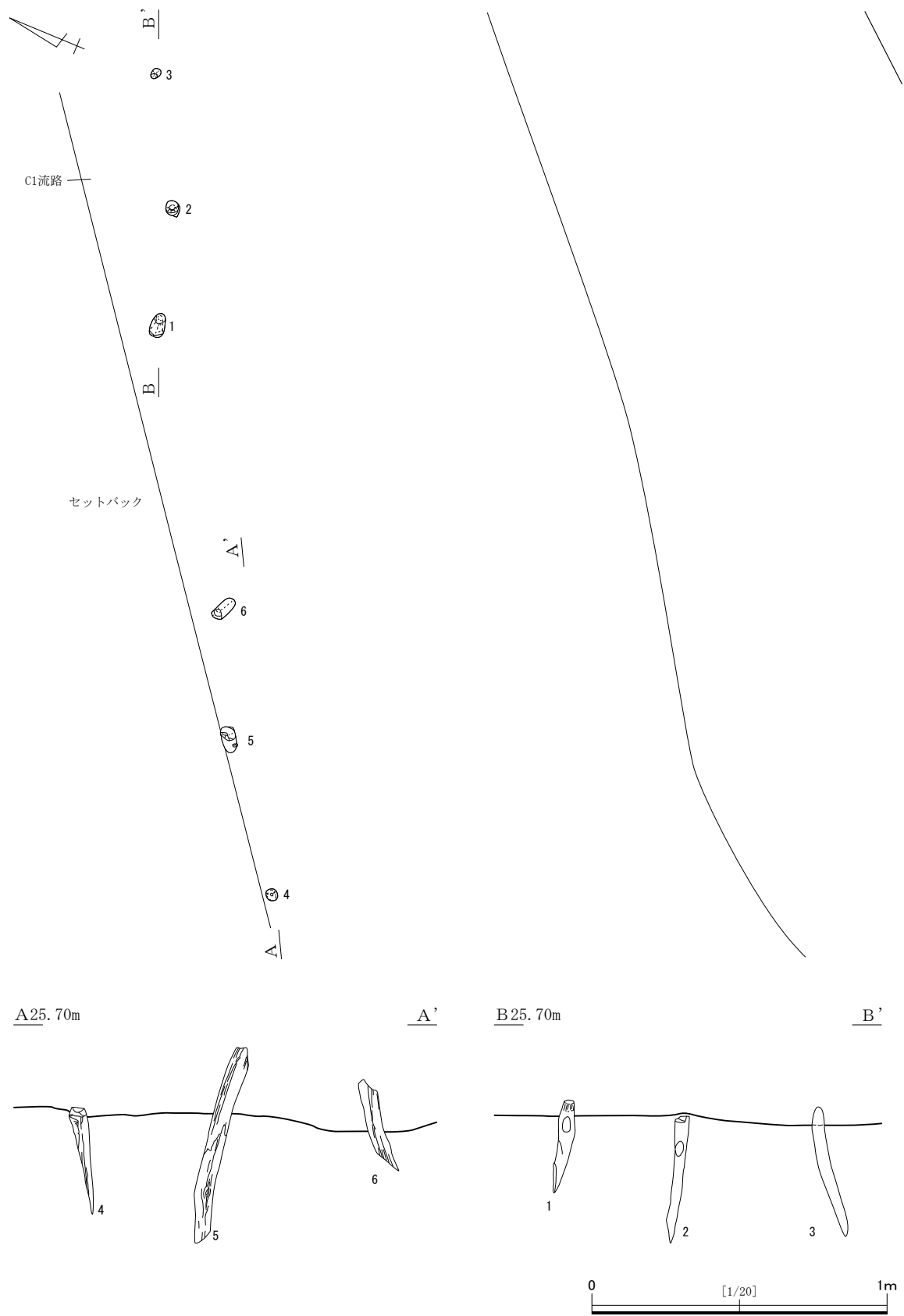
C6号杭列(第41・43図、図版10-1)

J・K2グリッド西側で発見された13本の杭をC6号杭列とした。北側に倒れた状態の杭が多いが、しっかりと原位置を保った状態の杭も残っている。杭14～17の間隔は0.45～0.55m、杭17と24の間隔は約0.50m、杭18・9・20・10の間隔は0.15～0.35mで流路に並行するように確認された。

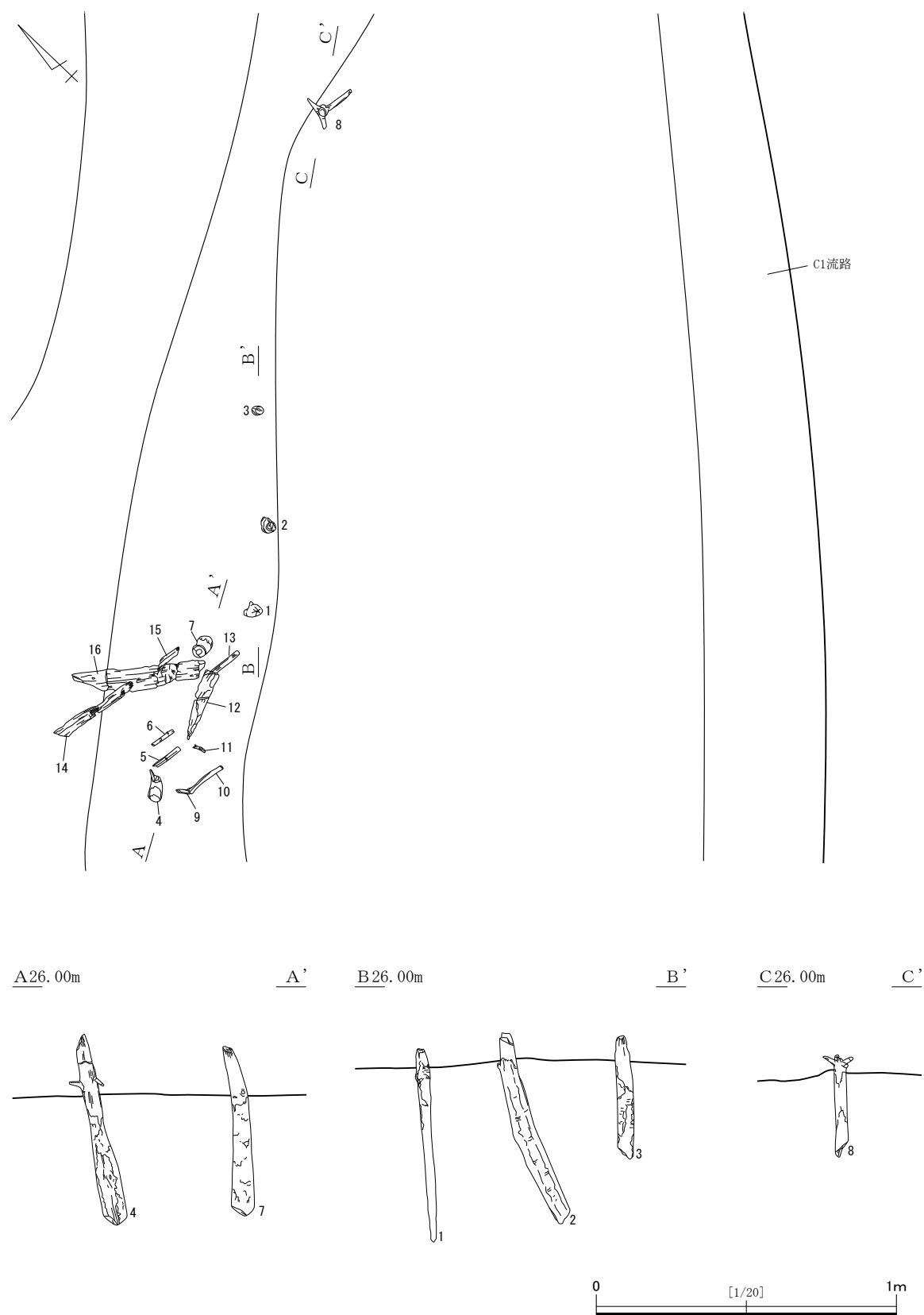
杭は残存長20.0～62.0cm、径3.0～6.0cm、先端加工は1面～4面である。特に杭15、16、17は径5.0～6.0cm、先端加工は4面で、他の杭より径が大きく先端加工も多く施されていることから杭の利用の違いがあると考えられる。



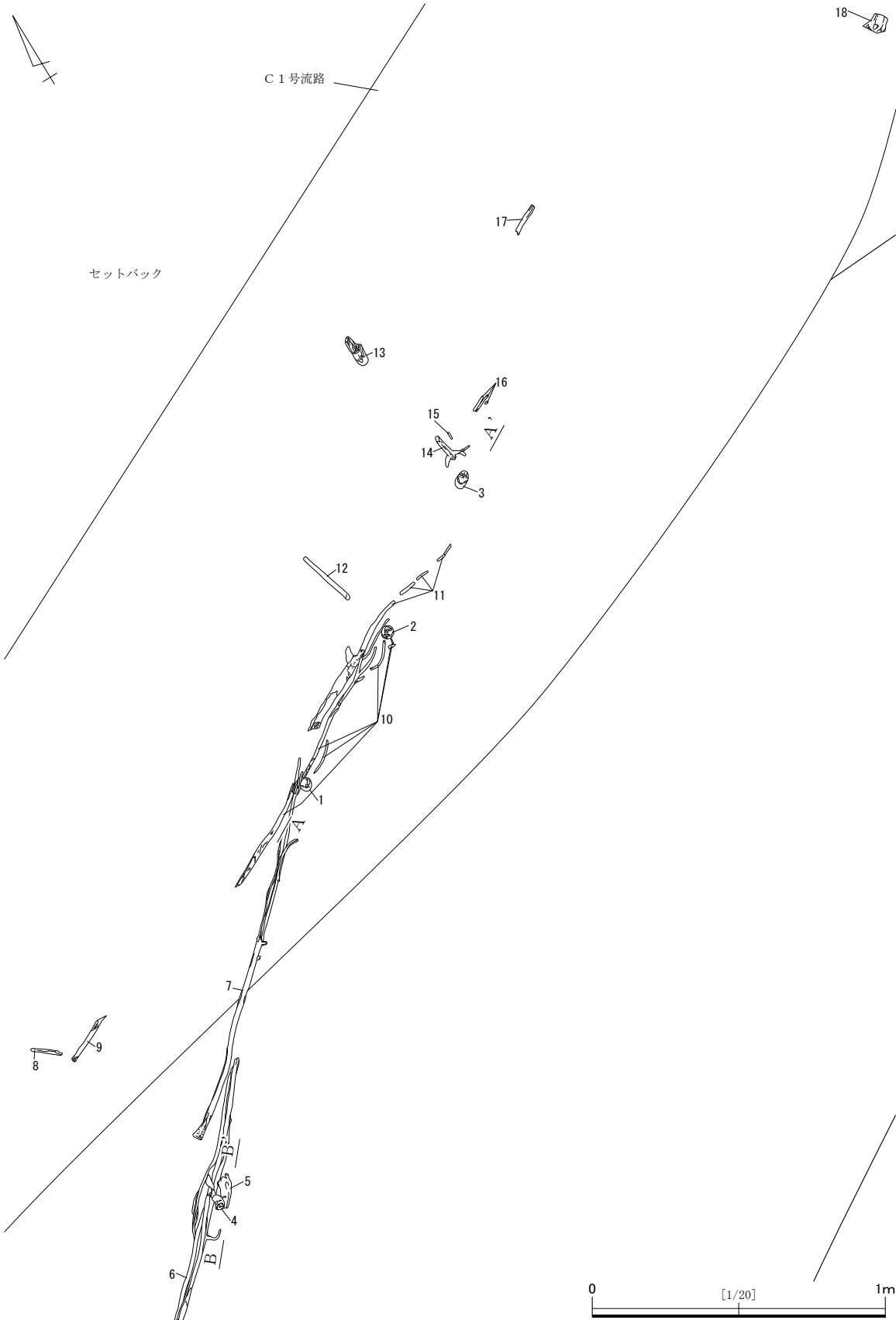
第37図 1区C 2号杭列[1/20]



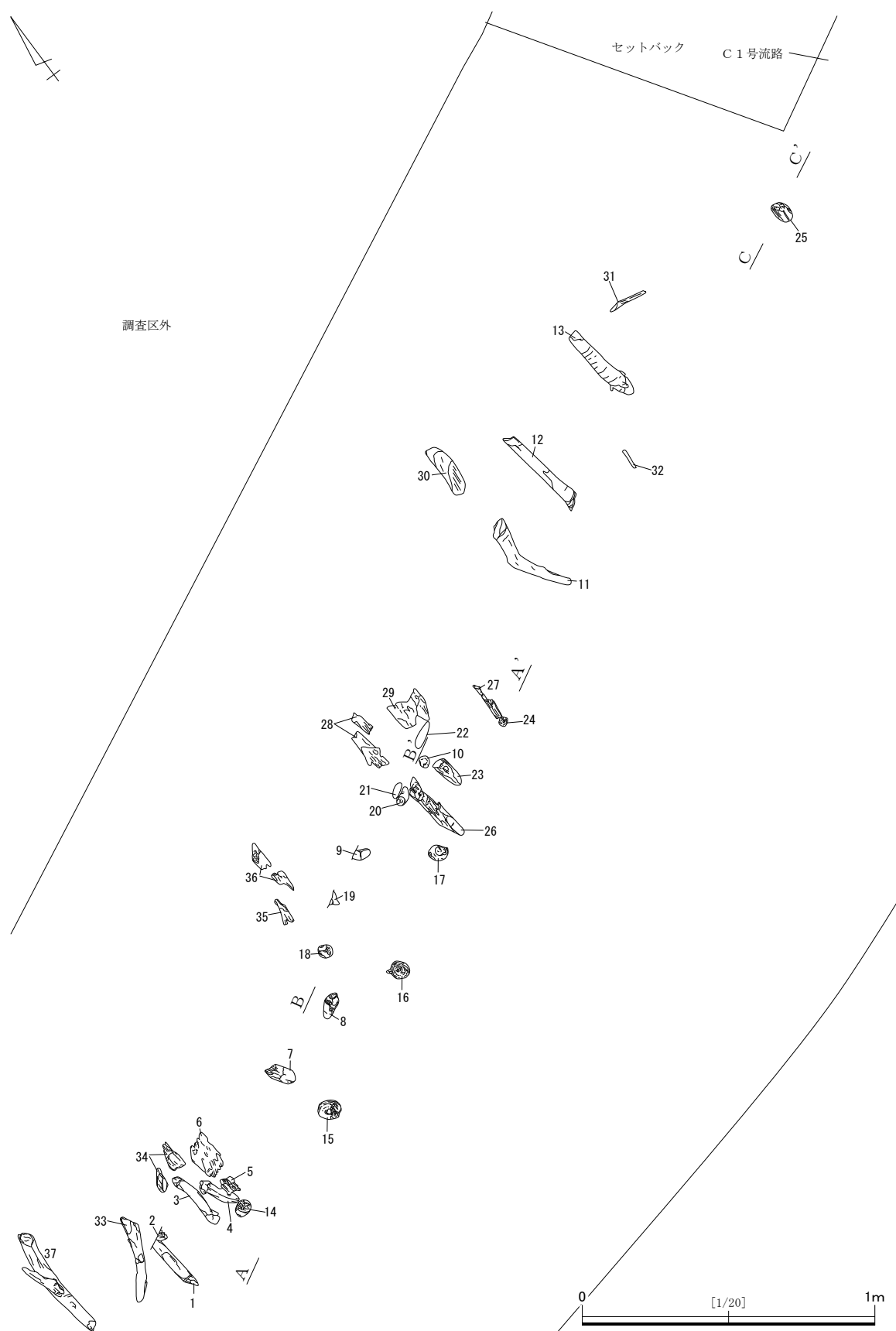
第38図 1区C 3号杭列[1/20]



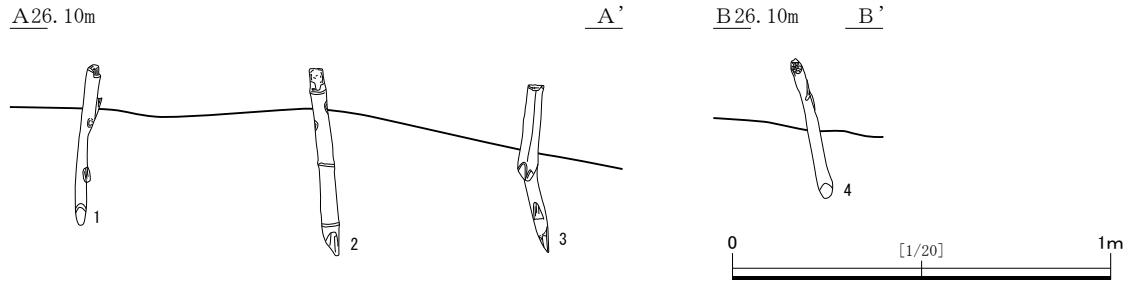
第39図 1区C4号杭列[1/20]



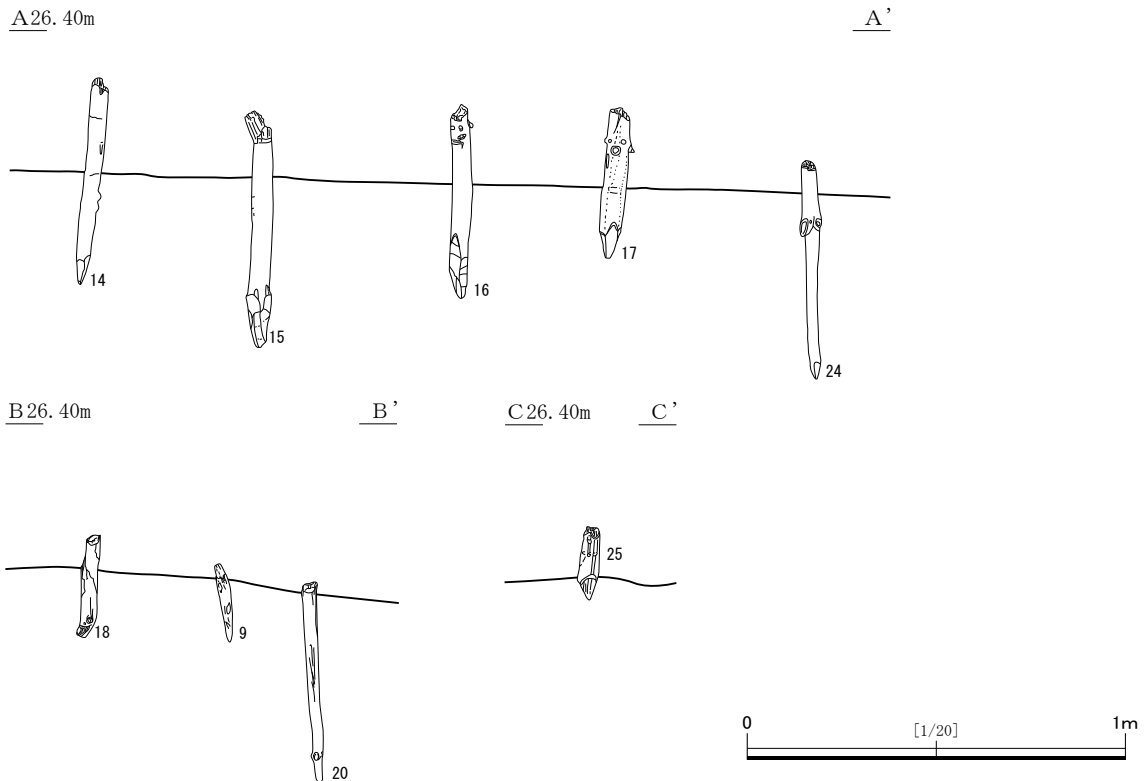
第40図 1区C5号杭列(1) [1/20]



第41図 1区C 6号杭列(1) [1/20]



第42図 1区C 5号杭列(2) [1/20]



第43図 1区C 6号杭列(2) [1/20]

(5) 遺構外出土遺物(第44図、第9表、図版145-2・146-1)

中世の遺構外出土遺物は、青磁碗2点(13.4g)、青磁鉢1点(14.7g)、白磁碗1点(9.1g)、白磁皿2点(11.0g)、陶器碗2点(20.8g)、陶器皿12点(122.1g)、陶器甕39点(1,316.0g)、陶器片口鉢6点(195.8g)、陶器播鉢7点(105.1g)、陶器鉢2点(24.7g)、陶器瓶類2点(10.8g)、陶器四耳壺1点(6.3g)、陶器器種不明2点(105.9g)、かわらけ83点(312.0g)、金属製品(鉄製棒状)1点(11.6g)、銭貨2点(3.7g)、木製品(板状)1点、植物遺存体(種子)7点、総点数173点、総重量2,283.0gである。そのうち10点を図化した。

第44図1・2は舶載磁器で、1は青磁折縁鉢の口縁部破片で内面には花劃文が施される。2は白磁口禿皿の口縁部～体部片で口禿部分には煤が付着している。13世紀～14世紀末の所産である。

第44図3・4は瀬戸・美濃産の陶器皿である。3は灰釉皿の底部で見込みには印花技法による「○」の中に「福」が施され、外面底部の高台内には重ね焼きの痕跡がみられる。16世紀後半の所産である。4は灰釉菊花皿の底部で見込みは重ね焼きの痕跡がみられる。16世紀後半の所産である。

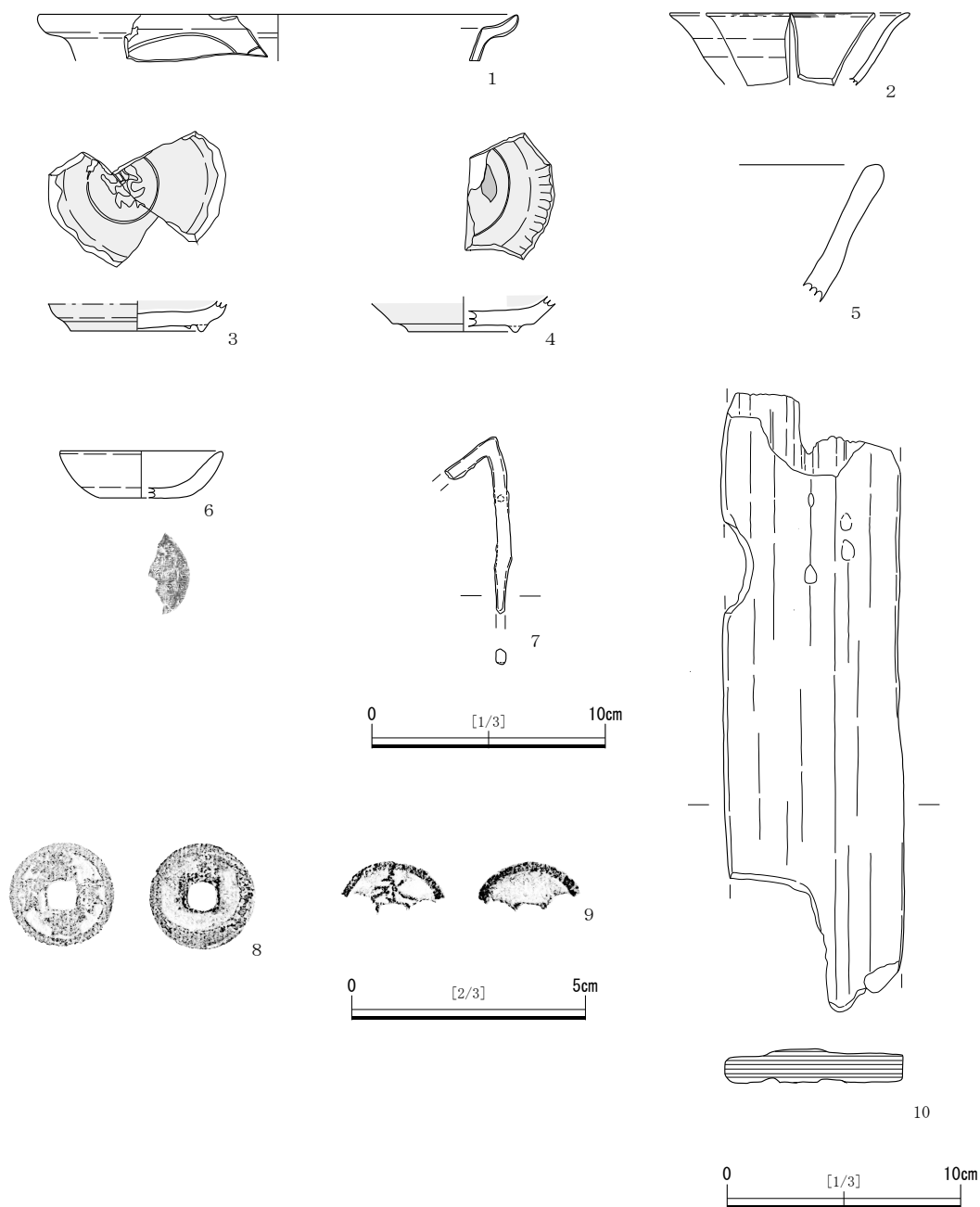
第44図5は陶器常滑産片口鉢の口縁部片である。13世紀中頃の所産である。

第44図6は小型のかわらけである。

第44図7は金属製品である。用途不明の棒状鉄製品である。上端が曲がっている。

第44図8・9は銅製の銭貨である。8は北宋銭の「熙寧元寶」で1068年初鑄造のものである。9は明銭の「永樂通寶」で1408年初鑄造のものである。

第44図9は板状木製品である。用途は不明であるが樹種はモミ属で、材料としては周辺での入手が容易で加工しやすいものである。(第Ⅴ編第3章参照)。



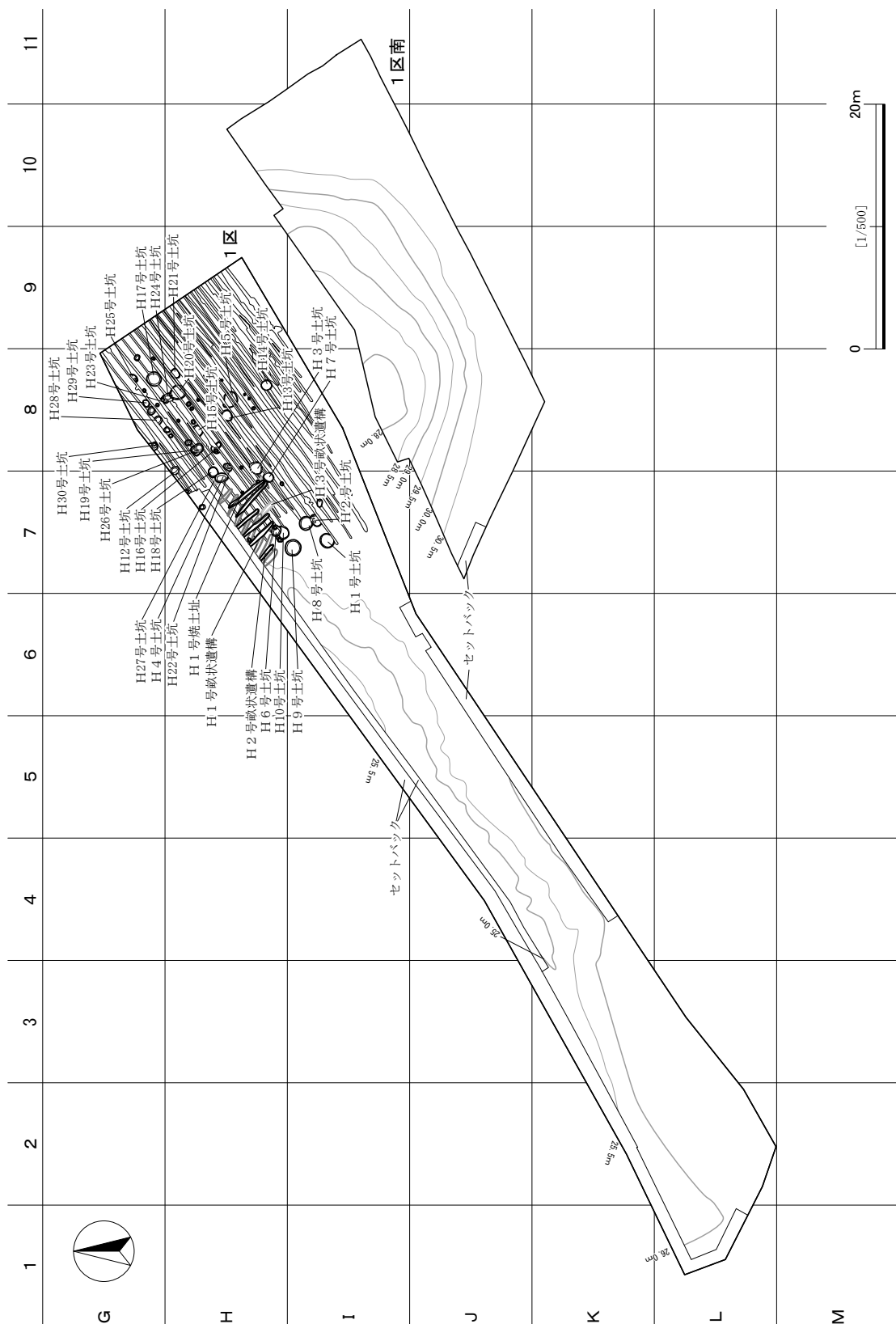
第44図 1区中世遺構外出土遺物[1/3・2/3]

第9表 1区中世遺構外出土遺物観察表 [第44図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	青磁 折縁鉢	磁器	[20.4]	－	(2.0)	14.7	口縁部 1/10	中国	中世	素地 灰白色、密 焼成 堅緻 釉薬 灰オリーブ青磁 備考 文様 劃花文 備考 内面 劃 花文 出土位置 I6gr
2	白磁 口禿皿	磁器	[10.2]	－	(3.1)	6.8	口縁部～ 体部1/8	中国	13世紀 ～14世 紀末	素地 灰白色、密 焼成 堅 緻 釉薬 灰白色白磁 備考 口禿、口唇部内外面煤付着 出土位置 J7gr
3	灰釉皿	陶器	－	5.5	(1.3)	40.7	底部1/4	瀬戸・ 美濃	16世紀 後半	胎土 浅黄色、密、黒色粒 子・角閃石を含む 焼成 良 好 釉薬 緑色灰釉 備考 高 台内輪積痕 出土位置 一括
4	灰釉 菊花皿	陶器	－	[4.5]	(1.5)	23.2	底部1/3	瀬戸・ 美濃	16世紀 後半	胎土 淡黄色、密、黒色粒 子・角閃石を含む 焼成 良 好 釉薬 淡緑色灰釉 備考 高台内無釉 出土位置 一括
5	片口鉢	陶器	－	－	(5.9)	69.8	口縁部 破片	常滑	13世紀 中頃	胎土 褐灰色、密、小礫・ 白色スコリアを含む 焼成 良好 備考 片口鉢Ⅰ類第2 段階 出土位置 K3gr
6	かわらけ	土器	[6.8]	[3.7]	2.0	12.4	1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙、密、赤色スコリ ア・白色スコリア・角閃石 を含む 焼成 良好 備考 底 部回転糸切り痕不明瞭 出土 位置 一括
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
7	棒状製品	鉄	(7.6)	0.4	0.7	11.6	残存度 両端部欠損 備考 くの字に折れ曲がる 出土位置 L1gr			
No.	銭名	材質	銭径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
8	熙寧元寶	銅	23.0	6.0	1.0	3.20	完形	鑄造地 北宋 初鑄年 1068年 備考 真書 出土位 置 L1gr		
9	永楽通寶	銅	(24.0)	(6.0)	0.80	0.50	1/4	鑄造地 明 初鑄年 1408年 出土位置 K4gr		
No.	器種	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	残存度	備考			
10	板材	モミ属	(26.4)	7.7	1.4	－	出土位置 J4gr			

3. 奈良・平安時代

1区・1区南で発見された奈良・平安時代の遺構は畝状遺構3ヶ所、土坑29基、焼土址1基、ピット32基である。基本土層第Ⅶ②層上面で検出される。



第45図 1区・1区南 奈良・平安時代遺構配置図[1/500]

1区・1区南は近世同様地形的に南から北へ低くなっており、さらに1区東側調査面は近代以降の攪乱を大きく受け、遺構面の残存度は低い。また、1区南は谷地形となっており、遺構は確認されていない。

奈良・平安時代において調査区北東のみ耕作地として活用していることが伺える。

奈良・平安時代の出土遺物は、土師器坏20点(106.2g)、土師器甕37点(191.2g)、須恵器坏5点(27.8g)、須恵器蓋1点(9.4g)、須恵器甕27点(448.5g)、灰釉陶器碗7点(49.4g)、灰釉陶器瓶6点(47.7g)、鉄製品(鏃)1点(9.1g)、総点数104点、総重量889.3gが出土した。

遺物の出土量は少ない。

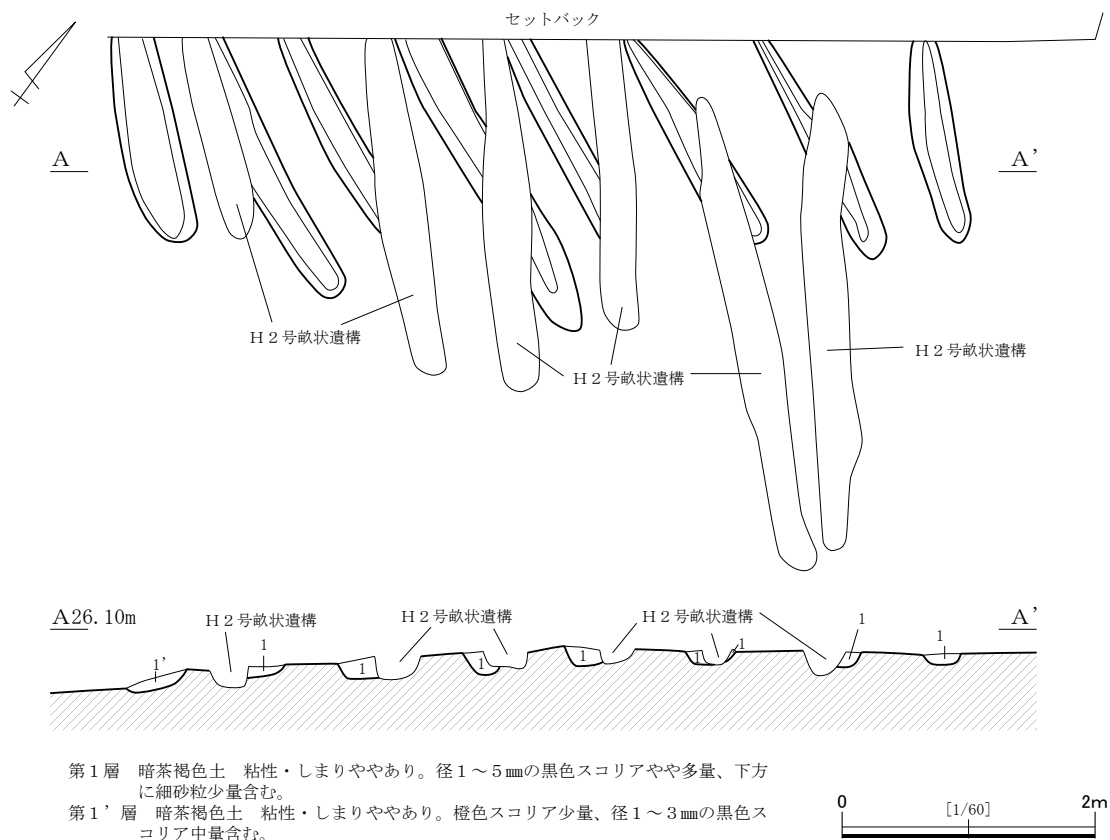
(1) 畝状遺構

H1号畝状遺構(第45・46図、図版1-2)

H7グリッド南東寄りに位置している。東西約6.60m、南北約2.00mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。H2号畝状遺構に切られている。主軸方位はN-63°-Wを示し、検出面の標高は25.92mである。確認された規模は、長さ1.05~2.10m、幅0.25~0.45m、確認面からの深さは0.10~0.20mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。



第46図 1区H1号畝状遺構[1/60]

遺構の時期はH 2号畝状遺構に切られていることから奈良・平安時代の遺構と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

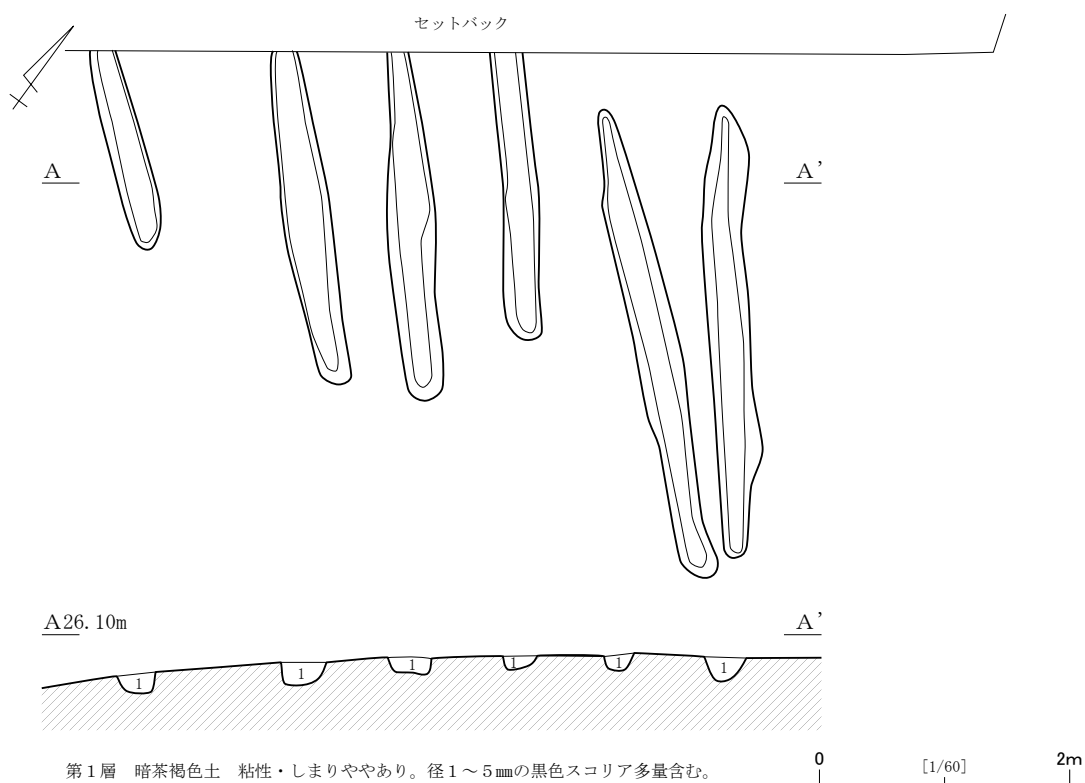
H 2号畝状遺構（第45・47図、図版10－2）

H 7グリッド南東寄りに位置している。東西約5.20 m、南北約3.80 mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。主軸方位はN－45°－Wを示し、検出面の標高は25.94 mである。確認された規模は、長さ1.10～3.75 m、幅0.30～0.40 m、確認面からの深さは0.10～0.20 mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は、土師器坏1点(2.1g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代の遺構と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第47図 1区H 2号畝状遺構[1/60]

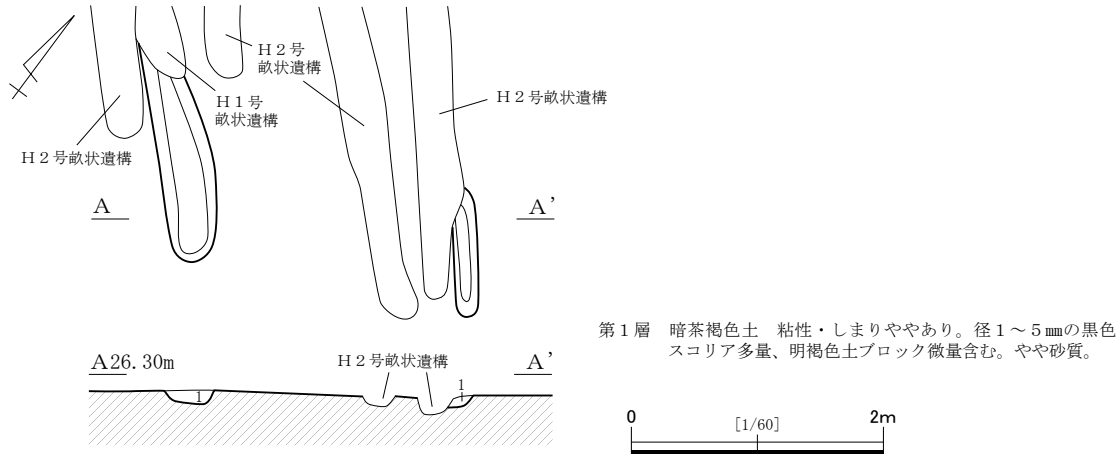
H 3号畝状遺構（第45・48図、図版10－2）

H 7グリッド南東寄りに位置している。東西約2.60 m、南北約2.50 mの範囲に展開している概ね北西方向の畝状遺構である。南端部分のみの確認で、北側は調査区外へ広がると考えられる。H 1、2号畝状遺構に切られている。主軸方位はN－48°－Wを示し、検出面の標高は26.13 mである。確認された規模は、長さ1.00～1.75 m、幅0.20～0.43 m、確認面からの深さは約0.12 mを測る。平面形態はほぼ直線状を呈する。底面はほぼ平坦で、断面形態は逆台形を呈する。壁はやや外傾しながら立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期はH 1、2号畝状遺構に切られていることから奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。



第48図 1区H 3号畝状遺構[1/60]

(2) 土坑

H 1号土坑 (第45・49図、図版11-1)

I 7グリッド中央北西寄りで発見された。南東側の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.63mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.20m、確認面からの深さは0.24mを測る。断面は逆台形を呈する。底面は平坦だが、壁はやや急な角度で立ち上がっている。

覆土は暗褐色土と明褐色土の2層に分層され、上層が暗く下層が明るい。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 2号土坑 (第45・49図、図版11-2)

I 7グリッド中央北寄りで発見された。南東側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.60mである。平面形は南北に長い楕円形を呈すると想定される。検出規模は長軸1.07m、短軸0.60m以上で、確認面からの深さは0.07mを測る。断面は浅い皿状を呈すると思われる。底面はわずかに凹凸があり、壁は緩やかな角度で立ち上がっている。

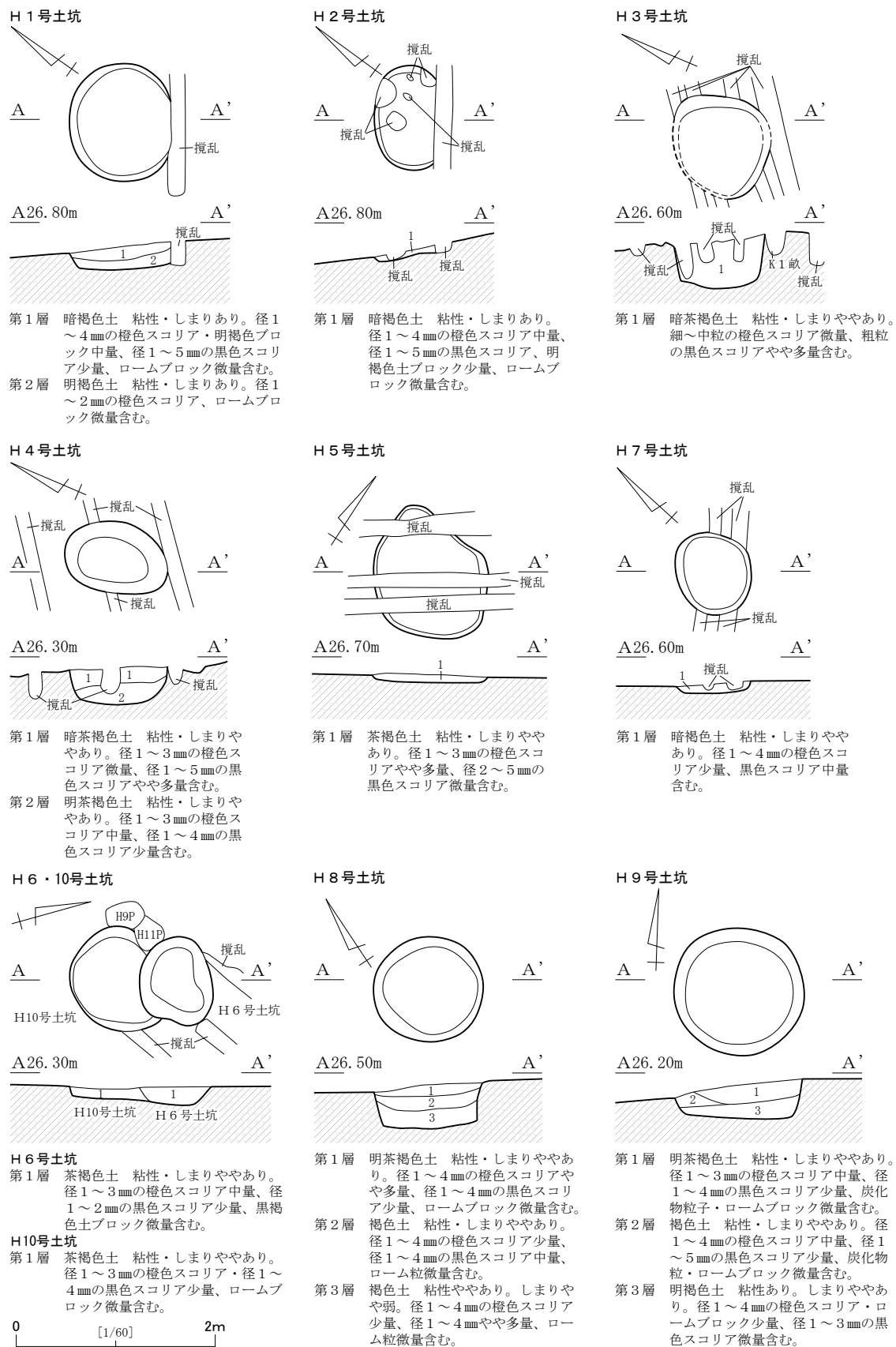
覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 3号土坑 (第45・49図)

H 7・8グリッド境南寄りで発見された。西側はトレンチで切られているが、トレンチの底に部分的にプランが残る。検出面の標高は26.50mである。平面形は円形と推定される。検出規模は残存径1.10mで、深さはトレンチの壁で確認すると0.46mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な



第49図 1区H1～10号土坑[1/60]

角度で立ち上がっている。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 4号土坑（第45・49図）

H 7・8グリッド東端中央で発見された。中央上端は攪乱に切られている。検出面の標高は26.22mである。平面形は楕円形を呈すると推察される。検出規模は長軸1.05m、短軸0.70m以上で、確認面からの深さは0.38mを測る。断面は碗型を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がっている。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 5号土坑（第45・49図、図版11－3）

H 8グリッド中央で発見された。上端は3ヶ所が東西方向に走る後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.54mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸1.30m、短軸1.15mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 6号土坑（第45・49図、図版11－4）

H 7グリッド北側中央で発見された。北側の上端の一部を後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.19mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸0.87m、短軸0.72mで、確認面からの深さは0.19mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 7号土坑（第45・49図、図版11－5）

H 7グリッド東端南側で発見された。南西側の上端は後世の攪乱により、北東側の上端はトレンチにより切られている。検出面の標高は26.37mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.90m、短軸0.75mで、確認面からの深さは0.10mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 8号土坑（第45・49図、図版11－6）

I 7グリッド中央北側で発見された。検出面の標高は26.39mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.05mで、確認面からの深さは0.45mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は褐色土主体の3層に分層され、第1層は明るい。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 9号土坑（第45・49図、図版11－7）

I 7グリッド北端中央で発見された。検出面の標高は26.15mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.31mで、確認面からの深さは0.35mを測る。断面は方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は明茶褐色土と褐色土の3層に分層され、炭化物粒子を含む。

遺物は、土師器甕2点(2.8g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 10号土坑（第45・49図、図版11－8）

H 7グリッド南端中央で発見された。東側の上端の一部を後世の攪乱に、北側をH 6号土坑、H 11号ピットに切られている。検出面の標高は26.15mである。平面形は円形或いは楕円形を呈し、検出規模は長軸1.10m、短軸0.95m以上で、確認面からの深さは0.10mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は南側では急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 12号土坑（第45・50図、図版12－1）

H 7・8グリッド境北側で発見された。上端の一部を後世の攪乱に切られている。検出面の標高は25.98mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.71m、短軸0.62mで、確認面からの深さは0.32mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

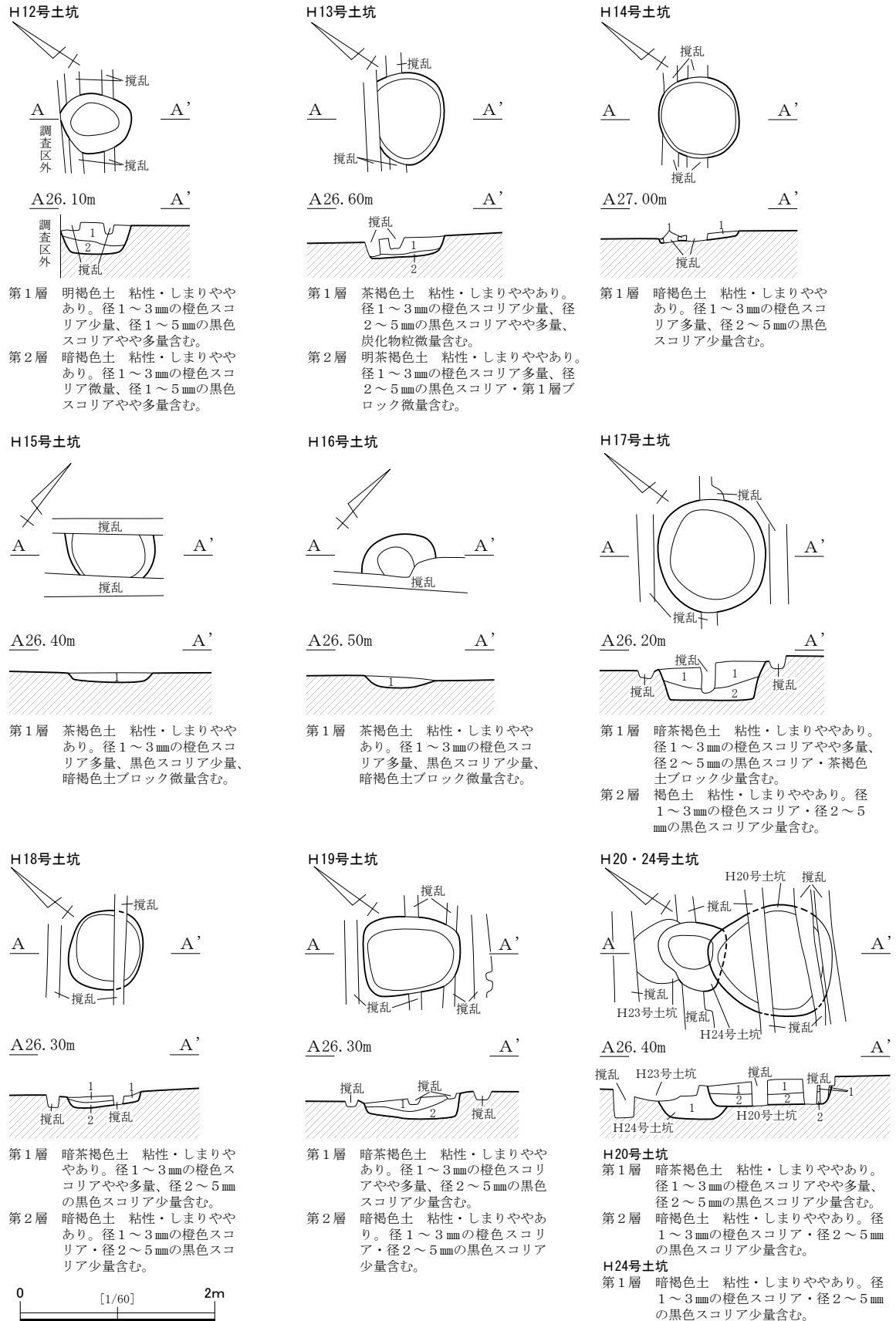
覆土は明褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 13号土坑（第45・50図、図版12－2）

H 8グリッド中央で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.32mである。平面形は楕円形を呈すると思われる。検出規模は長軸0.95m、短軸北0.69m以上で、確認面からの深さは0.20mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は南側ではやや急な角度で立ち上がる。



第50図 1区H12～20・24号土坑[1/60]

覆土は茶褐色土と明茶褐色土の2層で、炭化物粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 14号土坑（第45・50図、図版12－3）

H 8 グリッド南東寄りで発見された。上端の一部を後世の攪乱に切られている。検出面の標高は26.77 mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径0.84 mで、確認面からの深さは0.07 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 15号土坑（第45・50図、図版12－4）

H 8 グリッド中央で発見された。北西側と南東側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.18 mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.90 m、短軸0.42 m以上で、確認面からの深さは0.11 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 16号土坑（第45・50図、図版12－5）

H 8 グリッド中央西寄りで発見された。南東側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.25 mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.80 m、短軸0.46 m以上で、確認面からの深さは0.11 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 17号土坑（第45・50図、図版12－6）

G 8 グリッド南東寄りで発見された。中央の上端は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.10 mである。平面形は円形を呈し、検出規模は径1.18 mで、確認面からの深さは0.42 mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 18号土坑（第45・50図、図版12－7）

H 7・8グリッド境中央で発見された。上端の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.17mである。平面形は隅丸方形を呈し、検出規模は長軸0.82m、短軸0.75mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で角度立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 19号土坑（第45・50図）

H 8グリッド北西寄りで発見された。上端の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.17mである。平面形は隅丸長方形を呈し、検出規模は長軸1.00m、短軸0.80mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面は浅い逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 20号土坑（第45・50図）

H 8グリッド北端東側で発見された。上端の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.18mである。平面形は不整円形を呈し、検出規模は径1.27mで、確認面からの深さは0.25mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の2層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 21号土坑（第45・51図）

H 8グリッド北端東側で発見された。上端の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.22mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸0.80m、短軸0.65mで、確認面からの深さは0.05mを測る。底面はほぼ平坦である。

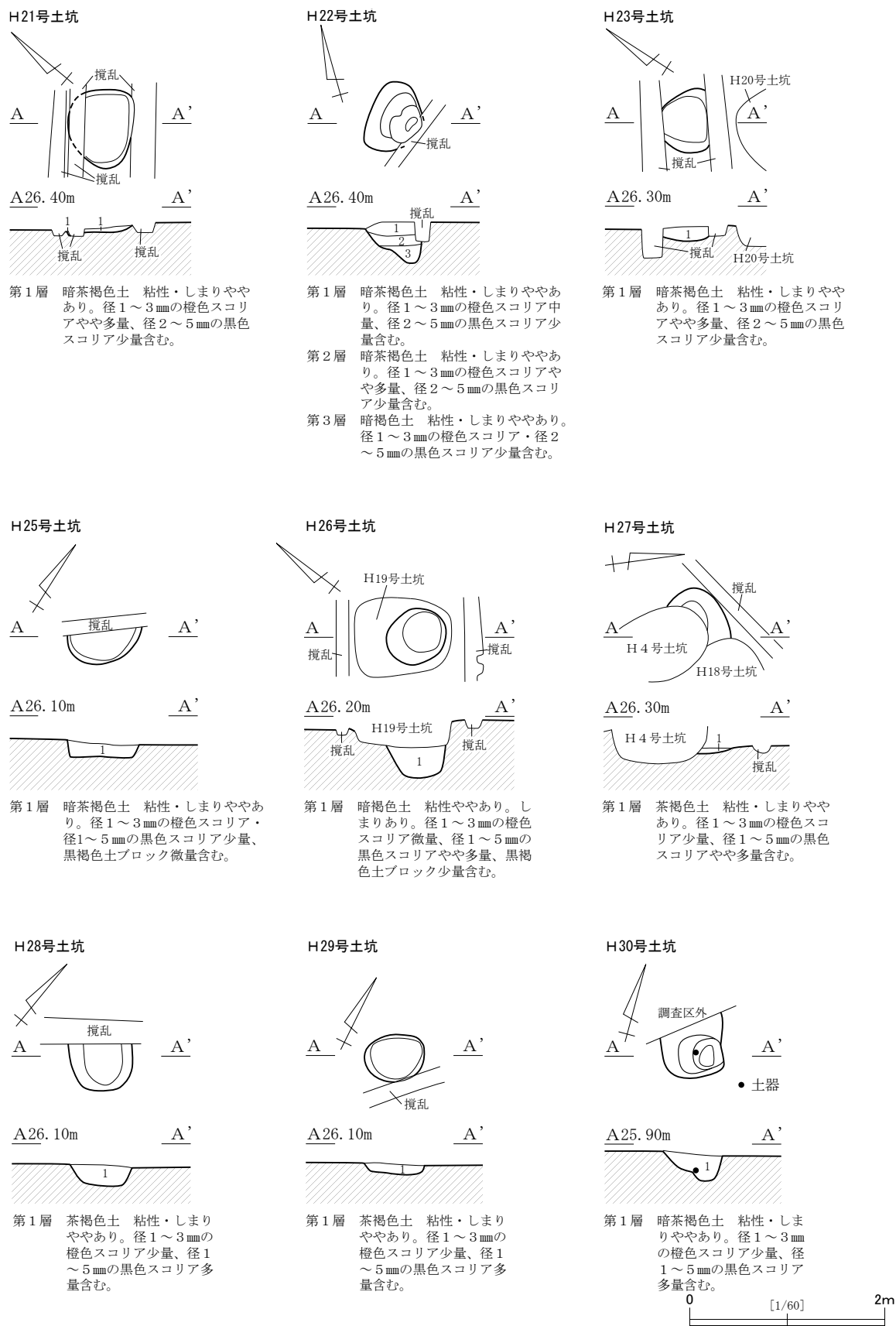
覆土は暗茶褐色の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 22号土坑（第45・51図）

H 8グリッド西端中央で発見された。上端の一部は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.26mである。平面形は不整楕円形を呈し、検出規模は長軸0.75m、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.42mを測る。底面はほぼ平坦で、壁は西側では段をもち、東側では急な角度立ち上がっている。



第51図 1区H21～23・25～30号土坑[1/60]

覆土は暗茶褐色土と暗褐色土の3層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 23号土坑（第45・51図、図版12－8）

G・H 8グリッド境中央で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は26.10 mである。平面形は不整楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.65 m、短軸0.50 m以上で、確認面からの深さは0.15 mを測る。断面は浅い皿状を呈する。底面はほぼ平坦である。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 24号土坑（第45・50図、図版12－8）

G 8グリッド北端中央で発見された。南東側をH 20号土坑、北西側をH 23号土坑に切られている。検出面の標高は26.12 mである。平面形は不整円形を呈すると思われる。検出規模は径0.70 mで、確認面からの深さは0.35 mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 25号土坑（第45・51図、図版13－1）

G 8グリッド南東側で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は25.88 mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.75 m、短軸0.32 m以上である。確認面からの深さは0.15 mを測る。断面は浅い方形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は急な角度で立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 26号土坑（第45・51図、図版13－2）

H 8グリッド北西側で発見された。H 19号土坑の底面から検出した。検出面の標高は25.94 mである。平面形は楕円形を呈し、検出規模は長軸0.65 m、短軸0.55 mで、確認面からの深さは0.30 mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は暗褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 27号土坑（第45・51図、図版13－3）

H 7 グリッド東端中央で発見された。南側をH 4号土坑に、東側をH 18号土坑に切られており、全体の1/4ほどの確認である。検出面の標高は25.99mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われるが不明である。検出規模は長軸0.60m以上、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.08mを測る。断面は浅い皿状を呈すると思われる。底面はほぼ平坦で緩やかに立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 28号土坑（第45・51図）

G 8 グリッド南端中央で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は25.90mである。平面形は円形或いは楕円形を呈すると思われる。検出規模は長軸0.65m、短軸0.50m以上で、確認面からの深さは0.22mを測る。断面は逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁は西側ではやや緩やかな角度、東側ではやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 29号土坑（第45・51図）

G 8 グリッド南側中央で発見された。北西側は後世の攪乱により切られている。検出面の標高は25.91mである。平面形は楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.62m、短軸0.35mで、確認面からの深さは0.09mを測る。断面は浅い逆台形を呈する。底面はほぼ平坦で、壁はやや急な角度で立ち上がる。

覆土は茶褐色土の単層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

H 30号土坑（第45・51図、図版13－4）

G 8 グリッド南西側で発見された。北西側は調査区外へ延びると思われる。検出面の標高は25.82mである。平面形は不整楕円形を呈すると思われ、検出規模は長軸0.65m、短軸0.55m以上で、確認面からの深さは0.28mを測る。底面はほぼ平坦で、断面は東側が一段深くなり西側が緩く立ち上がる。

覆土は暗茶褐色土の単層である。

遺物は、土師器甕1点(19.0g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

(3) 焼土址

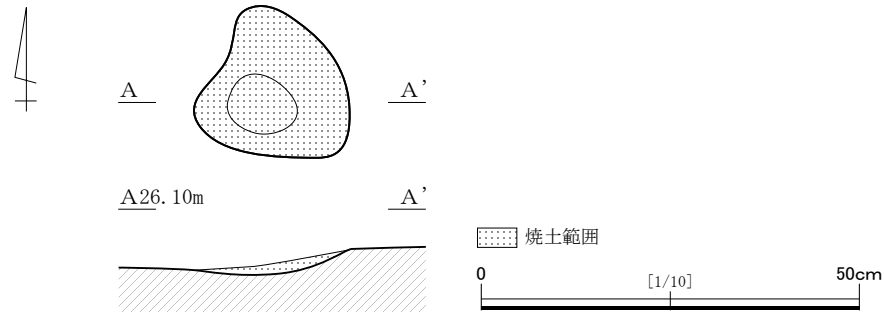
H 1号焼土址（第45・52図）

H 7 グリッド南東側に位置している。検出面の標高は26.05mである。平面形態は不整円形を呈する。検

出規模は、南北0.20m、東西0.20m、確認面からの深さは0.02mを測る。平面形は不整楕円形を呈し、底面はほぼ平坦で、断面は浅い皿状を呈している。覆土は焼土で充填されている。周辺には耕作址である、畝状遺構や土坑などが検出されているが、関係性におよび性格については不明である。

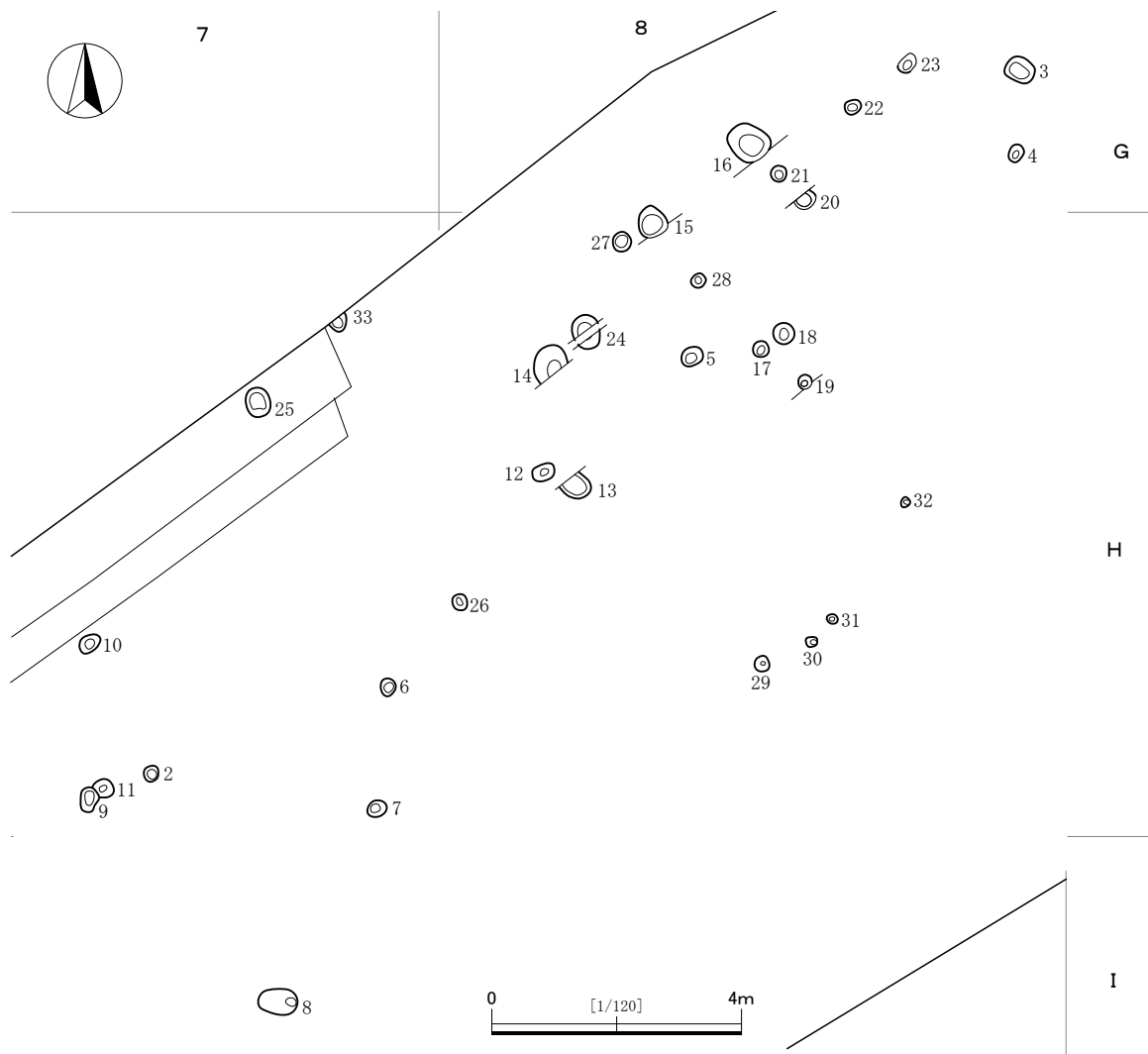
本遺構からの出土遺物はなかった。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

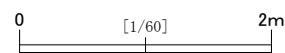
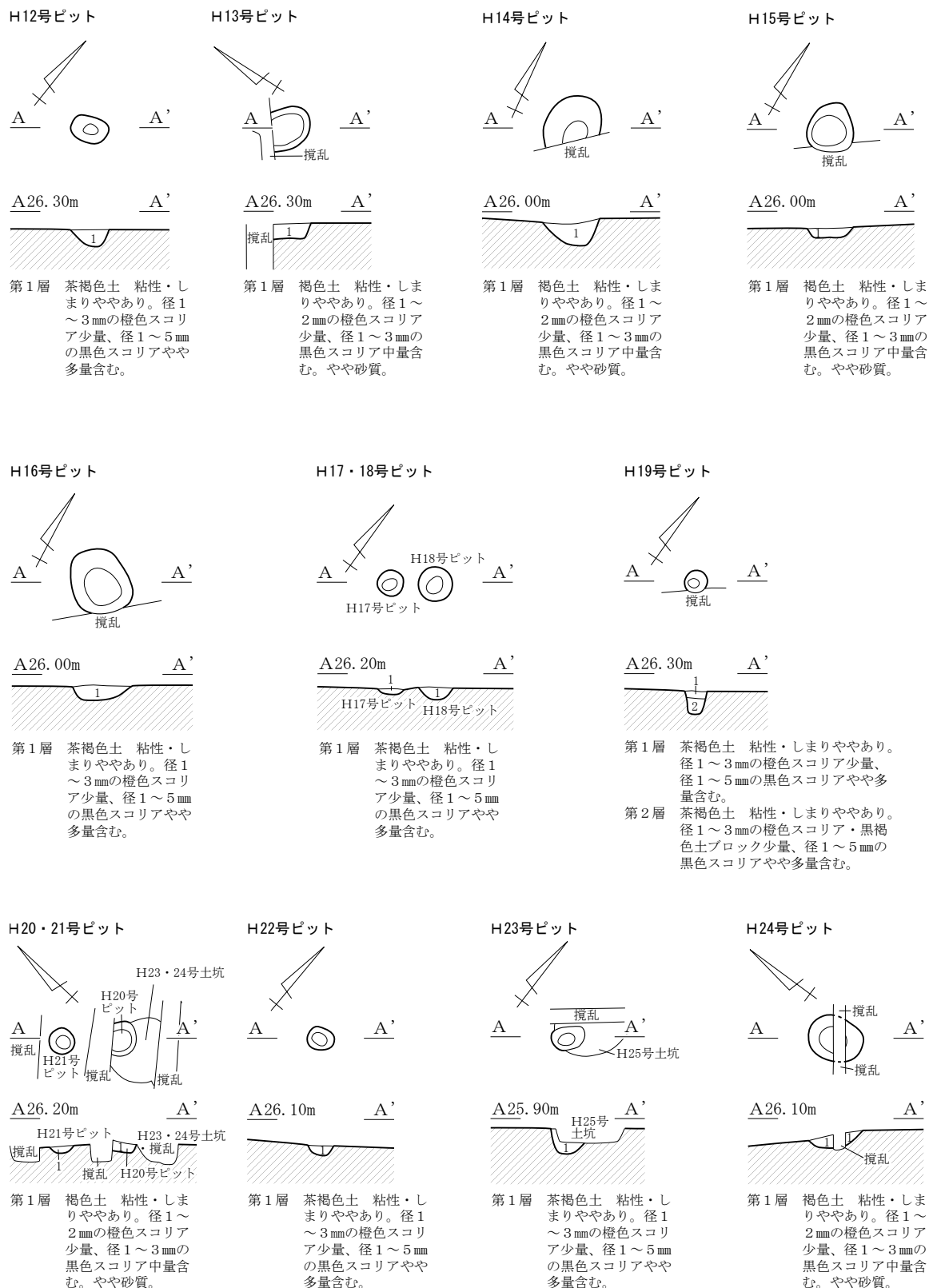


第52図 1区H 1号焼土址[1/10]

(4) ピット (第45・53・54図、第110表)



第53図 1区 奈良・平安時代ピット分布図[1/120]



第54図 1区H12～24号ピット[1/60]

G～I 7・8グリッドから32基が発見された。調査区東側に分布している。規模や深さは一定ではなく、また規則性のある並びも確認されなかった。平面形は円形或いは楕円形が多く、方形もみられる。各々の検出規模については第10表にまとめている。

遺物が出土したのはH2号ピットのみである。土師器甕1点(2.8g)が出土したが、小片のため図化していない。

遺構の時期は検出状況から奈良・平安時代と推定されるが、詳細な時期等は不明である。

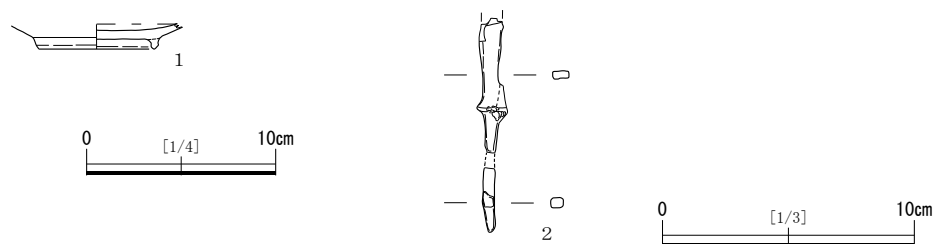
第10表 1区 奈良・平安時代ピット計測表 [第53・54図]

遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形	遺構名	グリッド	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	平面形
H2号ピット	H7	0.27	0.25	0.14	方形	H18号ピット	H8	0.35	0.34	0.14	円形
H3号ピット	G8	0.33	0.27	0.09	方形	H19号ピット	H8	0.24	0.22	0.25	円形
H4号ピット	G8	0.21	0.16	0.09	楕円形	H20号ピット	G8	0.35	(0.24)	0.10	円形
H5号ピット	H8	0.37	0.29	0.29	楕円形	H21号ピット	G8	0.26	0.25	0.08	円形
H6号ピット	H7	0.29	0.25	0.10	楕円形	H22号ピット	G8	0.27	0.23	0.12	楕円形
H7号ピット	H7	0.32	0.26	0.12	楕円形	H23号ピット	G8	0.34	0.23	0.26	長方形
H8号ピット	I7	0.64	0.42	0.30	長方形	H24号ピット	H8	0.56	0.45	0.19	楕円形
H9号ピット	H7	0.41	0.30	0.14	不整形	H25号ピット	H7	0.48	0.39	0.17	楕円形
H10号ピット	H7	0.38	0.27	0.14	楕円形	H26号ピット	H8	0.27	0.24	0.08	楕円形
H11号ピット	H7	0.32	0.29	0.10	方形	H27号ピット	H8	0.31	0.31	0.12	円形
H12号ピット	H8	0.38	0.26	0.18	長方形	H28号ピット	H8	0.24	0.22	0.23	円形
H13号ピット	H8	0.44	(0.39)	0.18	楕円形	H29号ピット	H8	0.26	0.24	0.28	円形
H14号ピット	H8	0.62	(0.44)	0.31	楕円形	H30号ピット	H8	0.29	0.16	0.21	方形
H15号ピット	G8・H8	0.47	(0.46)	0.12	楕円形	H31号ピット	H8	0.18	0.16	0.08	円形
H16号ピット	G8	(0.65)	0.59	0.20	楕円形	H32号ピット	H8	0.17	0.14	0.16	楕円形
H17号ピット	H8	0.26	0.25	0.07	円形	H33号ピット	H7	0.32	(0.22)	0.12	楕円形

(8) 遺構外出土遺物(第55図、第11表、図版146-2)

奈良・平安時代の遺構外出土遺物は土師器坏19点(104.1g)、土師器甕33点(166.6g)、須恵器坏5点(27.8g)、須恵器蓋1点(9.4g)、須恵器甕27点(448.5g)、灰釉陶器埴7点(49.4g)、灰釉陶器瓶6点(47.7g)、金属製品(鏃)1点(9.1g)、総点数99点、総重量862.6gである。このうち2点を図化した。

第55図1は灰釉陶器埴の底部片である。内面はハケ塗りが施され高台が貼りつけられている。9世紀後半の製品と思われる。2は鉄鏃である。頸部～茎部で鏃身部は欠損している。茎部は折れており接合はしないが同一個体である。長頸鏃である。



第55図 1区奈良・平安時代遺構外出土遺物[1/4・1/3]

第11表 1区奈良・平安時代遺構外出土遺物観察表 [第55図]

No.	器種	観察所見 ()=現存値 []=復元値
1	灰釉陶器 甕	法量(cm):底径[6.1] 器高(1.3) 重量28.3g 残存度:底部1/3 成形・調整:回転ヘラケズリ 高台貼り付け 内面ハケ塗り 胎土:緻密 白色粒子 焼成:良好 色調:灰オリーブ (7.5Y5/3) 出土位置:K4gr 備考:K90 9世紀後半
2	鉄鏃	法量(cm):長さ(5.3) 刃部幅0.7 厚さ0.3 重量8.1g 残存度:頸部～茎部一部欠損 出土位置: I10gr 備考:長頸鏃

4. 弥生時代後期～古墳時代前期

1区・1区南における弥生時代後期～古墳時代前期の遺構は確認されていない。

遺物は壺・甕が出土している。I～K4～6グリッドの弥生時代後期～古墳時代前期の包含層にあたる第Ⅷ層～第Ⅸ①層から発見された。

本調査区は少数の遺物の出土のみであり、弥生時代後期～古墳時代前期において土地利用されていないことが伺える。

(1) 遺構外出土遺物

弥生時代後期～古墳時代前期の遺構外出土遺物は甕3点(93.7g)、壺1点(44.4g)、合計4点(138.1g)である。小片のため図化していない。

甕はハケ目調整された薄い胴部片である。台付甕と思われる。壺は厚みのある底部片である。

5. 縄文時代

東富岡・太窪遺跡1区・1区南で検出された縄文時代の遺構は、基本土層第Ⅸ層において土坑5基を検出するものの、その他の遺構は見られず、遺物の出土も少量であった。

(1) 土坑

J1号土坑(第57図)

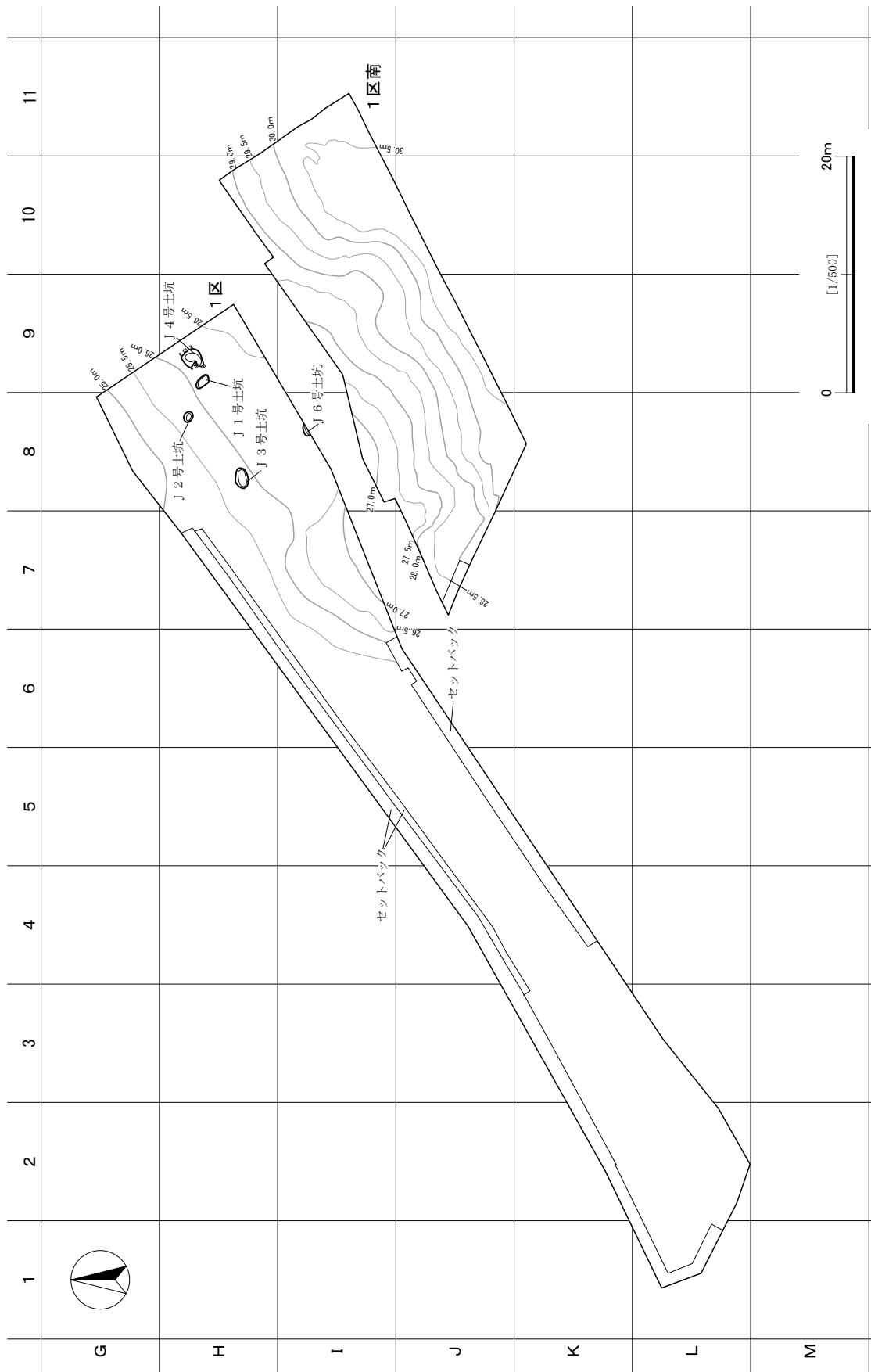
調査区北西端H9グリッドに位置する。確認面は基本土層第Ⅸ①層で、標高は26.10mを測る。主軸方位はN-42°-Wを示す。

平面形は歪な隅丸長方形を呈し、規模は開口部で長径1.32m、短径0.69m、深さ0.22mを測る。断面形はタライ形で、覆土は暗茶褐色を基調とした単一層であった。遺物は出土していない。

J2号土坑(第57図)

調査区北西端のH8グリッドでJ1号土坑の西約1.7mに位置する。確認面は基本土層第Ⅸ①層で、標高25.80mを測る。主軸方位はN-74°-Wを示す。

平面形は楕円形を呈し、規模は開口部で長径0.92m、短径0.73m、深さ0.25mを測る。断面形は播鉢形を呈し、覆土は暗茶褐色を呈す。遺物は出土していない。



第56図 1区・1区南 縄文時代遺構配置図[1/500]

J 3号土坑 (第57図)

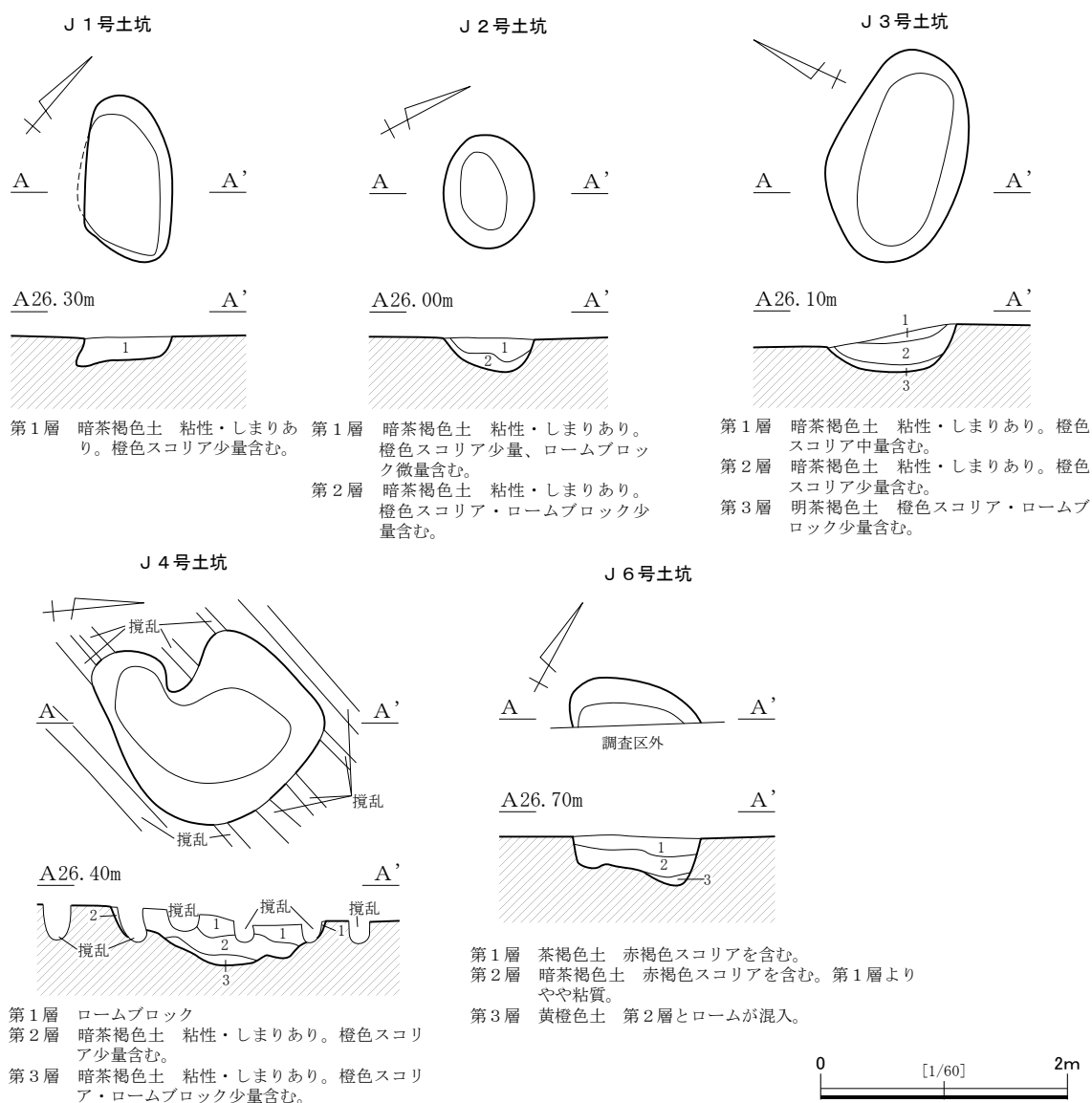
調査区北西端のH 8グリッドでJ 1号土坑の南西約7.5mと離れている。確認面は基本土層第IX②層で、標高26.00mを測る。主軸方位はN-79°-Eを示す。

平面形は楕円形で、規模は開口部で長径1.58m、短径1.09m、深さ0.38mを測り、断面形は播鉢形を呈し、覆土は暗茶褐色を基調とする。遺物の出土は出土していない。

J 4号土坑 (第57図)

調査区北西端のH 9グリッドでJ 1号土坑の東へ約1mに位置する。確認面は基本土層第IX①層で、標高26.25mを測る。主軸方位はN-20°-Eを示す。

平面形は不整形で、規模は開口部で長径1.75m、短径1.59m、深さ0.52mを測り、底面は凹凸があり整っていない。覆土に暗茶褐色土とロームブロックを含んでいる。遺物の出土は出土していない。



第57図 1区J 1～4・6号土坑[1/60]

J 6号土坑 (第57図)

調査区北西端の I 8 グリッドで遺構の一部は調査区外に広がる。確認面は基本土層第IX②層で、標高 26.50 mを測る。

規模は長径 1.04 mで深さは 0.38 mを測る。断面形はタライ形で東側墳底面が一段下がる。覆土は茶褐色を基調とし、遺物は出土していない。

(2) 遺構外出土遺物 (第58・59図、第12表、図版146-3)

1区では、早期から後期にかけて土器 24点 (358.6g) の出土が見られた。時期別内訳は、早期末葉の土器が 2点 (24.0 g)、前期後葉の諸磯式土器が 5点 (39.2 g)、中期後葉の加曾利E式土器が 1点 (7.9 g)、後期前葉の堀之内式土器が 8点 (218.5 g)、無文土器が 8点 (74.3 g) となっている。この出土遺物のうち 3点を第58図に掲載した。なお、該期土器の分類は、第Ⅲ編の東富岡・中島遺跡で示した基準 (223頁) に基づいている。

第I群土器 早期の土器 (第58図)

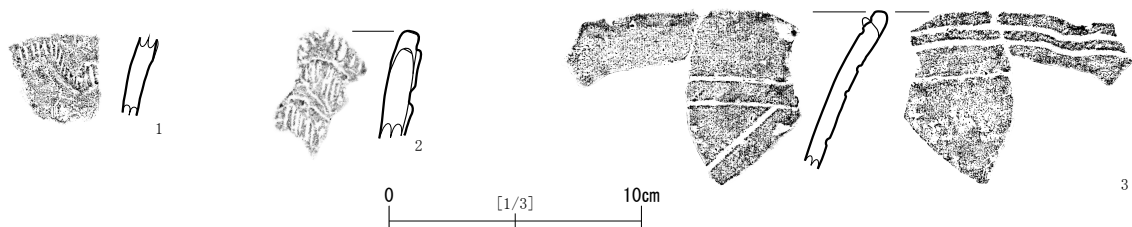
第3類土器 早期末葉の土器 (第58図1・2)

茅山上層式以降の早期末葉の土器類の資料である。第58図1はやや外反気味に立ち上がり、器厚は 5～7 mm程で薄い。低隆位にヘラ状工具による密な刻みが施された1条の波状施文と1条の横位の低隆帯を配し、その低隆位にもナデが加えられている。内面はナデ調整で胎土は細かい石英、長石粒を含む。繊維は含まない。色調は鈍い黄橙色を呈する。第58図2は波状口縁を呈し口唇部に斜めの刻みが加えられ、口縁に沿って幅 1.5 cm程の低隆帯 2条による波状が巡る。低隆帯にはヘラ状工具による密な刻みが施されている。内面は横方向のナデ調整で胎土は長石、角閃石粒を含む。胎土に繊維は含まれていない。色調は鈍い赤褐色を呈す。入海Ⅱ式土器に帰属する資料と考えられる。

第Ⅳ群土器 後期の土器 (第58図)

第1類土器 後期前葉の堀之内式土器 (第58図3)

3は後期前葉の堀之内Ⅱ式土器である。器形はバケツ形を呈し口縁は緩やかに外反し、口唇の一部に指頭圧で内屈を加える。口縁下は無文で胴部文様帯として2条の沈線を単位とする三角区画文が施文され、区画内には単節LRの充填縄文が施される。内面は口縁に沿って2条の沈線が巡り、沈線間には外面同様に充填縄文が施されている。器面は摩滅しており、胎土は細かい石英、長石、砂粒を多く含む。色調は薄い褐色を呈す。



第58図 1区縄文時代遺構外出土土器 [1/3]

遺構外出土石器（第59図、第12表、図版146－3）

1区・1区南の遺構外から出土した石器は、4種計5点(508.0g)で、内訳は磨石1点(316.7g)、残核1点(170.1g)、剥片2点(19.5g)、碎片1点(1.7g)である(第12表)。

遺構外石器5点の分布は、1区南で出土した残核を除いて1区に偏在する。

このうち2点を図示した。以下、器種毎に記載する。

磨石（第59図1）

第59図1は閃緑岩製の磨石である。扁平な円礫を素材とし、平面形が長楕円形を呈する。全面に磨り面がみとめられる。出土位置を特定できていない。

残核（第59図2）

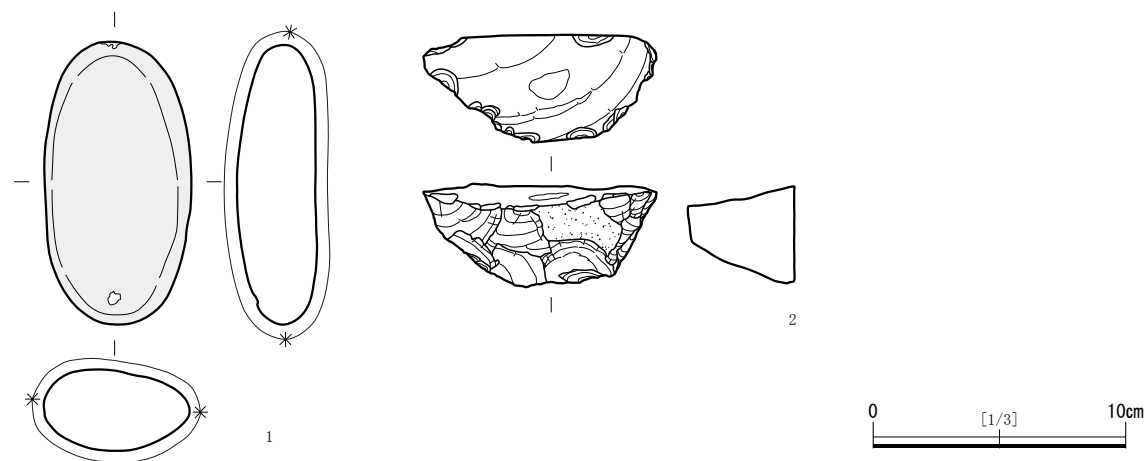
第59図2は細粒凝灰岩製の残核である。原礫面は裏面全面と表面作業面側の一部に残り、上面分割礫面側からと裏面礫面側からの剥片剥離が行われている。分割礫面の上端には打面調整の細かい剥離が確認される。I－9グリッドから出土している。

剥片

2点(一括・K－2グリッド)出土している。ともに石材はチャートで、剥片石器の素材かもしくは道具用の一部等であった可能性が考えられる。

碎片

本報告では長さか幅が少数点第一位以下を二捨三入して2.0cm以下となる。剥片を本器種とした。J－5グリッドから1点出土している。石材は黒曜石で、表面に礫面が残る。



第59図 1区・1区南縄文時代遺構外出土石器 [1/3]

第12表 1区・1区南縄文時代遺構外出土石器属性表 [第59図]

挿図番号	器種名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	出土遺構・Gr	備考
第59図1	磨石	閃緑岩	11.1	5.8	3.2	316.7		1区
第59図2	残核	細粒凝灰岩	4.1	9.2	4.2	170.1	I9Gr	1区南
	剥片	チャート	4.0	3.7	1.0	13.6	K2Gr	1区
	碎片	黒曜石	1.1	2.0	1.2	1.7	J5Gr	1区
	剥片	チャート	2.3	2.8	0.9	5.9		1区